ECLIPSE

DVDビデオ・ナビゲーション内蔵
DVD/CD/MD ネットワークAVシステム

AVN7702D

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

AVN7702D

本書はAVN7702Dの取り扱いについて説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。

本書はナビゲーションシステムおよびオーディオ・
テレビの取り扱いを説明しています。

●仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。
●本書の画面と機能は、地図DVD-ROMの作成時期などによって実際と異なることがあります。

各操作をお使いになる前に

● 安全に正しくお使いになるために……10
● 本書の見方……14
● 特長について……16
● 本機について……18
本機の作動条件……19
各部の名称と操作……20
CD・地図ディスク(DVD-ROM)／DVDビデオ・MDの入れ方……22
CD・地図ディスク(DVD-ROM)／DVDビデオ・MDの取り出し方……24
各画面表示を切り替える……25
テレビ・オーディオの電源を切る……26
ディスプレイの角度を調整する……26

ナビゲーション

1 はじめに

● ご使用になる前に……32
● ナビゲーションについて……34
ナビゲーション画面の見方……34
● GPSについて……36
● VICS(FM)、FM多重放送(一般文字情報)の切り替えについて……37

2 基本操作

1.メニュー画面・リスト画面について……42
メニュー画面……42
リスト画面の切り替え方……44
ヒント機能……46
2.画面の調整・音声の設定……47
画面の調整……47
地図の表示色の切り替え……49
時計表示の切り替え……49
音声の設定……50
操作説明音声の設定……51
ハートフル音声の設定……52
3.地図の表示……53
現在地の表示……53
地図の移動(ワンタッチスクロール)……54
タッチスイッチの表示……56
地図縮尺の切り替え……57
市街図の表示……58
地図向きの切り替え……60
フロントワイド表示の切り替え……61
2画面表示の切り替え……62
ハイウェイモード画面……64
3D表示の設定……66
観光地名称／均一区間料金の表示設定……71
ポップアップ表示の設定……72
ビジュアルシティマップの表示……73
シーズンレジャーランドマークの表示……74
立体ランドマークの表示……75
県境お知らせの設定……76
施設の表示……77
4.地図の呼び出し方……81
50音で地図を呼び出す……83
施設で地図を呼び出す……87
電話番号で地図を呼び出す……89
住所で地図を呼び出す……92
郵便番号で地図を呼び出す……93
メモリ地点で地図を呼び出す……93

目的地履歴で地図を呼び出す……94
マップコードで地図を呼び出す……94
5.呼び出した地図の操作……95
表示した地図の操作……95
位置の変更……96
施設内容の表示……96
提携駐車場の検索……97
周辺住所の検索……98

3 ナビゲーション機能

1.目的地設定・ルート探索について……102
2.目的地を設定してルート探索……103
目的地の設定……104
ルート探索……106
全ルート図表示……106
季節規制区間の表示・回避……108
ルート情報（案内道路情報）の表示……109
5ルート同時表示……110
3.探索ルートの変更……111
目的地の追加……112
探索条件の変更……114
目的地の並び替え……115
目的地の消去……116
出入口インターチェンジ（IC）の指定……117
インターチェンジ（IC）指定の解除……118
通過道路の指定……119
通過道路の修正……121
通過道路指定の解除……122
ルートのショートカット学習……123
4.目的地案内の開始・中止・再開……124
案内の開始……124
デモンストレーション（デモ）……124
案内の中止・再開……124
5.目的地案内について……125
交差点案内……125
道路形状警告……128
フェリー航路の案内……128
到着予想時刻の表示……129
料金案内……130
高速分岐案内……132
都市高速マップ表示……133
音声案内……134
他モードでの案内……136
6.案内ルートの操作……137
全ルート図の再表示……137
残距離表示の切り替え……137
オンルートスクロール……138
7.ルートの再探索……140
自動再探索……143

4 地点の登録

1.地点の登録とは……146
2.自宅の登録……147
自宅の登録・消去……147
3.メモリ地点の登録・修正・消去……148
メモリ地点の登録……148
メモリ地点の位置修正……151
メモリ地点の記号変更……152
メモリ地点の電話番号入力……153
メモリ地点の名称入力……154
メモリ地点の名称読み入力……156
メモリ地点の名称表示……157
メモリ地点の消去……157
4.特別メモリ地点の登録・修正・消去…158
特別メモリ地点の登録……158
特別メモリ地点の修正……159
特別メモリ地点の消去……159
5.迂回メモリ地点の登録・修正・消去…160
迂回メモリ地点の登録……160
迂回メモリ地点の修正……162
迂回メモリ地点の消去……162
6.目的地履歴について……163
目的地履歴の消去……163

5 VICS機能

1.VICS情報について……166
VICSとは……166
VICSのメディア概要……167
VICS情報提供内容と表示について……171
2.放送局の受信……172
VICS提供放送局の選択……172
3.VICS情報の表示……174
VICS情報の表示設定……174
VICS情報の表示……175
渋滞・規制音声案内……177
VICS文字情報の表示……178
VICS図形情報の表示……179
割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示……180
渋滞考慮探索……182
VICS記号……183
VICSの用語説明……184
VICSの問い合わせ先……184

6 インフォメーション機能

1.インフォメーション（情報）画面について……188
インフォメーション（情報）画面……188

画面の設定……189
2.デモ機能……192
デモの操作……192
3.FM多重放送……193
FM多重放送の番組について……193
画面の設定……193
放送局の切り替え……194
番組の切り替え……194
独立情報番組のページ送り……195
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る……195
文字情報の記録・呼び出し・消去……196
4.メンテナンス機能……197
メンテナンスメニュー画面……197
メンテナンス時期の設定……198
メンテナンス案内の設定……200
メンテナンスの案内……200
メンテナンス時期の更新……201
メンテナンス時期の解除……202
販売店の設定……202
販売店の修正・消去……203
5.電話帳機能……204
電話帳検索……204
6.レジャーインフォメーション（レジャー i ）の検索……205
レジャーインフォメーション（レジャー i ）……205
7.カレンダー機能……206
カレンダー画面……206
メモの登録……207
メモの案内……208
メモの修正……208
メモの削除……209
メモマーク色・日付色の変更……210
メモ一覧の表示……211
8.情報付施設の検索……212
情報付施設の検索・表示・編集……212

7 音声操作

1.音声操作システムについて……218
音声操作システムの構成……218
音声を正しく認識するために……218
音声操作の切り替え・解除……219
2.音声操作システムの操作例……220
基本操作……220
地図の呼び出し方法……225
目的地の案内……229
地点の登録……230
VICS……231
知りたインフォ機能……232
タクシーモード……233
ハンズフリー機能……234
3.音声認識コマンド一覧……236
ナビゲーション画面を切り替えるコマンド……236
操作のヒントを表示するコマンド……236
ナビゲーションの各機能を実行するコマンド……237
地点を検索・表示するコマンド……239
ナビゲーションの設定を変更するコマンド……240
知りたインフォコマンド……241
ハンズフリーで使用できるコマンド……242

8 オプション機能

1.電話機の接続……246
電話機の取り付け……246
電話機の取りはずし……246
2.接続先の設定……248
通信モードの設定……248
3.インターネットの操作……250
インターネットとは……250
インターネット情報について……250
インターネットメニューの表示……251
インターネットを初めて使うときは……253
ホームページの表示……253
Bookmark……254
インターネット接続（URL入力）……257
履歴……258
メール……258
ブラウザ設定（インターネット専用）……259
接続設定……260
4. iモードの操作……266
iモードとは……266
iモードメニュー画面の表示……268
サイト（番組）の接続……269
iモードによる施設検索……271
Bookmark……271
メール・メッセージとは……273
iモードメール……274
メッセージの表示……285
インターネットの接続……287
ブラウザ設定（iモード専用）……288
5.ハンズフリー機能の操作……289
ハンズフリーの概要……289
操作画面の概要……290
電話をかける……290
電話を受ける……294
電話番号の登録……295
メモリダイヤルの変更・削除……298
設定……299
6.ヘルプネットの操作……300

ヘルプネットとは……303
各部の名称とはたらき……305
会員登録するとき……306
会員登録を解約するとき……308
通報するとき……308
システムの点検……312
手動保守点検……313
一般電話を使うとき……316
ヘルプネットの緊急通報ができない場合について……318
廃車／転売について……320
7.ETCシステムの操作……321
ETC車載器を初めて使う……321
ETCとは……322
ETCメニュー画面……323
履歴の表示……323
登録情報の表示……324
ETCの設定……324
8.バックモニターの操作……325
バックモニターの映像……325

9 こんなときは
1.ナビゲーションの補正が必要なとき……328
現在地の補正……328
距離の補正……330
2.車速情報の表示……332
車速情報の表示……332
3.地図DVD-ROMの情報……333
地図DVD-ROMの情報表示……333
4.知っておいていただきたいこと……334
こんなメッセージが表示されたときは……334
故障とお考えになる前に……338
こんなトークバックのとき……343
ヘルプネットの表示灯について……344
ヘルプネットサービス会員規約……346

10 ご参考に
1.精度と誤差について……356
測位精度について……356
GPS衛星の電波の性質と受信状態について……356
現在地表示の誤差……357
タイヤによる誤差……357
マップマッチングによる自車位置検出の補正……357
現在地表示の精度について……358
道路、地名データについて……359
ルート案内について……360
2.用語説明……362
データ通信全般……364
iモード関連……364
インターネット関連……365
3.目的別索引……366
地図に関して……366
目的地案内に関して……368
VICS……370
情報……371
オプション機能……372
その他……373
4.索引……374

オーディオ&テレビ

1 はじめに

1.ご使用になる前に……382
CD・DVDについて……383
MDについて……385
テレビについて……386
本機のお手入れについて……386
アンテナのお手入れについて……387

2 基本操作

1.電源の入れ方、モードの切り替え方…390
電源の入れ方……390
モードの切り替え方……390
操作画面の表示……390
2.各モードの操作画面……391
3.主音量の調整……393
4.音質の調整……394
DSP（音場）の設定……395
EQ（イコライザ）の調整……396
POS（ポジションセレクタ）の設定……397
5.オーディオ画面の画質調整……399
画質調整画面を表示するには……399
ライト点灯時に昼画表示にするには……400
画面を消すときは……400
コントラスト（鮮明度）／明るさ調整……400
背景画を切り替えるには……401
6.テレビ・VTRの画質調整……402
画質調整画面を表示するには……402
ライト点灯時に昼画表示にするには……403
画面を消すときは……403
画質調整……403
画面モード切り替え……404

3 オーディオの使い方

1.ラジオの使い方 ……408
ラジオの聞き方 ……408
聞きたい放送局を選局する ……408
放送局を記憶させる ……409
エリアスイッチについて ……410
局名スイッチについて ……410
交通情報を受信する ……411
ラジオを止める ……411
2.CDプレーヤーの使い方 ……412
CDの聞き方 ……412
聞きたい曲を選曲する ……412
早送り・早戻しする ……413
聞きたい曲を探す ……413
同じ曲を繰り返して聞く ……413
曲の順番をランダムに聞く ……413
CDを止める ……413
3.CDチェンジャーの使い方 ……414
CDの聞き方 ……414
聞きたい曲を選曲する ……414
早送り・早戻しする ……414
聞きたいCDを選ぶ ……414
チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す ……415
聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く ……415
曲の順番をランダムに聞く ……415
CDを止める ……415
4.MDプレーヤーの使い方 ……416
MDの聞き方 ……416
聞きたい曲を選曲する ……416
早送り・早戻しする ……417
聞きたい曲を探す ……417
グループを探す ……417
同じ曲を繰り返して聞く ……418
曲の順番をランダムに聞く ……418
MDを止める ……418
5.MDチェンジャーの使い方 ……419
MDの聞き方 ……419
聞きたい曲を選曲する ……419
早送り・早戻しする ……419
聞きたいMDを選ぶ ……419
チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す ……420
聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く ……420
曲の順番をランダムに聞く ……420
MDのタイトルや曲名などを表示する ……421
MDを止める ……421
6.MP3について ……422
再生可能なMP3ファイルの規格について ……422
ID3タグ ……422
使用できるメディア ……422
使用できるディスクのフォーマット ……423
ファイル名 ……424
マルチセッション ……424
MP3の再生 ……424
MP3の演奏時間表示 ……424
MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番 ……424
MP3ファイルの再生順番 ……425
7.MP3ファイルの作り方・楽しみ方 ……426
インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合 ……426
音楽CDからMP3ファイルに変換する場合 ……426
CD-R/RWに書き込む場合 ……426
CD-R/RWを再生する場合 ……426
8.MP3プレーヤーの使い方 ……427
MP3の聞き方 ……427
聞きたい曲を選曲する ……427
早送り・早戻しする ……428
聞きたい曲を探す ……428
同じ曲を繰り返して聞く ……428
曲の順番をランダムに聞く ……428
1つ上のフォルダへ移動する ……428
現在演奏中のフォルダを表示する ……428
MP3のタイトルや曲名などを表示する ……429
MP3を止める ……429

4 テレビ・ビデオ(DVDプレーヤー)の使い方

1.テレビの使い方 ……432
テレビを見る ……432
見たいチャンネルを選局する ……433
チャンネルを記憶させる ……434
テレビ設定画面の切り替え ……435
エリアスイッチについて ……436
局名スイッチについて ……436
音声多重放送を切り替える ……437
画面モードの切り替え／音質の調整 ……437
テレビモードを終わる ……437
2.ビデオデッキのモニターとしての使い方 ……438
ビデオを見る ……438
ビデオモードを終わる ……438
3.DVDビデオの使い方 ……439
DVDビデオの特長 ……439
ディスクの構成について ……439
マルチ音声機能について ……439
マルチアングル機能について ……440
サブタイトル（字幕）機能について ……440
ディスクについて ……441
再生ディスクについて ……441

DVDに表示されているマークの意味について……441
DVDプレーヤーの設定について……442
音声言語を設定する……443
字幕言語を設定する……443
メニュー言語を設定する……444
マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する…444
視聴制限を設定する……445
映像出力の切り替え……446
基本的なDVDプレーヤーの使い方……447
再生したい映像を選ぶ……447
早送り・早戻しする……448
映像を一時止める……449
映像を止める……449
DVDを止める……449
見たい映像を探す……450
チャプターから探す……450
タイトルから探す……451
メニュー番号から探す……451
タッチスイッチの表示を切り替える……452
タッチスイッチを消す……452
タッチスイッチの表示場所を変更する……452
画面表示・音声を切り換える……453
アングルの切り換え……453
字幕言語の切り換え……454
字幕の非表示……454
音声言語の切り換え……454
言語コード一覧……455

5 音声操作

1.音声操作システムについて……458
音声認識コマンド一覧……458

6 ご参考に

1.故障とお考えになる前に……464
2.こんなメッセージが表示されたら……466
3.その他……468
技術基準適合認定について……468
ドルビーデジタルのみを搭載する製品……468
マクロビジョンを搭載する製品……468
4.用語説明……469
オーディオ全般……469
テレビ関連……469
MP3プレーヤー関連……469
DVDプレイヤー関連……470
5.目的別索引……471
音量・演奏方法について……471
演奏する曲について……471
放送局について……471
ビデオ・DVDビデオについて……472
画面について……472
わからなくてお困りのとき……472
6.仕様……473
7.索引……475

MEMO

目次

安全に正しくお使いになるために 10

ナビゲーションの操作 27

SECTION 1 はじめに 31

SECTION 2 基本操作 39

SECTION 3 ナビゲーション案内 100

SECTION 4 地点の登録 145

SECTION 5 VICS機能 165

SECTION 6 インフォメーション機能 186

SECTION 7 音声操作 216

SECTION 8 オプション機能 243

SECTION 9 こんなときは 327

SECTION 10 ご参考に 355

オーディオ・テレビの操作 377

SECTION Ⅰ はじめに 381

SECTION Ⅱ 基本操作 389

SECTION Ⅲ オーディオの使い方 406

SECTION Ⅳ テレビ・ビデオ(DVDプレーヤー)の使い方 430

SECTION Ⅴ 音声操作 457

SECTION Ⅵ ご参考に 463

安全に正しくお使いになるために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

●GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

走行中は、一部の細街路を消去します

●安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。（ただし、細街路を走行している場合は除きます）

※本書の画面と実際の画面は、地図DVD-ROMの作成時期・種類などによって異なることがあります。

⚠ **警告**……この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**……この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

ワンポイント …知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

⚠ 警告

●本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
●ナビゲーションによる目的地案内時も、実際の交通規制にしたがって走行してください。ナビゲーションによる目的地案内のみにしたがって走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
●安全のため、運転者は走行中に極力操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。前方不注意となり事故の原因となります。
●運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
●運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は音声のみになります。
●ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
●本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
●機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
●自動車の運転中にCD、MDなどの交換をしないでください。事故などの原因となります。
●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
●雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
●本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。

安全に正しくお使いになるために

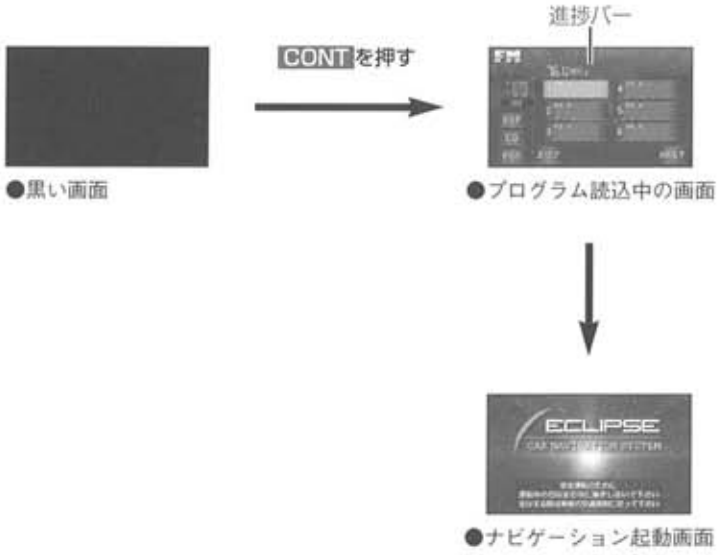
⚠ 注 意

●走行するときは、必ず実際の交通規則にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートを案内する場合があります。
●本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態で使用してください。
●本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
●電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
●ディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
●ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
●本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取りはずし、取り付けには専門技術が必要です。
●音声が割れる、ゆがむなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
●当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって破棄してください。
●極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてから使用してください。
●本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますので注意してください。
●本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店に相談してください。本機の改造は危険なレーザー放射被ばく（視力低下の原因）をもたらせたり、事故の原因となることがあります。
●ディスプレイ開閉時にシフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。
●各ディスクを取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。
＜A／T車の場合＞
●ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください）
●チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定し使用してください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）
＜M／T車の場合＞
●ディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。ただし、走行中は操作しないでください。
●チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定し使用してください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）

ワンポイント

●走行中操作できないものは走行状態になると色が反転し、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。
●悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。
●気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CDおよびDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、販売店に相談してください。
●本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。

●初めて地図ディスク（DVD-ROM）を差し込んだときは、「プログラム読込中」の画面が表示されます。
また、バッテリーの交換やヒューズの交換などでバッテリーの電源が断たれた後、地図ディスク（DVD-ROM）を差し込むと「プログラム読込中」の画面が表示されます。
プログラムが読み込まれるときは、最初に黒い画面が表示され、CONTを押すと、プログラム読込中の進捗バーが表示されます。プログラムの読み込みが完了すると、自動的にナビゲーションが起動します。
「プログラム読込中」の画面では絶対にエンジンスイッチをOFFにしないでください。



●黒い画面
●プログラム読込中の画面
●ナビゲーション起動画面

本書の見方

セクションNo.タイトル

セクションNo.とタイトルを
表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo.とタイトルが付けられています。

操作タイトル

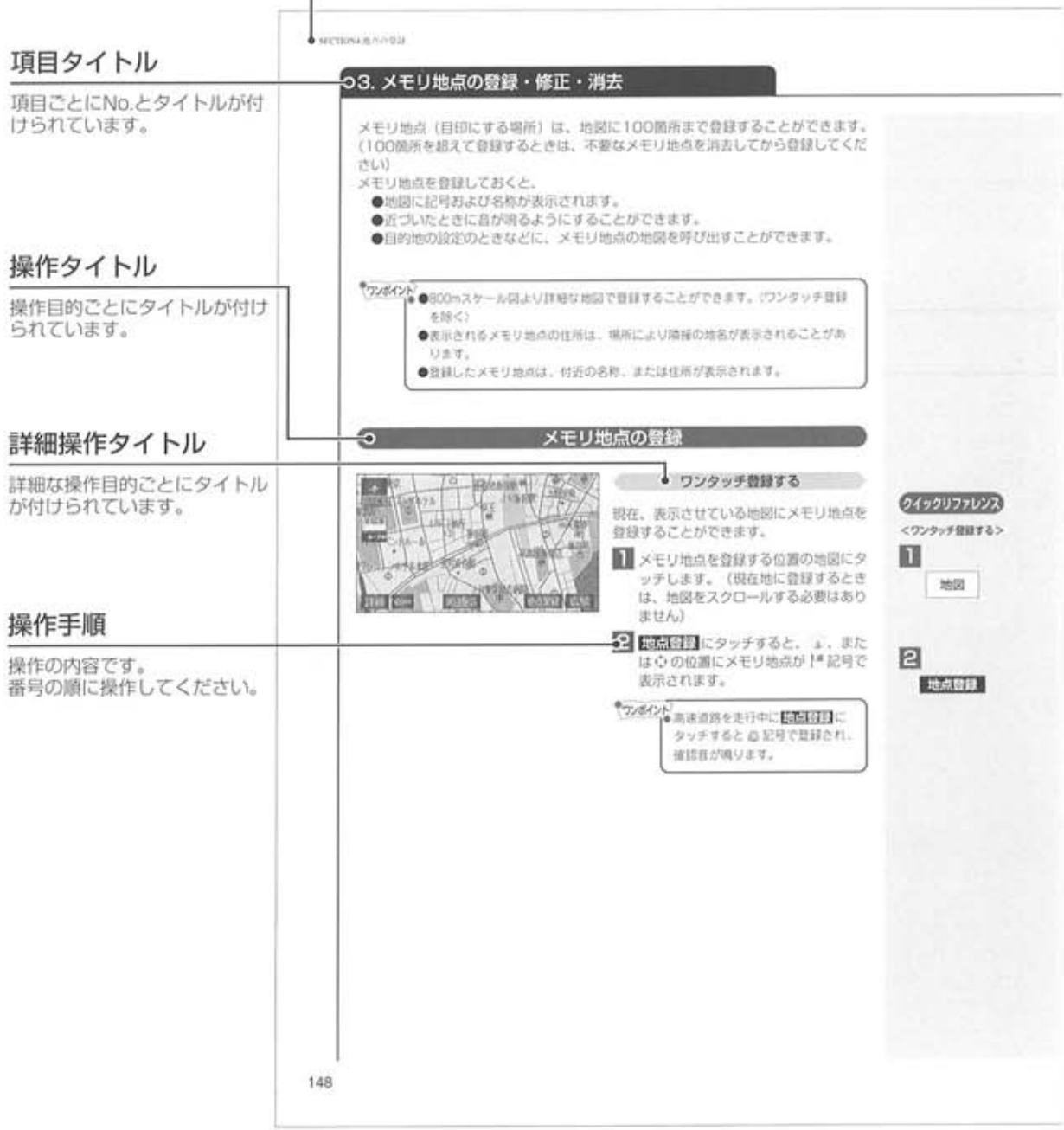
操作目的ごとにタイトルが付けられています。

詳細操作タイトル

詳細な操作目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順

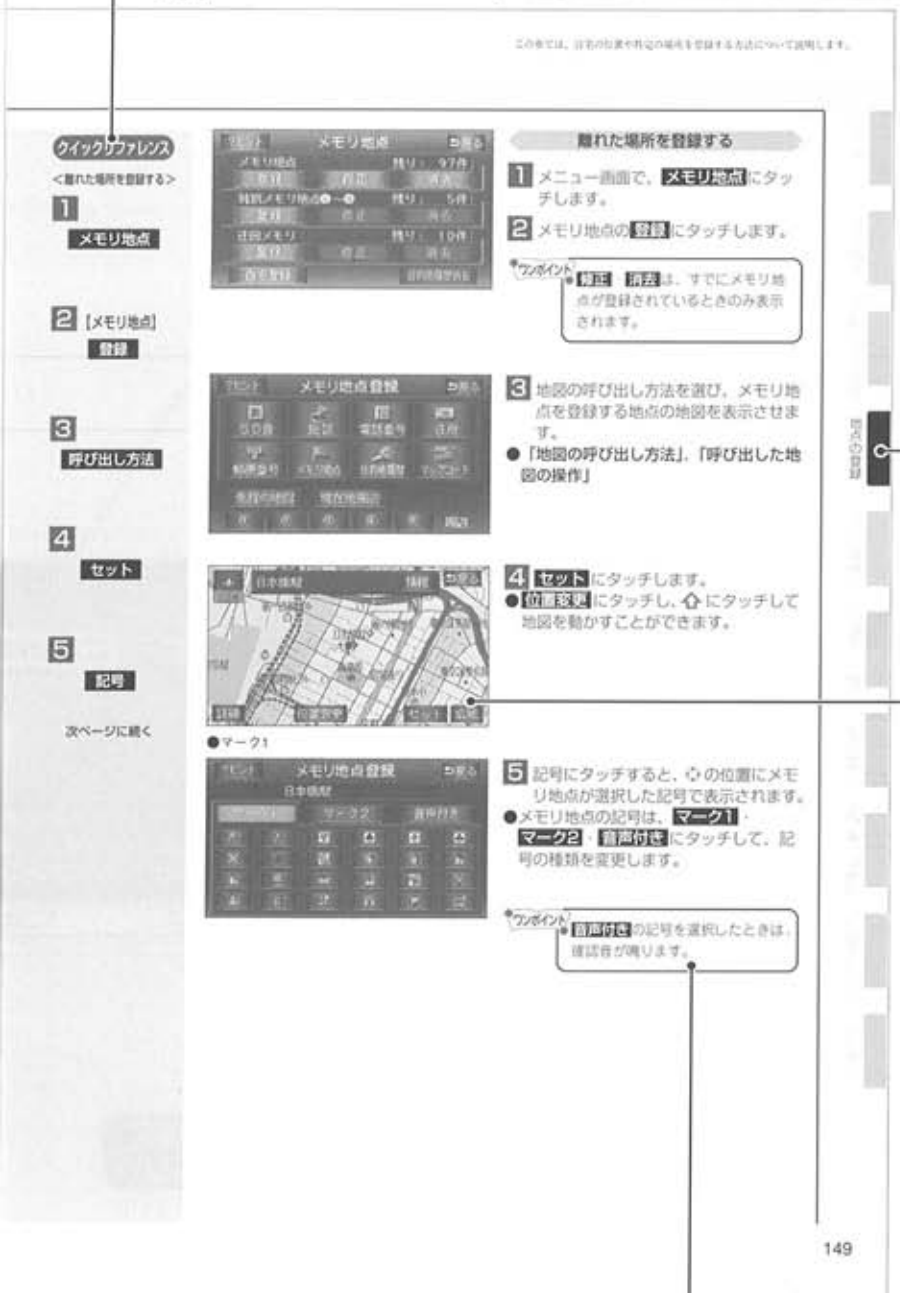
操作の内容です。
番号の順に操作してください。



クイックリファレンス

スイッチの操作方法が一目でわかるように表示しています。

クイックリファレンスで紹介するスイッチ（［　　］、　　、　　など）はスイッチをタッチすることを示しています。
また、［地図］は地図にタッチすることを示しています。



セクション見出し

セクションの見出しのみを濃い色で表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関係することなどを記述しています。

特長について

全国の地域詳細データをDVDディスクで網羅

DVD-ROMの大容量を生かし、ディスク1枚で全国主要都市の25mスケールの市街図を収録。

全国の主要な観光地を表示する観光地名称表示（71ページ）

全国の代表的な観光地名称を表示することができます。また、均一区間有料道路の料金も地図上に表示することができます。



ドライバー視点のリアル市街図（67ページ）

ドライバーの視点から現実の風景を3D画面で表現した市街図で案内をすることができます。また、視点の高さ、角度、地図の回転や表示する建物の高さを設定することができます。



今いる場所を明確に把握できるポップアップ名称表示（72ページ）

交差点、高速道路のICの名称をわかりやすくプレートでポップアップ表示することができます。また、同時に市区町村（または都道府県）名も表示することができるので現在地やスクロール位置などが明確に把握することができます。





各操作を確認できるデモ機能（192ページ）

よく使われる機能の一連操作を確認することができます。



タッチスイッチを説明するヒント機能（46ページ）

操作や機能について困ったときに画面上（ナビゲーション）のタッチスイッチの機能を説明します。



音声のみで設定・操作する音声操作システム（216ページ）

走行中に操作できなかったナビゲーションの操作が音声によって可能になります。また、オーディオ機能も操作できます。

渋滞などの情報を表示するVICS機能（165ページ）

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。
2メディアVICSユニットでは、光・電波ビーコンを受信し渋滞情報を考慮したルート検索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。





多様な情報を検索・表示するインフォメーション（情報）機能（186ページ）

●メンテナンス機能
ナビゲーションで使用するGPSカレンダーと距離情報を基に、車のオイルや消耗品の交換、各種点検時期あるいは車検などがきたことをナビゲーションの画面と音声でお知らせします。

●電話帳検索機能
JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を検索します。

●情報付施設検索機能
主要な施設をジャンルから検索し、施設の情報・住所・料金・写真などを見ることができます。また、地図に表示したランドマークからも施設の情報を見ることができます。

●レジャーインフォメーション（レジャー*i*）検索機能
観光エリアから自然の名所まで、多彩なスポットやコースを検索します。

●カレンダー機能
GPSのカレンダー機能を使用してメモ（会議や用事）などを登録し、当日にお知らせします。

●FM多重放送表示機能
FM多重で放送される一般文字情報（見えるラジオ）を表示します。

オプション機器を接続するシステムアップ（243ページ）

●通信機能
携帯電話接続ケーブルを使って本機と携帯電話を接続し、インターネット、ヘルプネットなどの通信機能を利用できます。

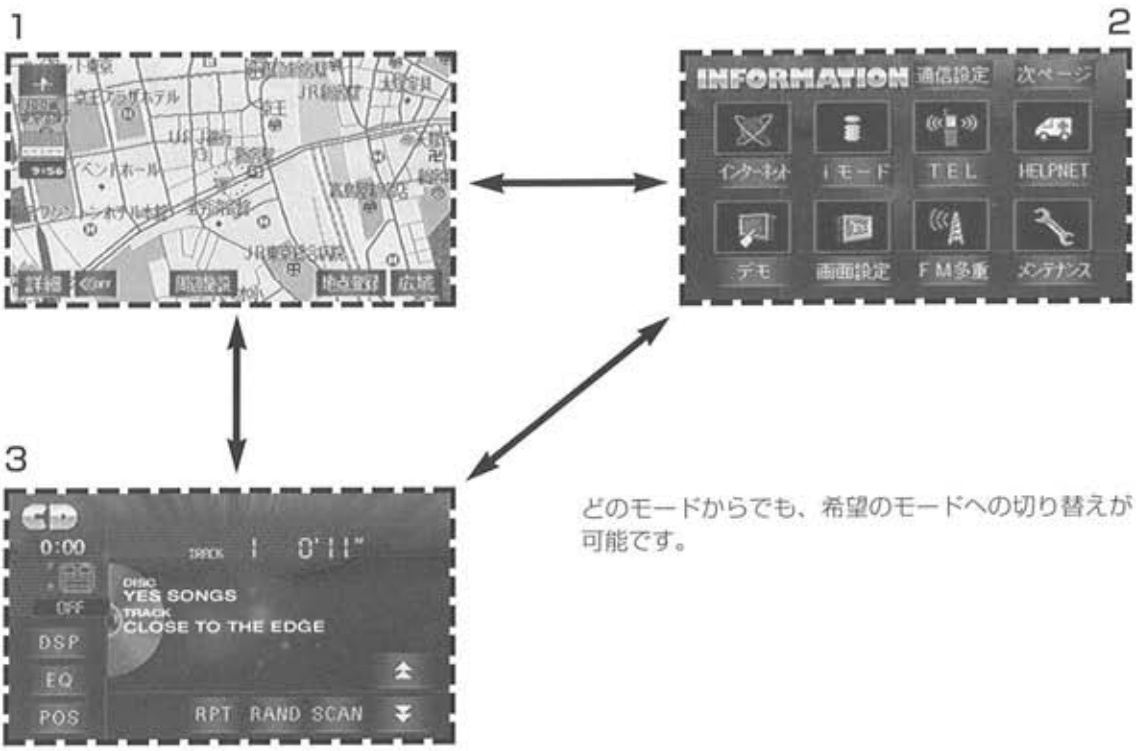
●ETCシステム
ETC(Electronic Toll Collection)システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。料金所に近づくとナビゲーション画面と音声で案内します。

約1/10に圧縮した音楽ディスクを再生するMP3プレーヤー（427ページ）

MP3形式で編集されたCD-R（レコーダブル）ディスクを再生します。（MP3は一枚のCD-Rに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。）

本機について

本書は、AVN7702Dの各操作を説明しています。
「各操作をお使いになる前に」をお読みの後、ナビゲーションの操作については**「ナビゲーションの操作」**27ページを、テレビ、オーディオの操作については**「オーディオ・テレビの操作」**377ページを参照してください。



どのモードからでも、希望のモードへの切り替えが可能です。

	モード	主な機能
1	ナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地への案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録
2	情　報	● メンテナンス機能 ● 電話帳機能 ● 施設情報の検索 ● FM多重放送の受信
3	オーディオ・テレビ	● AM・FM放送の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MDプレーヤーの操作 ● DVDプレーヤーの操作 ● テレビ放送の受信

どのモードからでも、希望のモードへの切り替えが可能です。

本機の作動条件

AVN7702Dの機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます　×：操作できません

エンジンスイッチ / 各機能	OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中※	ON 走行中	ディスプレイがオープン状態
ナビゲーション	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
オーディオ	×	○	○	○	×
FM多重放送（FM多重文字情報）	×	○	○	走行中はご使用になれません。（一部の番組は操作できます）	×
テレビ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
DVDビデオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
音声操作	×	○	○	○	○

※パーキングブレーキをかけた状態

ワンポイント
- 操作できないスイッチは、色が反転します。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。

本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。

本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

ワンポイント
- 本機はリモコン対応になっています。別売の10キーリモコンを販売店でお求めください。

パネルスイッチ

SOURCEスイッチ
オーディオ（ラジオ・CD・MD・MP3）やテレビ、ビデオ、DVDビデオにモードを切り替えるときに押します。

PWRスイッチ
オーディオ・テレビの電源を入れるときや、切るときに押します。

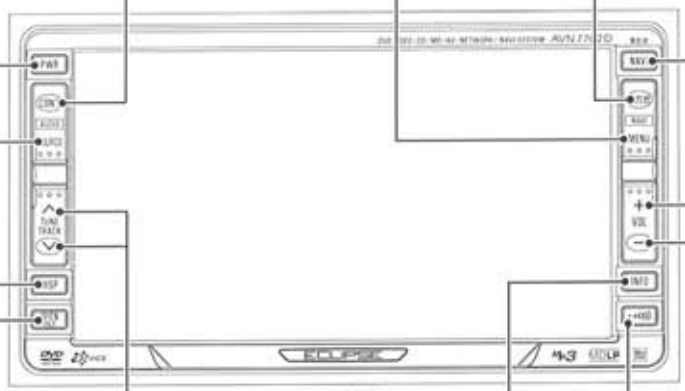
CONTスイッチ
オーディオ・テレビの操作画面を表示するときに押します。

MENUスイッチ
ナビゲーションのメニュー画面を表示するときに押します。

VOLスイッチ
オーディオ・テレビ・ビデオ・DVDビデオの音量を調整するときに押します。

NAVIスイッチ
ナビゲーション画面／現在地を表示するときに押します。
また、目的地案内中には音声案内を再発声します。

目的地スイッチ
ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。



<AVN7702D>

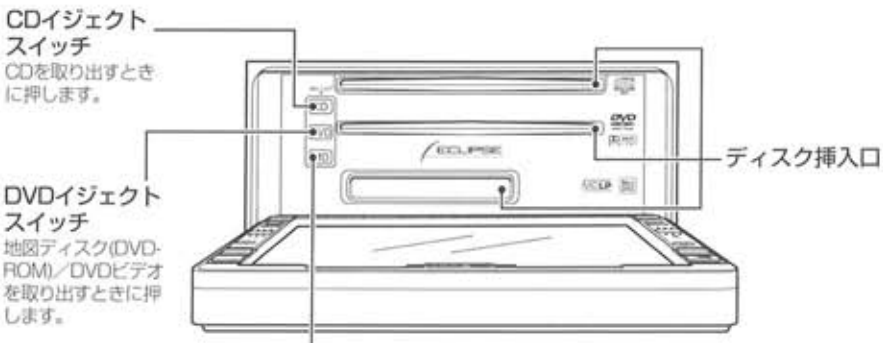
TUNE／TRACKスイッチ
テレビ・ラジオの選局、音楽用CD、MDの選曲をするときに押します。

交通情報スイッチ
交通情報ラジオを受信するときに押します。

OPENスイッチ
ディスプレイを開くときに押します。
（押す時間は短く押してください）
画面の角度調整をするときに押します。
（"ピッ"と音が鳴るまで押し、その後、離します）

INFOスイッチ
ナビゲーションの各情報機能を操作するときに押します。

DISPスイッチ
画質、画面モードの切り替えや画面を消すときに押します。



タッチスイッチ



（ナビゲーション）

タッチスイッチ
画面のスイッチにタッチして操作します。



（オーディオ）

[タッチスイッチの操作について]

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウン（反転）します。また、オーディオメニューでは現在のモードが選択色になります。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが選択色になるものもあります。

<本書でのスイッチ表示について>

- パネルスイッチを押すときは、〇〇〇（NAVI・INFO など）でスイッチ名称を表示しています。
- 画面のタッチスイッチにタッチするときは〇〇〇（詳細・周辺施設 など）でスイッチ名称を表示しています。
- 1つ前の画面に戻すときは、ナビゲーション画面では戻るに、オーディオ画面では 戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります）

注意

画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷が付くことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

本機について

CD・地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオ・MDの入れ方

ナビゲーションをお使いになるときは地図ディスク（DVD-ROM）、音楽をお聞きになるときは音楽CD、映像を見るときは映像用DVD（DVDビデオ）を入れてください。また、MDをお聞きになるときはMDを差し込み口に入れてください。

<CD、地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオ、MDの入れ方>

1 **OPEN を短く押します。**

ディスプレイ部が開き、CD、地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオ、MDの差し込み口があらわれます。

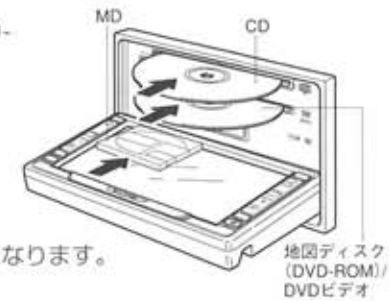


注意

- ディスプレイ部を開閉するときは手などを挟まないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（"P" 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを "N" または "ニュートラル" 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

2 **差し込み口にCD、地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオまたは、MDを差し込みます。**

差し込み口にMDまたは、CDおよび地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオのラベル面を上にして差し込みます。
差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。



- 音楽CDを差し込んだときはCDの再生が始まります。
- 地図ディスクを差し込んだときは、ナビゲーションの画面になります。
- 映像用DVDを差し込んだときはDVDの再生が始まります。
- MDを差し込んだときはMDの再生が始まります。

注意

- CDおよび地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオの差し込み口を間違えないでください。
- MDを差し込むとき、ディスプレイなどに干渉しないよう注意してください。
- 各ディスクの挿入途中に OPEN を押さないでください。また、CD、地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオまたはMDのいずれかを差し込むと自動でディスプレイ部が閉じますので続けて差し込まないでください。けがの原因やディスプレイ部の故障の原因になります。

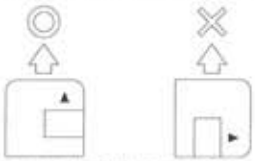
ワンポイント

●CDについて

- 音楽用CD以外は使用しないでください。
- 音楽用CDは右のマークのついたCDのみ使用できます。
- CD-R/RWは，ディスクの特性，傷，汚れ，長時間の車室内環境における劣化などにより再生できない場合があります。
- コピーコントロールCDは再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理されていないCD-R/RWは再生できません。
- 8cmCDを差し込むときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは，中心の穴と端を挟んで持ち，ラベル面を上にしてください。

●MDについて

- MDを入れるときは，MDの矢印を確認してから差し込んでください。



- MDの外周を指で触って「バリ」が無いことを確認してください。もし，バリがあったときは，取り除いてください。
- バリが付いたまま差し込むと作動不良や故障の原因になります。

●地図ディスク（DVD-ROM）について

- DVDナビゲーション専用ディスク以外は使用しないでください。(詳しくは，販売店に相談してください)
- 地図ディスクを扱うときは，中心の穴と端を挟んで持ち，ラベル面を上にしてください。

●DVDについて

- DVDは右のマークのついたDVDのみ使用できます。

本機について

CD・地図ディスク（DVD-ROM）／DVDビデオ・MDの取り出し方

1 **OPEN を短く押します。**

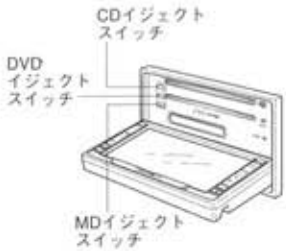
ディスプレイ部が開きます。

注意

- ディスプレイ部を開閉するときは手などを挟まないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（"P" 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを "N" または "ニュートラル" 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

2 **CDを取り出すときは CD を押します。**
地図ディスク・DVDを取り出すときは、DVD を押します。
MDを取り出すときは MD を押します。

自動的に各ディスクが押し出されます。



注意

各ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
<A／T車>
ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。
（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください）
<M／T車>
ディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

ワンポイント

- 各ディスクが取り出せない場合（噛み込みなど）は、各イジェクトスイッチを長押し（5秒以上）してください。ディスクが押し出されます。

3 **取り出し後、OPEN を押します。**

ディスプレイ部が閉じます。

注意

- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐに拭き取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 各ディスク（CD、MD、DVD）を取り出すとき、各ディスクが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。各ディスクを傷付けるおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

ワンポイント

- ディスプレイ部を開けたままエンジンスイッチをOFFにすると、音声でお知らせします。
- CDやDVD、MDの再生中に車のエンジンスイッチをOFFにした場合でも、一度だけCDやDVD、MDを取り出すことができます。

CD取り出し後にディスプレイを閉じると、CDの作動（読み込み）音がしますが、数秒後に停止します。故障ではありません。

各画面表示を切り替える

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

●ナビゲーション画面

NAVI を押します。



●インフォメーション（情報）画面

INFO を押します。



●オーディオ操作画面（作動時）

CONT を押します。



オーディオまたはテレビ機能が作動しているときに表示できます。オーディオの操作については「オーディオ・テレビの操作」377ページを参照してください。

●オーディオOFF画面

PWR を押します。



オーディオまたはテレビ機能がOFF状態時に表示されます。

■オンスクリーン表示について



ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオまたはテレビを操作（トラック選曲や周波数選局）すると、オンスクリーンが表示されます。オンスクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。

テレビ・オーディオの電源を切る

1 **PWR** を押します。

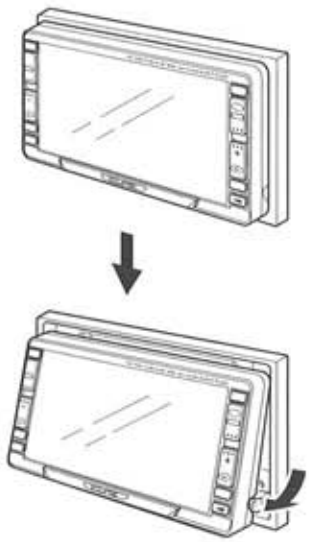
テレビ、オーディオの電源が切れます。もう一度押すと、電源が入ります。

ディスプレイの角度を調整する

車外からの光などで画面が見にくいときに画面の角度を6段階に調整できます。

1 **OPEN** をピッと音がするまで押します。

ディスプレイ部が斜め上方に1段階（5°）傾きます。
スイッチを押すごとに1段階ずつ傾きます。傾きが6段階（30°）のときにスイッチを押すと、ディスプレイ部が元の状態（0°）に戻ります。



ワンポイント
- ディスプレイ部を傾けた状態でも、**OPEN** を押すとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態に戻ります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

注意
- ディスプレイ部の角度調整をするときは手などを挟まないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。
- ディスプレイ部の角度調整をする際、下記に注意してください。

<A／T車>
チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定し使用してください。
（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）
<M／T車>
チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定し使用してください。
（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）

Navigation System

ナビゲーションの操作

ナビゲーションシステムの操作方法



ナビゲーションシステム

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

目次

ナビゲーションの操作

SECTION 1 はじめに 31
この章では、ご使用になる前の注意やスイッチの名称などについて説明しています。

SECTION 2 基本操作 39
この章では、基本的な操作について説明しています。

SECTION 3 ナビゲーション案内 100
この章では、目的地案内について説明しています。

SECTION 4 地点の登録 145
この章では、自宅の位置や特定の場所を登録する方法について説明しています。

SECTION 5 VICS機能 165
この章では、VICS機能について説明しています。

SECTION 6 インフォメーション機能 186
この章では、各情報機能について説明しています。

SECTION 7 音声操作 216
この章では、音声操作について説明しています。

SECTION 8 オプション機能 243
この章では、別売の外部機器を接続すると操作できる機能について説明しています。

SECTION 9 こんなときは 327
この章では、補正や知っておいていただきたいことについて説明しています。

SECTION 10 ご参考に 355
この章では、精度と誤差や用語について説明しています。

<地図データベースについて>

このナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、株式会社デンソーと株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。
ただし、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。
地図ディスクの詳細につきましては、MENU の 使用データ 、または地図ディスクのバックカードをご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。
- この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
- 交通規制データの保証についてこの地図に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて(財)日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
- 道路交通規制の優先についてこのデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。
- 著作権および使用実施権についてこの地図に使用している交通規制データの著作権は、(財）日本交通管理技術協会（TMT）が有し、二次的著作物作成の使用実施権は(株）ゼンリンが取得しています。この地図に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。

©財団法人　日本デジタル道路地図協会
©TMT
©㈱ゼンリン
©㈱デンソー
©㈱トヨタマップマスター

SECTION 1 はじめに

この章では、ご使用になる前の注意やスイッチ名称などについて説明します。

●ご使用になる前に……32
●ナビゲーションについて……34
　ナビゲーション画面の見方……34
●GPSについて……36
●VICS（FM）、FM多重放送(一般文字情報)の切り替えについて……37

ご使用になる前に

注意

エンジンをかけて使用してください

本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが，バッテリー保護のため，エンジンをかけた状態でご使用ください。

長時間エンジンをかけずにご使用になりますと，バッテリーがあがる場合がありますので注意してください。

走行中／交通規制について

走行するときは，必ず実際の交通規制にしたがうとともに，道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは，規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートを案内する場合があります。

本機の取り扱いについて

- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので，窓を開けるなどして温度を下げてから使用してください。
- 本機の中に金属や水が入ったり，強い衝撃が加わると故障の原因となりますので注意してください。
- ディスプレイの開閉（ディスクを取り出す）は下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ディスクを取り出す際，Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください）
- チルト位置を設定する際，PまたはR，Nレンジで手などが干渉しないように設定し使用してください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）

＜M／T車の場合＞

- ディスクを取り出す際，1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。ただし，走行中は操作しないでください。
- チルト位置を設定する際，1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定し使用してください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください）

ワンポイント

走行中の操作について

走行中操作できないものは走行状態になると色が反転し、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。

悪路走行時について

悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

結露について

気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CDおよびDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、販売店に相談してください。

現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。

GPSアンテナの取り扱いについて

- GPSアンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- GPSアンテナの上に雪などが積もった場合は受信感度が低下しますので、取り除いてください。
- GPSアンテナを取りはずしたり動かしたりする場合は、コードを引っ張らないでください。ショートや断線の原因となります。

プラスチック部品について

本機およびGPSアンテナなどのプラスチック部品に、殺虫剤やガラスクリーナなどの揮発性を含む薬品をかけたり、ゴムやビニール製品を長時間触れたままにしないでください。表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。

FM多重放送の受信について

FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報をポール式のラジオアンテナで受信する場合は、必ずアンテナを伸ばした状態で使用してください。

地図ディスクについて

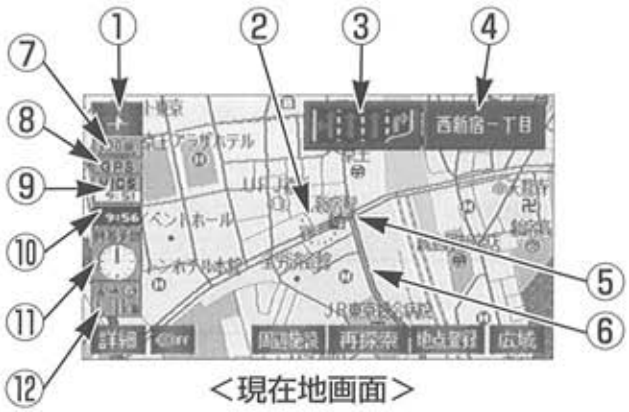
地図ディスクを交換される場合は、必ず指定の地図ディスクをお使いください。指定以外のディスクを挿入すると故障の原因になりますので、絶対に挿入しないでください。

ナビゲーションについて

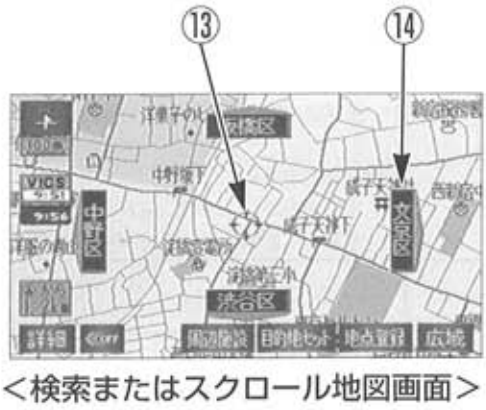
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面と検索またはスクロールさせた地図画面があります。



<現在地画面>



<検索またはスクロール地図画面>

①方位マーク（ヘディングアップ時は ）

地図の方角が表示されます。

●地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては、60ページを参照してください。

②自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③レーン（車線）表示

目的地案内中、通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
（地図DVD-ROMに情報のある交差点のみ）

●分岐する交差点の手前では、走行する車線が青色（推奨）で表示されます。

④名称表示

目的地案内中、次のものが表示されます。（地図DVD-ROMに情報のある地点のみ）

●通過・分岐する交差点の名称
●走行している道路の名称
●出口インターチェンジ（IC）の名称、ジャンクション（JCT）の方面名称
（高速道路を走行しているとき）

⑤案内ポイント

目的地案内中、交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点案内画面）が表示される交差点に表示されます。

●交差点案内については、125ページを参照してください。

⑥ルート表示

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

●案内が行われるのは、濃い青（━━━）の表示上に現在地があるときのみです。

⑦スケール表示
表示させている地図の縮尺が表示されます。
左の画面では└──┘の長さが100mになります。

⑧GPSマーク
状況により次のマークが表示されます。
●GPSについては、次ページを参照してください。

■GPSマーク GPS
人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、表示されます。
ただし、GPSマークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

⑨VICSタイムスタンプ VICS
VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。
（目的地案内中のルート上に情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります）
●VICS情報の表示については、175ページを参照してください。

⑩時計表示
現在の時刻が表示されます。
●表示については、49ページを参照してください。

⑪到着予想時刻表示／目的地方向マーク
状況により次のマークが表示されます。

■到着予想時刻表示
目的地案内中、目的地への到着予想時刻が表示されます。
●到着予想時刻については、129ページを参照してください。

■目的地方向マーク
ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑫残距離表示
現在地から目的地までの距離が表示されます。
●目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。
●ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。
●残距離表示の切り替えについては、137ページを参照してください。

⑬カーソルマーク
検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。
スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭スクロール方面名称表示
スクロール先の方面名称が表示されます。
●スクロール方面名称については55ページを参照してください。

本書では一部の操作説明を除き、ノースアップ表示・2D表示の通常地図（ビジュアルシティマップ表示をしない）画面で説明しています。また、「地図にタッチ」は直接、地図（タッチスイッチ以外の場所）をタッチすることを示しています。

GPSについて

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は米国が開発・運用しているシステムで、通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地球に放射される電波を利用して現在地（緯度・経度など）を知ることができるシステムです。本機では、GPSの各情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

GPS受信中画像



GPSを利用できないとき

次のようなときはGPSを利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナの付近や上にものを置くなどして電波が遮断されるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理などで電波が止まることがあります）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPSアンテナ付近で使用したとき

ワンポイント GPSアンテナの取り扱いについて

- GPSアンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- GPSアンテナの上に雪などが積もった場合は受信感度が低下しますので、取り除いてください。
- GPSアンテナを取りはずしたり動かしたりする場合は、コードを引っ張らないでください。ショートや断線の原因となります。

VICS(FM)、FM多重放送(一般文字情報)の切り替えについて

内蔵のFM多重受信機能は、VICS情報または一般文字情報を受信することができます。

ワンポイント

VICS、FM多重放送の受信について
- FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報をポール式のラジオアンテナで受信する場合は、必ずアンテナを伸ばした状態で使用してください。
- VICS情報およびFM多重放送（一般文字情報）を同時に受信することができます。

VICS情報・一般文字情報の受信について、次の条件により操作できます。

■内蔵のFM多重機能

オーディオ ＼ 機能		VICS情報	一般文字情報*1
OFF	VICS情報未表示	×	×
	VICS情報表示中	×	×
AM交通情報	VICS情報未表示	×	×
	VICS情報表示中	×	×
FM（NHK）	VICS情報未表示	×	○
	VICS情報表示中	○	○
FM（NHK以外）	VICS情報未表示	×	○ *2
	VICS情報表示中	×	○ *2
CD、MD、CD・MDチェンジャー	VICS情報未表示	×	○ *3
	VICS情報表示中	○	○ *3
MP3	VICS情報未表示	×	○ *3
	VICS情報表示中	×	○ *3
TV	VICS情報未表示	×	○ *3
	VICS情報表示中	○	○ *3

*1：一般文字情報の受信については、選局操作を行う前の受信状況について説明しています。
*2：一般文字情報を放送しているFM放送を受信しているとき。
*3：FMのラスト周波数が一般文字情報対応局の場合は、一般文字情報を表示します。

MEMO

SECTION 2 基本操作

この章では、基本的な操作について説明します。

1.メニュー画面・リスト画面について……42
メニュー画面……42
リスト画面の切り替え方……44
▲・▼の切り替え表示……44
前・次の切り替え表示……44
50音順の切り替え表示……44
行の切り替え表示……44
ページの切り替え表示……45
記号の切り替え表示……45
地域の切り替え表示……45
施設項目の切り替え表示……45
ヒント機能……46
2.画面の調整・音声の設定……47
画面の調整……47
画質調整画面を表示するには……47
ライト点灯時に昼画表示にするには……48
画面を消すときは……48
コントラスト（鮮明度）／明るさ調整……48
地図の表示色の切り替え……49
時計表示の切り替え……49
音声の設定……50
音量を調節する……50
自動音量切り替えを設定する……50
操作説明音声の設定……51
音声設定から操作説明音声を設定する……51
ナビ設定から操作説明音声を設定する……51
ハートフル音声の設定……52
ハートフル音声を設定する……52
3.地図の表示……53
現在地の表示……53
地図の移動（ワンタッチスクロール）……54
地図の移動……54
スクロール方面名称表示を設定する……55
タッチスイッチの表示……56
地図縮尺の切り替え……57
市街図の表示……58
市街図表示に切り替える……58
市街図表示を解除する……58
施設の内容を表示する……59
地図向きの切り替え……60
地図の向きを切り替える……60
フロントワイド表示の切り替え……61
フロントワイド表示を設定する……61

2画面表示の切り替え ……62
2画面表示に切り替える ……62
右画面を操作する ……62
2画面表示を解除する ……64
ハイウェイモード画面 ……64
ハイウェイモード画面を操作する ……65
ハイウェイモードを解除する ……66
3D表示の設定 ……66
3D表示に切り替える ……66
リアル市街図を表示する ……67
リアル市街図の視点を調整する ……67
見下ろす角度を調整する ……68
地図向きを回転する ……68
ビル表示を設定する ……69
ビルの高さを設定する ……69
ルート方向アップ表示を設定する ……70
スケーラブルフォント地図表示を設定する ……70
3D表示を解除する ……71
観光地名称／均一区間料金の表示設定 ……71
観光地名称／均一区間料金表示を設定する ……71
ポップアップ表示の設定 ……72
ポップアップ表示を設定する ……72
ビジュアルシティマップの表示 ……73
ビジュアルシティマップ表示を設定する ……73
シーズンレジャーランドマークの表示 ……74
シーズンレジャーランドマーク表示を設定する ……74
立体ランドマークの表示 ……75
表示切替から立体ランドマークを表示する ……75
ナビ設定から立体ランドマークを表示する ……75
立体ランドマークの内容を表示する ……76
県境お知らせの設定 ……76
県境お知らせ表示を設定する ……76
施設の表示 ……77
1ジャンルのみを表示する（簡易操作） ……78
複数ジャンルを表示する ……78
施設ランドマークを消去する ……79
周辺の施設を検索する ……79
ルートを考慮したリスト表示 ……80
施設の情報を表示する ……80

4.地図の呼び出し方法 ……81
50音で地図を呼び出す ……83
エリア別で絞り込みする場合 ……84
施設ジャンル別で絞り込みする場合 ……86
施設で地図を呼び出す ……87
電話番号で地図を呼び出す ……89
住所で地図を呼び出す ……92
郵便番号で地図を呼び出す ……93
メモリ地点で地図を呼び出す ……93
目的地履歴で地図を呼び出す ……94
マップコードで地図を呼び出す ……94
5.呼び出した地図の操作 ……95
表示した地図の操作 ……95
位置の変更 ……96
施設内容の表示 ……96
提携駐車場の検索 ……97
周辺住所の検索 ……98

1. メニュー画面・リスト画面について

メニュー画面



1 MENUを押すと、メニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面から次の操作を行うことができます。

●タッチスイッチにタッチして、項目を選択します。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
案内中止／案内再開 ※	目的地案内の中止・再開	124
全ルート図 ※	全ルート図の表示	106
音声設定	音量の設定	50
	操作説明音声の設定	51
	他モードでの音声案内の設定	136
	自動音量切り替えの設定	50
表示切替	2画面表示の設定	62
	3D表示の設定	66
	3D表示の角度の調整	68
	立体ランドマーク表示の設定	75
	ハイウェイモード画面の設定	64
	都市高速マップの設定	133
ルート変更 ※	目的地の追加・並び替え・消去	112,115,116
	インターチェンジ（IC）の指定・解除	117,118
	通過道路の指定・修正・解除	119,121,122
	探索条件の変更	114
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	148,151,157
	特別メモリ地点の登録・修正・消去	158,159
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	160,162
	自宅の登録・消去	147
	目的地履歴の消去	163

クイックリファレンス

1 MENU

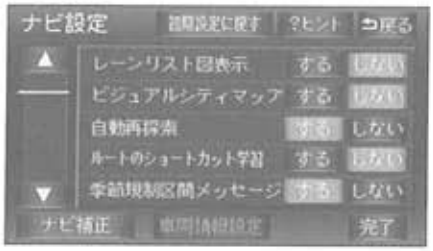
2 選択

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
ナビ設定	現在地の補正・距離の補正・車速情報表示	328,330,332
	車両情報の設定	131
	フロントワイド表示の設定	61
	3D時ルート方向アップの設定	70
	3D交差点案内画面の設定	126
	レーンリスト図表示の設定	127
	ビジュアルシティマップ表示の設定	73
	自動再探索の設定	143
	ルートのショートカット学習の設定	123
	季節規制区間メッセージの設定	108
	到着予想時刻表示の設定	129
	平均車速の設定	130
	料金案内の設定	131
	立体ランドマーク表示の設定	75
	シーズンレジャーランドマーク表示の設定	74
	他モードでの音声案内の設定	136
	県境お知らせの設定	76
	道路形状警告の設定	128
	操作説明音声の設定	51
	ハートフル音声の設定	52
	自動タクシーモードの設定	233
	地図の表示色の切り替え	49
	スケーラブルフォント地図表示の設定	70
	3Dビル表示の設定	69
	スクロール方面名称表示の設定	55
	観光地名称／均一区間料金表示の設定	71
	ポップアップ表示の設定	72
	時計表示の設定	49
VICS	VICS情報の表示・消去	175,177
	VICS提供放送局の選択	172
	VICS情報の表示設定	174
	VICS文字情報・図形情報の表示	178,179
オンルートスクロール※	目的地・近くの施設までの地図移動	138
?ヒント	ヒント機能の表示	46
使用データ	地図DVD-ROMの情報の表示	333

※　目的地が設定されていないときは、タッチスイッチの色が反転します。

1. メニュー画面・リスト画面について

リスト画面の切り替え方



▲・▼の切り替え表示

▼・▲にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。

クイックリファレンス

<▲・▼の切り替え表示>

▲

・

▼



前・次の切り替え表示

▲前・▼次にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。

クイックリファレンス

<前・次の切り替え表示>

▲前

・

▼次



50音順の切り替え表示

▲50音・▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばして、リストが動きます。

クイックリファレンス

<50音順の切り替え表示>

▲50音

・

▼50音



行の切り替え表示

あ行・か行・さ行・た行・な行・は行・ま行・や行・ら行・わ行にタッチすると、「あ行→か行」というように行ごとにリストが動きます。

●リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

クイックリファレンス

<行の切り替え表示>

選択

クイックリファレンス

<ページの切り替え表示>

▲ページ
・
▼ページ



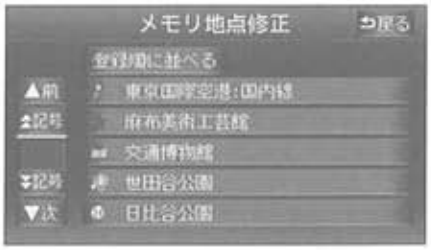
ページの切り替え表示

▲ページ・▼ページにタッチすると、1ページ（5項目）ずつリストが動きます。

クイックリファレンス

<記号の切り替え表示>

▲記号
・
▼記号



記号の切り替え表示

▲記号・▼記号にタッチすると、次の記号に飛ばして、リストが動きます。

クイックリファレンス

<地域の切り替え表示>

選択



地域の切り替え表示

北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。

クイックリファレンス

<施設項目の切り替え表示>

選択



施設項目の切り替え表示

食事・店・車・宿泊・遊び・公共・交通・文化・他にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。
- ○○全てにタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。
- 全ジャンルにタッチすると、すべての施設が選ばれます。

1. メニュー画面・リスト画面について

ヒント機能

ナビゲーション画面上に表示される各スイッチの機能概要を表示することができます。下記の説明はヒント機能の一例です。

ワンポイント
- ヒント機能は赤枠のタッチスイッチの説明を表示することができます。
- 走行中はヒント機能は操作できません。



1 **?ヒント** にタッチします。
- 機能概要の説明が登録されているスイッチが赤い枠で囲まれます。



2 赤い枠で囲まれているスイッチにタッチします。
- **?解除** にタッチすると元の画面に戻ります。



- タッチしたスイッチの機能概要が数秒間表示され、元の画面に戻ります。
- 再度、機能概要を表示するときは、赤い枠で囲まれているスイッチにタッチします。

ワンポイント ヒント機能中は通常の操作はできませんので **?解除** にタッチしてから操作してください。

クイックリファレンス

1 **?ヒント**

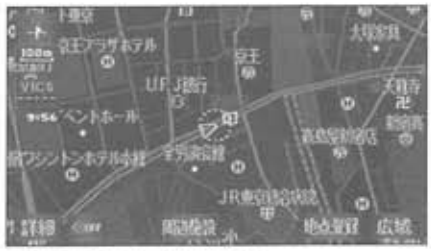
2 選択

画面の調整

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。
（初期状態）
●ライト消灯時…〈昼画表示〉
●ライト点灯時…〈夜画表示〉



●昼画表示（ライト消灯時）



●夜画表示（ライト点灯時）

クイックリファレンス

＜画質調整画面を表示するには＞

1 DISP

2 調整完了



●画質調整画面

画質調整画面を表示するには

1 ナビゲーション画面で、DISP を押すと、画質調整画面になります。

2 調整が終了したら、調整完了 にタッチする、または約20秒以上操作しなかったときは、画質調整画面にする前に表示させていた画面に戻ります。

2. 画面の調整・音声の設定



ライト点灯時に昼画表示にするには

1 ライト点灯時、**昼画面**にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●昼画表示のときは、**昼画面**が選択色になります。

画面を消すときは

1 **画面消**にタッチします。

●再度、画面を表示させるには各モードのスイッチ（**NAVI**、**MENU**など）を押します。

ワンポイント
●画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。

コントラスト（鮮明度）／明るさ調整

■コントラスト

1 強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

ワンポイント
●昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

クイックリファレンス

<ライト点灯時に昼画表示にするには>

1 **昼画面**

クイックリファレンス

<画面を消すときは>

1 **画面消**

クイックリファレンス

<コントラスト(鮮明度)／明るさ調整>

1 【コントラスト】 **強** ・ **弱**

1 【明るさ】 **明** ・ **暗**

地図の表示色の切り替え

クイックリファレンス

1 ナビ設定

2 【昼・夜の地図色】 選択 ■ ・ 自動切替

3 完了

昼画・夜画それぞれの地図表示色を切り替える（5種類）ことができます。



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 昼の地図色·夜の地図色それぞれで、**ノーマル**・**グリーン**・**ブルー**・**パープル**・**ブラウン**にタッチします。
- **自動切替**にタッチすると、3カ月ごとに、地図表示色が切り替わります。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。
- 地図表示色の自動切り替えは、以下のような設定になっています。
  3月～5月 ····グリーン
  6月～8月 ····ブルー
  9月～11月 ···パープル
  12月～2月 ···ブラウン

時計表示の切り替え

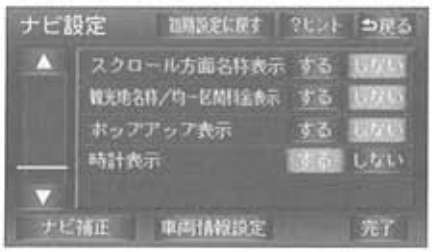
クイックリファレンス

1 ナビ設定

2 【時計表示】 する ・ しない

3 完了

地図画面に表示している現在時刻の表示を切り替えることができます。



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 時計表示の、**する**・**しない**にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- 時計表示の時刻はGPSの電波を利用して自動調整します。（操作することはできません）
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

2. 画面の調整・音声の設定

音声の設定

ナビゲーションの音声を設定します。



音量を調節する

1 メニュー画面で、**音声設定**にタッチします。

2 **小**・**・**・**・**・**中**・**・**・**大** のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

●**消**にタッチすると、音声がOFFになります。
音声がOFFのとき、いずれかの音量のタッチスイッチにタッチすると、音声がONになります。



作動表示灯

自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**音声設定**にタッチします。

2 **自動音量切替**にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

ワンポイント
● 車速が約80km/h以上になると、音量が自動的に1段階上がり、車速が約70km/h以下になると元の音量に戻ります。

クイックリファレンス

<音量を調節する>

1 **音声設定**

2 選択

クイックリファレンス

<自動音量切り替えを設定する>

1 **音声設定**

2 **自動音量切替**

操作説明音声の設定

ナビゲーションの操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。





作動表示灯

設定方法1

音声設定から操作説明音声を設定する

操作説明音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**音声設定**にタッチします。

2 **音声条件設定**にタッチします。

3 **操作説明**にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

ワンポイント
●他モードでの案内
…他モードに切り替えたときの音声案内の出力を設定します。（136ページ参照）

クイックリファレンス

<音声設定から操作説明音声を設定する>

1 音声設定

2 音声条件設定

3 操作説明



設定方法2

ナビ設定から操作説明音声を設定する

以下の方法で切り替えることもできます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 操作説明音声の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<ナビ設定から操作説明音声を設定する>

1 ナビ設定

2 【操作説明音声】
する
・
しない

3 完了

2. 画面の調整・音声の設定

ハートフル音声の設定

通常の目的地音声案内・操作説明音声とは、異なった音声を出力させることができます。また、1日の始めにエンジンをかけると日付を音声でお知らせします。

〔ハートフル音声の例〕
●ナビゲーション画面が表示されるとき、「おはようございます。今日は2月21日木曜日です。」

ワンポイント
●〔ハートフル音声の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されることがあります。



ハートフル音声を設定する

ハートフル音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 ハートフル音声の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス
<ハートフル音声を設定する>
1 **ナビ設定**
2 【ハートフル音声】 **する** ・ **しない**
3 **完了**

現在地の表示

エンジンスイッチをACCまたは、ONの位置にし、NAVIを押すと現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の地図やメニュー画面などを表示させているときは、NAVIを押すと、現在地画面に戻ります。
- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

ワンポイント

- 本機の取り付け直後、およびバッテリーターミナルを脱着した後、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります）
  GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の補正を行ってください。（328 ページ参照）

クイックリファレンス

1 NAVI



1 現在地画面で、NAVIを押すと、現在地付近の地名が表示されます。

3. 地図の表示

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、画面の上下、左右方向の市区町村名（または都道府県名）のスクロール方面名称を表示することができます。



地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチがある以外の場所）します。

- 画面の端にタッチすると、隣の地図に動きます。
- 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくりと地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で地図が移動します。

ワンポイント

- 走行中は安全のため、地図を連続して移動させることはできません。また、走行中の市街図は地図を移動させることができません。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地を移動させても地図は動きません。NAVIを押すと、元の状態（地図が動く）に戻ります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（60ページ参照）ができないことがあります。

クイックリファレンス

<地図の移動>

1

地図



●スクロール方面名称表示

スクロール方面名称表示を設定する

画面にタッチしたとき、画面の中心から上下左右方向にあたる方面の名称を表示させることができます。



スクロール方面名称表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 スクロール方面名称表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント

●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

●スクロール方面名称は地図の縮尺によって、市区町村名、または都道府県名に切り替わります。

- 市区町村表示…50m～800mスケール図
- 都道府県表示…1km～3kmスケール図

クイックリファレンス

<スクロール方面名称表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【スクロール方面名称表示】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

3. 地図の表示

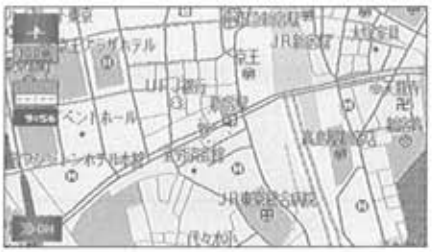
タッチスイッチの表示

地図を表示させているときに、画面（下部）のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。



●タッチスイッチがない表示





1 タッチスイッチがない表示にするときは OFF 、タッチスイッチがある表示に戻すときは、 ON にタッチします。

●タッチスイッチがない表示では、タッチスイッチによる操作はできません。
ON にタッチして、タッチスイッチを表示させて操作してください。

クイックリファレンス

1

OFF

・

ON

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図	1/2500	25m		1/32万	3k
詳細	1/5000	50m		1/64万	6k
	1/1万	100m		1/128万	10k
	1/2万	200m		1/256万	20k
	1/4万	400m		1/512万	50k
	1/8万	800m		1/1024万	100k
	1/16万	1k	広域	1/2048万	200k

クイックリファレンス

1 広域・詳細



スケールバー

1 地図の範囲を広くするときは**広域**、狭くするときは**詳細**にタッチします。（13段階に切り替えることができます）

- タッチスイッチにタッチすることに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域**、または**詳細**にタッチした後、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- **広域**、または**詳細**を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
- 新たに切り替えた縮尺が▲で表示されます。

ワンポイント

- 最大範囲（200kmスケール図）にすると**広域**が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると**詳細**が**市街図**（次ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は**詳細**が消去されます）
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替えることはできません。

3. 地図の表示

市街図の表示

市街図がある地域では、市街図表示1/2500図（25mスケール図）に切り替えることができます。



●市街図表示



●3D 表示中（リアル市街図表示）

ワンポイント

- ●市街図が収録されている地域のみ、50mスケール図に**市街図**が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます）
- ●市街図では、一方通行を ➡ で表示します。（リアル市街図では ⛔ で表示します）
- ●走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- ●3D表示にしているとき、市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。（通常の市街図は、表示されません）リアル市街図表示の操作については、67ページを参照してください。
- ●車速が約80km/h 以上になると、市街図表示は自動的に解除されます。（その状態のまま、車速が約70km/h以下になると、市街図表示に戻ります）
- ●VICS情報（175ページ参照）は市街図には表示されません。



市街図表示に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図**にタッチします。

市街図表示を解除する

1 市街図を表示させているときに、**広域**にタッチします。

クイックリファレンス

<市街図表示に切り替える>

1

市街図

クイックリファレンス

<市街図表示を解除する>

1

広域

クイックリファレンス

<施設の内容を表示する>

1 情報

2

3 施設情報

4 施設名称



施設の内容を表示する

1 市街図を表示させているときに、**情報**にタッチします。

●リアル市街図・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



2 ⇧にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。

ワンポイント
●地図DVD-ROMに情報が収録されている建物のみ表示させることができます。



3 **施設情報**にタッチします。

●選んだ建物の名称・件数・形状（建物が立ち上がり、立体表現されます）・階数・件数・店名・会社名などが表示されます。

●建物形状は実際とは異なることがあります。

●リスト最上段の施設位置を建物に表示します。

●選んだ建物に1つしか施設がないときは、**施設情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。



●選んだ施設の情報が表示されます。

●**目的地**にタッチすると、この施設を目的地としてルート探索が開始されます。

3. 地図の表示

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

●ノースアップ表示
車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように地図が表示されます。
（本書はノースアップ表示で説明しています）

●ヘディングアップ表示
車の進行方向が常に上向きになるように地図が表示されます。



●ノースアップ表示



●ヘディングアップ表示

ワンポイント
ヘディングアップ表示のとき目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示に戻ります。



地図の向きを切り替える

1 （または ）にタッチすると、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。
（ または が反転しているときは選択できません）

クイックリファレンス

<地図の向きを切り替える>

1

フロントワイド表示の切り替え

通常は、画面の中心に表示される自車位置マークⒶを、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。



●フロントワイド表示



●通常の表示

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

❶ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

❷ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

❸2画面表示（次ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



フロントワイド表示を設定する

❶～❸の条件それぞれで、フロントワイド表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 フロントワイド表示の項目の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント

●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<フロントワイド表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【フロントワイド】
する
・
しない

3
完了

3. 地図の表示

2画面表示の切り替え

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して次のような表示をさせることができます。



●2 画面表示

〔例〕
左右異なる縮尺で表示・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



2画面表示に切り替える

1 メニュー画面で、**表示切替**にタッチします。

2 **ツイン**（通常の2画面表示）、または**3Dツイン**（2画面3D表示）にタッチすると、2画面表示に切り替わります。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

●左側の画面は1画面表示のときと同じ方法で操作できます。

ワンポイント
●2画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
●目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示に戻ります。



右画面を操作する

1 右画面内の地図にタッチします。

クイックリファレンス
<2画面表示に切り替える>
1 表示切替
2 ツイン・3Dツイン

クイックリファレンス
<右画面を操作する>
1 右画面地図

作動表示灯



2 各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。

■地図縮尺を切り替える（57ページ参照）

詳細、または**広域**にタッチします。

■地図の向きを切り替える（60ページ参照）

（または）にタッチします。
（2画面表示でも操作できます）

■3D表示に切り替える（66ページ参照）

3D表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。
3D表示にタッチします。
●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

■施設の表示を設定する（77ページ参照）

左画面に施設を表示させているとき、施設をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。
施設表示にタッチします。
●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

■VICS情報の表示を設定する（174ページ参照）

左画面にVICS情報を表示させているとき、VICS情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。
VICS地図表示にタッチします。
●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

ワンポイント
●施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。

3. 地図の表示



2 画面表示を解除する

1 メニュー画面で**表示切替**にタッチします。

2 **ノーマル**（通常の表示）、または**3D**（通常の3D表示）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

ワンポイント

●再度、2画面表示にさせたときは、前回、2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

クイックリファレンス

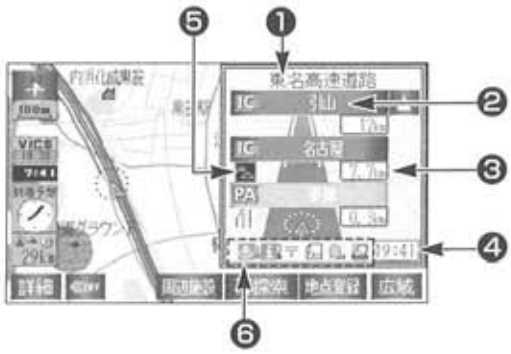
<2画面表示を解除する>

1 表示切替

2 ノーマル・3D

ハイウェイモード画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面を左右に2分割して右側にハイウェイモード画面を表示します。



❶道路名称表示
現在走行中、または選んだ施設のある道路名称が表示されます。

❷施設名称表示
施設の名称が表示されます。

❸距離表示
現在地からの距離が表示されます。

❹通過予想時刻表示
選んだ施設の通過予想時刻が表示されます。

❺VICS記号・表示
VICS情報の渋滞度表示や規制マークが表示されます。（VICS記号・表示については、175、183ページを参照してください）

❻設備マーク表示
選んだ施設［サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］にある設備が最大7つまで表示されます。（7つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークもあります）

ワンポイント

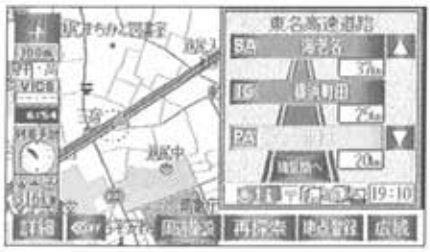
●目的地案内中は、都市高速でも自動でハイウェイモード画面を表示することができます。

●高速道路にVICS情報が表示されているときのみハイウェイモードにVICS情報を表示させることができます。

クイックリファレンス

<ハイウェイモード画面を操作する>

1 ▲・▼



ハイウェイモード画面を操作する

1 ▲・▼、または施設名称にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。

●施設を選んだとき、現区間へにタッチすると、現在地からのハイウェイモード画面に戻ります。

■設備マーク表示

マーク	内　容	マーク	内　容	マーク	内　容
	ガソリンスタンド		ショッピングコーナー		お手洗
	身障者用施設		ドラッグストア		郵便ポスト
	インフォメーション		ファックスサービス		ベビーベッド
	ハイウェイ情報ターミナル		キャッシュコーナー		身障者用電話
	スナックコーナー		コインランドリー		公衆電話
	休憩所		自動販売機		授乳室
	レストラン		コイン洗車機		軽食
	お風呂		仮眠室		コーヒーショップ
	コインシャワー				

●ガソリンスタンドは、系列のロゴマークが表示されます。

ワンポイント

●反対車線の情報は表示されません。

●通過予想時刻は設定した平均車速（130ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

●サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。

●目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、または分岐するジャンクション（JCT）の手前では、高速分岐案内画面（132ページ参照）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。ジャンクション（JCT）のときは高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに戻ります。

3. 地図の表示



ハイウェイモードを解除する

ハイウェイモード画面をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか選ぶことができます。

1 メニュー画面で**表示切替**にタッチします。

2 **高速略図解除**にタッチします。

●再度、ハイウェイモードを表示させるには、この画面で、**高速略図表示**にタッチします。

クイックリファレンス
<ハイウェイモードを解除する>

1 **表示切替**

2 **高速略図解除**

3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。



●3D表示



3D表示に切り替える

1 メニュー画面で**表示切替**にタッチします。

2 **3D**（通常の3D表示）、または**3Dツイン**（2画面3D表示）にタッチすると、3D表示に切り替わります。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

クイックリファレンス
<3D表示に切り替える>

1 **表示切替**

2 **3D**
・
3Dツイン

ワンポイント
- ●3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- ●目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示に戻ります。



●リアル市街図

リアル市街図を表示する

3D表示にさせていたとき、市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図になります。（通常の市街図は、表示されません）

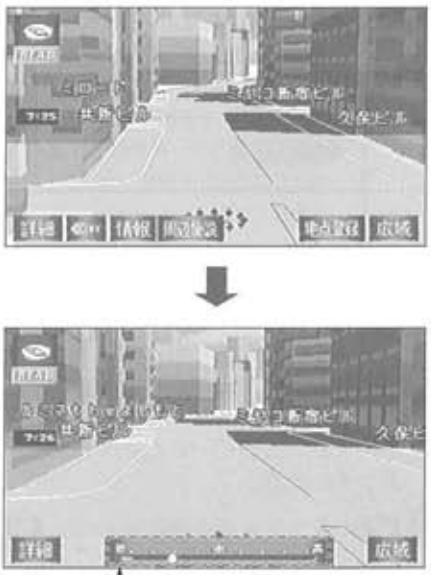
●市街図表示については、58ページを参照してください。

ワンポイント
- 高速道路上ではリアル市街図を表示することができません。

クイックリファレンス

<リアル市街図の視点を調整する>

1 広域・詳細



スケールバー

リアル市街図の視点を調整する

視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは**広域**、下げるときは**詳細**にタッチします。

●タッチスイッチにタッチして、すぐに手を離したとき…3段階

●タッチスイッチに約1秒以上タッチし続けたとき…9段階に切り替えることができます。

●**広域**、または**詳細**タッチした後、スケールバーにタッチすると、タッチした視点に切り替わります。

ワンポイント
- 最低角度の地図にすると**詳細**は表示されません。また、自車マークは表示されません。
- 最高角度の地図にさせているとき、**広域**にタッチすると、リアル市街図表示が解除されます。
- 走行中は安全のため、縮尺を9段階に切り替えることができません。

3. 地図の表示



見下ろす角度を調整する

1 メニュー画面で**表示切替**にタッチします。

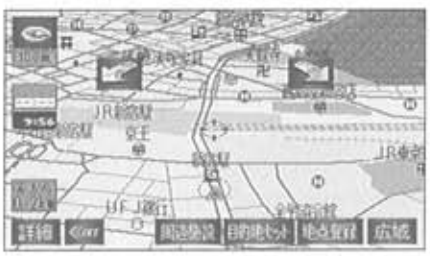
2 **3D表示設定**にタッチします。



3 角度を上げるときは▦、下げるときは▥にタッチして角度を設定します。

ワンポイント
- 最高角度（約70°）にすると▦、最低角度（約18°）にすると▥の色が反転し、タッチしても操作できません。
- **初期状態**にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）に戻ります。

4 **セット**にタッチします。



地図向きを回転する

1 地図を表示させているときに、地図にタッチします。

2 ◩にタッチすると時計まわり、◪にタッチすると反時計まわりに回転します。

ワンポイント
- 走行中は操作できません。
- **NAVI**を押すと、元の表示状態（回転前の状態）に戻ります。

クイックリファレンス

<見下ろす角度を調整する>

1 **表示切替**

2 **3D表示設定**

3 ▦ ・ ▥

4 **セット**

クイックリファレンス

<地図向きを回転する>

1 地図

2 ◩ ・ ◪

クイックリファレンス

<ビル表示を設定する>

1 ナビ設定

2 【3Dビル表示】
する
・
しない

3 完了



ビル表示を設定する

リアル市街図時に表示される建物の3D表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 3Dビル表示の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

ビルの高さを設定する

リアル市街図で3D表示する建物の高さ（階数）を設定することができます。

ワンポイント
●3Dビル表示の項目を**しない**に設定したときは、ビルの高さを設定してもビルは立体表示されません。
●ビルの高さを設定すると、設定した高さ以上のビルのみが表示されます。

クイックリファレンス

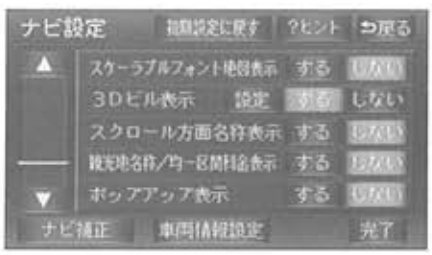
<ビルの高さを設定する>

1 ナビ設定

2 【3Dビル表示】
設定

3 ▶
◀

4 完了





1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 3Dビル表示の**設定**にタッチします。

3 表示する高さ（階数）を上げるときは▶、下げるときは◀にタッチして高さを設定します。

ワンポイント
●最大高さ（20階以上）にすると▶、最小高さ（全て）にすると◀の色が反転し、タッチしても操作できません。
●**初期状態**にタッチすると、高さが初期設定の状態（3階以上）に戻ります。

4 **完了**にタッチします。

3. 地図の表示



●ルート方向アップ表示

ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

●ONのときは、方位マークが◎になります。



ルート方向アップをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 3D時ルート方向アップの**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。



●スケーラブルフォント地図表示

スケーラブルフォント地図表示を設定する

3D表示画面の地図上の文字を画面下側の文字は大きく、画面上側の文字は小さく表示させることができます。



スケーラブルフォント地図表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 スケーラブルフォント地図表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<ルート方向アップ表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 [3D時ルート方向アップ] **する** ・ **しない**

3 **完了**

クイックリファレンス

<スケーラブルフォント地図表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 [スケーラブルフォント地図表示] **する** ・ **しない**

3 **完了**

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス
<3D表示を解除する>
1 **表示切替**
2 **ノーマル**・**ツイン**



3D表示を解除する

1 メニュー画面で、**表示切替**にタッチします。
2 **ノーマル**（通常の表示）、または**ツイン**（通常の2画面表示）にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

観光地名称／均一区間料金の表示設定

観光地の名称を黄色、有料道路の均一区間料金を紫色の枠で囲った文字で表示させることができます。



●観光地名称表示



●均一区間料金表示

クイックリファレンス
<観光地名称／均一区間料金を設定する>
1 **ナビ設定**
2 【観光地名称／均一区間料金表示】 **する**・**しない**
3 **完了**



観光地名称／均一区間料金表示を設定する

観光地名称／均一区間料金表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。
2 観光地名称／均一区間料金表示の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3. 地図の表示

ポップアップ表示の設定



●ポップアップ表示

高速道路インターチェンジ（IC）名称や交差点名称を吹き出しで表示させることができます。



ポップアップ表示を設定する

ポップアップ表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 ポップアップ表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- ●ポップアップ表示をONにすると、高速道路インターチェンジ（IC）名称を紫色、交差点名称を紺色の吹き出しで表示させることができます。
- ●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<ポップアップ表示を設定する>

1
ナビ設定

2 【ポップアップ表示】
する
・
しない

3
完了

ビジュアルシティマップの表示

地図記号・表示を立体的に表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)
また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。



●ビジュアルシティマップ表示



ビジュアルシティマップ表示を設定する

ビジュアルシティマップ表示をON(する)にするか、OFF(しない)にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で**ナビ設定**にタッチします。

2 ビジュアルシティマップの**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<ビジュアルシティマップ表示を設定する>

1 **ナビ設定**

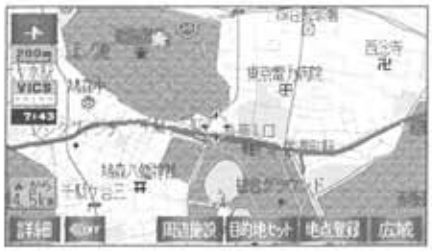
2 【ビジュアルシティマップ】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

3. 地図の表示

シーズンレジャーランドマークの表示

桜などの季節になると地図にシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。



●シーズンレジャーランドマーク表示

（例）

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所

ワンポイント
- ●800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
- ●マークが表示される時期は、場所（名所）によって異なります。



シーズンレジャーランドマーク表示を設定する

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で**ナビ設定**にタッチします。

2 シーズンレジャーランドマークの**する**、または**しない**にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<シーズンレジャーランドマーク表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【シーズンレジャーランドマーク】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

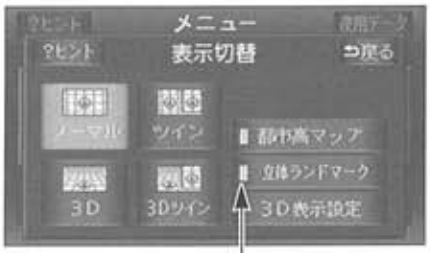
立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。



●立体ランドマーク表示

ワンポイント
●800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）



作動表示灯

クイックリファレンス

<表示切替から立体ランドマークを表示する>

1 表示切替

2 立体ランドマーク

設定方法1

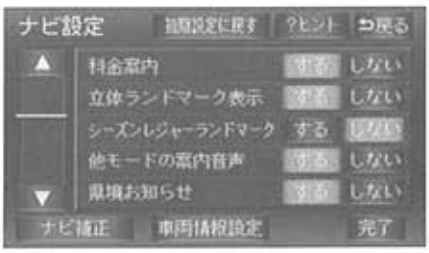
表示切替から立体ランドマークを表示する

立体ランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で**表示切替**にタッチします。

2 **立体ランドマーク**にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



クイックリファレンス

<ナビ設定から立体ランドマークを表示する>

1 ナビ設定

2 [立体ランドマーク表示] する ・ しない

3 完了

設定方法2

ナビ設定から立体ランドマークを表示する

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 立体ランドマーク表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3. 地図の表示



直線距離表示

立体ランドマークの内容を表示する

1 立体ランドマークにタッチすると、立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチすると、立体ランドマークの内容が表示されます。

●情報付施設が検索されたときの操作は、**「施設情報画面を操作する」** 212ページを参照してください。

クイックリファレンス

<立体ランドマークの内容を表示する>

1 立体ランドマーク

2 情報

県境お知らせの設定

都道府県境を越えたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



●県境お知らせ表示



県境お知らせ表示を設定する

県境お知らせをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 県境お知らせの **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

● **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<県境お知らせ表示を設定する>

1 ナビ設定

2 【県境お知らせ】
する
・
しない

3 完了

施設の表示

地図に施設ランドマークを表示させることができます。



●施設表示

ワンポイント

- ●800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
- ●表示させることができる施設ランドマークは、▲または✛から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）
- ●▲または✛が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。

施設表示ジャンル

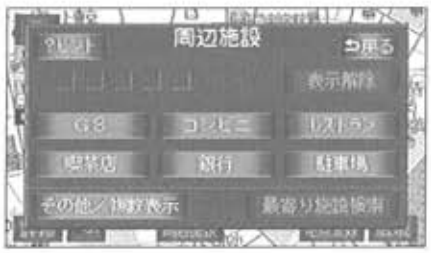
食事	食事全て
	レストラン
	ファミリーレストラン
	ファーストフード
	うどん・そば
	すし
	ラーメン
	カレー・スパゲティ
	とんかつ
	焼肉・ホルモン
	お好み焼
	フランス料理
	イタリア料理
	割ぽう・懐石
	和食
	洋食
	中華
	持ち帰り弁当
	喫茶店
店	店全て
	コンビニエンスストア
	スーパー・ディスカウント店
	デパート
	ホームセンター
	CD・ビデオレンタル
	レンタルショップ
	リサイクルショップ
	ケーキ・菓子・パン
	酒
	米
	花
	日用雑貨
	文具
	おもちゃ
	薬
	化粧品

店	衣料品
	スポーツ用品
	靴・鞄
	宝石・貴金属
	カメラ・時計
	めがね
	電化製品
	食料品
	本
	CD・ビデオ
	家具・インテリア
	ガラス・陶磁器
車	車全て
	ガソリンスタンド
	駐車場
	カーディーラー
	レンタカー
	カー用品
	自転車・バイク
宿泊	宿泊全て
	ホテル・旅館
遊び	遊び全て
	旅行
	スポーツ施設
	カラオケボックス
	パチンコ店
	ゲームセンター
	動植物園
	水族館
	ゴルフ場
	温泉
	スキー場
	遊園地
	キャンプ場
	公営娯楽
	劇場

公共	公共全て
	役所
	警察署
	図書館
	総合病院
	医療機関
	公園
交通	交通全て
	駅
	空港
	港
	高速IC
	有料IC
	SA・PA
	道の駅
文化	文化全て
	名所・旧跡
	神社
	寺
	教会
	城・城跡
	美術館
	博物館
	資料館
	ホール
他	その他全て
	美容院・理容店
	エステティック
	クリーニング
	写真
	銀行
	郵便局
	式場
	バリアフリートイレ

※選択できる施設は地図ディスクによって変わることがあります。

3. 地図の表示



1ジャンルのみを表示する（簡易操作）

1 地図を表示させているときに、**周辺施設**にタッチします。

2 表示させる施設(**GS**、**コンビニ**、**レストラン**、**喫茶店**、**銀行**、**駐車場**)にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。

●**その他／複数表示**にタッチすると上記スイッチ以外の施設や複数の施設ランドマークを同時に表示することができます。



複数ジャンルを表示する

GS（ガソリンスタンド）、コンビニ、レストラン、喫茶店、銀行、駐車場以外の施設ランドマークを表示させることができます。また、複数（5ジャンル）の施設ランドマークを表示させることもできます。

1 地図を表示させているときに、**周辺施設**にタッチします。

2 **その他／複数表示**にタッチします。

3 表示させる施設名称にタッチします。

●5つのジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。

●**○○全て**にタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。

●間違えたときは**選択解除**にタッチすると、1 施設ずつ解除されます。

●選んだ施設にタッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。

4 **完了**にタッチすると、選んだ施設ランドマークが表示されます。

ワンポイント
●各ジャンルの**○○全て**を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

クイックリファレンス

<1ジャンルのみを表示する(簡易操作)>

1 **周辺施設**

2 選択

クイックリファレンス

<複数ジャンルを表示する>

1 **周辺施設**

2 **その他／複数表示**

3 選択

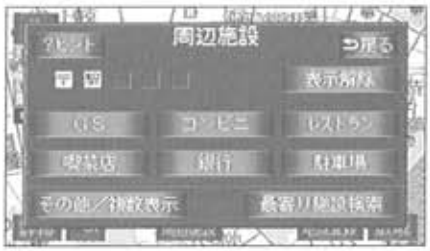
4 **完了**

クイックリファレンス

<施設ランドマークを消去する>

1 周辺施設

2 表示解除



施設ランドマークを消去する

1 地図を表示させているときに、**周辺施設**にタッチします。

2 **表示解除**にタッチします。

周辺の施設を検索する

または の位置の近くにある施設の名称と または からの直線距離・方向を表示させることができます。

ワンポイント
検索させることができる施設ランドマークは、 または から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）

クイックリファレンス

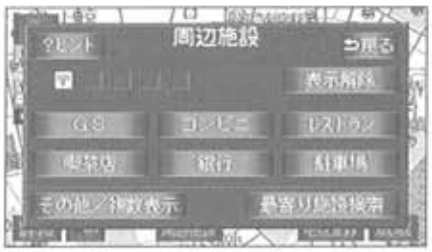
<周辺の施設を検索する>

1 周辺施設

2 最寄り施設検索

3 選択

次ページに続く





1 地図に施設ランドマークを表示させているときに、**周辺施設**にタッチします。

2 **最寄り施設検索**にタッチします。

●選択されている施設のリストが表示されます。

3 表示させる施設名称にタッチします。選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

●前方に施設がある場合は（矢印上）で表示されます。（車の進行方向から見える位置）

●目的地が設定されているときは、ルートに連動したリストを表示することができます。**「ルートを考慮したリストを表示」**（次ページ参照）

ワンポイント
施設のリストは、 または から距離の近い施設の順と、施設の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。

●**記号順に並べる**にタッチすると、施設の記号の種類別に並びかわります。

●**距離順に並べる**にタッチすると、 または から近い施設の順に並びかわります。

●距離順表示



●記号順表示



3. 地図の表示



4 **情報**が表示されたときは、**情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

●情報付施設が検索されたときの操作は、**「施設情報画面を操作する」**212ページを参照してください。

4

情報



●ルート沿い考慮表示

マークの表示

距離の表示

ルートを考慮したリスト表示

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストを表示することができます。(距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらかを表示しています)

1 **ルート沿い考慮**にタッチします。

●ルートを考慮したリスト表示がされているときは、作動表示灯が緑色になります。

●施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

クイックリファレンス

<ルートを考慮したリスト表示>

1

ルート沿い考慮

ワンポイント

●表示させていた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示できません。

施設の情報を表示する

ワンポイント

●施設によっては、内容が表示されない施設もあります。



1 施設ランドマークにタッチすると、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報**が表示されたときは、**情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

●情報付施設が検索されたときの操作は、**「施設情報画面を操作する」**212ページを参照してください。

クイックリファレンス

<施設の情報を表示する>

1

施設ランドマーク

2

情報

4. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。
地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページを参照してください。

●目的地設定のとき



●目的地の設定　（104ページ参照）
●目的地の追加　（112ページ参照）

●メモリ地点登録のとき



●自宅の登録　（147ページ参照）
●メモリ地点の登録　（148ページ参照）
●特別メモリ地点の登録　（158ページ参照）
●迂回メモリ地点の登録　（160ページ参照）
●販売店の設定　（202ページ参照）

上の画面は、目的地設定・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。
表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

4. 地図の呼び出し方法

項目（タッチスイッチ）	機　能
50音	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。 また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（次ページ参照）
施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（87ページ参照）
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設・個人宅周辺の地図を表示させることができます。 また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（89ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（92ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。 （93ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（93ページ参照）［メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、148ページ参照］
目的地履歴	過去に設定された目的地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（94ページ参照）［目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、163ページ参照］
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（94ページ参照）
先程の地図	メニュー、目的地設定画面にする前の地図を表示させることができます。
前回出発地	前回、目的地案内をさせた出発地の地図を表示させることができます。［一度目的地案内を行ったときのみ］
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅に帰る	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。［それぞれの地点が登録されているときのみ］ ●自宅の登録…自宅（147ページ参照） ●①～⑤…特別メモリ地点の登録（158ページ参照）
①／②／③／④／⑤ に行く	
①／②／③／④／⑤ 周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。［それぞれの地点が登録されているときのみ］ ●①～⑤…特別メモリ地点の登録（158ページ参照）

50音で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称を50音入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。
候補数が少なくリスト画面にあるときは直接選びます。

●目的の地点をエリアから絞り込む **エリア変更**
- **県別で探す**から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
- **地域で探す**から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。

●目的の地点を施設ジャンルから絞り込む **ジャンル変更**
- **ジャンル変更**から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。

操作の流れ



※ **県別で探す**・**地域で探す**はどちらか一方の絞り込みになります。

4. 地図の呼び出し方法



1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 12文字まで入力できます。
- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力できません。
- 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

ワンポイント
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

2 **完了**にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。



3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。候補数が多いときは前ページの**操作の流れ**にしたがって［エリア別］または［ジャンル別］で絞り込みます。

- 全国施設リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは**エリア変更**に、施設のジャンルを指定するときは**ジャンル変更**にタッチします。
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。**住所一覧**にタッチすると周辺住所を検索することができます。(98ページ参照)

エリア別で絞り込みする場合

ワンポイント
- 1エリアの設定になります。
- エリアを選択する場合は、**県別で探す**または**地域で探す**のどちらか1つのみの設定になります。また、**県別で探す**と**地域で探す**は最後に設定したエリアが有効になります。

クイックリファレンス

1 文字

2 完了

3 施設名称

クイックリファレンス

＜エリア別で絞り込みする場合＞

【県別から絞り込むとき】

1 エリア変更

2 県別で探す

3 都道府県名

4 市区町村名

5 施設名称



●都道府県指定画面

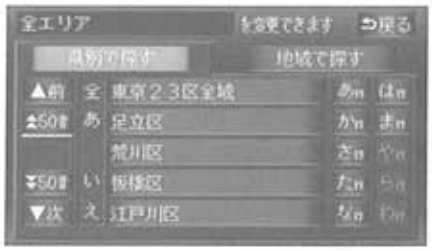
【県別から絞り込むとき】

1 全国施設リスト画面で、**エリア変更**にタッチします。

2 **県別で探す**にタッチします。

3 施設のある都道府県（一部市）名にタッチします。

●**全エリア**にタッチすると、全国施設リスト画面（前ページ3）に戻ります。



4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

●**○○全域**にタッチすると、指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。



5 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

●**50音修正**にタッチすると、**「50音で地図を呼び出す」**前ページ1の画面に戻ります。

●**ジャンル変更**にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（次ページ参照）

クイックリファレンス

【地域から絞り込むとき】

1 エリア変更

2 地域で探す

3 地域名

4 施設名称



●地域指定画面

【地域から絞り込むとき】

1 全国施設リスト画面で**エリア変更**にタッチします。

2 **地域で探す**にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。

4 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

●**50音修正**にタッチすると、**「50音で地図を呼び出す」**前ページ1の画面に戻ります。

●**ジャンル変更**にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（次ページ参照）

ワンポイント

●設定したエリアに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のエリアを設定してください。

4. 地図の呼び出し方法

施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは**エリア変更**による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

ワンポイント
- 施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、**ジャンル変更**で設定後、**エリア変更**もできます。



●ジャンル指定画面

1 施設リスト画面で、**ジャンル変更**にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル**にタッチすると、施設リスト画面（前ページ**5**）に戻ります。
- **○○全て**にタッチすると、その項目すべての施設が設定されます。



3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

- **50音修正**にタッチすると、「**50音で地図を呼び出す**」84ページ**1**の画面に戻ります。
- **エリア変更**にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のエリアを指定することができます。（前ページ参照）

ワンポイント
- ●設定したジャンルに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のジャンルを設定してください。
- ●施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

クイックリファレンス

<施設ジャンル別で絞り込みする場合>

1 ジャンル変更

2 ジャンル名

3 施設名称

施設で地図を呼び出す

施設名がわかっている場合は、施設ジャンルから選んで、地図を呼び出すことができます。



各施設の項目を選択し、施設名称をタッチすると地図を表示することができます。

施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
	公営娯楽
公共	役所
	警察署
	病院
	公園

項目	ジャンル
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC
	道の駅
	交差点
文化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
	国際展示場
他	式場

ワンポイント

- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、50音、電話番号もしくは住所による検索で周辺の地図を呼び出すことができます。（83、89、92ページ参照）
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ（IC）は、都道府県別のリストの後に路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストの後に市区町村別のリストがあります。
- 選択できるジャンルは地図ディスクにより、変わることがあります。

4. 地図の呼び出し方法



1 表示させる施設のジャンルにタッチします。



2 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

- さらに市区町村名（路線名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（路線名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

クイックリファレンス

1 ジャンル名

2 都道府県名(路線名)

3 施設名称

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設・個人宅の場合は、施設・個人宅周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点や特別メモリ地点に電話番号が設定してある場合（**「メモリ地点の電話番号入力」**153ページ参照、**「特別メモリ地点の修正」**159ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

ワンポイント

- 市外局番から入力してください。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁（一部地域は5桁）入力した後、**完了**にタッチします。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 個人宅周辺の地図を呼び出すには、個人宅の氏名の入力が必要です。
- 携帯電話番号は検索できません。

クイックリファレンス

1 **数字**

2 **完了**

次ページに続く



1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 **完了**にタッチすると、入力した番号から検索された地図が表示されます。

- 9桁目を入力すると、**完了**にタッチしなくても、約10秒後、自動的に検索が開始されます。（10桁目を入力すると、約3秒後、自動的に検索が開始されます）
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する個人宅があるときは、**4**の画面になります。
- 入力した番号に該当する施設・個人宅がないときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。**住所一覧**にタッチすると周辺住所を検索することができます。（98ページ参照）

4. 地図の呼び出し方法



3 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称・個人宅を選ぶ画面が表示されます。

●表示させる施設名称・個人宅にタッチすると、入力した番号から検索された地図が表示されます。

●**(個人宅)**にタッチすると**4**の画面になります。



4 個人宅の名称（姓:名字）を1文字ずつタッチして入力します。

●間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

ワンポイント

●複数の読み方が可能な「氏名」については、実際とは異なる読み方でデータ収録されている場合があります。このため正確な氏名では検索できないことがあります。

●個人宅電話番号データは、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。

5 **完了**にタッチすると、その時点で入力した電話番号と姓から検索された個人宅周辺の地図が表示されます。

3
施設名称
・
(個人宅)

4
文字

5
完了

ワンポイント

- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化（追加・変更・削除）するため、実際と異なる場合があります。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される住所は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、最大100箇所まで記憶されます。100箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されます。

4. 地図の呼び出し方法

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。



1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、表示させる地名にタッチすると、地図が表示されます。



●地名を選んだ後、詳細がわからないときは**○○主要部**にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

●地名を選んだ後、**番地を指定する**にタッチすると、番地・号数を入力することができます。



2 **番地を指定する**にタッチしたときは、数字、または－を1つずつタッチして入力します。

●間違えたときは**修正**にタッチすると、1つずつ消去されます。

3 **完了**にタッチすると、入力した番地から検索された地図が表示されます。

●入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。

●入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。**周辺住所**にタッチすると周辺住所を検索することができます。（98ページ参照）

ワンポイント

○○主要部にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所**は、表示されません。

クイックリファレンス

1 都道府県名 市区町村名 丁目(字)

2 番地を指定する 数字

3 完了

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から地図を呼び出すことができます。

ワンポイント
郵便番号は7桁で入力してください。

クイックリファレンス

1 数字

2 完了



1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

●間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 **完了**にタッチすると、入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。

●7桁目を入力すると、**完了**にタッチしなくても、約3秒後、自動的に検索が開始されます。

●地図が表示された後、**住所一覧**にタッチすると周辺住所を検索することができます。(98ページ参照)

メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば、(**「メモリ地点の登録」**148ページ参照) メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

クイックリファレンス

1 メモリ地点名称



1 リストから表示させるメモリ地点にタッチすると地図が表示されます。

4. 地図の呼び出し方法

目的地履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新20件まで自動的に記憶し、もう一度すばやく同じ地点の地図を呼び出すことができます。



1 リストから表示させる目的地履歴にタッチすると地図が表示されます。

ワンポイント
- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、**「目的地履歴の消去」** 163ページを参照してください。

クイックリファレンス

1 目的地名称

マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。



1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 **完了** にタッチすると、入力したマップコードから検索された地図が表示されます。

- 10桁目を入力すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に検索が開始されます。

クイックリファレンス

1 数字

2 完了

ワンポイント
- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、6～10桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- 主なマップコード掲載出版物は、以下の通りです。
  - JTB出版「るるぶドライブシリーズ」
  - 昭文社「家族でおでかけシリーズ」、「キャンプ場ガイド」、「スキーマップル」
  - 宝島出版「全国SA／PAガイド」
  - 日本自動車連盟「JAFメイト」
  - プランニング秀功社「自然と遊ぼう九州グリーンツーリズムガイドブック」、「ポケちず福岡」
  - 名古屋流行発信「CHEEK（TYPE-C）ファミリーレジャーガイド」、「パーフェクトランチ」
- マップコードは、メモリ地点・特別メモリ地点を登録すると、修正画面の位置の名称の下に表示されます。
  - メモリ地点…148ページ参照
  - 特別メモリ地点…158ページ参照
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

5. 呼び出した地図の操作

50音・施設・電話番号・住所・郵便番号から地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることができます。

表示した地図の操作

ピンポイント検索できた地図には ♀ マークが表示されます。

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。
①「50 音で地図を呼び出す」で施設名称を入力したとき
②「施設で地図を呼び出す」とき
③「電話番号で地図を呼び出す」で該当する施設のとき



●ピンポイントで検索できたとき



●ピンポイントで検索できないとき

呼び出した地図から次の操作ができます。
<ピンポイントで検索できたとき>
■**位置の変更**……スクロールして位置を変更します。
■**施設内容の表示**……上記①～③の条件で表示した施設情報を表示します。
■**提携駐車場の検索**……上記①～③の条件で表示した施設の提携駐車場を検索します。
<ピンポイントで検索できないとき>
■**周辺住所の検索**……呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。（「50音で地図を呼び出す」で住所を入力、「電話番号で地図を呼び出す」、「郵便番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは**住所一覧**が表示されます。また、「住所で地図を呼び出す」および**住所一覧**から番地入力で呼び出したときは**周辺住所**が表示されます）

5. 呼び出した地図の操作

位置の変更



1 ピンポイント検索された地図で**位置変更**にタッチします。



2 ⇧にタッチして地図を動かします。

クイックリファレンス

1 位置変更

2



施設内容の表示

ワンポイント

- ●施設の内容を表示させることができるのは、前ページの①・②・③の方法で、地図を呼び出したときのみです。
- ●施設によっては、内容が表示されない施設もあります。



1 **情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

- ●情報付施設が検索されたときの操作は、**「施設情報画面を操作する」** 212ページを参照してください。

クイックリファレンス

1 情報

提携駐車場の検索

検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

ワンポイント

- 提携駐車場を表示させることができるのは、95ページの①・②・③の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、**提携P**が表示されても検索できない場合があります。
- 提携駐車場は車両情報の設定（131ページ参照）によって検索される駐車場が異なります。

クイックリファレンス

1 **提携P**

2 **駐車場名称**



1 **提携P**にタッチします。



2 表示させる駐車場名称にタッチすると、施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある**地図**にタッチすると、地図が表示されます。

- 情報付施設が検索されたときの操作は、**「施設情報画面を操作する」**212ページを参照してください。

ワンポイント

駐車場のリストは、♀から近い距離の施設の順と、駐車場の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。

- **記号順**にタッチすると、P<青色>（専用駐車場）とP<緑色>（提携駐車場）別に並びかわります。
- **距離順**にタッチすると、♀から近い距離の駐車場の順に並びかわります。

●記号順表示



●距離順表示



5. 呼び出した地図の操作

周辺住所の検索



■「50音で地図を呼び出す」で、住所を入力したとき。
■「郵便番号で地図を呼び出す」とき。
■「電話番号で地図を呼び出す」で、検索できる施設がなかったとき。

1 住所一覧にタッチします。



2 表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。
●住所一覧から番地を入力して検索できないときは周辺住所が表示されます。

ワンポイント
●○○主要部にタッチして表示した地図の場合、周辺住所は、表示されません。



■「住所で地図を呼び出す」から番地入力で検索できないとき。
■住所一覧から番地を入力して検索できないとき。

3 周辺住所にタッチします。



4 表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。
●リストの最上段の住所を 📍 で表示します。

クイックリファレンス

1 住所一覧

2 住所

3 ■番地入力で検索できないとき
周辺住所

4 住所

MEMO

SECTION 3 ナビゲーション案内

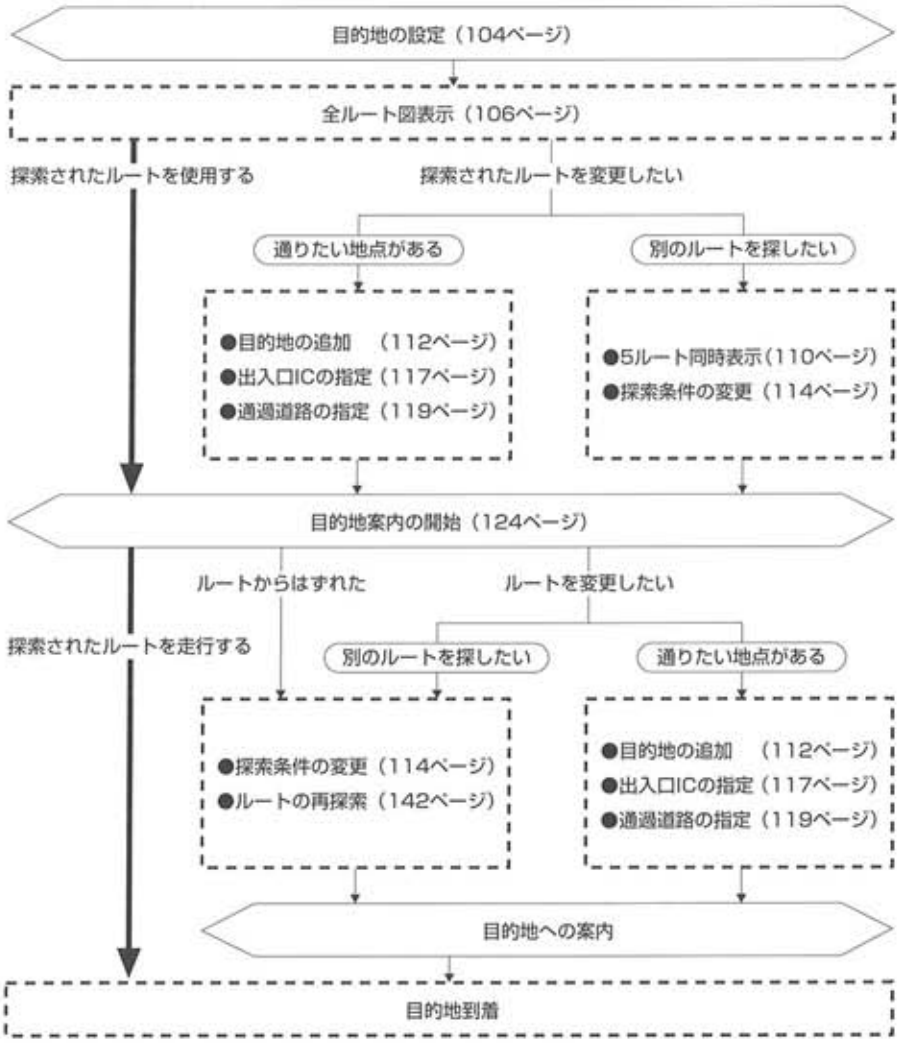
この章では、目的地案内について説明します。

1.目的地設定・ルート探索について ……102
2.目的地を設定してルート探索 ……103
目的地の設定 ……104
ワンタッチで設定する ……104
地図の呼び出し方法から設定する ……105
ルート探索 ……106
全ルート図表示 ……106
季節規制区間の表示・回避 ……108
季節規制区間を回避する ……108
季節規制区間メッセージ表示を設定する ……108
ルート情報（案内道路情報）の表示 ……109
5ルート同時表示 ……110
3.探索ルートの変更 ……111
目的地の追加 ……112
探索条件の変更 ……114
目的地の並び替え ……115
目的地の消去 ……116
ルート変更から消去する ……116
目的地から消去する ……116
出入口インターチェンジ（IC）の指定 ……117
インターチェンジ（IC）指定の解除 ……118
通過道路の指定 ……119
ワンタッチで指定する ……119
ルート変更から指定する ……120
通過道路の修正 ……121
通過道路指定の解除 ……122
ルートのショートカット学習 ……123
ルートのショートカット学習を設定する ……123
4.目的地案内の開始・中止・再開 ……124
案内の開始 ……124
デモンストレーション（デモ） ……124
案内の中止・再開 ……124
5.目的地案内について ……125
交差点案内 ……125
分岐しない交差点 ……125
分岐する交差点（交差点案内画面） ……125
立体的な案内画面 ……126
3D交差点案内画面 ……126
レーン（車線）リスト図表示 ……127
交差点案内画面・レーンリスト図表示の解除 ……127
道路形状警告 ……128
道路形状警告を設定する ……128
フェリー航路の案内 ……128

到着予想時刻の表示 ……129
到着予想時刻表示を設定する ……129
平均車速を設定する ……130
料金案内 ……130
料金案内を設定する ……131
車両情報を設定する ……131
高速分岐案内 ……132
高速分岐案内画面を解除する ……132
都市高速マップ表示 ……133
都市高速マップ表示を設定する ……133
音声案内 ……134
他モードでの案内 ……136
音声設定から他モードでの案内を設定する ……136
ナビ設定から他モードでの案内を設定する ……136
6.案内ルートの操作 ……137
全ルート図の再表示 ……137
残距離表示の切り替え ……137
オンルートスクロール ……138
オンルートスクロールを開始する ……138
オンルートスクロールの施設を設定する ……138
オンルートスクロール画面の操作について ……139
7.ルートの再探索 ……140
ルートの再探索 ……142
自動再探索 ……143
自動再探索を設定する ……143

1. 目的地設定・ルート探索について

目的地の設定や目的地の追加、ルート探索の条件などを設定して目的地へ案内するまでのルート探索の流れを説明します。



2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。
●ワンタッチで設定
●登録地点（自宅、特別メモリ地点）から設定
●「地図の呼び出し方法」から設定

項　目	設　定　方　法
ワンタッチで設定	地図をスクロールさせて設定します。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。（**「自宅の登録」** 147ページ参照）
	特別メモリ地点（5箇所）に登録してある地点を設定します。特別メモリ地点を登録していないと使用できません。（**「特別メモリ地点の登録」** 158ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。（**「地図の呼び出し方法」** 81ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。
推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。

ワンポイント
●目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。
●目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大20箇所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。（**「目的地履歴の消去」** 163ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地の設定



ワンタッチで設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 目的地を設定したい位置の地図にタッチします。

2 **目的地セット**にタッチします。

●1つ目の目的地を設定するときは、4の画面になります。

ワンポイント
●800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 すでに目的地が設定されているときは、**設定する**にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

●**追加する**にタッチすると、目的地が追加されます。





4 **セット**にタッチすると、◌の位置に目的地がⓈ記号で表示され、ルート探索が開始されます。

●**位置変更**にタッチし、⇧にタッチして、地図を動かすことができます。

●3で**追加する**にタッチした場合は、現在地から次に行く目的地として追加されます。

●設定した目的地を消去するときは、「**目的地の消去**」116ページを参照してください。

クイックリファレンス

<ワンタッチで設定する>

1 地図

2 目的地セット

3 設定する

4 セット

ワンポイント

●目的地が高速道路上や進入できない地点などの場合、「高速道路上に目的地を設定しますか？」が表示されます。該当項目にタッチします。



- **設定する**にタッチすると、高速道路上を目的地に設定します。
- **他の道路**にタッチすると、他の道路を目的地に設定します。

●進入できない地点などや目的地周辺に河川などの障害がある場合、「目的地周辺に河川などの水域があります。目的地を移動しますか？」が表示される場合があります。



- **いいえ**にタッチすると、その地点を目的地に設定します。
- **はい**にタッチすると、目的地を移動することができます。

クイックリファレンス

<地図の呼び出し方法から設定する>

1 目的地

2 呼び出し方法

3 セット

4 設定する



地図の呼び出し方法から設定する

目的地設定画面から目的地を設定します。

1 **目的地**を押します。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

●**「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**（81、95ページ参照）



3 **セット**にタッチすると、✛の位置に目的地がⒺ記号で表示され、ルート探索が開始されます。



4 すでに目的地が設定されているときは、**設定する**にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

●**追加する**にタッチすると、目的地が追加されます。（**「目的地の追加」**112～114ページ 5 ～ 6 参照）

2. 目的地を設定してルート探索

ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

●ルート探索終了（全ルート図）画面

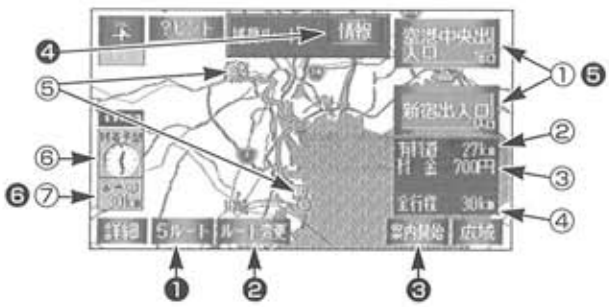


●ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
●目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
●ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。

ワンポイント
●高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（142ページ参照）を行ってください。

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。
●全ルート図が表示された後、NAVIを押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



■表示について
最終目的地までの表示になります。

① インターチェンジ（IC）名称表示
有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の名称が上に表示されます。

② 有料道路距離表示
目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③ 料金案内
目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。

④ **距離表示**
目的地までの距離が表示されます。

⑤ **ICマーク**
有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）と、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の位置に表示されます。

⑥ **到着予想時刻表示**
目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ **残距離表示**
目的地まで、表示されているルートを通っての残距離が表示されます。

■タッチスイッチについて
全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

❶ **5ルート**
別のルートを表示させ、選ぶことができます。（110ページ参照）

❷ **ルート変更**
探索条件の変更をすることができます。また、目的地の追加、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定をすることができます。（112、117、119ページ参照）

❸ **案内開始**（目的地案内開始後は、**案内に戻る**）
目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。（124ページ参照）目的地案内開始後は、現在地画面に戻ります。

❹ **情報**
ルート情報（案内道路情報）を表示させることができます。（109ページ参照）

❺ **インターチェンジ（IC）名称**
インターチェンジ（IC）名称表示にタッチすると、表示されている出入口インターチェンジ（IC）を指定（すでに指定されている場合は変更）することができます。（117ページ参照）

❻ **残距離表示**
目的地が2箇所以上設定されているときは、残距離表示にタッチすると、残距離表示が表示される目的地を切り替えることができます。（137ページ参照）

ワンポイント

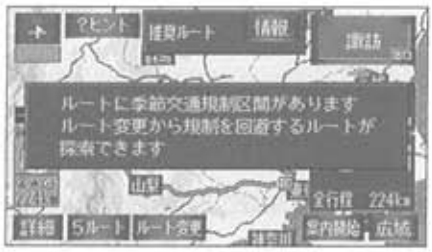
- ●次のときは、5ルートを表示させることはできません。
  - 目的地が2箇所以上設定されているとき
  - 出入口インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているとき
  - 目的地案内が開始された後
- ●探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- ●料金は設定した車両情報（131ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ●高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。
- ●到着予想時刻は設定した平均車速（130ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ●目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。（137ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが═══（橙色）で表示されます。
このとき、画面にメッセージを表示させることができます。

●季節規制区間表示





季節規制区間を回避する

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で、**ルート変更**にタッチします。

2 **季節規制回避**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

●再度、季節規制区間を通るルートを探索する場合は**季節規制解除**にタッチします。



季節規制区間メッセージ表示を設定する

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 季節規制区間メッセージの**する**、**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<季節規制区間を回避する>

1 ルート変更

2 季節規制回避

クイックリファレンス

<季節規制区間メッセージ表示を設定する>

1 ナビ設定

2 [季節規制区間メッセージ] する・しない

3 完了

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、出入口インターチェンジ（IC）、通る国道、一般道などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金または出入口インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

ワンポイント
- ルート案内中にもメニュー画面から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は、使用する道路によって表示しない場合があります。

クイックリファレンス

1 情報

2 ▲・▼

3 地図



1 全ルート図表示画面で、**情報**にタッチします。

- 入口インターチェンジ（IC）・出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種別の変わり目地点でルート情報が分割されて表示されます。



2 ▲または▼にタッチして情報をスクロールします。

- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。

ワンポイント
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（131ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（130ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3 **地図**にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

2. 目的地を設定してルート探索

5ルート同時表示

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時に表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから次々と表示されます。

ワンポイント

次のときは、5ルート同時表示させることはできません。

- 目的地が2箇所以上設定されているとき
- 通過する地点［出入口インターチェンジ（IC）・通過道路］が指定されているとき
- 目的地案内が開始された後



1 全ルート図表示画面で、**5ルート**にタッチします。

●5つのルートが5色に色分けされて表示されます。



2 ルートの種別にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。

3 **全行程一覧表**にタッチします。

●5つのルートの料金・距離・所要時間が表示されます。

ワンポイント

5つのルートの特長については、142ページを参照してください。



4 ルートの種別にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。

ワンポイント

●料金は設定した車両情報（131ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

●所要時間は設定した平均車速（130ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

クイックリファレンス

1 5ルート

2 ルート種別

3 全行程一覧表

4 ルート種別

3. 探索ルートの変更

ここで説明する操作は目的地が設定されているときに操作することができます。
ルートを探索した後、目的地を追加したり、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定など、ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。
●全ルート図表示画面から変更する。
●メニュー画面から変更する。
ルート変更にタッチすると、ルート変更画面になります。
ルート変更画面から各設定を行います。

●全ルート図表示画面



●メニュー画面



ルート変更　　**ルート変更**



●ルート変更画面

●目的地の追加 ……112 ページ
●探索条件の変更 ……114 ページ
●目的地の並び替え ……115 ページ
●目的地の消去 ……116 ページ
●出入口インターチェンジ（IC）の指定 ……117 ページ
●インターチェンジ（IC）指定の解除 ……118 ページ
●通過道路の指定 ……119 ページ
●通過道路の修正 ……121 ページ
●通過道路指定の解除 ……122 ページ

3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定した後、さらに追加して目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。
●設定した目的地と現在地のあいだで、通過する地点を設定するとき
●設定した目的地を通過する地点に変更し、新しく目的地を設定するとき

目的地の設定と同じ方法で**追加する**にタッチして、追加することもできます。(**「ワンタッチで設定する」**104ページ **1**～**4** 参照、**「地図の呼び出し方法から設定する」**105ページ **1** ～ **4** 参照)

ワンポイント
●800mスケール図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
●目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます(最大20箇所まで)。20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。(**「目的地履歴の消去」**163ページ参照)
●インターチェンジ(IC)や通過道路(117、119ページ参照)が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、IC・通過道路の指定が解除されることがあります。



1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 目的地・通過目的地の**追加**にタッチします。

ワンポイント
●2箇所以上目的地が設定されているときに**並び替え**が表示されます。



3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。
●**「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**(81、95ページ参照)

クイックリファレンス

1 ルート変更

2 追加

3 呼び出し方法

4 セット

5 設定

6 はい

次ページに続く



4 **セット**にタッチすると、✣の位置に目的地がⒺ記号で表示されます。

- **位置変更**にタッチし、⇧にタッチして、地図を動かすことができます。
- 最大5箇所まで設定することができます。
- すでに5箇所設定されているときは、設定されている目的地を消去してから設定し直してください。（目的地を消去するときは、**「目的地の消去」**116ページを参照してください）

ワンポイント

- 目的地が高速道路上や進入できない地点などの場合、「高速道路上に目的地を設定しますか？」が表示されます。該当項目にタッチします。



  - **設定する**にタッチすると、高速道路上を目的地に設定します。
  - **他の道路**にタッチすると、他の道路を目的地に設定します。

- 進入できない地点などや目的地周辺に河川などの障害がある場合、「目的地周辺に河川などの水域があります。目的地を移動しますか？」が表示される場合があります。

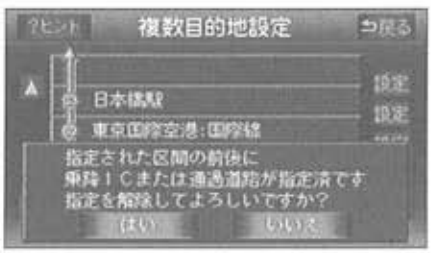


  - **いいえ**にタッチすると、その地点を目的地に設定します。
  - **はい**にタッチすると、目的地を移動することができます。



5 設定する区間の**設定**にタッチします。

（例）「東京国際空港：国際線」と「日本橋駅」の間に目的地を追加する場合、ここにタッチします。



6 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、**はい**にタッチすると、インターチェンジ（IC）の指定を解除します。

- **いいえ**にタッチすると、ルート変更画面が表示されます。

3. 探索ルートの変更



7 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

- ●目的地を設定した後、この画面から、次のことができます。
  - ・探索条件の変更（下記参照）
  - ・目的地の並び替え（次ページ参照）
  - ・目的地の消去（116ページ参照）
  - ・出入口インターチェンジ（IC）の指定（117ページ参照）
  - ・インターチェンジ（IC）指定の解除（118ページ参照）
  - ・通過道路の指定（119ページ参照）
  - ・通過道路の修正（121ページ参照）
  - ・通過道路指定の解除（122ページ参照）
- ●さらに追加して、目的地を設定するときは、**追加**にタッチすると、112ページの**3**の画面が表示されますので、**3**～**6**を繰り返します。

7
設定完了

探索条件の変更

探索条件を変更して、再探索することができます。



1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 **探索条件変更**にタッチします。



3 それぞれの区間の探索条件（ルート種別）にタッチします。

ワンポイント
- ●探索条件の特長については、142ページを参照してください。
- ●目的地が1つの場合は、**別ルート**が表示されます。

4 **探索開始**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

クイックリファレンス

1
ルート変更

2
探索条件変更

3
探索条件

4
探索開始

目的地の並び替え

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

ワンポイント
- インターチェンジ（IC）・通過道路（117、119ページ参照）が指定されているときに並び替えをすると、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除される場合があります。

クイックリファレンス

1 ルート変更

2 並び替え

3 はい

4 目的地名称

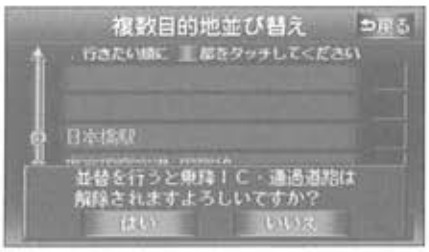
5 完了

6 設定完了

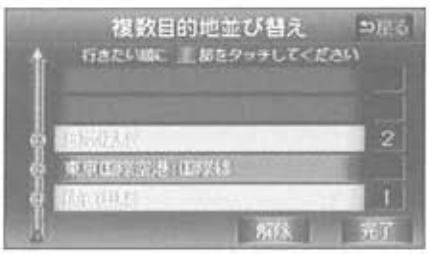


1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 **並び替え**にタッチします。



3 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、**はい**にタッチするとインターチェンジ（IC）・通過道路の指定を解除します。
- **いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。



4 次に行く目的地から順に、目的地名称にタッチします。
- タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときは**解除**にタッチすると、選ばれていた目的地名称の順番が解除されます。

5 **完了**にタッチします。
- すべての目的地名称の順番が決定されると、**完了**にタッチしなくても、約3秒後、自動的に6の画面が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから**完了**にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。



6 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

3. 探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

ワンポイント
●すべての目的地を消去すると，目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度，目的地を設定してください。



設定方法1

ルート変更から消去する

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 目的地・通過目的地の**消去**にタッチします。
●1箇所のみ設定されていたときは、**4**の画面が表示されます。



3 消去したい目的地名称にタッチします。
●すべての目的地を消去するときは、**全消去**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。
●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。
●すべての目的地を消去したときは、現在地画面になります。



5 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。



設定方法2

目的地から消去する

1 **目的地**を押します。

2 **目的地消去**にタッチします。
●1箇所のみ設定されていたときは、**4**の画面が表示されます。

クイックリファレンス

<ルート変更から消去する>

1 ルート変更

2 消去

3 目的地名称

4 はい

5 設定完了

クイックリファレンス

<目的地から消去する>

1 目的地

2 目的地消去

3 目的地名称



3 消去したい目的地名称にタッチします。
●すべての目的地を消去するときは、**全消去**にタッチします。

4 はい



4 **はい**にタッチします。
●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。
●すべての目的地を消去したときは、現在地画面になります。

5 設定完了



5 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

出入口インターチェンジ（IC）の指定

目的地を設定した後、全ルート図表示画面に表示されている出入口インターチェンジ（IC）を指定することができます。

ワンポイント
- ●探索ルートに高速道路などの使用がないときは、インターチェンジ（IC）の指定はできません。
- ●指定できるインターチェンジ（IC）は、現在表示されているインターチェンジ（IC）を中心に前後3つまでです。また、ジャンクション（JCT）があり、分岐する場合は、両方の道路のインターチェンジ（IC）が表示されます。
- ●目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。
- ●指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各1箇所になります。

クイックリファレンス

1 変更するIC名称



1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。
●**ルート変更**にタッチしても指定することができます。

次ページに続く

3. 探索ルートの変更



2 インターチェンジ（IC）名称にタッチします。

- 道路名称にタッチすると、次のインターチェンジ（IC）を表示します。
- 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2箇所以上あるときは、選択する画面が表示されます。



3 次候補にタッチして、出口（または入口）を選びます。

- 表示されている出口（または入口）を指定するときは、セットにタッチします。

4 セットにタッチします。

- 指定されたインターチェンジ（IC）が 記号で表示されます。
- 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。



5 ルート変更画面から操作を行ったときは設定完了にタッチすると、ルート探索が開始されます。

インターチェンジ（IC）指定の解除



1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

- ルート変更にタッチしても解除することができます。

2 出口指定解除（または入口指定解除）にタッチすると、インターチェンジ（IC）の指定が解除され、ルート探索が開始されます。

クイックリファレンス

2 IC名称

3 次候補

4 セット

5 設定完了

1 解除するIC名称

2 出口指定解除 ・ 入口指定解除

通過道路の指定

ワンポイント
- 最大2箇所まで指定することができます。
- すでに通過道路が2箇所指定されているときは、指定されている通過道路を解除してから指定し直してください。（通過道路を解除するときは、**「通過道路指定の解除」**122ページを参照してください）
- インターチェンジ（IC）が指定（117ページ参照）されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）の指定が解除されることがあります。

クイックリファレンス

<ワンタッチで指定する>

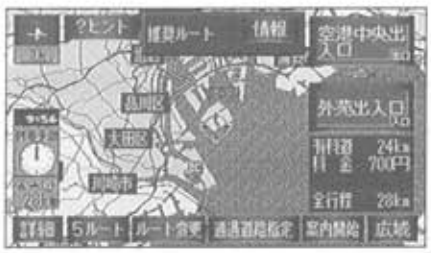
1 地図

2 通過道路指定

3 次候補

4 セット

5 設定



ワンタッチで指定する

1 全ルート図表示画面で、通過させたい道路付近の地図にタッチします。

2 **通過道路指定**にタッチします。

ワンポイント
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 **次候補**にタッチして、通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、**セット**にタッチします。

ワンポイント
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補**にタッチしても、道路が選べないことがあります。

4 **セット**にタッチします。通過道路が◈記号で指定されます。
- 目的地が1箇所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



5 目的地が2箇所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の**設定**にタッチします。
- ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

3. 探索ルートの変更



ルート変更から指定する

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の**指定**にタッチします。

ワンポイント
- **修正**・**解除**は、すでに通過道路が指定されているときのみ表示されます。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 **通過道路セット**にタッチします。

ワンポイント
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



5 **次候補**にタッチして、通過道路を選びます。

- 表示されている道路を指定するときは、**セット**にタッチします。

ワンポイント
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補**にタッチしても、道路が選べないことがあります。



6 **セット**にタッチします。通過道路が◈記号で指定されます。

- 目的地が1箇所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、全ルート図表示画面になります。

7 目的地が2箇所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の**設定**にタッチします。



8 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

クイックリファレンス

<ルート変更から指定する>

1 ルート変更

2 指定

3 地図

4 通過道路セット

5 次候補

6 セット

7 設定

8 設定完了

クイックリファレンス

1 ルート変更

2 修正

3 道路名称

4 地図

5 通過道路セット

6 次候補

7 セット

8 設定完了

通過道路の修正



1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の**修正**にタッチします。

●1箇所のみ設定されていたときは、**4**の画面になります。



3 道路名称にタッチすると、地図が表示されます。



4 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

●道路の種類を変更するだけのときは、地図を動かす必要はありません。

5 **通過道路セット**にタッチします。



6 **次候補**にタッチして、通過道路を選びます。

●表示されている道路を指定するときは、**セット**にタッチします。

7 **セット**にタッチします。通過道路が◆記号で指定されます。

ワンポイント 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補**にタッチしても、道路が選べないことがあります。



8 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

3. 探索ルートの変更

通過道路指定の解除



1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の**解除**にタッチします。

●1箇所のみ設定されていたときは、**4**の画面になります。



3 解除したい通過道路の道路名称にタッチします。

●すべての通過道路を解除するときは、**全解除**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。

●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。



5 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

クイックリファレンス

1 ルート変更

2 解除

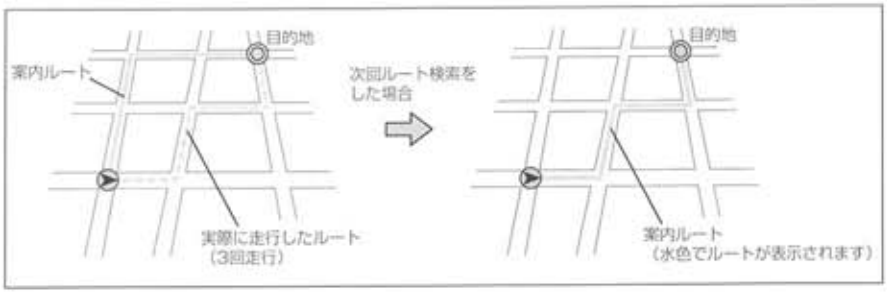
3 道路名称

4 はい

5 設定完了

ルートのショートカット学習

探索したルートをはずれてショートカットした区間のルートを次のルート探索に反映します。





ルートのショートカット学習を設定する

ルートのショートカット学習をON（学習する）にするか、OFF（学習しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 ルートのショートカット学習の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<ルートのショートカット学習を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【ルートのショートカット学習】
する
・
しない

3 **完了**

4. 目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で**案内開始**にタッチすると目的地案内が始まります。
また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。



1 全ルート図表示画面で、**案内開始**にタッチすると、目的地案内が開始されます。

●全ルート図が表示された後、**NAVI**を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。

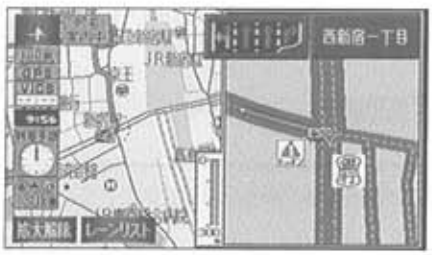
クイックリファレンス

1 **案内開始**

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモを見ることができます。

ワンポイント
●ここで説明する操作は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図表示画面で行うことができます。
また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。



1 全ルート図表示画面で、**案内開始**に約3秒以上タッチし続けます。

2 デモ中に**NAVI**（または**MENU**・**目的地**）を押すと、デモが終了し、現在地画面になります。

●デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

クイックリファレンス

1 【3秒以上】 **案内開始**

2 **NAVI** ・ **MENU** ・ **目的地**

ワンポイント
●デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域にしてください。
●デモンストレーションの速度を遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。
（「地図縮尺の切り替え」57ページ参照）

案内の中止・再開



1 メニュー画面で、**案内中止**にタッチします。

●目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

●中止した目的地案内を再開させるときは、再度メニュー画面で、**案内再開**にタッチします。

クイックリファレンス

1 **案内中止**

5. 目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。
目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。

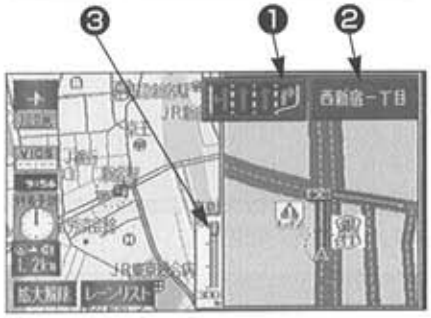
交差点案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点案内画面が自動的に表示されます。

分岐しない交差点



分岐する交差点（交差点案内画面）



❶ **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

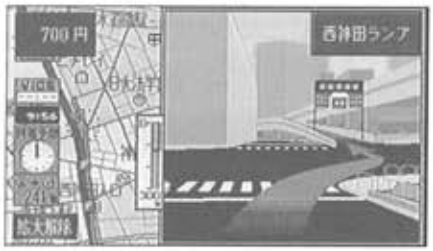
❷ **交差点名称表示**
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

❸ **残距離表示**
交差点までの距離が表示されます。（交差点に近づくとともに［▮］が短くなります）

ワンポイント

- ●細街路などのルート（目的地および出発地周辺の水色のルート）を走行している場合は、交差点案内を行いません。
- ●地図DVD-ROMに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。
- ●案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
  - ■（赤）…交差点案内画面が表示されます。
  - ◎○● …交差点名称表示・車線表示が表示されます。
  - ■（灰）…車線表示が表示されます。
- ●交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- ●次のようなときは、交差点案内が行われないことがあります。
  - 目的地案内開始直後
  - 目的地周辺
- ●交差点案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- ●次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点案内画面が表示されます。
- ●交差点案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

5. 目的地案内について



●立体的な案内画面

立体的な案内画面

立体情報のある交差点・都市高速のインターチェンジ（IC）入口では、立体的な案内画面が表示されます。



●3D交差点案内画面

3D交差点案内画面

交差点案内画面を立体的（3D）に表示させることができます。



3D交差点案内図を設定する

3D交差点案内図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 3D交差点拡大図表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント

初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

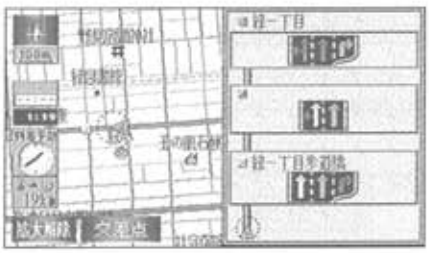
クイックリファレンス

<3D交差点案内図を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【3D交差点拡大図表示】 **する** ・ **しない**

3 **完了**



●レーン（車線）リスト図表示

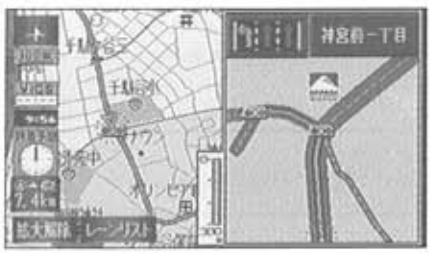
レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

●案内交差点…赤色
●案内ポイント…桃色、緑色、水色
●地図上の案内ポイント■とレーンリスト図の■は同じ色で表示されます。

ワンポイント
●レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点案内画面が自動的に表示されます。

クイックリファレンス
<レーン(車線)リスト図表示>
1 レーンリスト



1 交差点案内画面が表示されているときに、レーンリスト図を表示させるには、**レーンリスト**にタッチします。
●再度、交差点案内画面を表示させるには、**交差点**にタッチします。



クイックリファレンス
<レーンリスト図表示を設定する>
1 ナビ設定
2 [レーンリスト図表示] する・しない
3 完了

レーンリスト図表示を設定する

レーンリスト図表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。
2 レーンリスト図表示の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。



クイックリファレンス
<交差点案内画面・レーンリスト図表示の解除>
1 拡大解除

交差点案内画面・レーンリスト図表示の解除

1 **拡大解除**にタッチします。
●再度、交差点案内画面（レーンリスト図表示）を表示させるには、**NAVI**を押します。

5. 目的地案内について

道路形状警告

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、道路形状警告地点（下図参照）が近づくと、地図右上に道路形状警告をマークで表示し、音声で案内（134ページ参照）します。



●道路形状警告

（例）

形状	警告マーク
踏切	
急カーブ	
合流道路	

ワンポイント
- ●地図DVD-ROMに情報のない地点では、道路形状警告は行われません。
- ●次のようなときは、道路形状警告が行われないことがあります。
  - • 目的地案内開始直後
  - • 目的地周辺
- ●道路形状警告は、遅れたり早くなることがあります。
- ●次の道路形状警告地点が近いときは、続けて道路形状警告が行われます。



道路形状警告を設定する

踏切警告、合流警告、カーブ警告をON（警告する）にするか、OFF（警告しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 道路形状警告の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<道路形状警告を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【道路形状警告】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

フェリー航路の案内

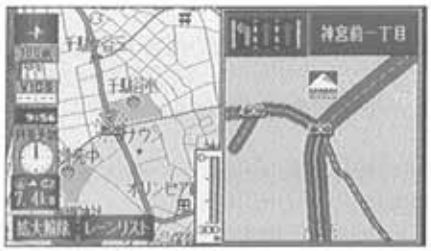
フェリーの航路は――――表示されます。



- ●フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- ●フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

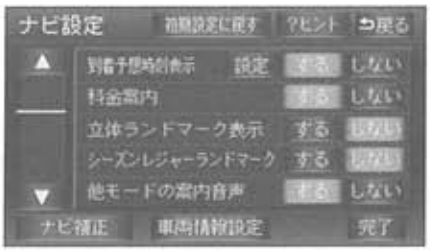
到着予想時刻の表示

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、地図左に到着予想時刻を表示させることができます。



●到着予想時刻表示

ワンポイント
- ●到着予想時刻は設定した平均車速（次ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ●ルートからはずれたときは、目的地方向マークになります。



到着予想時刻表示を設定する

到着予想時刻表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 到着予想時刻表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- ●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<到着予想時刻表示を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【到着予想時刻表示】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

5. 目的地案内について

平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- ハイウェイモード画面の通過予想時刻（64ページ参照）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（107ページ参照）
- ルート情報の通過予想時刻（109ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（110ページ参照）
- 現在地画面の到着予想時刻（前ページ参照）



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 到着予想時刻表示の**設定**にタッチします。

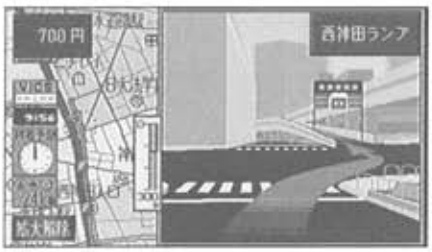
3 それぞれの道路の設定速度を入力します。
- 速度を上げるときは▶、下げるときは◀にタッチします。（タッチするたびに、5km/hずつ変更されます）

4 **完了**にタッチします。

ワンポイント
- 最高速度（高速道120km/h・有料道80km/h・一般道60km/h）にすると▶、最低速度（5km/h）にすると◀の色が反転し、タッチしても操作できません。
- **初期状態**にタッチすると、初期設定の状態（高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h）に戻ります。

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、地図左上に料金を表示し、音声で案内します。



●料金案内表示

ワンポイント
- 料金は設定した車両情報（次ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図DVD-ROMに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。

クイックリファレンス

<平均車速を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【到着予想時刻表示】 **設定**

3 【各道路の速度設定】 ▶ ◀

4 **完了**

クイックリファレンス

<料金案内を設定する>

1 ナビ設定

2 【料金案内】
する
・
しない

3 完了

クイックリファレンス

<車両情報を設定する>

1 ナビ設定

2 車両情報設定

3 【ナンバープレート】
選択

4 【車両寸法】
▲
・
▼

5 完了



料金案内を設定する

料金案内をON（案内する）にするか、OFF（案内しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 料金案内の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
初期設定に戻すにタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。
●提携駐車場の検索（97ページ参照）
●全ルート図表示画面の料金案内（106ページ参照）
●ルート情報の料金表示（109ページ参照）
●全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（110ページ参照）
●目的地案内中の料金案内（前ページ参照）



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 **車両情報設定**にタッチします。

3 お車のナンバープレートの分類番号（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。

4 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。
●寸法を大きくするときは**▲**、小さくするときは**▼**にタッチします。

5 **完了**にタッチします。

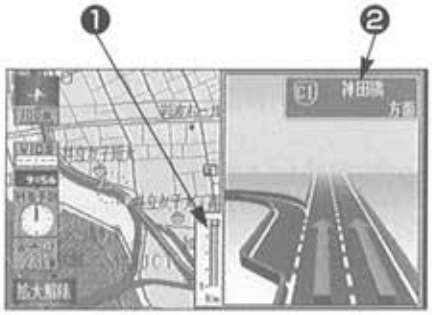
5. 目的地案内について

ワンポイント

- 安全のため，走行中は操作できません。
- 車両寸法については，車検証を参照してください。
- 最大寸法（長さ600cm・幅250cm・高さ300cm）にすると▲，最小寸法（長さ450cm・幅160cm・高さ150cm）にすると▼の色が反転し，タッチしても操作できません。
  長さ：450～600cm［450～500cm（5cm刻み），500～600cm（10cm刻み）］
  幅　：160～250cm［160～200cm（5cm刻み），200～250cm（10cm刻み）］
  高さ：150～300cm［150～200cm（5cm刻み），200～300cm（10cm刻み）］
- 提携駐車場は，車両寸法，ナンバープレートから検索しています。
- 料金案内・表示はナンバープレートから計算しています。
- 初期状態にタッチすると，初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）に戻ります。

高速分岐案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点［出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）］が近づくと、高速分岐案内画面が自動的に表示されます。

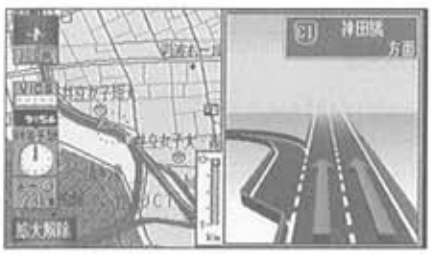


❶ **距離表示**
分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに［ ］が短くなります）

❷ **分岐点名称表示**
インターチェンジ（IC）の出口名称、またはジャンクション（JCT）の方面名称が表示されます。

ワンポイント

- 地図DVD-ROMに情報のない分岐点では，高速分岐案内は表示されません。また，高速分岐案内が表示されても，分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示が実際の分岐点と異なることがあります。
- 次のようなときは，高速分岐案内が行われないことがあります。
  - 目的地案内開始直後
  - 目的地周辺
- 高速分岐案内画面は，遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは，続けて高速分岐案内画面が表示されます。



高速分岐案内画面を解除する

1 拡大解除にタッチします。

- 再度、高速分岐案内画面を表示させるには、NAVIを押します。

クイックリファレンス

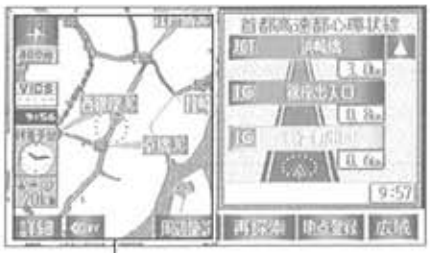
<高速分岐案内画面を解除する>

1

拡大解除

都市高速マップ表示

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速に入ると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。



都市高速マップ表示

ワンポイント

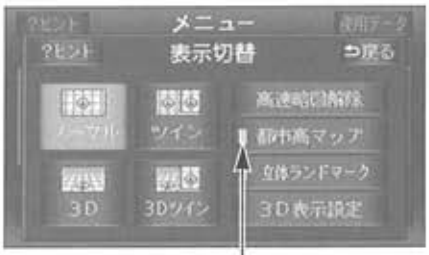
- 200m～800mスケール図の地図で表示させることができます。
- 都市高速マップが表示されるのは、都市高速のみです。（地図DVD-ROMに情報がある道路のみ）
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に入るなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。

クイックリファレンス

<都市高速マップ表示を設定する>

1 表示切替

2 都市高マップ



作動表示灯

都市高速マップ表示を設定する

都市高速マップをON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**表示切替**にタッチします。

2 **都市高マップ**にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

5. 目的地案内について

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（ランプ）の入口、出口、ジャンクション、目的地に近づくと、残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右に戻る、左に戻る、右手前、左手前、戻る、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

ワンポイント
音声案内はあくまでも参考としてください。



まもなく左方向です

1 NAVIを押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。

ワンポイント
たとえば「およそ700m先左方向です。」の音声案内の後、しばらく走行した後に、NAVIを押すと、「およそ600（500）m先左方向です。」というように音声案内が刻々と状況に合わせて変化します。

クイックリファレンス
1
NAVI

●カーブ・合流・踏切の音声案内

目的地案内中、カーブ・踏切などを事前に音声で案内します。(ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります)

また、高速道路のルート走行中に合流地点がある場合、音声にて合流を知らせます。(合流手前1km以内に分岐点などがある場合では案内しません)

ワンポイント
カーブ・合流・踏切の音声案内は各道路形状警告をするにすると案内します。
（128ページ参照）

音声案内例
- この先カーブがあります。
- この先、踏切です。
- この先、右からの合流があります。

●高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例
・およそ○○km 先、○○方向、○○方面です。

●高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

ワンポイント
●高速道路の料金案内は、料金案内を**する**にすると案内します。
（130ページ参照）

音声案内例
・この先○○m で料金所です。料金は○○です。その先○○方面です。

〔目的地に到着したときの音声案内の例〕

音声案内例
・目的地周辺です。音声案内を終了します。

ワンポイント
●**〔○○○音声案内の例〕**は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。
●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。
●音声案内の音量は調節することができます。（50ページ参照）

5. 目的地案内について

他モードでの案内

他モード（ナビゲーション画面以外の画面）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。



設定方法1

音声設定から他モードでの案内を設定する

他モードに切り替えたときの音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で**音声設定**にタッチします。

2 **音声条件設定**にタッチします。

作動表示灯



3 **他モードでの案内**にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



設定方法2

ナビ設定から他モードでの案内を設定する

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 他モードの音声案内の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<音声設定から他モードでの案内を設定する>

1 音声設定

2 音声条件設定

3 他モードでの案内

クイックリファレンス

<ナビ設定から他モードでの案内を設定する>

1 ナビ設定

2 【他モードの案内音声】 する ・ しない

3 完了

クイックリファレンス

1

全ルート図

全ルート図の再表示



1 メニュー画面で、**全ルート図**にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、**「全ルート図表示」**106ページを参照してください。

残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2箇所以上設定されているとき、切り替えることができます。

クイックリファレンス

1

残距離表示



1 残距離表示にタッチするごとに、残距離表示される目的地が切り替わります。

ワンポイント

- 状況により目的地までの距離の数値が異なります。
  - 現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離
  - ルートからはずれたとき…直線距離

6. 案内ルートの操作

オンルートスクロール

目的地案内中のとき、出発地または目的地までルートに沿って自動で地図をスクロール表示させることができます。また、ルート沿いの施設まで地図をスクロール表示させることもできます。

ワンポイント

- 表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、NAVIを押すと戻ります。
  - 2画面表示をさせているとき
  - 都市高マップを表示しているとき
  - 3D表示させているとき
- 走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると ▶|6 S|◀ のみ操作することができます。



オンルートスクロールを開始する

1 メニュー画面で、**オンルートスクロール**にタッチします。

2 スクロールのタッチスイッチ（▶6 ・ S◀ ・ ▶|6 ・ S|◀）にタッチします。

- **設定**にタッチすると目的地またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。



オンルートスクロールの施設を設定する

1 **設定**にタッチします。

2 **次の施設まで**、または**次の目的地まで**にタッチします。

3 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。

- 設定できる施設は1つのみです。
- **その他**にタッチすると、GS（ガソリンスタンド）、コンビニ、レストラン、喫茶店、銀行、駐車場以外の施設の記号も表示させることができます。
- 間違えたときは**選択解除**にタッチします。

4 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<オンルートスクロールを開始する>

1 **オンルートスクロール**

2 選択 ■

クイックリファレンス

<オンルートスクロールの施設を設定する>

1 **設定**

2 **次の施設まで** ・ **次の目的地まで**

3 **施設名称**

4 **完了**

ワンポイント

●次の施設までの場合
施設が選ばれているときのみタッチすることができます。
- ▶6…目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- S◀…出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- ▶|6…目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。
- S|◀…出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークの地図が表示されます。

●次の目的地までの場合
- ▶6…次の目的地まで、地図が移動されます。
- S◀…出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
- ▶|6…次の目的地の地図が表示されます。
- S|◀…出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。

●以下の地図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールはできません。
- ▶6・S◀…400mスケール図
- ▶|6・S|◀…800mスケール図

●オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
●施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（80ページ参照）
●表示される地図によってオンルートスクロールが止まることがあります。

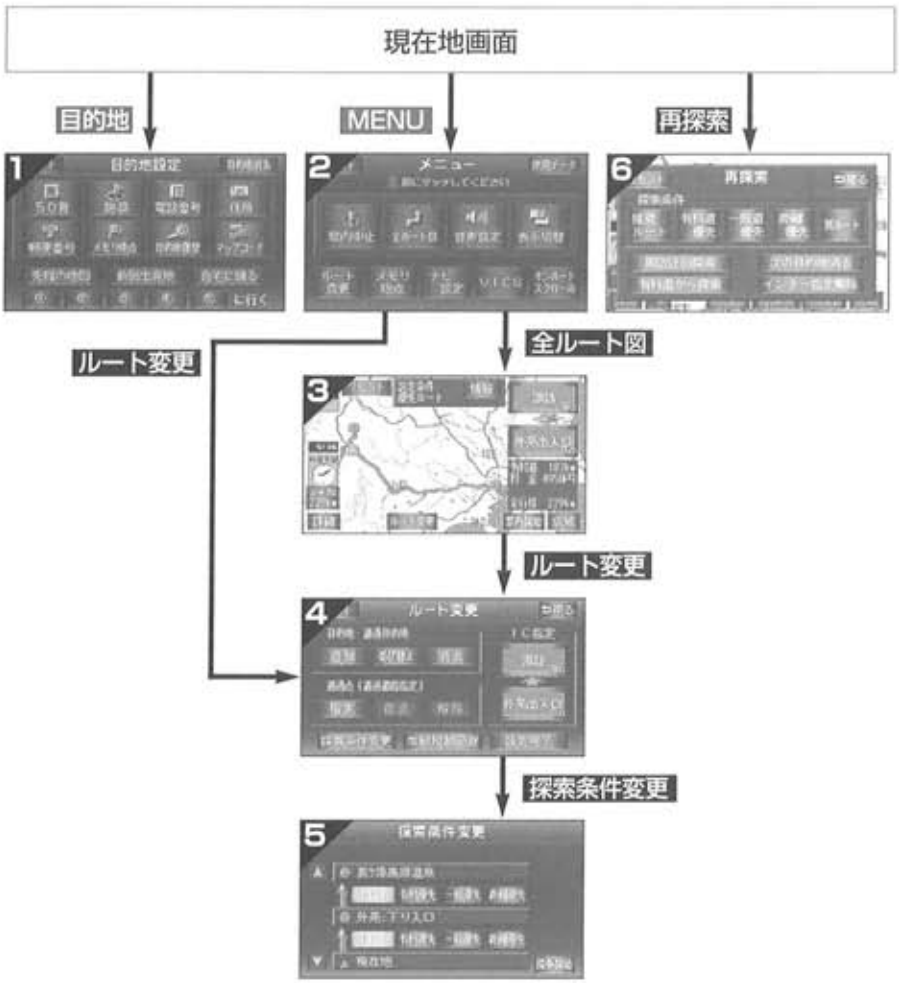


オンルートスクロール画面の操作について

●II にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
●NAVI を押すとオンルートスクロールが終了します。
●▶▶6・S◀◀にタッチすると、移動が早送りされます。

7. ルートの再探索

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。
ルートを変更するには、「MENU」の「全ルート図」または「ルート変更」から変更する方法」、「「目的地」から変更する方法」または、「案内中の「再探索」から簡易に変更する方法」があります。
以下の画面でルートを再探索することができます。
●各画面のタッチスイッチについては次ページを参照してください。



画面No.	タッチスイッチ	機　能	ページ
1	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	81
2	全ルート図	全ルート図を表示します。	106
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	111
3	インターチェンジ(IC)名称	入口・出口のインターチェンジ（IC）を指定・解除します。	117, 118
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	111
4	目的地・通過目的地 追加・並び替え・消去	目的地を追加・並び替え・消去します。	112, 115, 116
	通過点(通過道路指定) 指定・修正・解除	通過道路を指定・修正・解除します。	119, 121, 122
	インターチェンジ(IC)名称	入口・出口のインターチェンジ（IC）を指定・解除します。	117, 118
	探索条件変更	探索条件設定画面を表示します。	114
5	探索条件	各区間の探索条件を設定します。	114
6	探索条件	ルートの探索条件を変更します。	142
	周辺迂回探索 ※1	周辺を迂回するルートを探索します。	142
	有料道から探索 ※2 一般道から探索	高架道路の上下でルートを訂正して探索します。	142
	次の目的地消去 インター指定解除 (通過道路指定解除)	次の目的地を消去・インターチェンジ（IC）の指定を解除・通過道路指定を解除して探索します。	142

※1　ルートからはずれたときは、表示されません。
※2　有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。

7. ルートの再探索

	タッチスイッチ	機　能
ルート種別	推奨ルート	現在地から次の目的地 ※4 のあいだで、一般的なルートが探索されます。
	有料道優先	現在地から次の目的地 ※4 のあいだで、有料道路を優先してルートが探索されます。
	一般道優先	現在地から次の目的地 ※4 のあいだで、一般道路を優先してルートが探索されます。
	距離優先	現在地から次の目的地 ※4 のあいだで、距離の短いルートが探索されます。
	別ルート ※3	現在地から次の目的地 ※4 のあいだで、他のルートとは別のルートが探索されます。

※3　5ルート同時表示（110ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

※4　現在地と次の目的地のあいだにインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路のあいだで、ルートが探索されます。

ワンポイント

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定されている目的地［インターチェンジ（IC）・通過道路］に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料道優先**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般道優先**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。



ルートの再探索

1. 現在地画面で、**再探索**にタッチします。
2. 再探索させる項目にタッチすると、ルート探索が開始されます。

ワンポイント

次の目的地消去・**インター指定解除**（**通過道路指定解除**）にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して［インターチェンジ（IC）の指定・通過道路を解除して］、再探索をさせることができます。

クイックリファレンス

<ルートの再探索>

1 **再探索**

2 **探索条件**

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。
●周辺探索……元のルートへ復帰するルートが探索されます。
●全ルート探索…現在地から目的地※のあいだで、選ばれている条件でルートが探索されます。

※現在地と次の目的地のあいだにインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路のあいだで、ルートが探索されます。

ワンポイント
●自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ案内可能な道路を走行していると判断されたときに行われます。



自動再探索を設定する

自動再探索をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 自動再探索の**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<自動再探索を設定する>

1 **ナビ設定**

2 【自動再探索】 **する** ・ **しない**

3 **完了**

MEMO

SECTION 4 地点の登録

この章では、自宅の位置や特定の場所を登録する方法について説明します。

1.地点の登録とは ……146
2.自宅の登録 ……147
自宅の登録・消去 ……147
自宅を登録する ……147
自宅を消去する ……147
3.メモリ地点の登録・修正・消去 ……148
メモリ地点の登録 ……148
ワンタッチ登録する ……148
離れた場所を登録する ……149
メモリ地点の位置修正 ……151
メモリ地点の記号変更 ……152
メモリ地点の電話番号入力 ……153
メモリ地点の名称入力 ……154
ひらがな・漢字を入力するには ……155
メモリ地点の名称読み入力 ……156
メモリ地点の名称表示 ……157
メモリ地点の消去 ……157
4.特別メモリ地点の登録・修正・消去 ……158
特別メモリ地点の登録 ……158
特別メモリ地点の修正 ……159
特別メモリ地点の消去 ……159
5.迂回メモリ地点の登録・修正・消去 ……160
迂回メモリ地点の登録 ……160
迂回メモリ地点の修正 ……162
迂回メモリ地点の消去 ……162
6.目的地履歴について ……163
目的地履歴の消去 ……163
履歴を消去する ……163

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点または特別メモリ地点として登録することができます。また、迂回メモリ地点を登録すると、ルート探索時にはその地点を迂回するルートを探索することができます。
登録した自宅、メモリ地点および特別メモリ地点は地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。
間違って登録した場合は、修正および消去を行ってください。

自宅

自宅は1箇所登録でき、地図上に自宅マークを表示します。また、ワンタッチで自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

メモリ地点

メモリ地点は最大100箇所まで登録でき、46種類の記号で地点ごとに変えて登録しておくことができます。また、すべてのメモリ地点には、名称、名称読み、電話番号が設定でき、拡張機能として7種類の記号で、次のような機能を持たせることができます。

①音声付きメモリ地点に設定する……近づくと音で知らせる設定（6種類）
②方向付き音声付きメモリ地点に設定する……近づく方向を限定して音で知らせる設定（1種類）

特別メモリ地点

特別メモリ地点は5箇所まで登録でき、地図を呼び出すときに使用するタッチスイッチ（❶～❺）に記憶させることができます。また、特別メモリ地点ごとに名称、名称読み、電話番号が設定できます。目的地の設定のときはワンタッチでルートを探索することができます。

迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10箇所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また迂回メモリ地点には名称が設定できます。

ワンポイント
自宅、特別メモリ地点および迂回メモリ地点は、記号を変更することはできません。

2. 自宅の登録

自宅は、地図に1箇所登録することができます。
自宅を登録しておくと、目的地設定画面から、1回の操作でルート探索を開始させることができます。(81ページ参照)

ワンポイント
800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。

自宅の登録・消去

クイックリファレンス
<自宅を登録する>

1 メモリ地点
2 自宅登録
3 呼び出し方法
4 セット







自宅を登録する

1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。
2 **自宅登録**にタッチします。
3 地図の呼び出し方法を選び、自宅を登録する地点の地図を表示させます。
● **「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**(81、95ページ参照)
4 **セット**にタッチすると、✣の位置に自宅が記号で表示されます。
● **位置変更**にタッチし、☖にタッチして地図を動かすことができます。

クイックリファレンス
<自宅を消去する>

1 メモリ地点
2 自宅消去
3 はい





自宅を消去する

1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。
2 **自宅消去**にタッチします。
3 **はい**にタッチします。
● **いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点（目印にする場所）は、地図に100箇所まで登録することができます。（100箇所を超えて登録するときは、不要なメモリ地点を消去してから登録してください）

メモリ地点を登録しておくと、

- 地図に記号および名称が表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（93ページ参照）

ワンポイント

- 800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。（ワンタッチ登録を除く）
- 表示されるメモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録したメモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。

メモリ地点の登録



ワンタッチ登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1. メモリ地点を登録する位置の地図にタッチします。（現在地に登録するときは、地図をスクロールする必要はありません）
2. **地点登録**にタッチすると、Ⓐ、または✛の位置にメモリ地点が⚑記号で表示されます。

ワンポイント

- 高速道路を走行中に**地点登録**にタッチすると🔔記号で登録され、確認音が鳴ります。

クイックリファレンス

<ワンタッチ登録する>

1 地図

2 地点登録

クイックリファレンス

<離れた場所を登録する>

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 登録

3 呼び出し方法

4 セット

5 記号

次ページに続く



離れた場所を登録する

1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**登録**にタッチします。

ワンポイント
- **修正**・**消去**は、すでにメモリ地点が登録されているときのみ表示されます。



3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「**地図の呼び出し方法**」、「**呼び出した地図の操作**」（81、95ページ参照）



4 **セット**にタッチします。

- **位置変更**にタッチし、⇧にタッチして地図を動かすことができます。

●マーク1



5 記号にタッチすると、✥の位置にメモリ地点が選択した記号で表示されます。

- メモリ地点の記号は、**マーク1**・**マーク2**・**音声付き**（次ページ参照）にタッチして、記号の種類を変更します。

ワンポイント
- **音声付き**の記号を選択したときは、確認音が鳴ります。

3. メモリ地点の登録・修正・消去



●マーク2

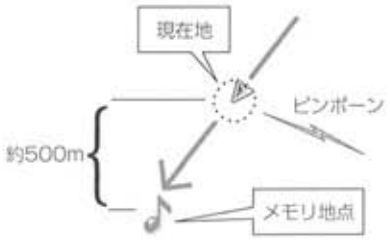
●**記号なし**にタッチすると、登録したメモリ地点の記号を地図に表示されないようにすることができます。



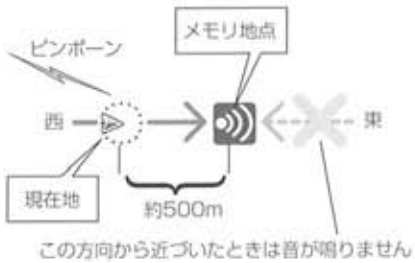
●音声付き

●音声付きの記号を選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

<音声付き>



<方向付き>



<方向付きを設定する場合>

●**方向付き**にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。
例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴りません。



6 **方向付き**にタッチしたときは、方向を設定します。

●方向を反時計まわりに動かすときは↓時計まわりに動かすときは↓にタッチします。

●メモリ地点が記号で表示されます。

7 **セット**にタッチします。

6
方向付き
【方向設定】
↓
・
↓

7
セット

メモリ地点の位置修正

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 修正

3 選択

4 【位置】 変更

5

6 セット



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**修正**にタッチします。

3 修正するメモリ地点にタッチします。



4 位置の**変更**にタッチします。
●地図が表示されます。



5 ⇧にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。

6 **セット**にタッチします。
●✣の位置にメモリ地点が **4** で表示されている記号で表示されます。
●位置を修正すると、**4** で表示されている位置の名称も修正されます。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の記号変更



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**修正**にタッチします。

3 変更するメモリ地点にタッチします。



4 記号の**変更**にタッチします。



5 変更する記号にタッチします。

●記号については、149ページを参照してください。

ワンポイント

メモリ地点のリストは、メモリ地点を登録した順と、メモリ地点の記号の種類別の2種類で並べることができます。

- **登録順に並べる**にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。
- **記号順に並べる**にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。

•記号順表示



•登録順表示



クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 修正

3 選択 ■

4 【記号】 変更

5 記号

メモリ地点の電話番号入力

ワンポイント
- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。(89ページ参照)
- 入力することができる桁数は最大10桁までです。

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 修正

3 選択 [redacted]

4 【電話番号】 変更

5 数字

6 完了



1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 メモリ地点の **修正** にタッチします。

3 入力するメモリ地点にタッチします。



4 電話番号の **変更** にタッチします。



5 数字を1番号ずつタッチして入力します。
- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

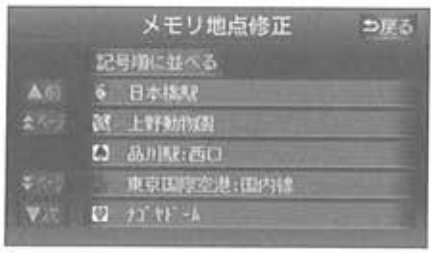
6 **完了** にタッチします。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称入力

ワンポイント

入力することができる文字数は最大12文字（半角文字は24文字）までです。



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**修正**にタッチします。

3 入力するメモリ地点にタッチします。



4 名称の**変更**にタッチします。



5 ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）・**英字**・**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

●ひらがな入力と漢字入力については次ページを参照してください。



6 **半角入力**（または**全角入力**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

7 文字を1文字ずつタッチして入力します。

●間違えたときは**クリア**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

8 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

1 **メモリ地点**

2 【メモリ地点】 **修正**

3 選択

4 【名称】 **変更**

5 選択

6 **半角入力** ・ **全角入力**

7 **文字**

8 **完了**

クイックリファレンス

<ひらがな・漢字を入力するには>

1 かな

2 文字

3 無変換 ・ 変換

4 選択





ひらがな・漢字を入力するには

1 かなにタッチします。

2 文字（ひらがな）を入力します。

3 ひらがなのときは無変換、漢字のときは変換にタッチします。

4 変換にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

●変換する文字の範囲を変更するときは、◀・▶にタッチして、範囲を変更し、再度変換にタッチします。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称読み入力

メモリ地点に名称読みを入力しておくと、そのメモリ地点は音声操作で地図を呼び出すことができます。(229ページ参照)

ワンポイント
- 入力することができる文字数は最大24文字（半角のみ）までです。
- 言葉として、読めない文字（例：ラ゛、ア゛など）を入力すると音声操作で地図を呼び出すことはできません。



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**修正**にタッチします。

3 入力するメモリ地点にタッチします。



4 名称読みの**変更**にタッチします。



5 名称を1文字ずつタッチして入力します。
- 間違えたときは**クリア**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

6 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

1 **メモリ地点**

2 【メモリ地点】 **修正**

3 選択

4 【名称読み】 **変更**

5 **文字**

6 **完了**

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。



●名称表示

ワンポイント
- 800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 修正

3 選択

4 【地図上の名称表示】 する / しない



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**修正**にタッチします。

3 表示するメモリ地点にタッチします。



4 地図上の名称表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

メモリ地点の消去

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【メモリ地点】 消去

3 選択

4 はい



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 メモリ地点の**消去**にタッチします。

3 消去するメモリ地点にタッチします。

●すべてのメモリを消去するときは、**全消去**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。

●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

4. 特別メモリ地点の登録・修正・消去

特別メモリ地点は、地図に5箇所まで登録することができます。
特別メモリ地点を登録しておくと、地図を呼び出すときに、ほかのメモリ地点と異なり、地図の呼び出し画面からワンタッチで呼び出すことができます。また、目的地の設定のときは、目的地設定画面からワンタッチでルート探索を開始させることができます。(81ページ参照)

ワンポイント
- 800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。
- 表示される特別メモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録した特別メモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。

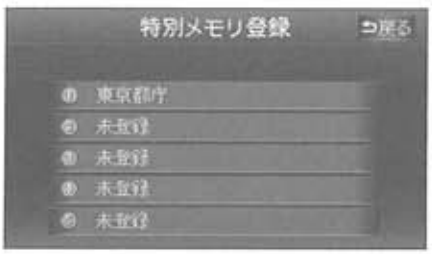
特別メモリ地点の登録



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 特別メモリ地点の**登録**にタッチします。

ワンポイント
- **修正**、**消去**は、すでに特別メモリ地点が登録されているときのみ表示されます。



3 登録したい特別メモリ地点の番号にタッチします。



4 3ですでに登録されている特別メモリ地点の番号を選んだときは、**はい**にタッチします。
- **いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。



5 地図の呼び出し方法を選び、特別メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。
- **「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**(81、95ページ参照)

クイックリファレンス

1 **メモリ地点**

2 【特別メモリ地点】 **登録**

3 選択

4 **はい**

5 **呼び出し方法**

6 セット



6 **セット** にタッチします。

●**位置変更** にタッチし、⇧にタッチすると地図を動かすことができます。

●✣の位置に特別メモリ地点が **3** で選んだ記号（番号）で表示されます。

特別メモリ地点の修正

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【特別メモリ地点】 修正

3 選択 ■

4 変更



1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 特別メモリ地点の **修正** にタッチします。

3 修正・入力する特別メモリ地点にタッチします。



4 修正・入力する項目の右側にある **変更** にタッチします。

●修正・入力方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。

- 名称（154ページ参照）
- 地図上の名称表示（157ページ参照）
- 名称読み（156ページ参照）
- 位置（151ページ参照）
- 電話番号（153ページ参照）

特別メモリ地点の消去

クイックリファレンス

1 メモリ地点

2 【特別メモリ地点】 消去

3 選択 ■

4 はい



1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 特別メモリ地点の **消去** にタッチします。

3 消去する特別メモリ地点にタッチします。

●すべての特別メモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

●**いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。

5. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10箇所まで登録することができます。(10箇所を超えて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください)
迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。
工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

ワンポイント
- ●800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。
- ●表示される迂回メモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- ●登録した迂回メモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。

迂回メモリ地点の登録



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 迂回メモリの**登録**にタッチします。

ワンポイント
- **修正**・**消去**は、すでに迂回メモリ地点が登録されているときのみ表示されます。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。
- ●「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(81、95ページ参照)



4 **セット**にタッチします。
- ●**位置変更**にタッチし、☖にタッチして地図を動かすことができます。

クイックリファレンス

1 **メモリ地点**

2 【迂回メモリ】**登録**

3 **呼び出し方法**

4 **セット**

5 ▲ / ▼

6 セット



5 迂回させる範囲を設定します。

- 範囲を広くするときは▲、狭くするときは▼にタッチします。
- 最大範囲にすると▲、最小範囲にすると▼の色が反転し、タッチしても操作できません。

6 セットにタッチします。

- ⊹の位置に迂回メモリ地点が ⊠ 記号または、□(範囲)で表示されます。

ワンポイント

- 設定される範囲は、表示させている地図の縮尺により異なります。
  - 最小……ポイント（点）
  - 最小範囲…スケール表示されている長さの正方形
    （例:100mスケールでは100m）
  - 最大範囲…スケール表示されている長さの4倍の正方形
    （例：100mスケールでは400m）
- 範囲について

単位：m

スケール	⊠（最小）	□	□	□	□（最大）
50m	ポイント	50	100	150	200
100m	ポイント	100	200	300	400
200m	ポイント	200	400	600	800
400m	ポイント	400	800	1200	1600
800m	ポイント	800	1600	2400	3200

- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

5. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点の修正



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 迂回メモリの**修正**にタッチします。

3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。



4 修正・入力する項目の**変更**にタッチします。

●修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。
・名称（154ページ参照）
・位置（151ページ参照）

●**迂回エリア変更**にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。（前ページ参照）

クイックリファレンス

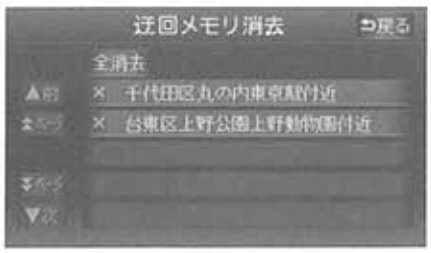
1 **メモリ地点**

2 【迂回メモリ】**修正**

3 選択

4 **変更**

迂回メモリ地点の消去



1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 迂回メモリの**消去**にタッチします。

3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。

●すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。

●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

1 **メモリ地点**

2 【迂回メモリ】**消去**

3 選択

4 **はい**

6. 目的地履歴について

目的地に設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大20箇所まで）20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

目的地履歴の消去

クイックリファレンス

<履歴を消去する>

1 メモリ地点

2 目的地履歴消去

3 選択

4 はい



履歴を消去する

1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

2 **目的地履歴消去**にタッチします。



3 消去する地点名称にタッチします。
●すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。
●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

MEMO

SECTION 5 VICS機能

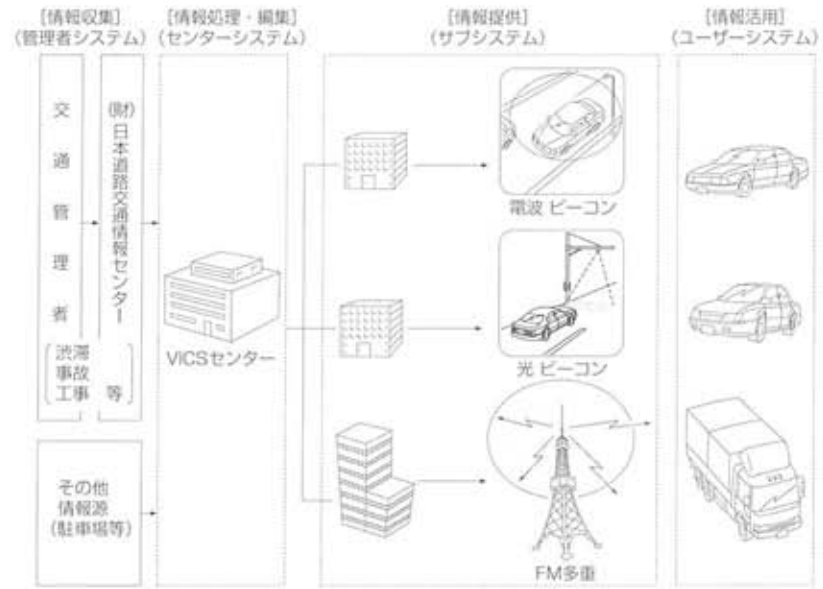
この章では、VICS機能について説明します。

1.VICS情報について……166
VICSとは……166
VICSのメディア概要……167
VICS特有の事項……168
VICS情報提供内容と表示について……171
2.放送局の受信……172
VICS提供放送局の選択……172
自動で選択する……172
エリアで選択する……173
周波数を手動で選択する……173
3.VICS情報の表示……174
VICS情報の表示設定……174
VICS情報の表示……175
VICS情報を地図表示する……175
VICS記号の内容表示について……176
VICS情報を消去する……177
渋滞・規制音声案内……177
渋滞・規制の案内を再音声する……177
VICS文字情報の表示……178
VICS図形情報の表示……179
割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示……180
割り込み情報の表示を設定する……180
割り込み情報を呼び出す……181
渋滞考慮探索……182
渋滞考慮探索を設定する……182
VICS記号……183
VICSの用語説明……184
VICSの問い合わせ先……184

1. VICS情報について

VICSとは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面などに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。VICSは大きくわけて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。

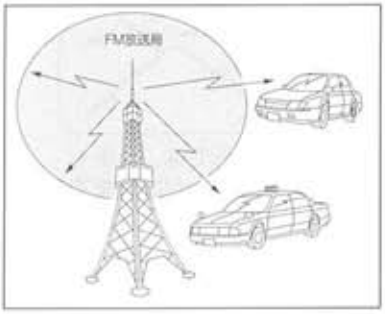


VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
VICSおよび本機に付与された VICS のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSのメディア概要

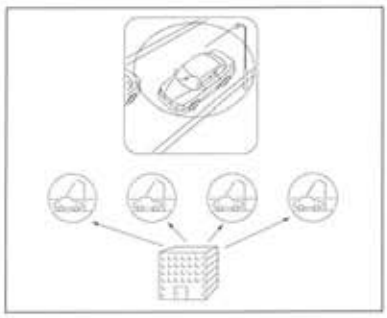
VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。
本機では、FM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。また、2メディアVICSユニットによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。
本書では、FM多重の操作機能は[FM多重]、電波、光ビーコンの操作機能は[ビーコン]で表しています。

●FM多重（FMチューナー）



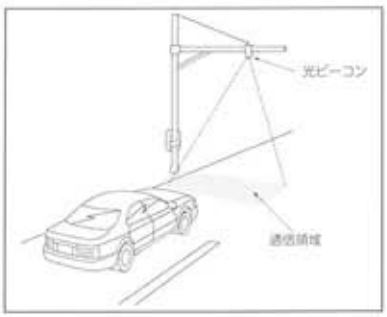
FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。

●電波ビーコン（2メディアVICSユニット）



電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。

●光ビーコン（2メディアVICSユニット）



光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンごとに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。

本機は、FM多重、電波・光ビーコンの情報を受信することができます。

1. VICS情報について

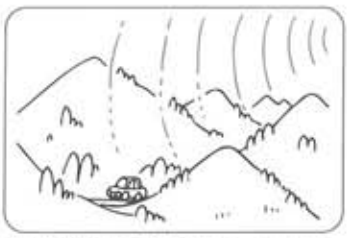
VICS特有の事項

●提供情報はあくまで参考情報として利用してください。
（提供される情報は最新でない場合があります）
●VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。

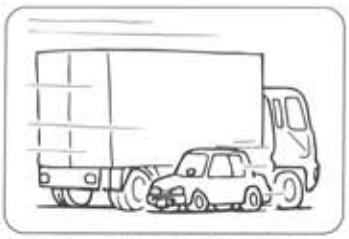
〈FM多重放送特有の事項〉



①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

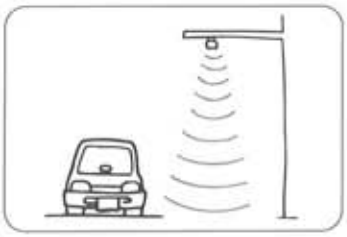


②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

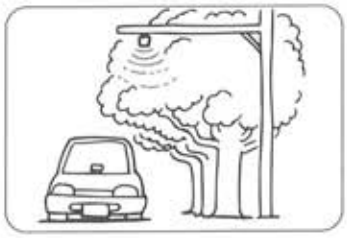


③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

〈電波ビーコン特有の事項〉



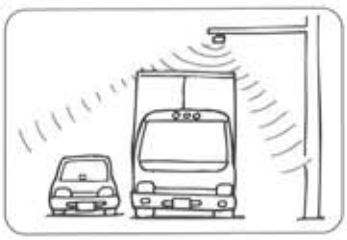
①直線的にしか電波は届きません。



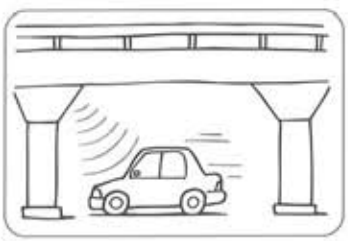
②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



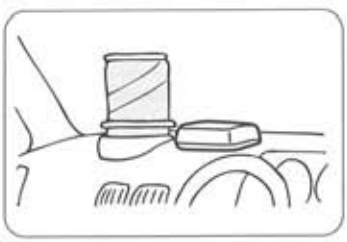
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。



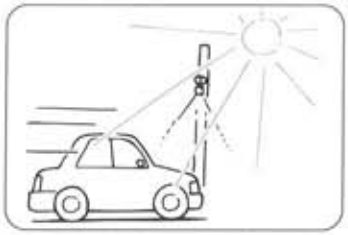
⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。



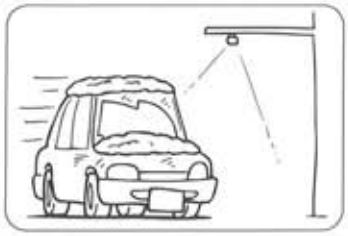
⑥VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

1. VICS情報について

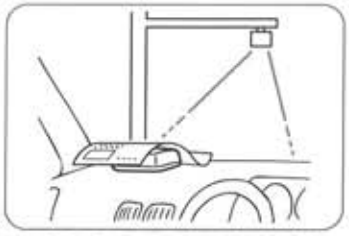
〈光ビーコン特有の事項〉



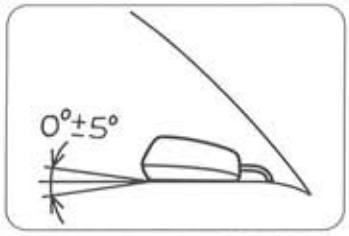
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



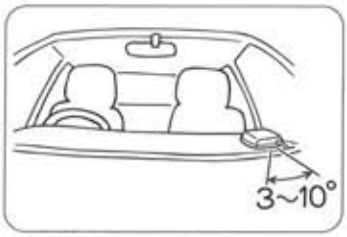
②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類など光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICSのアンテナの取り付け角度は取り付け底面が0°±5°でセットしてください。これがずれると、うまく受信できないことがあります。



⑤VICSのアンテナの取り付け方向は、車両進行方向に対し少し内側に向けて（3~10°）セットしてください。これがずれると、うまく受信できないことがあります。

ワンポイント

- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報をポール式のラジオアンテナで受信する場合は、必ずアンテナを伸ばした状態で使用してください。

VICS情報提供内容と表示について

●VICS情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制などを表示します。
●VICS情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

レベル1

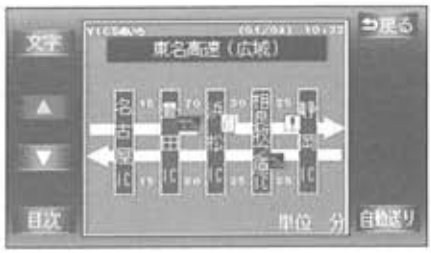
●文字表示



レベル2

●簡易図形表示





レベル3

●地図表示





ワンポイント
●1／8万図より広域または、市街図ではVICS地図表示はされません。
●レベル3の地図表示は新規エリアでは表示できないことがあります。
●MP3を聞いているときは、VICS情報を受信することができません。

2. 放送局の受信

VICS提供放送局の選択 FM多重

VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

ワンポイント
- VICS提供放送局の選択は、走行中操作することができません。停止してから操作してください。
- オーディオがOFFまたはAMラジオが選択されている場合は、VICSの放送局を受信できません。設定のみの選択になります。
- 通常は**オート**で使用してください。
- 以前（前回）にVICSのFM多重放送局をマニュアル設定したときは、その放送局の周波数が設定されています。



1 メニュー画面で、**VICS**にタッチします。

2 **VICS設定**にタッチします。



3 **VICS選局**にタッチします。



4 **オート**、または**マニュアル**にタッチします。

- **オート**……自動で選択します。
- **マニュアル**…手動（エリアまたは周波数）で選択します。



自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地が移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 **オート**にタッチすると自動で受信します。

- 放送局が受信されると、「**受信中**」が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチが選択色になります。

クイックリファレンス

1 VICS

2 VICS設定

3 VICS選局

4 オート・マニュアル

クイックリファレンス
<自動で選択する>

1 オート

クイックリファレンス

<エリアで選択する>

1 マニュアル

2 都道府県名



エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

1 マニュアルにタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

●放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。

クイックリファレンス

<周波数を手動で選択する>

1 マニュアル

2 TUNE▲ ・ TUNE▼



周波数を手動で選選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 マニュアルにタッチします。

2 TUNE▲またはTUNE▼にタッチして、放送局の周波数を選びます。

●放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。

ワンポイント

●VICS情報が受信できる代表的な周波数（2002年3月現在）

北海道旭川地区	85.8MHz	北海道札幌地区	85.2MHz	北海道室蘭地区	88.0MHz
北海道函館地区	87.0MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
新潟県	82.3MHz	茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz
群馬県	81.6MHz	埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz
東京都	82.5MHz	神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	石川県	82.2MHz
静岡県	88.8MHz	愛知県	82.5MHz	三重県	81.8MHz
滋賀県	84.0MHz	京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz
兵庫県	86.5MHz	奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz
岡山県	88.7MHz	広島県	88.3MHz	山口県	85.3MHz
香川県	86.0MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

●自動およびエリアで受信した周波数は、その都道府県で受信できる周波数の中で電波の一番強い放送局を選局します。

●VICSによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

●情報提供エリアの違いによって情報内容が異なります。

●VICS FM多重放送の運用時間は24時間（第1・第3月曜日の午前1時～5時までは保守のため放送を休止します）です。休止時間については、VICS FM多重放送の「お知らせ」でご案内します。
運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. VICS情報の表示

VICS情報の表示設定

ワンポイント
●VICS情報表示の設定は、走行中操作することができません。停止してから設定してください。



1 メニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **VICS設定** にタッチします。



3 VICS情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

●「表示する」にしたときは、作動表示灯が緑色になります。

- **渋滞・混雑**…渋滞・混雑情報の表示
- **空き道**…空いている道路情報の表示
- **規制情報**…事象・規制情報の表示
- **駐車場**…駐車場情報の表示

●VICS記号は、**規制情報** または **駐車場** を設定していないと表示されません。

ワンポイント
●渋滞考慮探索を設定しておくと、ルート探索時に渋滞・規制を考慮したルートを探索します。
●割込設定を設定しておくと、VICS情報を受信したとき、画面にVICS情報が自動で割り込んできます。

クイックリファレンス

1 **VICS**

2 **VICS設定**

3 選択

VICS情報の表示

地図にVICS情報（VICS記号・表示）を表示させることができます。

●VICS情報表示



●VICS情報表示（ハイウェイモード画面）



ワンポイント

●800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます（市街図表示画面を除く）が、VICS記号によっては、200mスケール図より詳細な地図で表示する記号もあります。

●高速道路にVICS情報が表示されているときハイウェイモードにVICS情報を表示させることができます。

●VICS情報が流れていない地域では、情報を得ることはできません。

クイックリファレンス

<VICS情報を地図表示する>

1 VICS

2 全ての道路 ・ 高速道のみ ・ 一般道のみ





VICS情報を地図表示する

1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

2 VICS地図表示の **全ての道路**（一般道・高速道路）・**高速道のみ**（高速道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

●VICS情報が受信されると、タイムスタンプにVICS情報が提供された時刻が表示され、VICS情報が表示されます。

●タイムスタンプの表示は下記になります。

VICS ……VICS情報を表示中

VICS ……画面周辺に表示するVICS情報がない場合

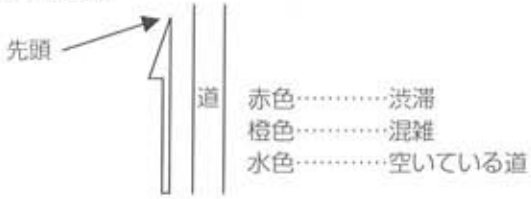
……オーディオOFF時、またはAM選局中

3. VICS情報の表示

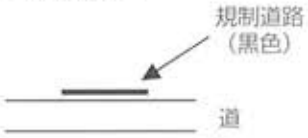
ワンポイント

- ●VICS情報を地図に表示すると道路（一般道）の色が変わります。
  VICS対象一般道：緑
  VICS対象高速道：紫
- ●VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- ●タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- ●タイムスタンプの時刻は、VICS情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去されます。
- ●約10km先までのルート上に渋滞・規制情報があるときは、タイムスタンプが渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。

＜渋滞情報＞



＜規制情報＞



＜駐車場、SA・PA情報＞



規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については「VICS記号」183ページを参照してください。

ワンポイント

駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。



VICS記号の内容表示について

1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号などにタッチすると、VICS記号の内容と現在地からの直線距離が表示されます。

ワンポイント

VICS記号によっては、内容が表示されないVICS記号もあります。

クイックリファレンス

＜VICS記号の内容表示について＞
1
VICS記号

クイックリファレンス

<VICS情報を消去する>

1 VICS

2 VICS非表示



VICS情報を消去する

1 メニュー画面で**VICS**にタッチします。

2 **VICS非表示**にタッチすると、VICS情報が表示されなくなります。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

●タイムスタンプも表示されなくなります。

渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、現在地から約10km以内のルート上のVICS情報を音声でお知らせします。
また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

〔音声案内の例〕

●VICS表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」

●VICS記号のある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」
音声案内はあくまでも参考としてください。

ワンポイント

●〔音声案内の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。

●音声案内の音量は調節することができます。（50ページ参照）

クイックリファレンス

<渋滞、規制の案内を再音声する>

1 VICS

2 渋滞・規制案内



渋滞・規制の案内を再音声する

渋滞・規制音声案内を再度聞くことができます。

1 メニュー画面で**VICS**にタッチします。

2 **渋滞・規制案内**にタッチします。

●渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。

3. VICS情報の表示

VICS文字情報の表示 FM多重



1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

2 **FM文字** にタッチします。



3 表示させる文字情報の番号にタッチします。



4 ▲、または▼にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
  また、自動送り中に▲、または▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、3 の画面に戻ります。

ワンポイント
受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。

クイックリファレンス

1 VICS

2 FM文字

3 数字

4 ▲ ・ ▼ ・ 自動送り

クイックリファレンス

1 VICS

2 FM図形

3 数字

4 ▲ ・ ▼ ・ 自動送り

FM多重 VICS図形情報の表示

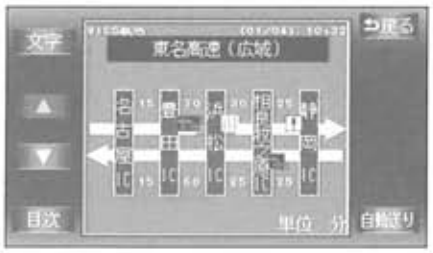


1 メニュー画面で VICS にタッチします。

2 FM図形 にタッチします。



3 表示させる図形情報の番号にタッチします。



4 ▲、または▼にタッチするか、自動送り にタッチします。

- ▲、または▼にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。
- 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後、最初のページに戻ります。
- 図形情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
  また、自動送り中に▲、または▼にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- 文字 にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。
- 目次 にタッチすると、3 の画面に戻ります。

ワンポイント

受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。

3. VICS情報の表示

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示 ビーコン

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS文字情報（または図形情報）を自動的に表示させることができます。

●割り込み情報の表示



●割り込み情報が表示されたときの操作は、「割り込み情報を呼び出す」次ページ3を参照してください。

●VICS表示消にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、元の画面に戻ります。

ワンポイント
●FM多重放送のみのVICS情報では、割り込み情報の表示は行われません。
●ビーコンの運用時間は24時間です。
運用時間は予告なく変更されることがあります。



割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、VICSにタッチします。

2 VICS設定にタッチします。

3 割込設定にタッチします。





作動表示灯

4 割り込み情報の項目の自動割込にタッチします。
注意警戒情報……注意警戒情報の表示
ビーコン読込（文字）…文字情報の表示
ビーコン読込（図形）…図形情報の表示

●ONになったときは、作動表示灯が緑色になります。

ワンポイント
●割り込み情報をOFFにしていても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

クイックリファレンス
<割り込み情報の表示を設定する>
1 VICS
2 VICS設定
3 割込設定
4 自動割込

割り込み情報を呼び出す

割り込み情報を「表示しない」にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

クイックリファレンス

<割り込み情報を呼び出す>

1 VICS

2 割込情報

3 ▲ ・ ▼



1 メニュー画面で、VICS にタッチします。

2 割込情報 にタッチします。

ワンポイント 受信されてから約30分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。



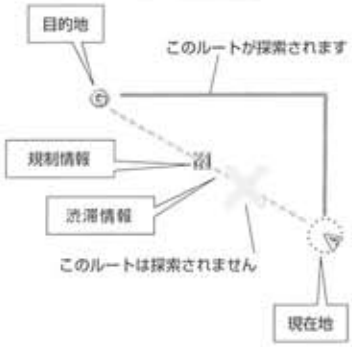
3 ▲ または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

●文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、図形 （図形情報を表示させているときは文字 ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

ワンポイント
- 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面には戻りません。
- 戻る にタッチすると割り込み情報画面を解除します。

3. VICS情報の表示

渋滞考慮探索



ビーコンからのVICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・交通情報が考慮されてルート探索をさせることができます。

ワンポイント
- FM多重放送のみのVICS情報では、渋滞考慮探索は行われません。
- 現在地から約10kmの渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮しません。



渋滞考慮探索を設定する

渋滞考慮探索をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**VICS**にタッチします。

2 **VICS設定**にタッチします。



3 **渋滞考慮探索**にタッチします。
- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

ワンポイント
- ルート探索後に道路状況が変わり、別のルートの方が到着時間が早くなる場合があります。

クイックリファレンス

<渋滞考慮探索を設定する>

1 **VICS**

2 **VICS設定**

3 **渋滞考慮探索**

VICS記号

凡例

VICS情報の中で使用される記号の代表的な例を示します。

表　示	情報内容	表　示	情報内容
	事故		駐車場 空（青）
	故障車		駐車場 満（赤）
	路上障害		駐車場 混雑（橙）
	注意		駐車場 不明（黒）
	注意（地震警戒宣言）		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30km/h
	左折禁止		SA PA情報 空（青）
	直進禁止		SA PA情報 満（赤）
	片側交互通行		SA PA情報 混雑（橙）
	チェーン規制		SA PA情報 不明（黒）
	進入禁止		イベント

表示される記号は実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つの記号で表示することがあります。

3. VICS情報の表示

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

(1) **緊急情報**：津波情報などの緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

(2) 交通情報関連の用語
①渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
②混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

(3) 駐車場情報関連の用語
①満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
②混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
③空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
④不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
⑤閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

●VICSの車載機の調子、その他に関するもの
●地図表示型の表示に関するもの
●VICSのサービスエリアに関するもの
●その他、上記に類するもの、これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

●簡易図形、文字情報の情報に関するもの
●VICS事業計画（サービスエリアの計画等）に関するもの
これらの内容のお問い合わせは、VICSセンターまでご連絡ください。
電話受付　<受付時間　09:30～17:45　土曜、日曜、祝祭日を除く>
電話番号　一般電話から　0570-00-8831（全国）
携帯・PHSから　03-3592-2033（東京）
06-6209-2033（大阪）
FAX受付　<受付時間　24時間>
FAX番号　03-3592-5494（東京）

MEMO

SECTION 6 インフォメーション機能

この章では、各情報機能について説明します。

1.インフォメーション（情報）画面について ……188
インフォメーション（情報）画面 ……188
画面の設定 ……189
優先画面を設定する ……189
画面動作・効果音を設定する ……189
背景画を切り替えるには ……190
小音量時の低・高音調整 ……190
ノンフェーダ出力の設定をする ……191
2.デモ機能 ……192
デモの操作 ……192
3.FM多重放送 ……193
FM多重放送の番組について ……193
画面の設定 ……193
放送局の切り替え ……194
番組の切り替え ……194
独立情報番組のページ送り ……195
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る ……195
文字情報の記録・呼び出し・消去 ……196
記録する ……196
呼び出す ……196
消去する ……196
4.メンテナンス機能 ……197
メンテナンスメニュー画面 ……197
メンテナンス時期の設定 ……198
メンテナンス案内の設定 ……200
メンテナンスの案内 ……200
メンテナンス時期の更新 ……201
メンテナンス時期の解除 ……202
販売店の設定 ……202
販売店の修正・消去 ……203
5.電話帳機能 ……204
電話帳検索 ……204
6.レジャーインフォメーション（レジャー i ）の検索 ……205
レジャーインフォメーション（レジャー i ）……205
7.カレンダー機能 ……206
カレンダー画面 ……206
メモの登録 ……207
メモの案内 ……208
メモの修正 ……208
メモの削除 ……209
メモマーク色・日付色の変更 ……210
メモ一覧の表示 ……211
8.情報付施設の検索 ……212
情報付施設の検索・表示・編集 ……212

施設情報画面を操作する……212
施設情報画面を登録する……213
施設情報画面を呼び出す……213
施設情報画面を消去する……214

1. インフォメーション（情報）画面について

インフォメーション（情報）機能には、「デモ」、「画面設定」、「FM多重放送」、「メンテナンス機能」、「電話帳検索」、「レジャーインフォメーション（レジャー i ）の検索」、「カレンダー機能」、「情報付施設」があります。オプション品を接続することで操作可能となる機能としては「インターネット」「iモード」「ハンズフリー機能」「HELPNET」「ETC機能」があります。

インフォメーション（情報）画面

●INFOを押したとき



●INFOを押した後、次ページにタッチしたとき



1 INFOを押すと、インフォメーション（情報）画面が表示されます。

●前ページまたは次ページにタッチするとページが切り替わります。

●通信設定をタッチすると、通信モードを設定することができます。通信モードについては248ページを参照してください。

2 インフォメーション（情報）画面から下記の操作を行うことができます。

クイックリファレンス

1 INFO

2 選択

表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	インターネット	インターネットへの接続・表示	250
2	iモード	iモードへの接続・表示	266
3	TEL	ハンズフリー機能の設定・通話	289
4	HELPNET	ヘルプネットへの通報	300
5	デモ	機能紹介・操作デモの表示	192
6	画面設定	操作画面の設定	次ページ
7	FM多重	FM多重放送の表示	193
8	メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・解除	198、201、202
		販売店の設定・修正・消去	202、203
9	電話帳	施設の電話番号の検索	204
10	レジャー i	観光スポットの表示	205
11	カレンダー	カレンダーの表示、メモの登録・修正・削除	206、207、208、209
12	情報付施設	情報付施設の検索・表示	212～214
13	ETC ※	ETC情報の設定・表示	321

※ タッチスイッチは、その機器が接続されていない場合は表示されません。

画面の設定

画面表示や音声出力をお好みに合わせて設定できます。



優先画面を設定する

インフォメーション（情報）画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったときの画面表示を、「継続表示する」、または「元の画面に戻す」のどちらかに選択することができます。

1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定**にタッチします。

2 優先画面設定の**自動解除**（元の画面に戻す）または**継続表示**（継続表示する）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **設定完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<優先画面を設定する>

1 **画面設定**

2 【優先画面設定】 **自動解除** ・ **継続表示**

3 **設定完了**



画面動作・効果音を設定する

現在地画面から**目的地**、**MENU**または、目的地設定画面やメニュー画面から現在地画面へ表示を切り替えるときに画面がスライドするような表示となり、流れるような音が鳴ります。

1 インフォメーション（情報）画面で**画面設定**にタッチします。

2 画面動作・効果音の**ON**または**OFF**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **設定完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<画面動作・効果音を設定する>

1 **画面設定**

2 【画面動作・効果音】 **ON** ・ **OFF**

3 **設定完了**

1. インフォメーション（情報）画面について



●1 にタッチしたとき(青色)



●2 にタッチしたとき(灰色)



●3 にタッチしたとき(赤色)

背景画を切り替えるには

画面の背景色やスイッチ色を3タイプから選ぶことができます。

1 インフォメーション（情報）画面で **画面設定** にタッチします。

2 壁紙の **1**、**2** または **3** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **設定完了** にタッチします。

クイックリファレンス

<背景画を切り替えるには>

1 **画面設定**

2 【壁紙】 **1**・**2**・**3**

3 **設定完了**



小音量時の低・高音調整

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。

2 オートLOUDの **ON** または **OFF** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **設定完了** にタッチします。

クイックリファレンス

<小音量時の低・高音調整>

1 **画面設定**

2 【オートLOUD】 **ON** ・ **OFF**

3 **設定完了**

クイックリファレンス

<ノンフェーダ出力の設定をする>

1 画面設定

2 【ノンフェーダ出力設定】 ∧ ∨

3 設定完了



ノンフェーダ出力の設定をする

ウーファーを接続したときにオーディオの音をお好みの出力レベルに調整することができます。

1 インフォメーション（情報）画面で、画面設定にタッチします。

2 ノンフェーダ出力設定の∧または∨にタッチして設定します。

3 設定完了にタッチします。

2. デモ機能

デモの操作

ナビゲーションの機能の紹介や、各操作方法のデモを表示することができます。



1 インフォメーション（情報）画面で **デモ** にタッチします。

2 表示させるデモにタッチします。



●デモが開始されます。
●デモ中に **NAVI**（または **MENU**・**目的地**）を押すとデモが終了します。

ワンポイント
- **機能紹介** ではナビゲーションのいろいろな機能の紹介や，経路設定，経路案内のデモを繰り返して行います。
- その他のデモは、ナビゲーションの各操作の手順を追って紹介しています。

クイックリファレンス

1
デモ

2
選択
[redacted]

FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

ワンポイント
- 走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

画面の設定

クイックリファレンス

1 FM多重



1 インフォメーション（情報）画面で、**FM多重**にタッチします。

●FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組が表示されます。

ワンポイント
- ●オーディオの電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。
- ●FM多重放送を表示させているときに、FM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- ●FM多重放送を表示させているときは、そのFM多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させているFM多重放送局とは別のFM放送局の番組の音声を聞くことはできません）
- ●テレビの音声を聞いているときに、FM多重放送を受信すると雑音が入ることがあります。

3. FM多重放送

放送局の切り替え



1 自動選局にタッチします。

●FM音声を聞いているときは、オーディオのスイッチ（408ページ参照）でも、切り替えることができます。

クイックリファレンス

1 自動選局

番組の切り替え



1 目次にタッチします。



2 表示させる番組の番号にタッチします。

●番組連動にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチが選択色になります）



クイックリファレンス

1 目次

2 数字

独立情報番組のページ送り

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

クイックリファレンス

1 ▲ ・ ▼ ・ 自動送り



1 ▲、または▼にタッチするか、**自動送り**にタッチします。

- ●▲、または▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- ●**自動送り**にタッチすると（タッチスイッチが**停止**になります）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後は、最初のページに戻ります。
- ●文字情報の自動送りを停止するときは**停止**にタッチします。
  また、自動送り中に▲、または▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。

ワンポイント
緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは▲にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

クイックリファレンス

1 ▲ ・ ▼



1 ▲、または▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- ●タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- ●自動切り替えを中断したとき、**最新情報**にタッチすると、最新の文字情報に戻り、元の状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

3. FM多重放送

文字情報の記録・呼び出し・消去



記録する

1 記録する文字情報を表示させ **メモ記録** にタッチします。
- 文字情報が記録されます。
- 記録項目は最大20件です。

ワンポイント
記録する内容によっては、20件記録できないこともあります。



呼び出す

1 **メモ呼出** にタッチします。
- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

2 ▲、または▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。



消去する

1 **メモ呼出** にタッチして文字情報を呼び出します。

2 ▲、または▼にタッチして、消去する文字情報を表示させます。

3 **消去** にタッチします。
- すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。
- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

<記録する>

1 メモ記録

クイックリファレンス

<呼び出す>

1 メモ呼出

2 ▲ ▼

クイックリファレンス

<消去する>

1 メモ呼出

2 ▲ ▼

3 消去

4 はい

4. メンテナンス機能

メンテナンス機能は、ナビゲーションのGPSカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と音声（初回）でお知らせします。

ワンポイント
- ●設定したメンテナンスまたは各種点検などの項目以外は時期をお知らせしません。
- ●お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日を基に設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- ●メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。

クイックリファレンス

1 メンテナンス

メンテナンスメニュー画面



1 インフォメーション（情報）画面で、**メンテナンス**にタッチします。

●メンテナンスメニュー画面になります。

ワンポイント
保守点検 は、ヘルプネット加入時に操作します。手動保守点検（313ページ参照）を行い、ヘルプネットオペレーションセンターとの会員登録の確認を行います。

●メンテナンス項目

項目	内容	項目	内容
	エンジンオイル交換		ワイパーゴム交換
	オイルフィルター交換		LLC（冷却水）交換
	タイヤローテーション（タイヤ位置交換）		ブレーキフルード交換
	タイヤ交換		ATF（オートマチックトランスミッションフルード）交換
	バッテリー交換	?	パーソナル項目（その他の項目を5つまで設定することができます。）
	ブレーキパッド交換		

ワンポイント
未設定の項目は、（灰色）・すでに設定されている項目は、（緑色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示します。

4. メンテナンス機能

●パーソナル項目

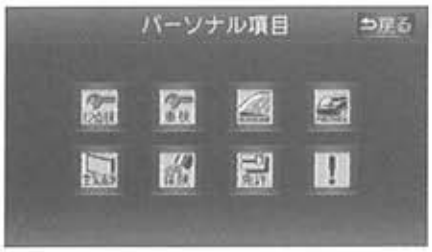
項目	内容	項目	内容
	12ヵ月点検		空気清浄器交換
	車検		保険満了日
	ガラスコート		免許証更新日
	ハイポリマーメンテナンス	!	任意入力 (文字入力することができます)

メンテナンス時期の設定



1 メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- **?**（パーソナル項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- **?**（パーソナル項目未設定）以外にタッチしたときは、**5** の画面になります。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



2 **?**（パーソナル項目未設定）にタッチしたときは、設定する項目にタッチします。

- **!**（任意入力項目）にタッチすると、名称を入力することができます。



3 **!**（任意入力項目）にタッチしたときは、名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「メモリ地点の名称入力」154ページを参照してください。

4 **完了** にタッチします。

クイックリファレンス

1 選択 ■ ・ ?

2 【パーソナル項目】 選択 ■

3 【任意入力】 文字

4 完了

5 お知らせ日 ・ お知らせ距離

6 数字

7 完了

8 設定完了



5 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチします。

●日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

●項目によっては日付のみの場合があります。

●日付入力画面



6 数字を1つずつタッチして入力します。

●間違えたときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。

7 完了 にタッチします。

ワンポイント メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス案内をONにしないと、メンテナンス案内は行われません。（次ページ参照）

●距離入力画面





8 設定完了 にタッチします。

●複数のメンテナンス項目を設定するときは、1 ～ 8 を繰り返し操作してください。

4. メンテナンス機能

メンテナンス案内の設定

案内をONにすると、時期を設定した項目の案内が行われます。



1 メンテナンスメニュー画面で、**ON** にタッチします。

- 案内をOFFにするには、再度この画面で、**OFF** にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

クイックリファレンス

1

ON

メンテナンスの案内

設定をした日がすぎる、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

ワンポイント

- メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。
- パーソナル項目の！（任意入力）が時期に到達した場合、設定したタイトルを表示します。（任意入力設定時）



- 5つ以上の項目があるときは、**etc** が表示されます。（メンテナンスメニュー画面で確認してください）
- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンス時期の更新

クイックリファレンス

1 選択 [ ]

2 自動更新

3 はい

4 3年後 ・ 5年後



1 メンテナンスの設定を更新する項目にタッチします。

●すべての項目を更新するときは、**自動全更新**にタッチします。



2 **自動更新**にタッチします。



3 **はい**にタッチします。

●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

●残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

ワンポイント 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算し、変更されます。(項目により、計算方法は異なります)



4 パーソナル項目の免許証更新では、**3年後**、または**5年後**にタッチします。

4. メンテナンス機能

メンテナンス時期の解除



1 メンテナンスメニュー画面で、設定を消去する項目にタッチします。
●すべての項目を消去するときは、**設定全解除**にタッチします。



2 **設定消去**にタッチします。



3 **はい**にタッチします。
●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

1 選択 [redacted]

2 設定消去

3 はい

販売店の設定



1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定**にタッチします。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。
●**「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**（81、95ページ参照）

クイックリファレンス

1 販売店設定

2 呼び出し方法

3 セット



3 **セット**にタッチすると、✛の位置に販売店が設定されます。

販売店の修正・消去

クイックリファレンス

1 販売店設定



1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定**にタッチします。

2 変更

3 販売店の消去

はい



2 修正する項目の**変更**にタッチします。

- 販売店名・スタッフ名前の修正・入力は、「メモリ地点の名称入力」154ページと、位置の修正は、「メモリ地点の位置修正」151ページと、電話番号の修正・入力は、「メモリ地点の電話番号入力」153ページと同じです。
- **販売店の消去**にタッチすると、販売店が消去されます。
- **販売店に行く**にタッチすると、販売店の地図が表示されます。



3 **販売店の消去**にタッチしたときは、**はい**にタッチします。

- **いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

5. 電話帳機能

電話帳検索

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、携帯電話が接続されていると、オートダイヤルで電話発信できます。また、設定されている目的地（104ページ参照）や登録されているメモリ地点（153ページ参照）・特別メモリ地点（158ページ参照）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。



1 インフォメーション（情報）画面で**電話帳**にタッチします。

2 表示させる項目にタッチします。

●**目的地**（1箇所のみ設定されているとき）、または**1** **2** **3** **4** **5** にタッチすると、地点の名称と電話番号が表示されます。



3 表示させる施設のある都道府県名にタッチします。

●**2**で**メモリ地点**、または**目的地**（2箇所以上設定されているとき）にタッチしたときは、地点の名称と電話番号が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチすると、施設名称と電話番号が表示されます。



●本機と携帯電話が接続されている場合、**電話をかける**にタッチすると表示されている番号へ電話をかけることができます。

●本機と携帯電話の接続については246ページを参照してください。

クイックリファレンス

1 電話帳

2 選択

3 都道府県名

4 施設名称

レジャーインフォメーション（レジャーi）

登録されている施設を、「観光エリアガイド」・「おすすめドライブコース」・「100選（日本の桜・滝・渚・名水）」などから検索し、観光地や名所などの情報を表示させることができます。

クイックリファレンス

1 レジャーi

2 選択 ■

3 ■

4 選択 ■



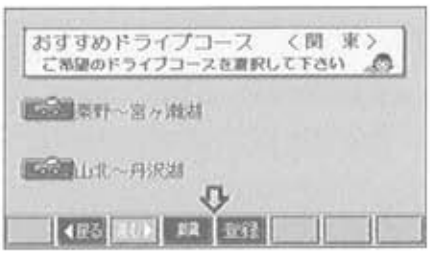
1 インフォメーション（情報）画面で **レジャーi** にタッチします。

2 表示させるガイドにタッチします。



3 地域・地点・項目にタッチします。

●選択したガイドにより、情報を表示させる方法は異なります。



4 表示させる地点にタッチすると、施設の情報が表示されます。

●操作は、**「施設情報画面を操作する」** 212ページを参照してください。



●ドライブコースでは、**順コースで案内**（**逆コースで案内**）にタッチすると目的地が設定され、ルートが探索されます。

7. カレンダー機能

カレンダー機能とは、GPSカレンダー機能を利用して、登録させたメモ（会議や用事など）の案内を行う機能です。

ワンポイント

カレンダーは、2020年まで表示させることができます。

カレンダー画面



1 インフォメーション（情報）画面で、**カレンダー**にタッチすると、カレンダー画面になります。

- **▲月**・**▼月**にタッチすると、表示される月が切り替わります。
- **▲年**・**▼年**にタッチすると、表示される年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月**にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。

クイックリファレンス

1 カレンダー

メモの登録

メモは、100件まで登録することができます。（100件を超えて登録するときは、不要なメモを消去してから登録してください）また、メモは1日につき3件まで登録させることができます。

クイックリファレンス

1 日付

2 新規登録

3 文字

4 完了



1 カレンダー画面で、メモを登録する日付にタッチします。



2 新規登録にタッチします。



3 登録するメモを1文字ずつタッチして入力します。

●文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称入力」** 154ページと同じです。

ワンポイント
● メモ1件に入力できる文字は最大12文字（半角24文字）までです。

4 完了にタッチします。

●カレンダー画面の日付にマークが表示されます。

7. カレンダー機能

メモの案内

登録した日は、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、メモの内容が案内されます。



- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。
- メモを登録した日にナビゲーション画面を立ち上げなかった（過去7日間）ときは **「未通知メモあり」** が表示されます。（カレンダー画面でメモ案内の内容を確認してください）

メモの修正



1 カレンダー画面で、修正するメモのある日付にタッチします。



2 メモが2つ以上登録されているときは、**▲前**、または **▼次** で修正するメモに切り替えます。

3 **修正** にタッチします。



4 登録するメモを1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称入力」** 154ページと同じです。

5 **完了** にタッチします。

クイックリファレンス

1 日付

2 ▲前 ・ ▼次

3 修正

4 文字

5 完了

クイックリファレンス

1 日付

2 ▲前 ・ ▼次

3 削除

4 はい

メモの削除



1 カレンダー画面で、削除するメモのある日付にタッチします。



2 メモが2つ以上登録されているときは、▲前、または▼次で削除するメモに切り替えます。

3 削除にタッチします。



4 はいにタッチします。

●いいえにタッチすると、元の画面に戻ります。

7. カレンダー機能

メモマーク色・日付色の変更

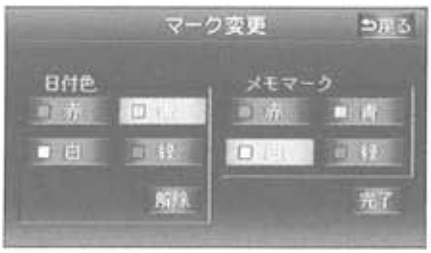
日付色は、100日まで変更することができます。（100日を超えて変更するときは、不要な日付色を解除してから変更してください）
また、メモのマークの色を変更することができます。



1 カレンダー画面で、変更する日付にタッチします。



2 **マーク変更**にタッチします。



3 変更する日付色・メモマーク色にタッチします。

●**解除**にタッチすると、日付色が解除され（通常の色に戻り）ます。

4 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

1
日付

2
マーク変更

3 [日付色・メモマーク色]
選択

4
完了

クイックリファレンス

1 メモ一覧

2 選択 ■

3 期間指定

数字

4 完了

メモ一覧の表示



1 カレンダー画面で、**メモ一覧**にタッチします。



2 表示させる期間にタッチすると、メモが表示されます。

●**期間指定**にタッチすると、表示させるメモの期間を指定することができます。



3 **期間指定**にタッチしたときは、数字を1番号ずつタッチして期間を入力します。

●間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

4 **完了**にタッチすると、メモが表示されます。



●**日付色解除**にタッチすると、設定した日付色（前ページ参照）が解除されます。

●**一括削除**にタッチすると、表示したすべてのメモが削除されます。

8. 情報付施設の検索

主要施設の情報（情報・住所・料金・写真など）を画面に表示することができる機能です。

情報付施設の検索・表示・編集



1 インフォメーション（情報）画面で、**情報付施設**にタッチします。

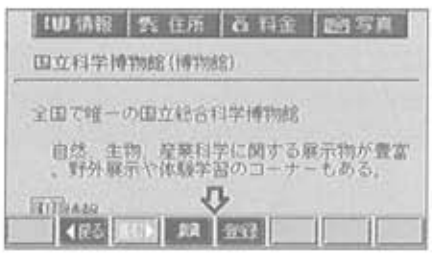
2 表示させる施設のジャンルにタッチします。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。



4 表示させる施設名称にタッチします。
●施設の内容が表示されます。



施設情報画面を操作する

1 画面の矢印にタッチします。
●矢印にタッチすると施設の情報をスクロールさせることができます。
●○○（**住所**・**写真**など）にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。



●**地図表示**にタッチすると、施設を中心にした地図が表示されます。

クイックリファレンス

1 情報付施設

2 施設ジャンル

3 都道府県名

4 施設名称

クイックリファレンス

<施設情報画面を操作する>

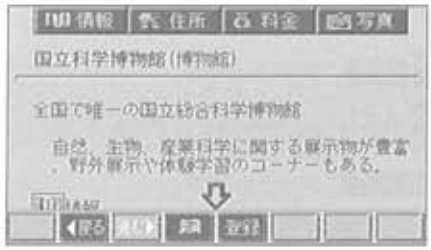
1

クイックリファレンス

＜施設情報画面を登録する＞

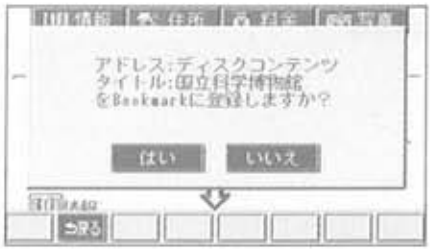
1 登録

2 はい



施設情報画面を登録する

1 登録する情報を表示させ、**登録**にタッチします。



2 **はい**にタッチします。

- **いいえ**にタッチすると元の画面に戻ります。
- 情報が登録されます。
- 記録項目は最大50件です。

ワンポイント

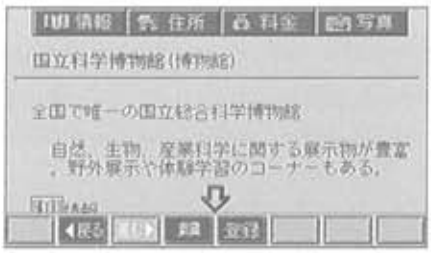
登録する内容によっては、50件まで記録できないことがあります。

クイックリファレンス

＜施設情報画面を呼び出す＞

1 登録

2 情報名



施設情報画面を呼び出す

1 **登録**にタッチします。

- 登録されている情報がリスト表示されます。



2 表示したい情報名にタッチします。

8. 情報付施設の検索



施設情報画面を消去する

1 **編集**にタッチします。

2 消去したい情報名にタッチします。
●すべての情報を消去するときは、**全消去**にタッチします。



3 **削除**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。
●**いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

<施設情報画面を消去する>

1 **編集**

2 選択

3 **削除**

4 **はい**

MEMO

SECTION 7 音声操作

この章では、音声操作について説明します。

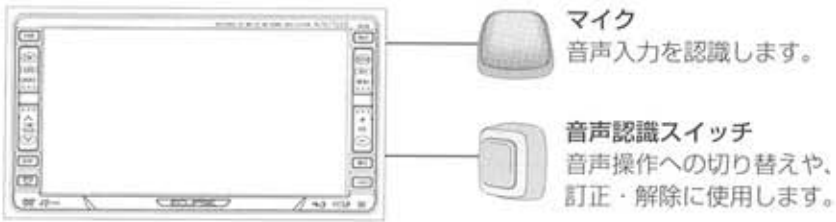
1.音声操作システムについて ……218
音声操作システムの構成 ……218
音声を正しく認識するために ……218
音声操作の切り替え・解除 ……219
音声操作を切り替える ……219
音声操作を解除する ……219
2.音声操作システムの操作例 ……220
基本操作 ……220
メニュー画面を表示する ……220
音量を設定する ……221
現在地を表示する ……221
地図の縮尺を切り替える ……221
市街図を表示する ……222
地図の向きを切り替える ……223
2画面表示に切り替える ……223
3D表示に切り替える ……224
施設ランドマークを表示する ……224
地図の呼び出し方法 ……225
施設で地図を呼び出す ……225
電話番号で地図を呼び出す ……226
住所で地図を呼び出す ……227
マップコードで地図を呼び出す ……228
メモリ地点で地図を呼び出す ……229
目的地の案内 ……229
目的地を設定する ……229
登録されている地点へルートを探索する ……229
目的地を追加する ……230
音声案内を再度聞く ……230
地点の登録 ……230
メモリ地点を登録する ……230
音声付きメモリ地点を登録する ……230
方向付きメモリ地点を登録する ……230
VICS ……231
知りたインフォ機能 ……232
カレンダー機能について ……232
地図に関して ……232
目的地案内に関して ……232
VICS情報に関して ……232
タクシーモード ……233
タクシーモードで目的地を設定する ……233
自動タクシーモードを設定する ……233
ハンズフリー機能 ……234
ダイヤル発信で電話をかける ……234
メモリダイヤルから電話をかける ……235

3.音声認識コマンド一覧 ……236
ナビゲーション画面を切り替えるコマンド ……236
操作のヒントを表示するコマンド ……236
ナビゲーションの各機能を実行するコマンド ……237
地点を検索・表示するコマンド ……239
ナビゲーションの設定を変更するコマンド ……240
知りたインフォコマンド ……241
ハンズフリーで使用できるコマンド ……242

1. 音声操作システムについて

音声操作は音声認識マイク＆スイッチを使い、音声でナビゲーションの操作を行うことができる機能です。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

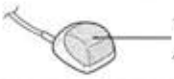
音声操作システムの構成



音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声認識コマンドを正しく発声しないと認識しない場合があります。発声を正しく認識させるため以下の点に留意してください。

- ●大きな声でハッキリと発声してください。
- ●音声入力をする際に、発声以外の音があると認識されにくくなったり、誤って認識されることがあるため、自動車の窓はできるかぎり閉めてから行ってください。窓を開けていることにより風切り音や外からの騒音など、周囲の音により認識しない場合が考えられます。また、エアコンの風量が多く、マイクに雑音が入る場合も誤作動する場合があります。
- ●運転者の話す言葉を拾いやすい向きと距離にマイクを取り付けていますので、マイクに近づいたり、マイクの方向を向かないで、安全に運転できる姿勢で発声してください。
- ●マイクの向きは右図のように正しく設置してください。



- ●方言やいい方の違いには対応していません。音声認識コマンドの指定された読みで発音してください。
- ●地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず画面に表示されるリスト・スイッチ（タッチスイッチ）の名称または音声コマンド一覧表を参考に発声してください。

音声操作の切り替え・解除

音声認識マーク



音声操作を切り替える

1 音声認識スイッチを押します。
●音声認識マークが表示されます。



2 "ピッ"と音がしたら、約6秒以内にマイクに向かって発声します。



●発声した内容を復唱するトークバックが聞こえます。
●発声を間違えたときは、再度音声認識スイッチを押して、発声してください。

ワンポイント
- ●音声認識マークが表示されている間に発声してください。
- ●トークバック中に音声認識スイッチを押すと、発声内容を実行する前にキャンセルします。キャンセル後、再度発声すると、発声内容を認識させることができます。
- ●コマンドによっては復唱しない場合があります。

クイックリファレンス

<音声操作を切り替える>

1

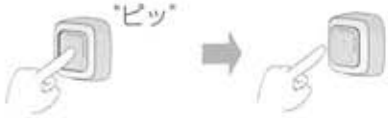
"ピッ"

2 【約6秒以内に発声】
「×××」



音声操作を解除する

1 音声認識スイッチを約1秒以上押します。
●音声認識マークが消えます。



クイックリファレンス

<音声操作を解除する>

1 音声認識スイッチを約1秒以上押す

"ピッ"

2. 音声操作システムの操作例

操作するときは、各項目の該当ページを合わせてご覧ください。

画面に表示されているタッチスイッチやパネルスイッチのスイッチ名称を発声することで、画面を切り替えたり、操作することができます。基本的には、すべてのスイッチ名称に対応していますが、リストの項目や名称が記号になっているタッチスイッチ・インフォメーション機能・画質調整などのテレビやオーディオの操作に関するタッチスイッチ名称を発声しても、認識させることはできません。

ワンポイント

- 住所、施設認識モードおよびタクシーモードでは、認識させた音声認識コマンドの操作をキャンセルする場合は「中止」・「キャンセル」・「戻る」と話します。また、トークバックが出力された後、約6秒間以内に音声認識スイッチを押すといい直しが可能です。
- 認識されるコマンド（発声された単語）の中には、一度の発声で操作することができるものもあります。
  例）：「メニュー」→「表示切り替え」→「ツイン表示」で2画面表示に切り替わりますが、「ツイン表示」と発声するだけでも、2画面表示に切り替わります。
- 2画面表示の場合は、左画面が切り替わります。右画面については、音声認識コマンド一覧（235ページ参照）を参照してください。

基本操作



メニュー画面を表示する

1 「メニュー画面」と話します。

- メニュー画面が表示されます。

クイックリファレンス

<メニュー画面を表示する>

1

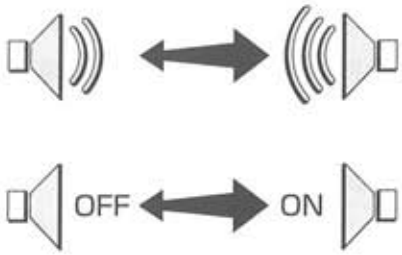
「メニュー画面」

クイックリファレンス

<音量を設定する>

1 「ナビ音量アップ」（「ナビ音量ダウン」）

2 「ナビ音量ミュート」（「ナビ音量ミュート解除」）



音量を設定する

1 「ナビ音量アップ」（「ナビ音量ダウン」）と話します。
●選択されていた音量が1段階上がり（下がり）ます。

2 「ナビ音量ミュート」（「ナビ音量ミュート解除」）と話します。
●音量がOFF（ON）になります。

クイックリファレンス

<現在地を表示する>

1 「現在地」



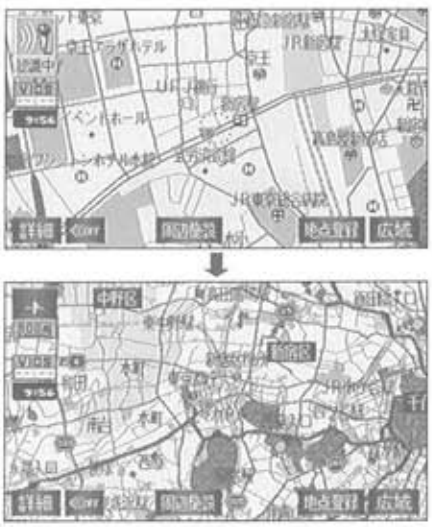
現在地を表示する

1 「現在地」と話します。
●現在地が表示されます。

クイックリファレンス

<地図の縮尺を切り替える>

1 「○○メートル」



地図の縮尺を切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「○○メートル」と話します。
●その縮尺の地図に切り替わります。
●広域（詳細）と話すと表示されている地図の縮尺が1段階広域（詳細）な地図になります。

ワンポイント
●スケールの表示は、2桁（または3桁）の数字で認識されます。
例）：400mスケール図→「ヨンヒャクメートル」
50kmスケール図→「ゴジュッキロメートル」

2. 音声操作システムの操作例





市街図を表示する

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「市街図」と話します。
●市街図が表示されます。





2 「3D市街図」と話します。
●3D市街図（リアル市街図）が表示されます。

クイックリファレンス

<市街図を表示する>

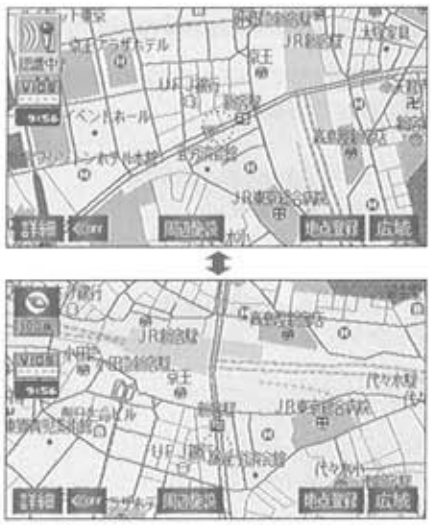
1
「市街図」

2
「3D市街図」

クイックリファレンス

<地図の向きを切り替える>

1 「地図向き変更」



地図の向きを切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

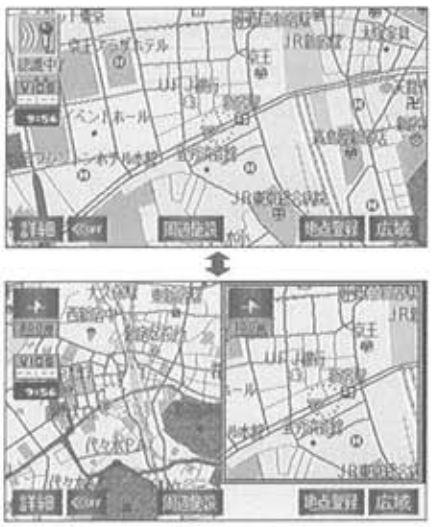
1 「地図向き変更」と話します。
●現在の表示が切り替わります。
●「ノースアップ」（「ヘディングアップ」）と話すとノースアップ（ヘディングアップ）表示になります。

クイックリファレンス

<2画面表示に切り替える>

1 「2画面表示」

2 「2画面表示解除」



2画面表示に切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「2画面表示」と話します。
●2画面表示になります。

2 「2画面表示解除」と話します。
●1画面表示になります。

2. 音声操作システムの操作例





3D表示に切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「3D表示（スリーディーひょうじ）」と話します。
●3D表示になります。

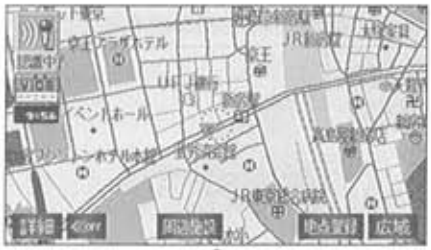
2 「2D表示（ツーディーひょうじ）」と話します。
●2D表示になります。

クイックリファレンス

<3D表示に切り替える>

1
「3D表示（スリーディーひょうじ）」

2
「2D表示（ツーディーひょうじ）」





施設ランドマークを表示する

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「ガソリンスタンド」・「コンビニエンスストア」・「レストラン」・「喫茶店（きっさてん）」・「銀行（ぎんこう）」・「駐車場（ちゅうしゃじょう）」と話します。
●発声した施設ランドマークが表示されます。

クイックリファレンス

<施設ランドマークを表示する>

1
「○○○（施設名称）」

クイックリファレンス

＜施設で地図を呼び出す＞

1 「施設」

2 「□□□（施設名のある都道府県）」「■■■（施設名称）」

地図の呼び出し方法



施設認識マーク





施設で地図を呼び出す

1 「施設」と話します。
●"施設認識マーク"が表示され、「施設をどうぞ」というトークバックが聞こえます。

2 「□□□（施設名のある都道府県名）」と「■■■（施設名称）」を話します。
●地図が表示されます。

ワンポイント

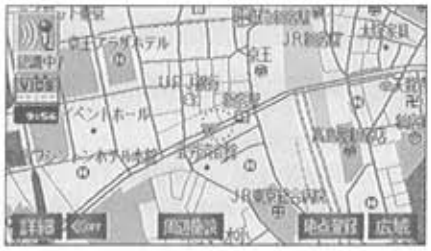
●施設のジャンルにより、認識させる方法が異なります。
- 駅…鉄道会社名→（路線名+）駅名
- 高速IC・SA・PA…道路名（+路線名）→施設名
  例）名古屋高速3号大高線→大高インター
- その他の施設…都道府県名→施設名

●現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。

●都道府県名・政令指定都市名※で開始される施設名称は、施設名称のみで認識されています。また、施設名称の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市※）名が一致しなくても、認識されます。
例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、"千葉県"を発声する必要はありません。
※13政令指定都市：札幌市、仙台市、千葉市、東京23区、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市（2002年3月現在）

●認識できる施設名称については「施設で地図を呼び出す」（87ページ参照）で表示されるリスト（タッチスイッチ）と同じです。

2. 音声操作システムの操作例



電話番号で地図を呼び出す

1 「電話番号入力」と話します。
●「電話番号入力画面を表示します」というトークバックが聞こえます。

数字入力認識マーク



2 音声認識スイッチを押して、「○○○（数字）」と話します。
●"数字入力認識マーク"が表示されます。

ワンポイント
●数字は以下のように発声してください。
1…「イチ」、2…「ニ」、
3…「サン」、4…「ヨン」、
5…「ゴ」、6…「ロク」、
7…「ナナ」、8…「ハチ」、
9…「キュー」、0…「ゼロ」、
または「レイ」
12を「ジューニ」、123を「ヒャクニジュウサン」のように2ケタ以上の数字を認識させることはできません。12は「イチ・ニー」、123は「イチ・ニー・サン」と発声してください。
●「ー」（ハイフン）は省略して発声してください。
●数字入力画面では数字以外の発声を認識しない場合があります。

●いい直す場合は、「修正」と発声すると、1番号ずつ消去されます。「全消去」と発声するとすべての番号が消去されます。

3 「完了」と話します。
●地図が表示されます。



クイックリファレンス

＜電話番号で地図を呼び出す＞

1 「電話番号入力」

2 音声認識スイッチを押す
「○○○（数字）」

3 「完了」

クイックリファレンス

<住所で地図を呼び出す>

1 「住所」

2 「○○○（地名）」

次ページに続く



住所認識マーク



住所で地図を呼び出す

1 「住所」と話します。

●“住所認識マーク”が表示され、「住所をどうぞ」というトークバックが聞こえます。

2 「○○○（地名）」と話します。

●都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、一度にすべての地名を発声します。

●番地まで検索できる住所の場合は、メッセージが表示されます。

ワンポイント

●いい直す場合は、間違えた地名のみいい直せば、認識されます。例）「東京都新宿区」と発声した後、「文京区」にいい直すときは、“東京都”を発声する必要はありません。

●都名、町名の“大字”、“字”は省略して発声してください。

●都道府県名、市区町村名、町名、丁目（字）はそれぞれわけて発声して入力することもできます。

●丁目まで、すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。

2. 音声操作システムの操作例

番地認識マーク





3 音声認識スイッチを押して、「番地」と話します。

● "番地認識マーク" が表示され、「番地をどうぞ」というトークバックが聞こえます。

4 「○○○（数字）」と話します。

例）14-12は「イチヨンのイチニー」または「イチヨンはいふんイチニー」と発声します。

ワンポイント
● 12を「ジューニ」、123を「ヒャクニジュウサン」のように2ケタ以上の数字を認識させることはできません。12は「イチ・ニー」、123は「イチ・ニー・サン」と発声してください。

●地図が表示されます。



マップコードで地図を呼び出す

1 「マップコード入力画面」と話します。

●「マップコード入力画面を表示します」というトークバックが聞こえ、マップコード入力画面に切り替わります。

数字入力認識マーク



2 音声認識スイッチを押して、「○○○（数字）」と話します。

● "数字入力認識マーク" が表示されます。

ワンポイント
● 12を「ジューニ」、123を「ヒャクニジュウサン」のように2桁以上の数字を認識させることはできません。12は「イチ・ニー」、123は「イチ・ニー・サン」と発声してください。

●いい直す場合は、「修正」と発声すると、1番号ずつ消去されます。「全消去」と発声するとすべての番号が消去されます。



3 「完了」と話します。

●地図が表示されます。

3 音声認識スイッチを押す
「番地」

4
「○○○（数字）」

クイックリファレンス

<マップコードで地図を呼び出す>

1
「マップコード入力画面」

2 音声認識スイッチを押す
「○○○（数字）」

3
「完了」

クイックリファレンス

<メモリ地点で地図を呼び出す>

1

「○○○（登録されているメモリ地点の名称読み）」





メモリ地点で地図を呼び出す

1 「○○○（登録されているメモリ地点の名称読み）」と話します。

●メモリ地点の名称読みの入力については**「メモリ地点の名称読み入力」**（156ページ）を参照してください。

●地図が表示されます。

ワンポイント

●登録されている名称読みが短すぎるとき、または他のコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。

●言葉として認識できない名称読みは地図を表示することはできません。（例「ラ゛」「ア゛」など）

目的地の案内

クイックリファレンス

<目的地を設定する>

1

「セット」



目的地を設定する

目的地を設定する地図を表示せているときのみ、認識させることができます。

1 「セット」と話します。

●ルート探索が開始されます。

クイックリファレンス

<登録されている地点へルートを探索する>

1

「自宅に帰る」



登録されている地点へルートを探索する

1 「自宅に帰る」と話します。

●登録されている自宅を目的地としてルート探索が開始されます。

1

「特別メモリ○に行く（○は1～5の数字）」

1 「特別メモリ○に行く（○は1～5の数字）」と話します。

●登録されている特別メモリ地点を目的地としてルート探索が開始されます。

2. 音声操作システムの操作例

目的地を追加する

目的地が設定されているとき（1箇所以上で4箇所以下）で目的地を設定する地図を表示させているときのみ認識させることができます。



1 「立ち寄り地点」と話します。
●現在地の次に行く目的地として設定されます。

クイックリファレンス
<目的地を追加する>
1
「立ち寄り地点」

音声案内を再度聞く

目的地案内中の現在地画面を表示させているときのみ、認識させることができます。

300m先
○×を右方向です。

1 「再音声」と話します。
●音声案内が出力されます。

クイックリファレンス
<案内音声を再度聞く>
1
「再音声」

地点の登録

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。



メモリ地点を登録する

1 「メモリ地点」と話します。
●メモリ地点が登録されます。

クイックリファレンス
<メモリ地点を登録する>
1
「メモリ地点」

音声付きメモリ地点を登録する

1 「音声付きメモリ地点」と話します。
●メモリ地点が音声付きで登録されます。

クイックリファレンス
<音声付きメモリ地点を登録する>
1
「音声付きメモリ地点」

方向付きメモリ地点を登録する

現在地のみ認識することができます。

1 「方向付きメモリ地点」と話します。
●メモリ地点が自車マークの進行方向を方向として方向付き音声付きで登録されます。

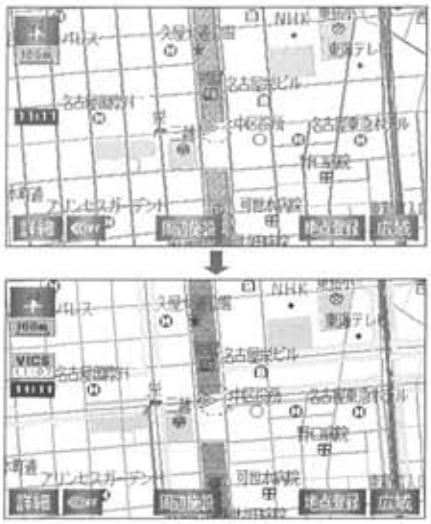
クイックリファレンス
<方向付きメモリ地点を登録する>
1
「方向付きメモリ地点」

VICS

地図を表示させているときのみ、各VICS情報をON（表示する）にするかOFF（表示しない）にするか認識させることができます。

クイックリファレンス

1 「VICS表示」



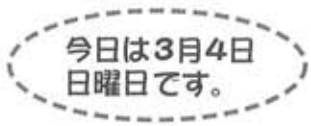
1 「VICS（ビックス）表示」と話します。
- VICS情報が表示されます。
- VICS情報を消去する場合、「VICS（ビックス）表示消去（解除）」と話します。

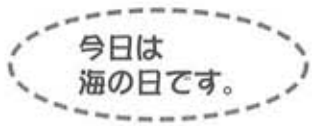
ワンポイント
- VICS情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは表示できません。
- VICS情報の条件設定を解除する場合、条件の名称の後に「消去」または「解除」を話します。
  例）「空き道表示消去」「空き道表示解除」

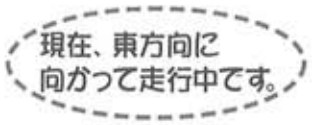
2. 音声操作システムの操作例

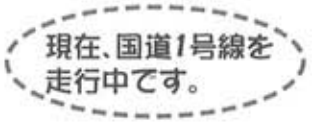
知りたインフォ機能

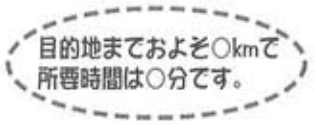
ナビゲーションに関するさまざまな情報を音声で質問し、音声案内を出力させることができます。

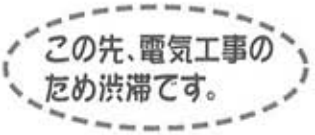












カレンダー機能について

1 「今日は何日」・「今日は何曜日」と話します。
●今日の日付と曜日が案内されます。

1 「今日は何の日」と話します。
●今日の記念日が案内されます。

地図に関して

1 「どっち向いてるの」と話します。
●方角が案内されます。

1 「今走ってる道路は」と話します。
●走行中の道路名称が案内されます。

目的地案内に関して

目的地が設定されているときのみ、認識させることができます。

1 「あとどれくらい」・「あと何分」「あと何時間」と話します。
●目的地までの時間が案内されます。

ワンポイント
●問い合わせする内容は「いつ着きますか」、「あと何キロ」、「どこから乗るの」、「どこで降りるの」などがあります。

VICS情報に関して

目的地案内中にVICS情報を受信したときのみ認識させることができます。

1 「この先渋滞は」と話します。
●約10km先までのルート上の渋滞情報が案内されます。

クイックリファレンス
<カレンダー機能について>
1
「今日は何日」
・
「今日は何曜日」
1
「今日は何の日」

クイックリファレンス
<地図に関して>
1
「どっち向いてるの」
1
「今走ってる道路は」

クイックリファレンス
<目的地案内について>
1
「あとどれくらい」
「あと何分」
「あと何時間」

クイックリファレンス
<VICS情報に関して>
1
「この先渋滞は」

タクシーモード

タクシーモードで目的地を設定する



タクシー認識マーク（住所・施設）



住所や施設を発声すると、その地点を目的地としてルートを探索することができます。

1 「タクシー」と話します。

- "タクシー認識マーク（住所・施設）"が表示され、「どちらへ行きますか」というトークバックが聞こえます。

2 「○○○（地名または施設名称）」と話します。

- 「○○○まで案内します」というトークバックが聞こえます。
- 地図が表示され、目的地に設定しルート探索が開始されます。

ワンポイント
- 認識できる住所・施設名称は**「施設で地図を呼び出す」「住所で地図を呼び出す」**と同様です。（87，92ページ参照）
- 自動でタクシーモードを開始することができます。**「自動タクシーモードの設定」**（下記参照）

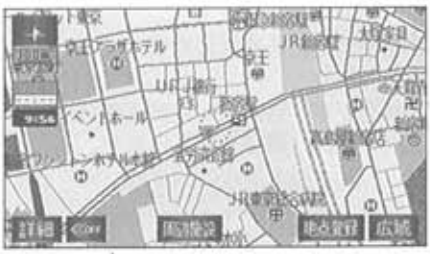
クイックリファレンス

<タクシーモードで目的地を設定する>

1 「タクシー」

2 「○○○（地名または施設名称）」

自動タクシーモードを設定する



どちらへ行きますか？



ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、音声操作で目的地を設定することができます。

- ナビゲーション画面が立ち上がると、「どちらへ行きますか」という音声案内が出力され、目的地を設定することができます。

ワンポイント
「どちらへ行きますか」という音声案内の後に音声認識スイッチを押して，「○○○（地名または施設名称）」と話します。

自動タクシーモードをON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 MEMU を押します。

2 メニュー画面で**ナビ設定**にタッチします。

クイックリファレンス

<自動タクシーモードを設定する>

1 MEMU

2 ナビ設定

次ページに続く

2. 音声操作システムの操作例

3 自動タクシーモードの**する**、または**しない**にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

4 **完了**にタッチします。

ワンポイント
●**初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。
●すでに目的地が設定されているときは「どちらに行きますか」という音声案内は出力されません。

ハンズフリー機能

携帯電話を操作しなくても、音声で電話をかけることができます。

ダイヤル発信で電話をかける



1 「電話をかける」と話します。
●「電話番号をお話しください」というトークバックが聞こえます。

2 音声認識スイッチを押して、「○○○(相手の電話番号)」と話します。

3 「発信」と話します。

4 相手が出たら通話します。

5 通話が終了したら、音声認識スイッチを押して、電話を終了します。

クイックリファレンス

<ダイヤル発信で電話をかける>

1
「電話をかける」

2
音声認識スイッチを押す
「○○○(相手の電話番号)」

3
「発信」

4
通話
「×××」

5
電話の終了

クイックリファレンス

<メモリダイヤルから電話をかける>

1 「メモリダイヤル」

2 音声認識スイッチを押す
「○○○(メモリダイヤルの名前)」

3 通話
「×××」

4 電話の終了

メモリダイヤルから電話をかける

ワンポイント
- 事前にメモリダイヤルを登録しておく必要があります。メモリダイヤルの登録については295ページを参照してください。



1 「メモリダイヤル」と話します。
- 「メモリダイヤルの名前をお話しください」というトークバックが聞こえます。

2 音声認識スイッチを押して、「○○○(メモリダイヤルの名前)」と話します。

3 相手が出たら通話します。

4 通話が終了したら、音声認識スイッチを押して、電話を終了します。

3. 音声認識コマンド一覧

音声操作するときの音声認識コマンド一覧を紹介します。
画面に表示されているタッチスイッチやパネルスイッチの名称はすべて音声コマンドとして認識できます。ただし、リストの項目や名称が記号になっているタッチスイッチ、インフォメーション機能、画質調整などのテレビやオーディオの操作に関連するタッチスイッチの名称は認識できません。

ワンポイント
- ●画面に表示中のタッチスイッチのみ有効です。
- ●画面の表示状況によっては、認識されないことがあります。

<音声認識コマンド一覧表の見方>

■音声認識コマンドについて

●のコマンドは最後に「**消去**」、または「**解除**」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「**2画面表示**」…「**2画面表示解除**」（または「**2画面表示消去**」）と発声すると、2画面表示が解除されます。

◆のコマンドは最初に「**右画面**」と発声することにより、右画面の設定が切り替わります。

例）：「**詳細**」…「**右画面詳細**」と発声すると、右画面の地図が1段階詳細なものになります。

■読みについて

「**|**」の記号は「**|**」の前後どちらかのコマンドを話すと認識できます。

例）：**ぜんるーと（ずl ひょーじ）**…**ぜんるーとず**または**ぜんるーとひょーじ**と話します。

「**[ ]**」の記号は「**[ ]**」内のコマンドを話しても、話さなくても認識できます。

例）：**しがい［ち］ず［ひょーじ］**…**しがいず、しがいちず、しがいずひょーじ**または**しがいちずひょーじ**と話します。

ナビゲーション画面を切り替えるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
現在地	げんざいち｜なび	現在地画面を表示する
メニュー画面	めにゅーがめん	メニュー画面を表示する
目的地設定	もくてきちせってー[がめん]	目的地設定画面を表示する

操作のヒントを表示するコマンド

ヒント対象画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
?ヒント	[はてな｜クエスチョン]ひんと	操作のヒントを表示する

ナビゲーションの各機能を実行するコマンド

現在地、地図画面を表示中に有効です。

＜音声認識コマンド一覧表の見方＞

■音声認識コマンドについて

●のコマンドは最後に「**消去**」、または「**解除**」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「**2画面表示**」…「**2画面表示解除**」（または「**2画面表示消去**」）と発声すると、2画面表示が解除されます。

◆のコマンドは最初に「**右画面**」と発声することにより、右画面の設定が切り替わります。

例）：「**詳細**」…「**右画面詳細**」と発声すると、右画面の地図が1段階詳細なものになります。

音声認識コマンド		読　み	機　能
詳細 ◆		しょーさい	1段階詳細地図を表示する
広域 ◆		こーいき	1段階広域地図を表示する
○（数字）メートル ◆		○めー（とる｜たー）[すけーる]	○メートルで地図を表示する
○（数字）キロメートル ◆		○きろめー（とる｜たー）[すけーる]	○kメートルで地図を表示する
市街図※1 ◆		しがい［ち］ず［ひょーじ］	市街図を表示する
3D市街図※1 ◆		（さんでぃー｜すりーでぃー）しがい［ち］ず［ひょーじ］	3D市街図（リアル市街図）を表示する
地図向き変更 ◆		ちず［の］むきへんこー	地図向きを変更する
ノースアップ ◆		のーすあっぷ	ノースアップで表示する
ヘディングアップ ◆		へでぃんぐあっぷ	ヘディングアップで表示する
3D表示 ◆●		（さんでぃー｜すりーでぃー）ひょーじ	3D画面を表示する
2画面表示 ●		にがめんひょーじ	2画面で表示する
ツイン表示		ついんひょーじ	2画面で表示する
3Dツイン表示		（さんでぃー｜すりーでぃー）ついんひょーじ	3D2画面で表示する
施設名称	ガソリンスタンド	がそりんすたんど｜じーえす	施設名称のランドマークを表示する
	コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ｜こんびに	
	レストラン	れすとらん	
	喫茶店	きっさてん	
	銀行	ぎんこー	
	駐車場	ちゅーしゃじょー	
右画面施設表示		みぎがめんしせつひょーじ	右画面に施設ランドマークを表示する
施設表示消去 ◆		しせつ［ひょーじ］（かいじょ｜しょーきょ）	施設ランドマークを消去する
高速路図表示※2 ●		こーそくりゃくずひょーじ	ハイウェイモード画面を表示する
都市高マップ表示※3 ●		としこー［そく］まっぷ［ひょーじ］	都市高マップを表示する
立ち寄り地点※4		たちよりちてん	目的地を追加する
全ルート図※4		ぜんるーと（ず｜ひょーじ）	全ルート図を表示する
再音声※5		さいおんせー	音声案内をもう一度聞く
メモリ地点		めもりちてん	メモリ地点を登録する
音声付きメモリ地点		おんせーつきめもりちてん	音声付きメモリ地点を登録する

（次ページに続く）

3. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド	読　み	機　能
方向付きメモリ地点※6	ほーこーつきめもりちてん	方向付きメモリ地点を登録する
VICS表示 ◆●	びっくすひょーじ	VICS情報を表示する
VICS全道路表示	びっくすぜんどー［ろ］ひょーじ	全ての道路にVICS情報を表示する
VICS高速道表示	びっくすこーそく［どー［ろ］］ひょーじ	高速道にVICS情報を表示する
VICS一般道表示	びっくすいっぱん［どー［ろ］］ひょーじ	一般道にVICS情報を表示する
VICSFM文字表示	びっくすえふえむもじひょーじ	VICSFM文字情報を表示する
VICSFM図形表示	びっくすえふえむずけいひょーじ	VICSFM図形情報を表示する
VICS割込情報	びっくすわりこみじょーほー	VICS割り込み情報を表示する

※1…市街図収録エリアのとき
※2…高速道路を走行しているとき
※3…目的地案内中に都市高速を走行しているとき
※4…目的地が設定されているとき
※5…目的地案内中のとき
※6…現在地のとき

この他にもナビゲーションの画面（一部除く）に表示されるスイッチ名称に対して音声で操作することができます。

地点を検索・表示するコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
住所	じゅーしょ	住所認識モードに切り替える
施設	しせつ	施設認識モードに切り替える
タクシー	たくしー	タクシーモードに切り替える

ナビゲーションの画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
電話番号入力	でんわばんごー［にゅーりょく］［がめん］	電話番号入力画面に切り替える
マップコード入力	まっぷこーど［にゅーりょく］［がめん］	マップコード入力画面に切り替える
自宅に帰る※1	じたく（え｜に）かえる	自宅までのルートを探索する
特別メモリ○（1～5）に行く※2	とくべつめもり○（え｜に）いく	特別メモリ○までのルートを探索する

※1…自宅が登録されているとき
※2…特別メモリ地点が登録されているとき

住所、施設認識モードおよびタクシーモードで有効です。
（発声する前に音声認識スイッチを押してください）

音声認識コマンド	読　み	機　能
中止、キャンセル	ちゅーし｜きゃんせる	コマンドを中止（キャンセル）する
戻る	もどる	前の状態に戻す
番地入力※1	ばんちにゅーりょく｜ばんち	番地入力モードに切り替える
次の候補※2	つぎのこーほ｜ちがう	次の候補を表示する

※1…住所認識モードで番地を入力するとき
※2…住所、施設認識モードで複数の施設を検索し地図表示したとき（6秒間）

3. 音声認識コマンド一覧

ナビゲーションの設定を変更するコマンド

ナビゲーションすべての画面で有効です。

<音声認識コマンド一覧表の見方>

■音声認識コマンドについて

●のコマンドは最後に「**消去**」、または「**解除**」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「**2画面表示**」…「**2画面表示解除**」（または「**2画面表示消去**」）と発声すると、2画面表示が解除されます。

◆のコマンドは最初に「**右画面**」と発声することにより、右画面の設定が切り替わります。

例）：「**詳細**」…「**右画面詳細**」と発声すると、右画面の地図が1段階詳細なものになります。

音声認識コマンド	読　み	機　能
立体ランドマーク ●	りったいらんどまーく［ひょうじ］	立体ランドマークを表示する設定
ビーコン割込（文字） ●	びーこんわりこみもじ［じどーわりこみ］［ひょーじ］	VICS文字情報の割り込みを表示する設定
ビーコン割込（図形） ●	びーこんわりこみずけー［じどーわりこみ］［ひょーじ］	VICS図形情報の割り込みを表示する設定
注意警戒情報 ●	ちゅーいけーかいじょーほー［じどーわりこみ］［ひょーじ］	VICSの注意警戒情報を表示する設定
VICS渋滞・混雑表示 ●	びっくすじゅーたいこんざつ［どーろ］［ひょーじ］	VICSの渋滞情報を表示する設定
VICS空き道表示 ●	びっくすあきみち［ひょーじ］	VICSの空いている道の情報を表示する設定
VICS規制情報表示 ●	びっくすきせーじょーほー［ひょーじ］	VICSの規制情報を表示する設定
VICS駐車場表示 ●	びっくすちゅーしゃじょー［じょーほー］［ひょーじ］	VICSの駐車場情報を表示する設定
VICS渋滞考慮探索※ ●	びっくすじゅーたいこーりょたんさく	VICSの渋滞を考慮してルートを探索する設定
ナビボリュームアップ	なびおんりょーあっぷ	ナビ音量を1段階上げる
ナビボリュームダウン	なびおんりょーだうん	ナビ音量を1段階下げる
ナビミュート ●	なびおんりょーみゅーと	ナビ音量をOFFにする

※…目的地が設定されているとき

知りたインフォコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
おはよう	おはよー［ございます］	あいさつをする
こんにちは	こんにちわ	あいさつをする
こんばんは	こんばんわ	あいさつをする
おやすみ	おやすみ［なさい］	あいさつをする
今日の ラッキーカラーは？	［きょーの］ らっきーからー［わ］	今日のラッキーカラーを聞く
今日の運勢は？	［きょーの］（うんせー［わ］ ｜おみくじ｜うらない	今日の運勢を聞く
今日は何日？	きょーわ（なんにち｜ なんようび）	今日の日付の案内
今何時？ 今日は何の日？	いまなんじ きょーわなんのひ	現在の時間の案内 今日の記念日の案内
今走っている道路は？	いまはしっているどーろ ［めー］［わ］	走行中の道路名称の案内
どっち向いているの？	どっちむいている［の］	方角の案内
あとどれくらい？※1 あと何分？※1	あとどれくらい あとなん（ふん｜ぷん｜じかん）	目的地までの時間の案内 目的地までの時間の案内
あと何キロ？※1	あとなんきろ	目的地までの距離の案内
いつ着きますか？※1	（いつ｜なんじに） （つきますか｜つく［の］）	目的地までの時間の案内
次の目的地にいつ 着きますか？※2	つぎのもくてきちに［わ］ （いつ｜なんじに）（つきますか ｜つく［の］）	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あとどれくらい？※2	つぎのもくてきちまで［あと］ どれくらい	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あと何分？※2	つぎのもくてきちまで［あと］ なん（ふん｜ぷん）	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あと何キロ？※2	つぎのもくてきちまで［あと］ なんきろ	次の目的地までの距離の案内
どこから乗るの？※1	どこ（で｜から）のる［の］	入るインターチェンジ（IC） の案内
どこで降りるの？※1	どこ（で｜から）おりる［の］	出るインターチェンジ（IC） の案内
この先渋滞は？※1	このさき［の｜に］（じゅーたい ｜きせー）わ［ある｜ありますか］	約10km先までの渋滞の案内
今何Km/h?	いまなんきろ	現在の速度の案内
次の施設は？※3	つぎのしせつわ［なに］	最寄りのインターチェンジ（IC）、 ジャンクション（JCT）、 サービスエリア（SA）、 パーキングエリア（PA）の案内
次のSA/PAは？※3	つぎの（さーびすえりあ｜ ぱーきんぐえりあ）わ［なに］	最寄りのサービスエリア（SA）、 パーキングエリア（PA）の案内

※1…目的地案内中のとき
※2…目的地案内中で複数目的地が設定されているとき
※3…高速道路を走行しているとき

3. 音声認識コマンド一覧

ハンズフリーで使用できるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
電話をかける	でんわをかける｜けいたいでんわ｜はんずふりー	ダイヤル発信画面を表示させ、電話発信をする
メモリダイヤル	めもりだいやる	メモリダイヤル発信画面を表示させ、電話発信をする
リダイヤル	りだいやる	リダイヤルをする

SECTION 8 オプション機能

この章では、別売の外部機器を接続すると操作できる機能について説明します。

1.電話機の接続 ……246
電話機の取り付け ……246
電話機の取りはずし ……246
2.接続先の設定 ……248
通信モードの設定 ……248
3.インターネットの操作 ……250
インターネットとは ……250
インターネット情報について ……250
インターネットメニューの表示 ……251
インターネットを初めて使うときは ……253
ホームページの表示 ……253
Bookmark ……254
Bookmarkを登録する ……254
Bookmarkを呼び出す ……254
Bookmarkを編集する ……255
Bookmarkを削除する ……256
インターネット接続（URL入力） ……257
履歴 ……258
メール ……258
ブラウザ設定（インターネット専用） ……259
接続設定 ……260
登録済みのプロバイダから設定する ……260
希望のプロバイダを入力して設定する ……263
4.iモードの操作 ……266
iモードとは ……266
iモードのご利用について ……267
iモードメニュー画面の表示 ……268
サイト（番組）の接続 ……269
iモードによる施設検索 ……271
Bookmark ……271
Bookmarkを登録する ……271
Bookmarkを呼び出す ……272
メール・メッセージとは ……273
メールやメッセージの受信 ……273
iモードメール ……274
受信メールを表示する ……274
メールを返信する ……276
メールを転送する ……278
メールを作成する ……279
位置を添付する ……281
アドレスを表示する ……282
アドレスを登録する ……282
アドレスを修正する ……284
アドレスを削除する ……285

メッセージの表示……285
インターネットの接続……287
ブラウザ設定（iモード専用）……288
5.ハンズフリー機能の操作……289
ハンズフリーの概要……289
操作画面の概要……290
電話をかける……290
番号を入力して電話をかける……290
着信履歴から電話をかける……292
メモリダイヤルから電話をかける……293
リダイヤルから電話をかける……294
電話を受ける……294
電話番号の登録……295
ダイヤル発信画面から登録する……295
メモリダイヤル発信画面から登録する……296
携帯電話の登録メモリを登録する……297
メモリダイヤルの変更・削除……298
メモリダイヤルを変更する……298
メモリダイヤルを削除する……298
設定……299
電話番号を転送する……299
登録されている電話番号を消去する……299
6.ヘルプネットの操作……300
ヘルプネットとは……303
緊急通報……303
緊急通報の主な流れ……304
各部の名称とはたらき……305
マイク……305
会員登録するとき……306
会員登録を解約するとき……308
通報するとき……308
システムの点検……312
自動保守点検……312
手動保守点検……313
一般電話を使うとき……316
ヘルプネットの緊急通報ができない場合について……318
廃車／転売について……320
7.ETCシステムの操作……321
ETC車載器を初めて使う……321
車両情報などをETC車載器に登録する……321
ETCカードを入手する……321
ETCとは……322
ETCメニュー画面……323
履歴の表示……323

登録情報の表示 ……324
ETCの設定 ……324
ETCの各項目を設定する ……324
ETC割り込み案内について ……324
8.バックモニターの操作 ……325
バックモニターの映像 ……325

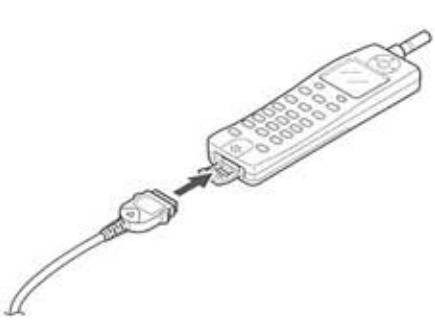
1. 電話機の接続

携帯電話接続ケーブル（オプション）を使って本機と携帯電話を接続することでインターネット、「iモード」、ハンズフリー、ヘルプネットなどの機能を使用することができます。

注意

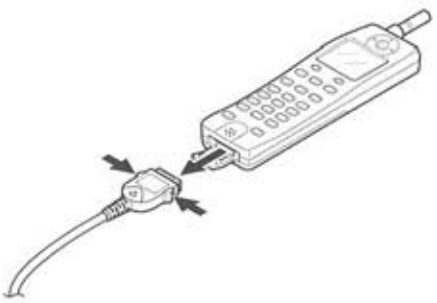
走行中に携帯電話とコネクタの接続や携帯電話本体のご使用はさけてください。

電話機の取り付け



1 本機に携帯電話接続ケーブル（オプション）を接続します。携帯電話のコネクタ接続部のふたを開け、コネクタを接続します。

電話機の取りはずし



1 ツマミを押しながら携帯電話を引き抜きます。

注意

指定の携帯電話以外は絶対にご使用にならないでください。指定外の携帯電話をご使用になると、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。

ワンポイント

- 携帯電話の電波の届くところでご使用ください。
- 本機は、携帯電話に対する充電機能をもっていません。なるべく満充電に近い状態で使用してください。バッテリーが切れたら電話が使用できなくなります。
- 携帯電話を本機に接続中、携帯電話の充電ランプが点灯または点滅していても、異常な状態ではありません。
- 電話接続時は、携帯電話本体での操作（EZweb／EZaccess／「iモード」などを含む）を行わないでください。誤動作の原因になることがあります。
- エンジンがかかっているときに携帯電話を接続すると、一時的に携帯電話の電源が切れますが、しばらくするとONの状態に戻ります。
- 上記の動作直後、あるいは携帯電話を接続した状態でエンジンをかけた直後は、通信および電話をかけることはできません。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチONで表示部の照明がついたままになることがあります。この場合は携帯電話の照明をOFFに設定してください。（設定については携帯電話の取扱説明書を参照してください）
- エンジンを切っても携帯電話の電源がOFFされない場合がありますので、エンジンを切った後、必ず携帯電話の電源を確認してください。

2. 接続先の設定

「iモード」、インターネットを使うにはそれぞれ接続先が異なるため、通信モードを設定する必要があります。

注意

走行中に携帯電話とコネクタ接続や携帯電話本体の使用はさけてください。

ワンポイント

- 携帯電話本体にダイヤルロックがかけられていないか確認してください。ダイヤルロックがかけられていると通信できません。ダイヤルロックを解除してから接続してください。
- 通信接続中は、携帯電話の操作はしないでください。
- 通信を行うときは、携帯電話または自動車電話の電波のよく届くところで使用してください。
- サイトの情報やインターネット上のホームページは一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページから本機に取り込んだ文章や画像などのデータを個人として楽しむ以外に、著作権者の許可無く、一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。

通信モードの設定



1 インフォメーション（情報）画面で **通信設定** にタッチします。



2 使用する接続先の左にある○にタッチします。

3 **設定完了** にタッチします。

クイックリファレンス

1 **通信設定**

2 **○選択**

3 **設定完了**

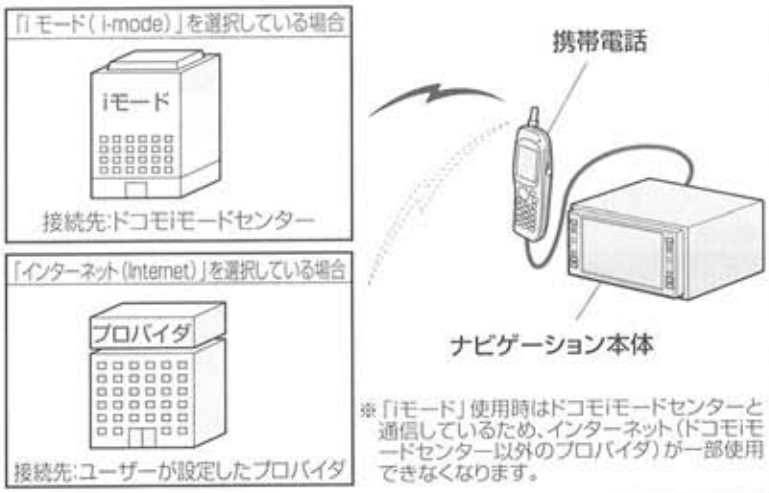
ワンポイント

● 「iモード（i-mode）」「インターネット（Internet）」を選択すると、それぞれの機能を優先するため、通信状況が下記のようになります。

1. 「iモード（i-mode）」を選択している場合、iモードの機能を優先します。
   ナビゲーション画面表示中に下記の項目を受信できます。
   ・iモードメール
   ・メッセージフリー、メッセージリクエスト
2. 「インターネット（Internet）」を選択している場合、インターネットの機能を優先するため、「iモード」の機能が一部使えなくなります。
   iモードのメール・メッセージをナビゲーションではなく、携帯電話で受信することができます。（携帯電話で受信したiモードのメール・メッセージは、ナビゲーションで見ることができません）

●通信モードを設定した後は、それぞれの機能の説明にしたがい操作してください。
iモード……266ページ参照
インターネット… 次ページ参照

（例）「iモード」使用時



※「iモード」使用時はドコモiモードセンターと通信しているため、インターネット（ドコモiモードセンター以外のプロバイダ）が一部使用できなくなります。

3. インターネットの操作

インターネットとは

全世界のコンピュータが共通の通信方式（プロトコル）に基づいて接続されたネットワークです。インターネットではこのネットワークを利用して、さまざまな情報や電子メール（電子の葉書）などの送受信ができます。
インターネットを使用する際は事前にプロバイダとの契約が必要となり、プロバイダとの契約料および携帯電話の使用料が必要となります。
プロバイダによっては携帯電話からの接続ができないところもありますので、お確かめください。また、プロバイダによってはパケット通信での接続ができないところもありますのでお確かめください。

ワンポイント

BitSpirit® Internet Copyright 1995-2002 Aplix Corporation. All rights reserved.
本機で使用されているブラウザはBitSpirit® Internetです。
BitSpiritは株式会社アプリックスの登録商標です。
BitSpirit Internetロゴは，株式会社アプリックスの商標です。

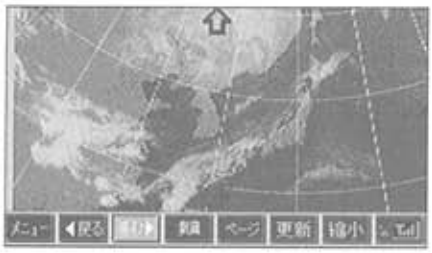


インターネット情報について

インターネットは大きくわけて「ホームページの閲覧、ホームページの公開」「データファイルの送受信」ができます。

情報の例





ワンポイント

インターネットの情報やアドレスは予告なく変更されることがあります。

インターネットメニューの表示

インターネットを利用するときのメニュー画面について紹介します。

クイックリファレンス

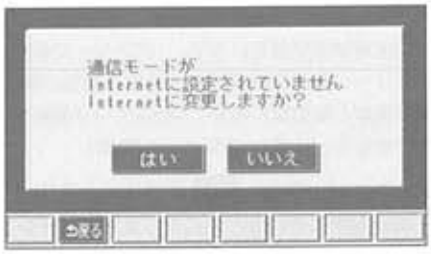
1 インターネット



1 インフォメーション（情報）画面で**インターネット**にタッチします。

ワンポイント

●通信モード（接続先）が「インターネット（Internet）」に設定されていない場合、メッセージが表示されます。（下記画面）



はいにタッチして通信モードを「インターネット（Internet）」に切り替えてください。

●auのcdmaOne（C3XX系以降）以外の携帯電話をご使用の方は「接続しますか？」とメッセージが表示されます。（下記画面）



いいえにタッチしてください。

3. インターネットの操作



●インターネットメニュー画面が表示されます。

ワンポイント

ホーム ……ホームページを表示します。(次ページ参照)

Bookmark ……Bookmarkに登録されているホームページを表示します。(254ページ参照)

URL入力 ……ホームページのアドレス(URL)を入力してインターネットへ接続することができます。(257ページ参照)

履歴 ……前回見たホームページを表示します。(258ページ参照)

メール ……メールの確認や送受信をします。(258ページ参照)

ブラウザ設定 ……インターネット画面の表示設定や回線の自動切断、メールの受信方法などを設定します。(259ページ参照)

接続設定 ……接続先の設定をします。(260ページ参照)

( ) ……インターネット接続中は が表示されます。 が表示されているときにタッチするとインターネットの接続を切断し、 が表示されます。

インターネットを初めて使うときは

インターネットを初めて使用する場合、プロバイダとの契約を行わなくてはなりません。プロバイダより送られてくる各種設定条件を入力後、インターネットが使用できるようになります。
プロバイダの各種設定条件の入力（接続先の設定）は260ページを参照してください。

ホームページの表示

起動時に設定されているホームページを表示します。

クイックリファレンス

1 ホーム



1 インターネットメニュー画面で**ホーム**にタッチします。

●ホームページが表示されます。

ワンポイント

- **メニュー** ……インターネットメニュー画面へ戻ります。
- **◀戻る** ……1つ前の画面を表示します。
- **進む▶** ……次の画面を表示します。
- **登録** ……Bookmarkを表示します。Bookmarkが登録されていない場合、表示できません。Bookmarkの登録は次ページを参照してください。
- **ページ** ……スイッチの表示を切り替え、**登録** **タイトル**（**アドレス**）のスイッチを表示します。
- **登録** ……表示しているサイトをBookmarkに登録します。（次ページ参照）
- **タイトル** ……タッチすると表示中のページのタイトルを画面上部に表示し、スイッチ表示は**アドレス**になります。
- **アドレス** ……タッチすると表示中のページのアドレスを画面上部に表示し、スイッチ表示は**タイトル**になります。
- **更新** ……表示しているサイトを最新の情報に更新します。
- **縮小** ……表示している画面を縮小します。タッチするとスイッチ表示は**拡大**になります。
- **拡大** ……表示している画面を拡大します。タッチするとスイッチ表示は**縮小**になります。

●**ホーム**にタッチしたときに表示されるホームページを変更する場合、ホームページ設定（264ページ参照）を変更してください。

3. インターネットの操作

Bookmark

よく見るページはBookmarkに登録しておくと、毎回アドレスを入力しなくても少ない手順で表示できるようになります。



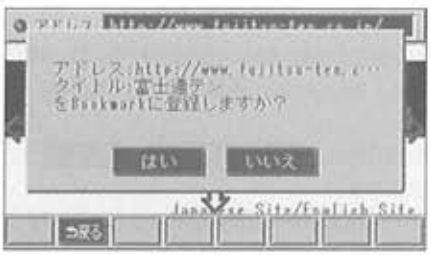
Bookmarkを登録する

1 登録したいホームページを表示します。

2 **ページ** にタッチします。



3 **登録** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



Bookmarkを呼び出す

1 インターネットメニュー画面で **Bookmark** にタッチします。

- 登録されているページがリスト表示されます。

ワンポイント
- 画面下に 登録 が表示されているとき 登録 をタッチしてもBookmarkを呼び出すことができます。

クイックリファレンス

<Bookmarkを登録する>

1 ホームページを表示

2 ページ

3 登録

4 はい

クイックリファレンス

<Bookmarkを呼び出す>

1 Bookmark

2 選択



2 表示したいページをタッチします。



●選択したページが表示されます。

クイックリファレンス

<Bookmarkを編集する>

1 Bookmark

2 編集

3 選択

次ページに続く





Bookmarkを編集する

【例】タイトルを修正します。

1 インターネットメニュー画面で Bookmark にタッチします。

2 編集 にタッチします。

3 編集するBookmarkにタッチします。

3. インターネットの操作



4 タイトルにタッチします。



5 タイトルを修正します。

6 修正が終了したら **完了** にタッチします。



7 **完了** にタッチします。

ワンポイント
- URLにタッチしてインターネットアドレスを修正することもできます。



Bookmarkを削除する

1 インターネットメニュー画面で **Bookmark** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 削除するBookmarkにタッチします。

ワンポイント
- **全消去** にタッチすると、登録されているすべてのホームページを消去します。

クイックリファレンス

<Bookmarkを削除する>

1 Bookmark

2 編集

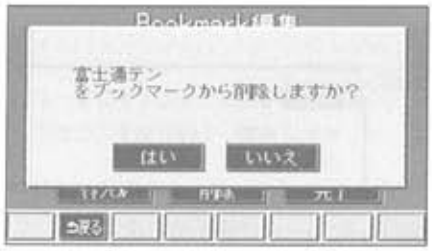
3 選択

4 削除



4 **削除** にタッチします。

5 はい



5 **はい** をタッチします。

インターネット接続（URL入力）

クイックリファレンス

ホームページのアドレス（URL）を入力して指定したホームページを表示します。

1 URL入力

2 文字

3 完了



1 インターネットメニュー画面で **URL入力** にタッチします。

2 接続したいインターネットのアドレスを入力します。

3 入力が終了したら **完了** にタッチします。

ワンポイント
- 文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。



●インターネットに接続され、指定したアドレスのホームページが表示されます。

ワンポイント
- ホームページ（検索サイトなど）の中から検索する場合、画面に表示されるキーボードからの半角カナ入力による検索ができないことがあります。全角カナ入力を使用して検索してください。

3. インターネットの操作

履歴

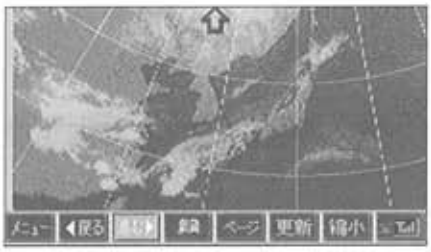
前回見たホームページを表示します。



1 インターネットメニュー画面で**履歴**にタッチします。

2 表示するホームページにタッチします。

ワンポイント
履歴にタッチするとインターネットに接続して呼び出すことができます。



●選択したページが表示されます。

クイックリファレンス

1 **履歴**

2 選択

メール

電子メールの確認や送受信をすることができます。
電子メールを使用する際は事前にプロバイダとメールの契約が必要となります。また契約後、プロバイダ設定画面（263ページ参照）でメール情報の設定が必要です。



1 インターネットメニュー画面で**メール**にタッチします。

●メール画面が表示されます。

●メールについての操作は274ページ以降を参照してください。

クイックリファレンス

1 **メール**

ワンポイント

新規メール作成 ……新しくメールを作成します。（279ページ参照）
受信メール ……受信済みのメールを表示します。（274ページ参照）
送信済メール ……送信済みのメールを表示します。
未送信メール ……未送信のメールを表示します。
アドレス帳 ……メールアドレスを表示・編集します。（282ページ参照）

ブラウザ設定（インターネット専用）

クイックリファレンス

インターネット画面の表示設定や回線の自動切断、メールの受信方法などを設定します。

1 ブラウザ設定

2 ○選択

3 次へ



1 インターネットメニュー画面で**ブラウザ設定**にタッチします。

2 設定する項目の左にある○にタッチします。

3 設定が終了したら**次へ**にタッチします。

ワンポイント

「表示」……情報を受信するときに「画像+文字」または「文字のみ」を設定することができます。（画像のデータ量が大きい場合、受信に時間がかかるため、文字データのみ受信して通信時間を短縮することができます）

「配色」……文字と背景色のコントラストが弱いページで、配色設定を変えて文字を読みやすくします。

「文字コード」……受信した文字のデータを表示するときの設定をします。（通常は「自動」を選択していれば正しく表示されます）

4 ○選択

5 次へ



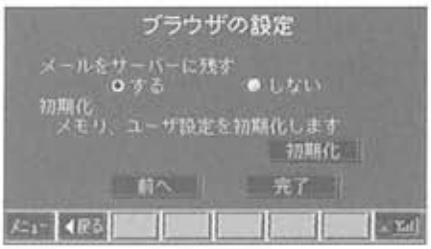
4 設定する項目の左にある○にタッチします。

5 設定が終了したら**次へ**にタッチします。

ワンポイント

「自動切断」……インターネットへ接続した後、通信していない状態が何分続いたときに回線を切断するかを設定します。

6 完了



6 すべての設定が終了したら**完了**にタッチします。

3. インターネットの操作

ワンポイント

「メールをサーバーに残す」 …オリジナルのメールをメールサーバーに残し、コピーを受信します。（本機では受信メールに添付ファイルがあっても表示することができないため、パソコンで同じメールを受信し直すときなどは「する」に設定します）

「初期化」 ……初期化にタッチすると、インターネットで登録されているメモリや設定を初期状態に戻します。（メールやBookmark、アドレス帳がすべて消去されます）

接続設定

接続先（プロバイダ）の設定をします。

クイックリファレンス

1 接続設定



1 インターネットメニュー画面で 接続設定 にタッチします。

●接続先設定画面が表示されます。



登録済みのプロバイダから設定する

登録されているプロバイダを選択し、設定することができます。

クイックリファレンス

<登録済みのプロバイダから設定する>

1 ○選択

1 接続先設定画面で使用するプロバイダ名の左にある○にタッチします。

2 設定完了

2 設定完了にタッチします。

ワンポイント

●au、ドコモまたはJ-PHONEの携帯電話をお使いの方は、あらかじめセットされているプロバイダを選択いただければ、携帯電話の通信料金のみでインターネットに接続することができます。
これらのインターネット接続サービスをご利用になる場合は、携帯電話各社のサービス内容をご確認の上、利用してください。

- 「auの携帯をお使いの方」の設定は
DA-RE-DE-MOのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名　：auの携帯をお使いの方
電話番号　　：#8753
ユーザＩＤ　：au
パスワード　：au
ＤＮＳサーバ1：210.157.0.1
ＤＮＳサーバ2：210.157.0.2
プロキシ　　：（設定なし）
ポート番号　：（設定なし）

※cdmaOneでもご利用になれますが、パケット通信には対応しておりません。
※auのcdmaOne携帯電話でパケット通信をご利用になる場合は、「cdmaOneの携帯電話をお使いの方」をお選びください。

- 「cdmaOneの携帯をお使いの方」の設定は
auのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名　：cdmaOneの携帯をお使いの方
電話番号　　：9999
ユーザID　　：au
パスワード　：au
ＤＮＳサーバ1：210.196.3.183
ＤＮＳサーバ2：210.141.112.163
プロキシ　　：（設定なし）
ポート番号　：（設定なし）
ドメインネーム：au-net.ne.jp

- 「ドコモの携帯をお使いの方」の設定は
NTTドコモ、moperaのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名　：ドコモの携帯をお使いの方
電話番号　　：#9602
ユーザID　　：mopera
パスワード　：mopera
ＤＮＳサーバ1：211.14.74.49
ＤＮＳサーバ2：211.14.74.50
プロキシ　　：（設定なし）
ポート番号　：（設定なし）

3. インターネットの操作

ワンポイント

- 「J-PHONEの携帯をお使いの方」の設定は
  J-PHONEのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

  プロバイダ名　：J-PHONEの携帯をお使いの方
  電話番号　　：＊7300
  ユーザＩＤ　：j@phone
  パスワード　：jphone
  ＤＮＳサーバ1：143.90.130.39
  ＤＮＳサーバ2：143.90.130.23
  プロキシ　　：（設定なし）
  ポート番号　：（設定なし）

●その他の通信事業者で接続される場合は、各通信事業者に確認の上、設定してください。なお、無料の接続サービスを行っていない通信事業者もあります。

クイックリファレンス

<希望のプロバイダを入力して設定する>

1 設定

2 文字

3 次へ

4 文字

5 次へ

次ページに続く



希望のプロバイダを入力して設定する

プロバイダから送られてくる各種の設定条件を入力します。

1 接続先設定画面でプロバイダの設定をする場所の右側にある **設定** にタッチします。

●一番下の空欄に、接続先プロバイダの設定を追加することができます。

ワンポイント

●「auの携帯をお使いの方」「cdmaOneの携帯をお使いの方」「ドコモの携帯をお使いの方」「J-PHONEの携帯をお使いの方」に希望のプロバイダを上書きすると、設定を変更することができます。ただし、一度変更すると元に戻すことはできませんのでご注意ください。

●変更した接続先設定を元の設定に戻したい場合は、**「接続設定」**（260ページ参照）を参考にして設定を元に戻してください。



2 設定する項目を入力します。

3 入力が終了したら **次へ** にタッチします。

ワンポイント

●入力するプロバイダ名や電話番号などは、契約したプロバイダより送られてきます。

●文字を入力するときは入力する項目の枠をタッチして、文字を入力します。

●文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。



4 同様に設定する項目を入力します。

5 入力が終了したら **次へ** にタッチします。

3. インターネットの操作



6 同様に設定する項目を入力します。

7 入力が終了したら**次へ**にタッチします。



8 同様に設定する項目を入力します。

9 入力が終了したら**次へ**にタッチします。



10 同様に設定する項目を入力します。

11 入力が終了したら**次へ**にタッチします。

ワンポイント「ホームページ設定」…インターネットメニュー画面(252ページ参照)の**ホーム**をタッチしたときに表示するホームページのアドレスを設定します。



12 同様に設定する項目を入力します。

13 入力が終了したら**次へ**にタッチします。

6 文字

7 次へ

8 文字

9 次へ

10 文字

11 次へ

12 文字

13 次へ

ワンポイント

「cdmaOne」……auのcdmaOne携帯電話でパケット通信をご利用になる場合に選択してください。
「その他」……au以外の携帯電話またはauのcdmaOne携帯電話で回線交換方式をご利用になる場合に選択してください。
「ドメイン（cdmaOneパケット通信用）」
……cdmaOneのパケット通信をご利用いただく場合に設定します。（通常は、変更する必要はありません）

- 携帯電話の通信設定（パケット通信かどうかなど）はナビゲーション本体の設定と同じにしてご利用ください。（設定方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
- プロバイダによってはパケット通信での接続ができないところもありますのでお確かめください。

14 ○はい

15 設定完了



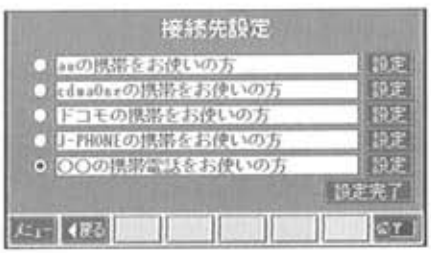
14 「はい」の左にある○にタッチします。

15 **設定完了**にタッチします。

ワンポイント

- **いいえ**にタッチすると、普段の接続先に設定されません。
- 入力が間違っているときは、接続できません。メッセージにしたがって再度入力してください。
- 電波状態が悪かったり、回線が混雑していると通信に失敗し、接続ができない場合があります。電波状態の良い場所へ移動するか、しばらくしてから再度、通信してください。

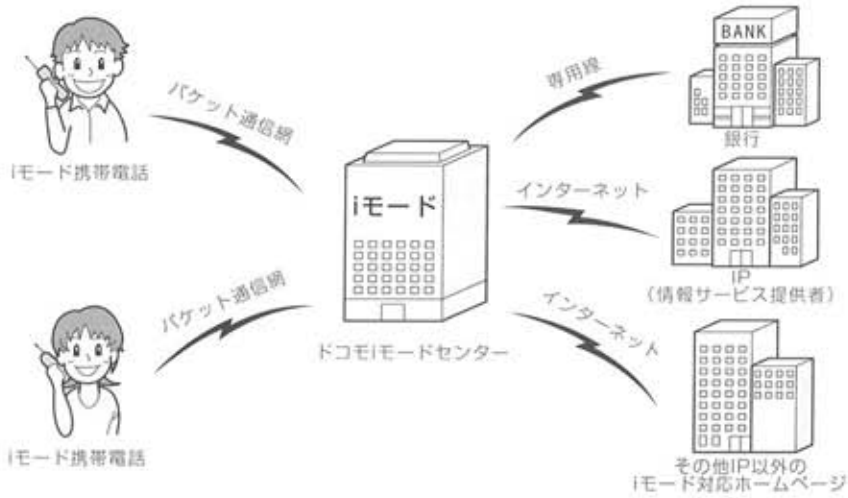
16 設定完了



16 **設定完了**にタッチします。

4.iモードの操作

iモードとは



「iモード」は、デジタル携帯電話（iモード携帯電話）を使ったオンラインサービスで、サイト（番組）接続サービスやメッセージサービス、iモードメールなどを利用することができます。
本機で「iモード」を利用する場合は本機対応の携帯電話（iナビリンク対応機※）が必要です。
※iナビリンク対応機についてはお近くのドコモ販売店またはドコモホームページをご覧ください。

ワンポイント
- 「iモード」および「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「iナビリンク」はNTTドコモの登録商標です。
- 本機は、株式会社NTTドコモとは何ら関係がありません。

①サイト（番組）接続サービス
簡単なキー操作によって、銀行の残高照会や振り込み、タウンページの電話番号検索など、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。

（例）サイト（番組）



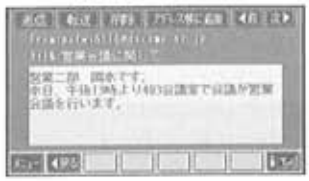
②メッセージサービス
各サイト（番組）で申し込みをすると、欲しい情報が自動的に届きます。例えば、ニュース速報や天気予報などを受けることができます。

（例）メッセージサービス



③iモードメール
「iモード」を契約するだけで、iモード携帯電話とのメールのやりとりはもちろん、e-mail（電子メール）のやりとりも可能です。

（例）iモードメール



④インターネット接続
見たいホームページアドレスを直接入力すると、iモードセンターを通してインターネットに接続し、iモード対応のホームページを見ることができます。

（例）インターネット接続



⑤「iモード」による施設検索
iモードのサイトを利用して検索した施設を地図上に表示することができます。

（例）iモードによる施設検索



iモードのご利用について

- ●本機での「iモード」のご利用には、「iナビリンク」（カーナビ接続）機能搭載のiモード携帯電話が必要です。
- ●「iモード」のご利用には、ドコモグループ各社のいずれかと800Mデジタル携帯・自動車電話の契約とパケット通信サービス契約および「iモード」の利用申し込みが必要となります。
  契約についての詳細は、携帯電話に付属の取扱説明書または携帯電話販売店にて確認してください。
- ●「iモード」は月額基本使用料のほかに、お客様がご利用になったデータ量に応じて、パケット通信料がかかります。受信状況および受信したデータにより正しく受信されない場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
- ●「iモード」の操作については、携帯電話に付属のiモード取扱説明書を熟読した後、本書をご覧ください。
- ●「iモード」のサイトには、一部有料のものがあります。
- ●本機で「iモード」サイトを見る場合、表示内容などがiモード携帯電話と異なる場合があります。また、一部サイトが表示できない場合があります。
- ●本機と「iモード」携帯電話を接続した状態でiモードメールを送受信した場合、iモードメールに関する送信記録および受信したiモードメールは、本機に保存され、iモード携帯電話には保存されません。
- ●本機は「iアプリ」などのiモード対応カーナビ非対応サービス/機能には対応しておりません。

ワンポイント

- ●「iモード」を利用されるときは携帯電話本体にダイヤルロックがかけられていないか確認してください。ダイヤルロックがかけられていると通信できません。携帯電話本体でダイヤルロックを解除してからコネクタに接続してください。
- ●携帯電話の電波が届くところで使用してください。
- ●「iモード」の利用は、エンジンをかけてから行ってください。エンジンをかける前、かけているときに接続すると、通信が切れることがあります。

4.iモードの操作

iモードメニュー画面の表示

「iモード」を利用するときのメニュー画面について紹介します。

クイックリファレンス

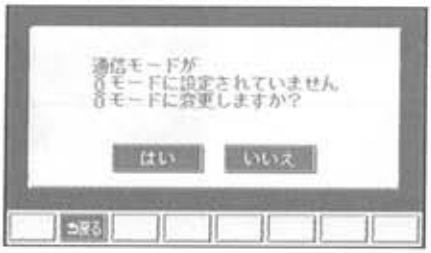
1 iモード



1 インフォメーション（情報）画面で **iモード** にタッチします。

ワンポイント

●通信モード（接続先）が「iモード（i-mode）」に設定されていない場合，メッセージが表示されます。（下記画面）



はい にタッチして通信モードを「iモード（i-mode）」に切り替えてください。

●「接続しますか？」とメッセージが表示された場合（下記画面），**いいえ** にタッチしてください。





●iモードメニュー画面が表示されます。

ワンポイント

- **i Menu** ……ドコモiモードセンターに接続され、サイト（番組）を表示することができます。（下記参照）
- **Bookmark** ……Bookmarkに登録されているサイト（番組）を表示します。（271ページ参照）
- **Internet** ……アドレスを入力してインターネットへ接続することができます。（287ページ参照）
- **履歴** ……前回見たサイトを表示します。
- **メール・メッセージ** ……メールの確認や送受信をします。（274、285ページ参照）
- **ブラウザ設定** ……iモード画面の表示設定やメールの受信を設定します。（288ページ参照）
- ……iモード接続中は「i」が点灯します。「i」が点灯しているときにタッチするとiモードの接続を切断し、「i」が消灯します。

サイト（番組）の接続

情報提供者によって用意されたサイトに接続し、情報を入手することができます。

クイックリファレンス

1 i Menu

2 選択 ■



1 iモードメニュー画面で **i Menu** にタッチします。

●iモードセンターに接続され、iモードメニュー画面が表示されます。

2 希望する項目にタッチします。

ワンポイント

- ●表示される項目の詳細は携帯電話に付属のiモード取説書を参照してください。
- ●「接続しますか？」とメッセージが表示された場合（下記画面）、**はい** にタッチしてください。





●選択したサイトの情報が表示されます。

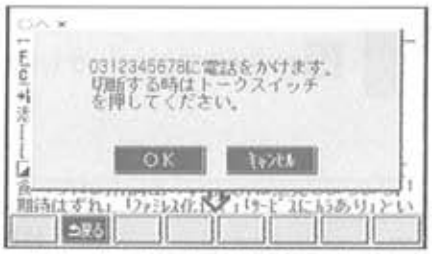
4.iモードの操作

ワンポイント

◀戻る ……1つ前の画面を表示します。
進む▶ ……次の画面を表示します。
[Bookmark] ……Bookmarkを表示します。Bookmarkが登録されていない場合，表示できません。Bookmarkの登録は次ページを参照してください。
ページ ……スイッチの表示を切り替え，登録 タイトル（アドレス）のスイッチを表示します。
登録 ……表示しているサイトをBookmarkに登録します。（次ページ参照）
タイトル ……タッチすると表示中のページのタイトルを画面上部に表示し，スイッチ表示はアドレスになります。
アドレス ……タッチすると表示中のページのアドレスを画面上部に表示し，スイッチ表示はタイトルになります。
更新 ……表示しているサイトを最新の情報に更新します。
縮小 ……表示している画面を縮小します。タッチするとスイッチ表示は 拡大 になります。
拡大 ……表示している画面を拡大します。タッチするとスイッチ表示は 縮小 になります。

●サイトの中には，直接電話をかけることができるものがあります。このとき，電話番号にタッチするとメッセージが表示されます。（下記参照）

※「iモード」に接続しているときは，「電話機使用中です。切断してもよろしいですか？」とメッセージが表示されます。 はい にタッチしてiモードの接続をいったん解除してください。



※トークスイッチ（音声認識スイッチ）

OK …表示された電話番号に電話をかけます。通話が終わったら音声認識スイッチ（218ページ参照）を押してください。
キャンセル …元の画面に戻ります。

●サイトの中には直接メール作成をできるものがあります。このとき，リンクにタッチすると送信メール画面が表示され，メールを作成できます。（279ページ参照）

●サイトの中には，ナビゲーションの地図上に場所を表示することができるサイト（iナビリンクサイト）があります。このとき，リンク（住所・電話番号など）にタッチするとナビゲーションの地図上に場所が表示されます。（次ページ参照）

iモードによる施設検索

「iモード」のサイトの中には位置データ（緯度・経度）を利用したカーナビ向けサイト（iナビリンクサイト）があります。
位置情報を入手すると、ナビゲーションの地図上に場所を表示させることができます。

クイックリファレンス

1 iナビリンクサイトを表示



1 iモードメニュー画面からiナビリンクサイトを表示します。

●一例としてこの画面では、〔ナビで見る〕にタッチします。

ワンポイント
●位置情報を提供しているサイトによって〔ナビで見る〕という表示は異なります。



●サイトの指示にしたがって操作すると、地点をナビゲーションの画面上に表示することができます。

ワンポイント
●**目的地セット**…✛の中心を目的地に設定します。
地点登録…✛の中心をメモリ地点に登録します。

Bookmark

よく見るサイトはBookmarkに登録しておくと、毎回アドレスを入力しなくても少ない手順で表示できるようになります。

クイックリファレンス
<Bookmarkを登録する>

1 サイトを表示

2 **ページ**

次ページに続く



Bookmarkを登録する

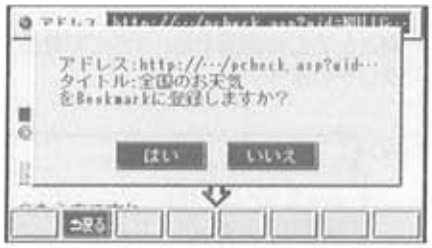
1 iモードメニュー画面から登録したいサイトを表示します。

2 **ページ**にタッチします。

4.iモードの操作



3 登録 にタッチします。



4 はい にタッチします。

●いいえ にタッチすると元の画面に戻ります。



Bookmarkを呼び出す

1 iモードメニュー画面で Bookmark にタッチします。

ワンポイント
画面下に 録 が表示されているとき 録 をタッチしてもBookmarkを呼び出すことができます。

●登録されているサイトがリスト表示されます。

2 表示したいサイトをタッチします。

●選択したサイトが表示されます。



クイックリファレンス

<Bookmarkを呼び出す>

1 Bookmark

2 選択 ■

メール・メッセージとは

「iモード」ではiモードメールやメッセージを受信することができます。

1.iモードメール
「iモード」携帯電話同士はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。

2.メッセージ
サイトから情報を入手するサービスにはメッセージサービスがあり、メッセージサービスは2種類あります。
・メッセージ〔R〕（リクエスト）…サイトと契約することで、必要なメッセージを自動で受信できます。
・メッセージ〔F〕（フリー）……サイトとの契約が不要な無料のメッセージを受信できます。



メールやメッセージの受信

メールやメッセージが「iモード」に届くと、表示でお知らせします。

ワンポイント
受信したメールやメッセージを表示するときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。受信メールの表示方法は次ページ、受信メッセージの表示方法は285ページを参照してください。

4.iモードの操作

iモードメール

「iモード」携帯電話同士はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。



1 iモードメニュー画面で **メール・メッセージ** にタッチします。

2 **メール** にタッチします。



●メール画面が表示されます。

ワンポイント

新規メール作成……新しくメールを作成します。（279ページ参照）
受信メール……受信済みのメールを表示します。（下記参照）
送信済メール……送信済みのメールを表示します。
未送信メール……未送信のメールを表示します。
アドレス帳……メールアドレスを表示・編集します。（282ページ参照）



受信メールを表示する

1 メール画面で **受信メール** にタッチします。

●受信したメールがリスト表示されます。

2 表示したいメールをタッチします。

ワンポイント

問い合わせ……iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。
TOP……一番最初のリストを表示します。
前へ **次へ**……複数のメールメッセージを受信したとき，1画面におさまりきらないメールやメッセージをスクロールして表示します。

クイックリファレンス

1
メール・メッセージ

2
メール

クイックリファレンス

<受信メールを表示する>

1
受信メール

2
選択

ワンポイント

●ナビゲーション本体で受信（保存）できるメール・メッセージは最大20件です。メール・メッセージの受信（保存）合計件数が20件のとき、さらにメール・メッセージを受信する場合は、不要なメール・メッセージを削除してから受信してください。

●ナビゲーション本体で一度受信したメール・メッセージは、携帯電話で再び受信または表示することはできません。ナビゲーションに携帯電話を接続している間、メール・メッセージを受信したくない場合は、ブラウザの設定画面（288ページ参照）で「メール・メッセージの受信」を「しない」に設定してください。また、通信モードをインターネットモードにしておけば、ナビゲーションに接続したままでも携帯電話でiモードメール・メッセージを受信できます。



●メールの内容が表示されます。

ワンポイント

返信 ……表示しているメールを返信します。（次ページ参照）

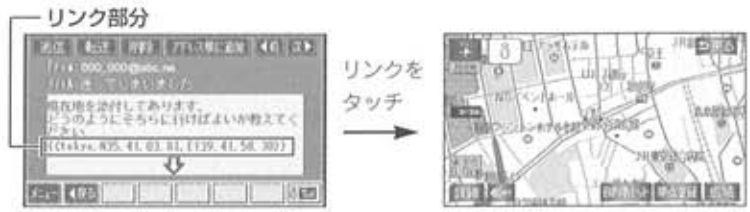
転送 ……表示しているメールを転送します。（278ページ参照）

削除 ……表示しているメールを削除します。

アドレス帳に追加 ……表示しているメールアドレスをアドレス帳に追加します。

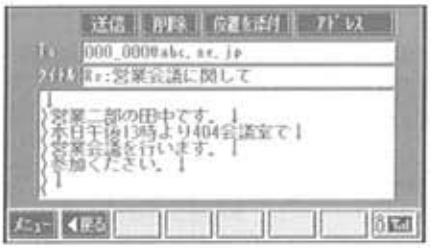
◀前 次▶ ……受信したメールが複数ある場合、前（次）のメールを表示します。

●位置情報が添付されたメールを受信した場合、リンクをタッチするとナビゲーションの地図上に添付された位置を表示することができます。



<位置情報が添付されたメール>　<地図上に添付された位置を表示>

4.iモードの操作



メールを返信する

メール受信した相手に返事を書きます。

1 受信メールを表示します。

2 **返信** にタッチします。

3 修正する部分（タイトルや内容）をタッチします。

ワンポイント

削除 ……表示しているメールを削除します。

位置を添付 ……位置情報をメールに添付します。（281ページ参照）

アドレス ……アドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は282ページを参照してください。

- メールの返信では、自動的にTo（宛先）に送信した相手のアドレスが入力され、タイトルに「Re:」が追加されます。
- メールの送信で下記のことはできません。
  - CCの指定
  - 画像ファイルなどの添付
  - コピー&ペースト
- 1件のメールで指定できる宛先は1件です。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。

クイックリファレンス

<メールを返信する>

1 受信メールを表示

2 返信

3 選択

4 【内容を修正する】
文字

5
完了

6
送信

7
はい

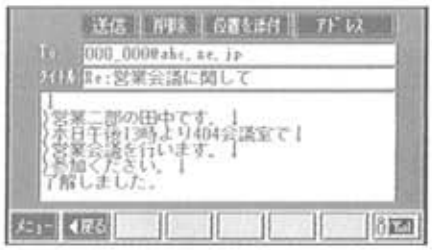


4 内容を修正します。

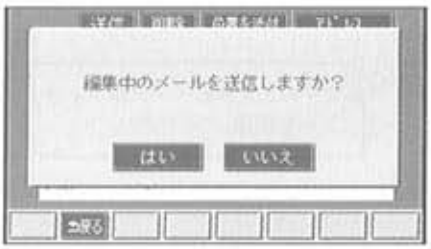
5 修正が終了したら 完了 にタッチします。

ワンポイント

- 削除 ……入力した文字を1文字ずつ削除します。
- ←↑↓→ ……文字を入力（消去）する位置（□で表示）を移動します。
- 小 ……アルファベットの小文字を表示します。
- 大 ……アルファベットの大文字を表示します。
- 全 ……アルファベットの全角文字を表示します。
- 変換 ……入力中の「かな」を漢字に変換します。
- 無変換 ……入力中の「かな」をそのまま入力します。
- ␣ ……1文字分のスペースを空けます。
- ↵ ……改行をします。
- かな ……「かな」を表示します。
- カナ ……カタカナを表示します。
- 英数 ……英字や数字を表示します。
- 記号 ……記号を表示します。
- 定型 ……定型文から文章を選択することができます。
- 履歴 ……前回入力した文字を選択することができます。

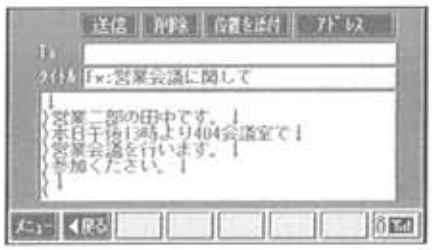


6 送信 にタッチします。



7 はい にタッチします。

4.iモードの操作



メールを転送する

受信したメールを別のアドレスに転送します。

1 受信メールを表示します。

2 **転送** にタッチします。

3 To（宛先）の空白部分にタッチします。

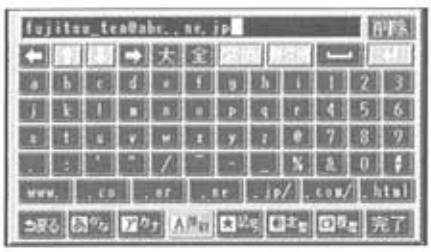
ワンポイント

削除 ……表示しているメールを削除します。

位置を添付 ……位置情報をメールに添付します。（281ページ参照）

アドレス ……アドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は282ページを参照してください。

- メールの転送では、タイトルに「Fw:」が追加されます。
- メールの送信で下記のことはできません。
  - CCの指定
  - 画像ファイルなどの添付
  - コピー&ペースト
- 1件のメールで指定できる宛先は1件です。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。



4 宛先を入力します。

5 入力が終了したら **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 文字の入力は前ページのワンポイントを参照してください。



6 **送信** にタッチします。

ワンポイント

- タイトルや内容について修正する場合は、修正する部分をタッチして内容を修正します。

クイックリファレンス

<メールを転送する>

1 受信メールを表示

2 転送

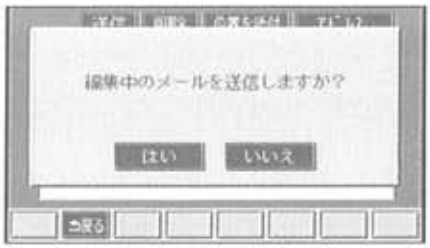
3 To

4 文字

5 完了

6 送信

7 **はい**



7 **はい** にタッチします。

●**いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

<メールを作成する>

1 **新規メール作成**



メールを作成する

1 メール画面で **新規メール作成** にタッチします。

●送信メール画面が表示されます。

2 To（宛先）の空白部分にタッチします。

2 **To**

3 **文字**

ワンポイント

- **削除** ……表示しているメールを削除します。
- **位置を添付** ……位置情報をメールに添付します。（281ページ参照）
- **アドレス** ……アドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は282ページを参照してください。

4 **完了**



3 宛先を入力します。

4 入力が終了したら **完了** にタッチします。

5 タイトル・メール内容入力

文字

ワンポイント

●文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。

次ページに続く



5 宛先の入力と同様に、タイトルやメールの内容を入力します。

4.iモードの操作

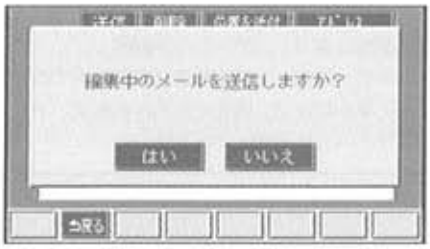
ワンポイント

●メールの送信で下記のことはできません。
- CCの指定
- 画像ファイルなどの添付
- コピー&ペースト

●1件のメールで指定できる宛先は1件です。
●ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。
●ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。



6 **送信** にタッチします。



7 **はい** にタッチします。

6 **送信**

7 **はい**

位置を添付する

メールに位置情報（現在地、目的地、指定地）を添付して送信することができます。受信側のナビゲーションが位置情報の送受信に対応している場合、位置情報を受けとった側のナビゲーションでは、添付された位置を画面に表示させることができます。

ワンポイント
- 位置情報をやりとりするには、送信側と受信側のナビゲーションがともに位置情報の送受信に対応している必要があります。

クイックリファレンス

<位置を添付する>

1 位置を添付

2 選択



1 送信メール画面で **位置を添付** にタッチします。



2 添付する位置にタッチします。

ワンポイント
- **指定地** をタッチすると、地点の検索画面が表示されます。検索方法については、82ページを参照してください。



●位置情報がメールに添付されます。

4.iモードの操作



アドレスを表示する

1 メール画面で、**アドレス帳**にタッチします。

●登録されているアドレスの名前がリスト表示されます。

2 表示したいアドレスの名前をタッチします。

ワンポイント

TOP ……一番最初のリストを表示します。

前へ **次へ** ……1画面におさまりきらないアドレスのリストをスクロールして表示することができます。

●アドレスが登録されていない場合、アドレスの名前は表示されません。アドレスの登録は下記を参照してください。



●選択したアドレスが表示されます。

ワンポイント

キャンセル ……元の画面を表示します。

削除 ……表示しているアドレスを削除します。(285ページ参照)

●名前またはアドレスにタッチするとアドレスを修正することができます。(284ページ参照)



アドレスを登録する

1 メール画面で、**アドレス帳**にタッチします。

2 **新規登録**にタッチします。

クイックリファレンス

<アドレスを表示する>

1 アドレス帳

2 選択 [redacted]

クイックリファレンス

<アドレスを登録する>

1 アドレス帳

2 新規登録

3 名前

4 文字

5 完了

6 アドレス

7 完了



3 名前の空白部分にタッチします。



4 文字を入力します。

ワンポイント
- 文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。

5 入力が終了したら **完了** にタッチします。



6 同様の操作でアドレスを入力します。



7 入力が終了したら **完了** にタッチします。



●入力したアドレスが登録されます。

4.iモードの操作



アドレスを修正する

1 修正したいアドレスを表示します。

2 修正する部分（名前またはアドレス）にタッチします。

ワンポイント
- **キャンセル**…元の画面を表示します。
- **削除**…表示しているアドレスを削除します。



3 文字を入力します。

ワンポイント
- 文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。

4 入力が終了したら**完了**にタッチします。



5 修正が終了したら**完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<アドレスを修正する>

1 アドレスを表示

2 名前 ・ アドレス

3 文字

4 完了

5 完了

クイックリファレンス

<アドレスを削除する>

1 アドレスを表示

2 削除

3 はい



アドレスを削除する

1 削除したいアドレスを表示します。

2 **削除** にタッチします。

ワンポイント
- **キャンセル**…元の画面を表示します。



3 **はい** にタッチします。
- **いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。

メッセージの表示

メッセージサービスによって送信されるメッセージを表示します。

ワンポイント
- サイトから情報を入手するサービスにはメッセージサービスがあり、メッセージサービスは2種類あります。
  - メッセージ〔R〕(リクエスト)…サイトと契約することで、必要なメッセージを自動で受信できます。
  - メッセージ〔F〕(フリー)……サイトとの契約が不要な無料のメッセージを受信できます。

クイックリファレンス

1 メール・メッセージ

2 メッセージリクエスト
・
メッセージフリー

次ページに続く



1 iモードメニュー画面で、**メール・メッセージ** にタッチします。

2 **メッセージリクエスト** または **メッセージフリー** にタッチします。

ワンポイント
- **メール・メッセージ問い合わせ**……iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。
- **メール**……受信済みのメールの表示やメールの新規作成、送信などを行います。(274ページ参照)

4.iモードの操作



●受信しているメッセージがリスト表示されます。

3 表示したいメッセージにタッチします。

3
選択

ワンポイント

問い合わせ ……iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。

TOP ……一番最初のリストを表示します。

前へ **次へ** ……1画面におさまりきらないアドレスのリストをスクロールして表示することができます。

●ナビゲーション本体で受信（保存）できるメール・メッセージは最大20件です。メール・メッセージの受信（保存）合計件数が20件のとき、さらにメール・メッセージを受信する場合は、不要なメール・メッセージを削除してから受信してください。

●ナビゲーション本体で一度受信したメール・メッセージは、携帯電話で再び受信または表示することはできません。携帯電話でメール・メッセージを表示したい場合は、ブラウザの設定画面（288ページ参照）で「メール・メッセージの受信」を「しない」に設定してください。



●メッセージが表示されます。

インターネットの接続

「iモード」を使ってインターネットへ接続し、ホームページを表示します。

クイックリファレンス

1 Internet

2 文字

3 完了



1 iモードメニュー画面で、**Internet**にタッチします。

ワンポイント
- ブックマークまたは履歴が登録されている場合、**Bookmark**または**履歴**にタッチした後、希望のサイト名をタッチしてもサイトへ接続することができます。

2 表示したいホームページのアドレスを入力します。

ワンポイント
- 文字の入力は277ページのワンポイントを参照してください。

3 入力が終了したら**完了**にタッチします。



●ホームページが表示されます。

4.iモードの操作

ブラウザ設定（iモード専用）

iモード画面の表示などの設定を行います。



1 iモードメニュー画面で、**ブラウザ設定**にタッチします。

●ブラウザの設定画面が表示されます。

2 設定する項目の左にある○にタッチします。

3 設定が終了したら**次へ**にタッチします。

ワンポイント

●「表示」……情報を受信するときに「画像+文字」または「文字のみ」を設定することができます。（画像のデータ量が大きい場合、受信に時間がかかるため、文字データのみ受信して通信時間を短縮することができます）

「配色」……文字と背景色のコントラストが弱いページで、配色設定を変えて文字を読みやすくします。

「文字コード」……受信した文字のデータを表示するときの設定をします。（通常は「自動」を選択していれば正しく表示されます）



4 すべての設定が終了したら**完了**にタッチします。

ワンポイント

「メール・メッセージの受信」……iモードメール、メッセージを受信します。（本機でiモードメール、メッセージを受信すると受信したiモードメール、メッセージを携帯電話で見ることができません。携帯電話でiモードメール、メッセージを見るときは本項目を「しない」に設定してください）

「初期化」……**初期化**をタッチすると、「iモード」で登録されているメモリや設定を初期状態に戻します。

クイックリファレンス

1 ブラウザ設定

2 ○選択

3 次へ

4 完了

ハンズフリーの概要

ハンズフリーとは音声認識のマイクとナビゲーション画面（一部、音声認識スイッチ）を操作することにより、携帯電話を持たなくても通話をすることができる機能です。

ワンポイント
- ハンズフリー通話時・音声認識時にエアコンをご使用になる場合、エアコンの送風量を少なめにし、吹出口をマイクに向けないでください。
- 電話を使用するときは車を安全な場所へ停車させて使用してください。
- ハンズフリー通話は、通話相手と交互にお話ししてください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえなくなることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリー通話時、受話音量と着信音量はできる限り小さく調整してください。（295ページ参照）また、送話音（こちらの声）はマイクに向かってできる限り大きくお話しください。
- 携帯電話本体にて、ハンズフリー通話音量が調整できる携帯電話を使用される場合、携帯電話本体にて適切な音量を設定してください。
- 通話中以外（呼出中、着信中など）に携帯電話を接続したときの動作は機種によって異なります。正しく動作しない場合は、携帯電話の終了キーを押すと直ることがあります。
- 割込通話（キャッチホン）や三者通話をご契約いただいている場合は、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- 本機には、音声メモの機能はありません。

クイックリファレンス

1 TEL



1 インフォメーション（情報）画面で TEL にタッチします。



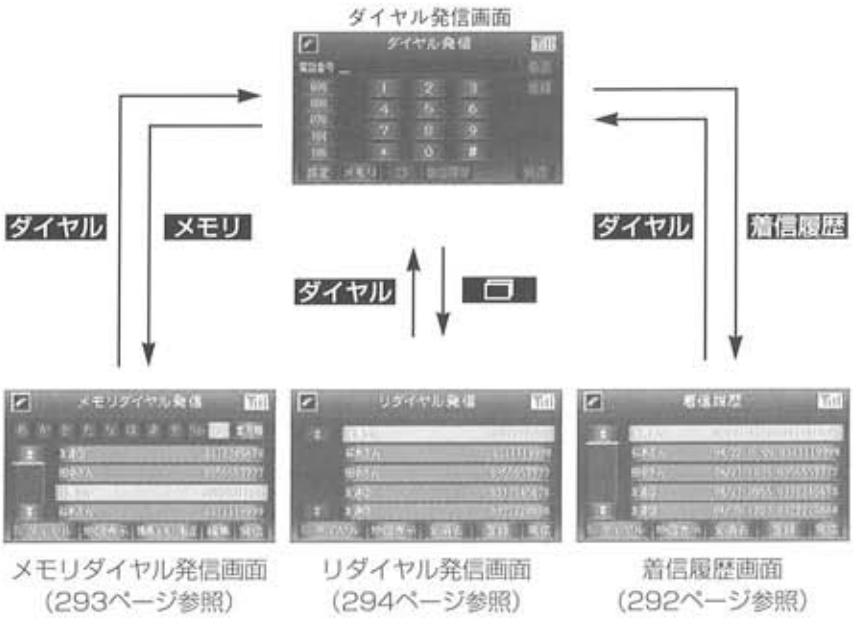
●ダイヤル発信画面が表示されます。

ワンポイント
- ダイヤル発信画面は下記の方法でも表示させることができます。
  - 音声認識スイッチを押した後、「電話をかける」と発声します。
  - 音声認識スイッチを長く押します。

5. ハンズフリー機能の操作

操作画面の概要

ハンズフリーでは4種類の画面から発信をすることができます。



メモリダイヤル発信画面
(293ページ参照)

リダイヤル発信画面
(294ページ参照)

着信履歴画面
(292ページ参照)

電話をかける



番号を入力して電話をかける

1 ダイヤル発信画面で電話番号を入力します。

●数字にタッチすると番号が入力できます。

2 電話番号の入力が終了したら **発信** にタッチします。

ワンポイント

090 **080** **070** **184** **186**
……スイッチに記載されている番号を入力します。

設定 ……ハンズフリーの各種設定をします。(299ページ参照)

メモリ ……メモリダイヤル発信画面を表示します。(293ページ参照)

□ ……リダイヤル発信画面を表示します。(294ページ参照)

着信履歴 ……着信履歴画面を表示します。(292ページ参照)

修正 ……入力した番号を1番号ずつ消去します。

登録 ……表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。(295ページ参照)

●携帯電話のバッテリーが切れているときなどに接続していると、「電話機をご確認ください。」が表示されずに通話画面になることがあります。

クイックリファレンス

<番号を入力して電話をかける>

1 **数字**

2 **発信**

3

通話

「×××」

4

切る



3 相手が出たらハンズフリーで通話します。

4 通話が終了したら**切る**にタッチします。

ワンポイント

10キー ……ダイヤルトーンを送出します。（留守番電話の暗証番号などに使用します）

◀ ……受話音量を小さくします。

▶ ……受話音量を大きくします。

ミュートON ……タッチすると通話相手にこちらの声が聞こえなくなり、スイッチ表示は**ミュートOFF**になります。

ミュートOFF ……タッチすると消去した音量を消去前の音量に戻し、スイッチ表示は**ミュートON**になります。

登録 ……表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

切る ……電話を切ります。

●音声認識スイッチを押しても電話が切れます。

5. ハンズフリー機能の操作



着信履歴から電話をかける

1 ダイヤル発信画面で **着信履歴** にタッチします。



2 電話をかけたい相手の番号にタッチします。

3 **発信** にタッチします。

4 相手がでたらハンズフリーで通話します。

5 通話が終了したら **切る** にタッチします。

ワンポイント

ダイヤル ……ダイヤル発信画面を表示します。(289ページ参照)

地図表示 ……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。

全消去 ……着信履歴の電話番号をすべて消去します。

登録 ……選択されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

- 音声認識スイッチを押しても電話が切れます。
- 通話中の画面に表示されるスイッチの操作は前ページのワンポイントを参照してください。

クイックリファレンス

<着信履歴から電話をかける>

1 **着信履歴**

2 選択 ■

3 **発信**

4 通話 「×××」

5 **切る**

クイックリファレンス

<メモリダイヤルから電話をかける>

1 メモリ

2 選択

3 発信

4 通話

「×××」

5 切る





メモリダイヤルから電話をかける

登録した電話番号から選択し、電話をかけます。

1 ダイヤル発信画面で**メモリ**にタッチします。

2 メモリダイヤル発信画面で電話をかけたい相手の電話番号にタッチします。

3 **発信**にタッチします。

4 相手がでたらハンズフリーで通話します。

5 通話が終了したら**切る**にタッチします。

ワンポイント

ダイヤル ……ダイヤル発信画面を表示します。(289ページ参照)

地図表示 ……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。

携帯メモリ転送 ……携帯電話に登録されている電話番号を登録します。(297ページ参照)

編集 ……メモリダイヤルを編集します。(298ページ参照)

▲ ▼ ……画面におさまりきらない電話番号をスクロールして表示します。

番号順 ……リストがメモリNo.順に並び、スイッチ表示が**50音順**になります。

50音順 ……リストが50音順に並び、スイッチ表示が**番号順**になります。

- 登録されている名前の行（**あ**～**他**）をタッチすると早く検索することができます。
- 音声認識スイッチを押しても電話が切れます。
- 携帯電話のバッテリーが切れているときなどに接続していると、「電話機をご確認ください。」が表示されずに通話画面になることがあります。
- 通話中の画面に表示されるスイッチの操作は291ページのワンポイントを参照してください。

5. ハンズフリー機能の操作





リダイヤルから電話をかける

前回電話をかけた電話番号（最大10件）から選択し、電話をかけます。

1. ダイヤル発信画面で［ ］にタッチします。
2. リダイヤル発信画面で電話をかけたい相手の電話番号にタッチします。
3. **発信**にタッチします。
4. 相手が出たらハンズフリーで通話します。
5. 通話が終了したら**切る**にタッチします。

ワンポイント

- **ダイヤル**……ダイヤル発信画面を表示します。（289ページ参照）
- **地図表示**……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。
- **全消去**……リダイヤルの電話番号をすべて消去します。
- **登録**……選択されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

●音声認識スイッチを押しても電話が切れます。
●通話中の画面に表示されるスイッチの操作は291ページのワンポイントを参照してください。

クイックリファレンス

<リダイヤルから電話をかける>

1 ［ ］

2 選択 ［ ］

3 **発信**

4 通話 「×××」

5 **切る**

電話を受ける



※トークスイッチ（音声認識スイッチ）

1. 着信中に音声認識スイッチを押します。

ワンポイント

- **取る**……電話を受けられます。
- **登録**……着信中の電話番号をメモリダイヤルに登録します。
- **保留**……電話を保留します。

クイックリファレンス

1 

2 通話「×××」

3



2 ハンズフリーで通話します。

ワンポイント

10キー ……ダイヤルトーンを送出します。（留守番電話の暗証番号入力などに使用します）

◀ ……受話音量を大きくします。

▶ ……受話音量を小さくします。

ミュートON ……タッチすると通信相手にこちらの声が聞こえなくなり、スイッチ表示は**ミュートOFF**になります。

ミュートOFF ……タッチすると消去した音量を消去前の音量に戻し、スイッチ表示は**ミュートON**になります。

登録 ……表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

切る ……電話を切ります。

3 通話中に音声認識スイッチを押すと通話を切断します。

電話番号の登録

電話番号を登録しておくとメモリダイヤルから番号を選択し、電話をかけることができます。（293ページ参照）

クイックリファレンス

<ダイヤル発信画面から登録する>

1 **数字**

2 **登録**



ダイヤル発信画面から登録する

1 ダイヤル発信画面で番号を入力します。

2 **登録**にタッチします。

5. ハンズフリー機能の操作



メモリダイヤル発信画面から登録する

1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。



2 **追加** にタッチします。



3 登録する相手の名前を入力します。

●文字の入力方法はメモリ地点の名称入力方法と同じです。（154ページ参照）



4 名前の読みを入力します。

●文字の入力方法はメモリ地点の名称読み入力方法と同じです。（156ページ参照）



5 電話番号を入力します。

●携帯電話などの電話番号は **090**、**080** または **070** にタッチすると先頭の3桁をワンタッチで入力することができます。

6 **完了** にタッチします。

クイックリファレンス

<メモリダイヤル発信画面から登録する>

1 **編集**

2 **追加**

3 **文字**

4 **文字**

5 **数字**

6 **完了**

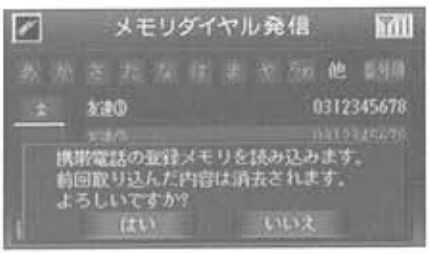
クイックリファレンス

<携帯電話の登録メモリを登録する>

1 携帯メモリ転送

2 はい







携帯電話の登録メモリを登録する

携帯電話に登録されている電話番号（携帯電話の登録メモリ）をナビゲーションへ転送します。

1 メモリダイヤル発信画面で **携帯メモリ転送** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。

●**いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。

ワンポイント 電話番号を転送すると前回ナビゲーションに登録した携帯電話の登録メモリは消去されます。

●電話番号が転送され、終了するとメモリダイヤル発信画面を表示します。

ワンポイント
- ●携帯電話の登録メモリの転送は、設定画面からも行うことができます。（299ページ参照）
- ●画面から登録した電話番号は、メモリNo.500～599に登録されます。
- ●携帯電話から転送した登録メモリは、メモリNo.0～499に登録されます。
- ●修理などで、バッテリーがはずれると、メモリダイヤルが消去されます。

5. ハンズフリー機能の操作

メモリダイヤルの変更・削除

メモリダイヤルに登録（295ページ参照）されている電話番号を変更・削除します。



メモリダイヤルを変更する

1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。

2 変更する電話番号にタッチします。

3 **変更** にタッチします。



4 修正・入力する項目の右側にある **変更** にタッチします。

●修正・入力方法はメモリ地点の修正・入力方法と同じです。
- 名称（154ページ参照）
- 電話番号（153ページ参照）
- 名称読み（156ページ参照）

ワンポイント
- ●携帯電話から転送した電話番号の場合、内部メモリに移しかえてから保存・変更が可能になります。
- ●名称の読みを登録しておくと、音声操作で電話をかけることができます。（234ページ参照）

クイックリファレンス

<メモリダイヤルを変更する>

1 **編集**

2 選択

3 **変更**

4 **変更**



メモリダイヤルを削除する

1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。

2 削除する電話番号にタッチします。

3 **削除** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

●**いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

<メモリダイヤルを削除する>

1 **編集**

2 選択

3 **削除**

4 **はい**

設定

電話番号の転送や電話番号の消去をします。



電話番号を転送する

携帯電話に登録されている電話番号（携帯電話の登録メモリ）をナビゲーションへ転送します。

1 ダイヤル発信画面で **設定** にタッチします。

●設定画面が表示されます。

2 **転送** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

●転送が開始されます。

●**いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。

ワンポイント

- 携帯電話の登録メモリの転送は、メモリダイヤル発信画面からも行うことができます。（297ページ参照）
- 電話番号を転送すると前回ナビゲーションに登録した携帯電話の登録メモリは消去されます。

クイックリファレンス

<電話番号を転送する>

1 **設定**

2 **転送**

3 **はい**

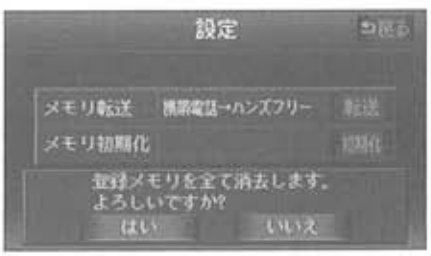


登録されている電話番号を消去する

1 ダイヤル発信画面で **設定** にタッチします。

●設定画面が表示されます。

2 **初期化** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

●メモリダイヤルをすべて消去します。

クイックリファレンス

<登録されている電話番号を消去する>

1 **設定**

2 **初期化**

3 **はい**

6. ヘルプネットの操作

ここでは、「ヘルプネット」を使用する上で「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」と、その回避方法を記載しています。これらは安全のために重要ですので必ず読んで遵守してください。

警告

- ●安全運転を心がけてください。
  ヘルプネットは、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護や事故防止の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- ●事故発生時は人命救助を最優先にしてください。
  事故が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- ●ヘルプネットは事故発生時、衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●ヘルプネットはエアバッグと連動していないため、事故発生時、エアバッグが作動しても通報されません。このような場合には HELPNET（緊急通報ボタン）による緊急通報をしてください。（308ページ参照）
- ●携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続してもヘルプネットオペレーションセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●以下の場合は、緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合 HELPNET によって、緊急通報動作が開始されても、緊急通報はできません
  - ・携帯電話が接続されていない場合
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または、バッテリーがない場合
  - ・携帯電話が本システムに適合していない場合
  - ・携帯電話の料金を滞納している場合
  - ・機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよび、これらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合
  - ・ヘルプネット未契約または、契約期限が切れている場合
- ●ヘルプネットは、衝撃を受け、機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよび、これらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合、緊急通報および通話できないことがあります。
  緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットオペレーションセンターと通信できない場合があります。
- ●事故発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは車内にとどまらずに、直ちに安全な場所に避難してください。

警告

- ●緊急通報後に救援を待つあいだは，後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり，乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず，窓を開け，ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で安全な場所を確保してください。状況によっては，携帯電話をホルダーから取りはずして身に付けてお持ちください。また，携帯電話を取りはずした際に，携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は，携帯電話の電源をONにし，ヘルプネットのオペレーターからの着信をお待ちください。
- ●安全のため，走行中は HELPNET による緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。 HELPNET による緊急通報は，停車して安全を確認してから行ってください。(308ページ参照)
- ●以下の電話機能を利用しますと緊急通報動作の妨げとなり，緊急通報できなくなりますので，これらの電話機能は利用しないでください。
  - ・ダイヤルロック
  - ・D（ドライブ）モード
  - ・留守番電話
  - ・キャッチホン
  - ・着信転送
  - ・セレクフォン
  - ・その他，発信および着信を制限する機能または禁止する機能（前ページ参照）
- ●本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると故障の原因となります。万一，不具合などがある場合には，すぐにお買い上げの販売店に相談してください。
- ●ヘルプネットサービスの契約期間が終了している場合は，緊急通報ができません。ヘルプネットサービスを継続してご利用になる場合には，契約更新の手続きをしてください。
  契約期間が終了している場合，機器が故障している場合は緊急通報できません。
- ●緊急通報時は，ヘルプネットオペレーションセンターへの回線接続を繰り返し行いますが，電波状態等の理由で回線接続ができない場合には，「緊急通報できませんでした。電話機の状態をご確認の上，再度通報してください」という音声案内が流れ，通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には，最寄りの公衆電話などから通報してください。

注意

- ●会員登録時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は，緊急通報できないことがあります。会員登録を行う際の手動保守点検時に，本機が，正常に動作しない，または HELPNET の表示が正常に行われない場合には，お買い上げの販売店に相談してください。(318ページ参照)
- ●下記の温度範囲以外では緊急通報，電話が正常に動作しない場合があります。そのときは，最寄りの公衆電話を使用してください。
  動作温度範囲：−20℃〜+60℃
- ●電話料金を滞納している場合には緊急通報できません。
  電話料金の滞納にはくれぐれも注意してください。

6. ヘルプネットの操作

注意

- ●事故発生時、火災発生などの危険がある場合および、車外に避難するときはパーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをLOCKにしてください。緊急通報開始後であれば、20分間動作し続けます。
- ●実際の事故発生地点とセンターに通報される位置には多少の誤差が発生することがあります。事故発生地点や目標物についてはヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- ●手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場等の屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。(36ページ参照)
- ●緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたは音声認識マイクに故障不具合などがありますと、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。
- ●本機の取りはずしを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取りはずしが必要な場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
- ●煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店に相談してください。
- ●ヒューズ交換は必ず表示された規格のヒューズを使用してください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因になります。
- ●バッテリーをはずした場合、ヘルプネット機能のプログラムは消去されます。再びヘルプネット機能を使用する場合は、地図ディスクを挿入し、再度、プログラムを読み込んでください。
- ● HELPNET による緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- ● HELPNET は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された本機を使用する場合は、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

ワンポイント

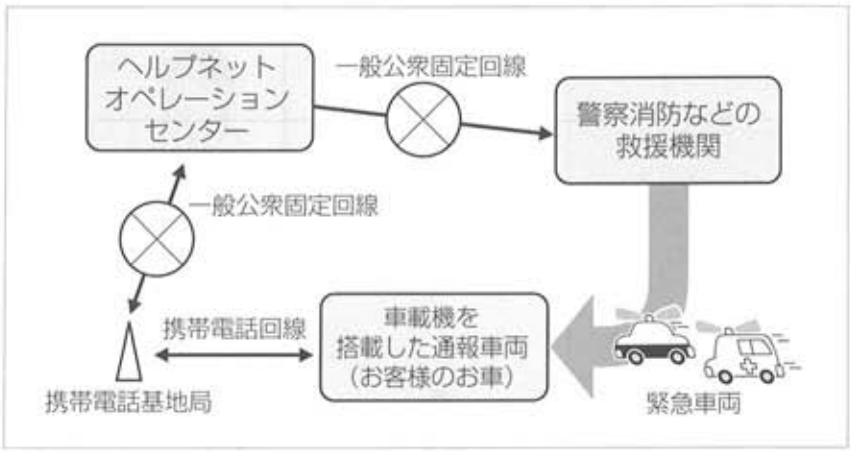
- ●会員登録を解約するときの手動保守点検後、 HELPNET が消灯しない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
- ●誤通報やいたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。誤通報または、いたずらをしないようにしてください。
- ●本機のGPSから位置情報を取得しております。GPSについての解説は、36ページを参照してください。

ヘルプネットとは

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、手動操作でヘルプネットオペレーションセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。
エンジンスイッチがACCまたはONの位置にあるときに作動します。ヘルプネットオペレーションセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から事故や負傷状態などを確認して、警察、もしくは消防にオペレーターが事故の状況を通報します。

緊急通報

乗員がHELPNETを操作することにより、お客様のお車に搭載された車載機が、ヘルプネットオペレーションセンターに通報します。本機はヘルプネットワンタッチタイプの車載機です。



※ヘルプネットは㈱日本緊急通報サービスの商標です。

6. ヘルプネットの操作

緊急通報の主な流れ



各部の名称とはたらき

マイク

HELPNET による緊急通報中のハンズフリー通話時、また手動保守点検時に、自分の声をヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターに伝えます。



注意

- 本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機には液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
  本機が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合などがありますと、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。

6. ヘルプネットの操作

会員登録するとき

(株) 日本緊急通報サービスとの会員契約成立後、手動保守点検（313ページ参照）を行い、以下の点を確認してください。
本確認が行われないとヘルプネットサービスの提供ができないので必ず実施してください。なお、可能な限り見晴らしの良い場所で行うようにしてください。（ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください）

〈本機が正常動作することを確認してください〉
・手動保守点検で通信が正常に始まることを確認してください。
・音声通話ができることを確認してください。
・通報位置が正しいことをヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターとの音声通話で確認してください。

警告

- ●本機が正常動作しない場合(発呼しない、通報位置とセンターでの位置表示が間違っている、音声通話できない)、緊急時にセンターへ正しい情報が伝わらず救援困難となる可能性があります。
- ●手動保守点検後、HELPNETが点灯しない場合、緊急通報は動作しません。
- ●本機が正常動作しない場合や手動保守点検後、HELPNETが点灯しない場合、HELPNETは点灯したが音声通話できない場合は販売店に相談してください。
- ●携帯電話は、指定にしたがった携帯電話を接続してください。
  指定外の携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないだけでなく、携帯電話本体の破損など故障の原因になる場合があります。
- ●本機に携帯電話を接続する際に、必ず携帯電話のバッテリー残量を確認してください。携帯電話のバッテリーが空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報は動作しません。本機には携帯電話の充電機能はありません。
- ●手動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する動作はできなくなります。この場合、手動保守点検が終了してから操作してください。
- ●携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチONで表示部の照明がついたままになることがあります。この場合は携帯電話の照明をOFFに設定してください。
  (設定については携帯電話の取扱説明書を参照してください)

警告

●携帯電話の下記機能を解除してください。（設定の解除については携帯電話の取扱説明書を参照してください）
(1) パケット通信モード（cdmaOneのみ）
(2) ダイヤルロック
(3) ダイヤル発信禁止
(4) ドライブモード／マナーモード
(5) メモリ着信拒否、メモリ着信許可
(6) 着信転送
(7) 留守番電話
(8) 発信者電話番号非通知
※(1)～(3)を解除しないと、センターに電話できないため、緊急通報は動作しません。
(4)～(8)を解除しないと、センターや救援先からの呼び返し*1ができず、救援困難となる可能性があります。
その他にも、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（セレクフォンなど）によってはサービスを受けていると緊急通報システムが正常に動作しない場合があります。
●携帯電話接続ケーブルと携帯電話が正しく接続されていることを確認してください。
正しく接続されていないと、緊急通報は動作しません。
また正しく装着されていない場合、走行中の振動や衝撃でも携帯電話が接続ケーブルからはずれ、車両の安全な運行に支障をきたすだけでなく、緊急時にサービスが利用できなくなることがあります。

*1：緊急通報中に通話が切断された場合のヘルプネットオペレーションセンターや救援先から緊急通報ユーザへのコールバック

注意

●緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
●会員登録時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。会員登録を行う際の手動保守点検時に本機が正常に動作しない、または HELPNET の表示が正常に行われない場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
●手動保守点検は正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。

6. ヘルプネットの操作

会員登録を解約するとき

会員から退会申し込み後、（株）日本緊急通報サービスから退会通知、もしくは契約解除通知を受領したら、手動保守点検（313ページ参照）を行い、本機を緊急通報不可状態にしてください。

＜HELPNETの色が反転していることを確認してください＞
手動保守点検後、インフォメーション（情報）画面のHELPNETの色が反転していることを確認してください。

注意

- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検で行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 手動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する動作（電話をかけたり、インターネットなどの通話をする）はできなくなります。この場合、手動保守点検が終了してから操作してください。
- 契約解除通知を受領した後、手動保守点検をしてもインフォメーション（情報）画面のHELPNETの色が反転しない場合、販売店に相談してください。

通報するとき

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、本機のタッチスイッチの操作により緊急通報を開始します。

警告

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報時は、ヘルプネットオペレーションセンターへの回線接続を繰り返し行います。しかし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、「緊急通報できませんでした。電話機の状態をご確認の上、再度通報してください」という音声案内が流れ、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

クイックリファレンス

1

HELPNET

次ページに続く



1 インフォメーション（情報）画面で HELPNET にタッチします。

警告

- 携帯電話を接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。
- パケット通信をご利用の方は、パケット通信モードを解除してください。（解除の方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください）



- ヘルプネットへの接続が開始されます。



- ヘルプネットオペレーションセンターに接続されると、データ通信が行われます。
- データ通信によって車両の現在地や手動による通報であることなどの情報が確認されます。



- データ通信完了後、通話モードになります。
- 通話画面が表示されます。

6. ヘルプネットの操作



2 音声認識マイクに向かってヘルプネットのオペレーターに状況やけがの状態、警察もしくは消防などへの通報の要・不要を伝えます。

●警察あるいは消防への通報が必要なときは、ヘルプネットオペレーションセンターが、警察あるいは消防に状況を通報します。

●通話が終了すると、ヘルプネットオペレーションセンターが、電話回線の切断を行います。

2

通話

「×××(状況やけがの状態など)」

注意

状況によっては、携帯電話を接続ケーブルから取りはずして身に付けてお持ちください。また、携帯電話を取りはずした際に、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットのオペレーターからの着信をお待ちください。

ワンポイント

●通話音量はハンズフリー使用時と同じ音量になります。音量の変更は291ページのワンポイントを参照してください。

● **HELPNET** による緊急通報時には、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターは通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。



●電話回線が切断されると、「緊急通報を終了しました。ヘルプネットからの連絡待ちを開始します」という音声案内が流れます。



●通話後約10分間は、ヘルプネットオペレーションセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、自動着信待ち状態となります。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

ワンポイント

●自動着信待ち状態中は、緊急通報に関係のない電話も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる電話であっても、着信できません。

●自動着信待ち状態で電話がかかってくると、さらに約10分間、自動着信待ち状態が延長されます。



●自動着信待ち状態が終了すると、現在地画面が表示されます。

注意

- ●誤操作などでヘルプネットオペレーションセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断される場合があります。
- ●緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わりましたら、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- ●以下の場合は、オーディオの音量が自動的にミュート（消音）されます。
  - ・ハンズフリー通話中
  - ・緊急通報時の音声案内中
- ●緊急通報中は一般電話は使用できません。
- ●緊急通報、自動保守点検、手動保守点検または電話などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- ●HELPNETは、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された車載機を使用する場合に、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

6. ヘルプネットの操作

システムの点検

自動保守点検

ヘルプネットオペレーションセンターが会員登録されているか否かの確認をするために、本機は定期的に車載機の保守点検を自動的に実施します。
ヘルプネットは、常に正しく機能できるように（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに、ヘルプネットオペレーションセンターとの通信テスト、システムの自動保守点検およびヘルプネットサービス契約の確認を自動的に行います。
この自動保守点検のための操作は特に必要ありませんが、以下の要領で行われます。

〈点検時期〉
（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

〈点検時間〉
自動保守点検は開始後、2～3分で終了します。

⚠ 注意

- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する操作（電話をかける）はできなくなります。この場合、自動保守点検が終了してから操作してください。

ワンポイント

- 自動保守点検開始後何らかの理由で、通信が中断されてしまった場合は、約10分の間隔を置いて再び自動保守点検を開始します。

手動保守点検

本機の保守点検（本機修理点検や車両修理後の保守点検）とセンターに会員登録されているか否かの確認（加入時、解約時、契約内容変更時）を行い、緊急通報発呼可能／不可能状態の切り替えを行う場合に必要な操作です。

クイックリファレンス

1 GPSの受信を確認

2 メンテナンス

3 保守点検

次ページに続く

GPSマーク



1 現在地画面でGPSの受信を確認します。



2 インフォメーション（情報）画面で **メンテナンス** にタッチします。



3 **保守点検** を約10秒以上、長くタッチします。

警告

- 携帯電話を接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。
- パケット通信をご利用の方は、パケット通信モードを解除してください。（解除の方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください）

ワンポイント

- 初期状態では、**HELPNET** は色が反転しています。ヘルプネットセンターに会員登録されていれば、手動保守点検終了後に **HELPNET** のスイッチが有効になります。

6. ヘルプネットの操作



●ヘルプネットへの接続が開始されます。



●ヘルプネットオペレーションセンターに接続されると、データ通信が行われます。

●車両の現在地や手動保守点検をしていること、ヘルプネットオペレーションセンターに会員登録されているかなどの情報が確認されます。



●データ通信完了後、通話モードになります。

●通話画面が表示されます。



4 マイクに向かってヘルプネットオペレーションセンターと通話します。

4

通話

「xxx（氏名、会員番号など）」



●会話の終了後に、点検を終了します。

●通話が終了すると、手動保守点検が終了します。



●現在のシステム状態を表示します。

●しばらくすると、現在地画面が表示されます。

注意

●手動保守点検は正確に位置情報を送れることを確認しています。
手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。

●手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットオペレーションセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度LOCKに戻し、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、お買い上げの販売店に相談してください。

●緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。

●自動保守点検および手動保守点検中は、電話の使用ができなくなるため、電話を使用する操作はできなくなります。この場合、自動保守点検が終了してから操作してください。

6. ヘルプネットの操作

一般電話を使うとき

〈一般電話で利用可能な電話機能および回線サービス（NTTドコモ）〉
NTTドコモとご契約のお客様は、以下（×印）の電話機能および回線サービスは緊急通報の妨げとなりますので、絶対にご使用にならないでください。

	機能名／サービス名	利用
電話機能	リダイヤル	○
	電話番号表示	○
	禁止動作設定	○
	メモリ指定発信制限	○
	メモリ指定着信拒否	○
	メモリ指定着信許可	○
	発信者番号通知	○
	不在着信通知機能	○
	ハンズフリー切替	○
	設定状況確認	○
	設定リセット	○
	暗証番号の登録・変更	○
	ボタン確認音ON／OFF	○
	応答保留	○
	エニーキー応答保留	○
	エニーキーアンサ機能	○
	シークレットモード	○
	通話中時間表示	○
	着信音量調節	○
	メモリ指定着信音変更	○
	積算時間・料金リセット	○
	積算料金表示	○
	通話料金表示	○
	積算時間表示	○
	通話時間表示	○
	照明	○
	通話品質アラーム音の設定	○
	ノイズキャンセラ設定	○

	機能名／サービス名	利用
電話機能	再接続機能	○
	ヘルプ機能	○
	プッシュ信号送出	○
	メモリダイヤル	○
	上位桁表示	○
	音声メモ	○
	ミュート機能	○
	受信音量調節	○
	短縮ダイヤル機能	○
	ワンタッチダイヤル	○
	FAXモード設定	×
	MNPモード設定	×
	ADPモード設定	×
	簡易ダイヤルロック	×
	D（ドライブ）モード	×
	着信番号識別機能	×
	着信転送	×
回線サービス	サービス確認	○
	度数表示サービス	○
	ブースタ接続サービス	×
	ダイレクトナンバー	×
	留守番電話サービス	×
	ショートメールサービス	×
	キャッチホンサービス	×
	転送でんわサービス	×
	三者通話サービス	×
	セレクフォン	×

○：利用できます
×：利用しないでください
発信および着信を制限する機能または禁止する機能は上記の表に関わらずご使用にならないでください。

〈一般電話で利用可能な電話機能および回線サービス（au）〉
auとご契約のお客様は、以下（×印）の電話機能および回線サービスは緊急通報の妨げとなりますので、絶対にご使用にならないでください。

	機能名／サービス名	利用
電話機能	リダイヤル	○
	電話番号表示	○
	禁止動作設定	○
	メモリ指定発信制限	○
	メモリ指定着信拒否	○
	メモリ指定着信許可	○
	発信者番号通知	○
	不在着信表示	○
	ハンズフリー切替	○
	設定状況確認	○
	設定リセット	○
	シークレットNo変更	○
	ボタン確認音設定	○
	応答保留	○
	エニーキー応答保留	○
	エニーキーアンサ	○
	シークレットモード	○
	通話経過時間表示	○
	着信音量調節	○
	通話料金目安表示	○
	累積通話料金目安表示	○
	累積通話時間目安表示	○
	累積通話時間／累積通話料金リセット	○

	機能名／サービス名	利用
電話機能	通話時間目安表示	○
	ディスプレイ照明	○
	通話品質アラーム設定	○
	ノイズキャンセラ設定	○
	ヘルプ	○
	プッシュトーン送出	○
	メモリダイヤル	○
	上位桁表示	○
	音声メモ	○
	ミュート機能	○
	受話音量調節	○
	ワンタッチダイヤル	○
	FAX通信モード設定	×
	データ2400通信モード設定	×
	データ9600通信モード設定	×
	ダイヤルロック	×
回線サービス	発信者番号表示	○
	ローミングサービス	※1
	お留守番サービス	×
	プチメール	×
	割込通話	×
	着信転送	×

○：利用できます
×：利用しないでください
※1：auでご契約の場合、NTTドコモのローミングサービスに加入してもご利用できません。
発信および着信を制限する機能または禁止する機能は上記の表に関わらずご使用にならないでください。

6. ヘルプネットの操作

警告

緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。
以下の電話機能を利用しますと緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなりますので、これらの機能は使用しないでください。
- ダイヤルロック
- D（ドライブ）モード
- 留守番電話
- キャッチホン
- 着信転送
- セレクフォン
- その他、発信および着信を制限する機能または禁止する機能

ワンポイント

一般電話はヘルプネットの通信機能を使用しています。
この通信機能は緊急通報、自動保守点検、および手動保守点検に使用しています。
このため以下のような場合は一般電話は使用できません。
- 一般電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始された場合には一般電話の使用を中止します。
- 緊急通報中は、一般電話は使用できません。
- 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、一般電話は使用できません。

ヘルプネットの緊急通報ができない場合について

下記のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できないまたは、ヘルプネットサービスの質が低下することがあります。

＜契約の不成立または消滅＞

契約の不成立または消滅
- ●契約が締結できない場合
  - ・会費支払いに使用するクレジットの信用調査において欠格
- ●以下の理由などにより、契約の解除が実施された場合
  - ・申込時の虚偽申告の判明
  - ・会員規約の違反
  - ・サービスの不当利用
  - ・会費の不払い　など
- ●契約が終了した場合
  - ・契約者からの解約申請が行われ、解約手続きが完了した場合

＜車載機または車両関連機器の異常による通信不能＞
- ●車載機（本機、携帯電話機、音声認識スイッチ、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障・不具合
- ●バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・不具合
- ●車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

＜緊急通報センターシステムの位置評定エラー＞
●GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きい場合、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きい場合など、位置評定が正常に行われない、または誤差が大きい場合

＜ヘルプネットオペレーションセンターシステムの異常による通信不能＞
●ヘルプネットオペレーションセンターシステムの故障・不具合など
●ヘルプネットオペレーションセンターの火災などによる、ヘルプネットオペレーションセンターシステムの損傷

＜ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能＞
●本サービスに使用する携帯電話のサービス提供圏外に、"登録車両"が位置する場合
●携帯電話のサービス提供圏内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
●携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
●通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合


警告

携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●本サービスに使用する携帯電話または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

＜緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止＞
●ヘルプネットオペレーションセンターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
●大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がヘルプネットオペレーションセンターに集中した場合

＜その他＞
●接続した携帯電話が利用料不払いなどで発信できない場合
●手動通報で、ヘルプネットオペレーションセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無くヘルプネットオペレーションセンターとして状況把握ができない場合（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われた など）

6. ヘルプネットの操作

廃車／転売について

本機をお譲りになる場合は、必ずお買い上げの販売店に連絡して必要な手続きを行ってください。

ワンポイント

- 本機をお譲りになった後でも、契約者の責任においてヘルプネットの解約などの申請がない限り、ヘルプネットの諸費用が請求されます。本機をお譲りになる場合は必ず、解約手続きを行ってください。
- 本機を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書も合わせてお渡しください。

7. ETCシステムの操作

本機能はナビゲーション対応の（ETC車載器）を接続した場合に表示・操作できます。

注意

- ●ETC車載器は外国為替および外国貿易管理法に定める規制貨物に該当しますので、輸出する場合には同法に基づく輸出許可が必要です。
- ●ETC車載器は電波法の基準に適合しています。製品に貼り付けられているシールはその証明ですのではがさないでください。また、製品を分解、改造されると法律により、罰せられることがあります。
- ●ETC車載器の電源コードを傷付けないでください。ETC車載器が故障するおそれがあります。
- ●ETC車載器の内部に異物などを入れないでください。ETC車載器が故障するおそれがあります。
- ●ETC車載器に衝撃を与えないでください。ETC車載器が故障、破損するおそれがあります。また、取り付け角度がずれて路側無線装置と通信ができなくなる場合があります。
- ●ETC車載器の取り付け角度は取付店で取り付けた角度から変えないでください。路側無線装置と通信ができなくなる場合があります。
- ●フロントガラスが熱線反射ガラスの場合、路側無線装置と通信できないことがあります。
- ●ETC車載器の上に物を置かないでください。ETC車載器が故障、破損するおそれがあります。また、路側無線装置との通信が遮断される場合があります。
- ●濡れた手でETC車載器を触れないでください。ETC車載器内部に水が入り故障、破損するおそれがあります。
- ●水（液体など）を付着させないでください。ETC車載器内部に水が入り故障、破損するおそれがあります。
- ●汚れたとき、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。ETC車載器が変形、故障する場合があります。

ETC車載器を初めて使う

車両情報などをETC車載器に登録する

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要となります。
また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

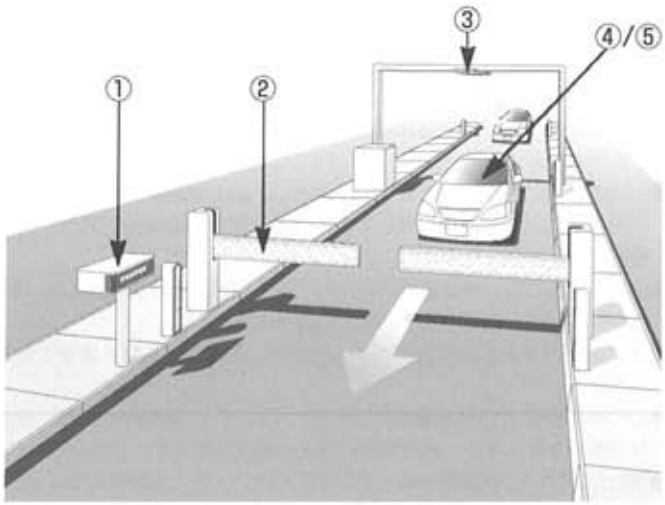
ETCカードを入手する

ETC車載器をご利用するためには、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

7. ETCシステムの操作

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置とETC車載器とのあいだで通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



① 路側表示器 ……料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。

② 発信制御装置（ゲート） ……料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。

③ 路側無線装置 ……料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、車両のETC機器との通信を行うためのアンテナです。

④ ETC機器 ……車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。

⑤ ETCカード ……車両に装着されています。ICチップを搭載した、ETC機器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

クイックリファレンス

1 ETC

ETCメニュー画面

1 インフォメーション（情報）画面（188ページ参照）で、**ETC**にタッチします。
●ETCメニュー画面になります。



ETCカードメッセージ
現在のETCユニットの状態が表示されます。
「ETCカード未挿入」……ETCカードが挿入されていません。
「認証中」……ETCカードを読み込んでいます。
「ETCカード異常」……ETCカードを読み込むことができません。
「ETCカードが利用できます」…ETCが利用可能な状態です。

ワンポイント
- **履歴情報表示** …ETCの利用履歴を表示します。（下記参照）
- **登録情報表示** …ETC車載器に登録されている車両情報を表示します。
- **設定** …ETCの表示や案内を設定します。（次ページ参照）

クイックリファレンス

1 履歴情報表示

2 ▲前 ・ ▼次

3 詳細

履歴の表示

ETCの利用履歴を表示します。



1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示**にタッチします。

2 **▲前** ・ **▼次** にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。
●履歴を切り替えたとき、**最新**にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

3 **詳細**にタッチすると、利用区間が表示されます。

ワンポイント
- ●表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ●ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

7. ETCシステムの操作

登録情報の表示

ETC車載器に登録されている車両情報を表示します。



1 ETCメニュー画面で、**登録情報表示**にタッチします。

●ETC車載器に登録されているセットアップ情報が表示されます。

クイックリファレンス

1 登録情報表示

ETCの設定

ETCの表示や案内を設定します。



ETCの各項目を設定する

1 ETCメニュー画面で、**設定**にタッチします。

2 **する**、**しない**にタッチしてETCの項目を設定します。

●ETC割込表示
下記（ETC割り込み案内について）を参照してください。

●ETC音声案内
ETCを利用するときに、音声が出力されます。

ワンポイント ETCの音声案内は、経路案内中以外でも案内を開始します。

●ACCオン時警告表示
エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを画面に表示して警告します。

●ACCオン時警告音声案内
エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを音声の出力で警告します。

●カード抜き忘れ警告
エンジンスイッチをACC からLOCKの位置にしたとき、カードの抜き忘れを音声の出力で警告します。

3 **完了**にタッチします。

クイックリファレンス

<ETCの各項目を設定する>

1 設定

2 する ・ しない

3 完了



ETC割り込み案内について

料金所に近づいたとき、ETC専用ゲートが案内されます。（ETC専用ゲートからの情報が受信されたときのみ）

8. バックモニターの操作

オプションのバックモニターを装着した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

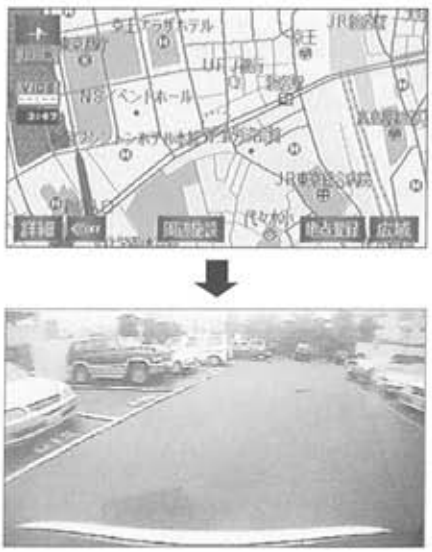
注意

- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 太陽光を直接長時間映さないでください。焼き付け現象が残ることがあります。

クイックリファレンス

1 バックギアにシフト

バックモニターの映像



1 バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 他にシフトすると通常画面に戻ります。

ワンポイント

- 写真は一例です。モニター画面に写る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、いったん白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。〔CCD素子特有の現象（スミヤ現象）です。強い光が無くなると消えます〕
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。

MEMO

SECTION 9 こんなときは

この章では、補正や知っておいていただきたいことについて説明します。

1.ナビゲーションの補正が必要なとき ……328
現在地の補正 ……328
距離の補正 ……330
自動補正するとき ……330
手動補正するとき ……331
2.車速情報の表示 ……332
車速情報の表示 ……332
3.地図DVD-ROMの情報 ……333
地図DVD-ROMの情報表示 ……333
4.知っておいていただきたいこと ……334
こんなメッセージが表示されたときは ……334
ナビゲーション全般に関係するメッセージ ……334
VICSに関係するメッセージ ……336
通信全般に関係するメッセージ ……336
iモードに関係するメッセージ ……337
故障とお考えになる前に ……338
ナビゲーション全般に関係すること ……338
VICSに関係すること ……339
ハンズフリーに関係すること ……340
ヘルプネットに関係すること ……341
音声操作に関係すること ……342
こんなトークバックのとき ……343
ヘルプネットの表示灯について ……344
ヘルプネットサービス会員規約 ……346

1. ナビゲーションの補正が必要なとき

次のようなときはナビゲーションの補正を行うことが必要です。

●タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。（距離の補正）

また、次のようなときも補正を行うことができます。

●実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき…自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。（現在地の修正）

●走行中、地図の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車位置マークの進み方を修正することができます。（距離の補正）

ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります）
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

ワンポイント
800m スケール図より詳細な地図で補正することができます。

現在地の補正



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 **ナビ補正**にタッチします。

クイックリファレンス

1 ナビ設定

2 ナビ補正

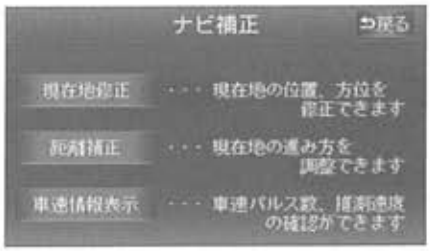
3 現在地修正

4

5 セット

6

7 セット



3 **現在地修正**にタッチします。



4 ⇧にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。

5 **セット**にタッチします。



6 方向を設定します。

●方向を反時計まわりに動かすときは**(**、時計まわりに動かすときは**)**にタッチします。

7 **セット**にタッチします。

1. ナビゲーションの補正が必要なとき

距離の補正



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 **ナビ補正**にタッチします。



3 **距離補正**にタッチします。
●自動補正、または手動補正を行います。



自動補正するとき

1 **自動補正**にタッチします。
●自動補正中はタッチスイッチが選択色になります。
●GPS情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチが元に戻ります。

ワンポイント

●本機はGPSにより自動的に車速センサーの距離補正を行っています。ところが自動距離補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、新しく別の車両に本機を取り付けたときなど）に対しては対応が遅れてしまいます。
それを防ぐために、このような場合は自動補正を選択し、距離補正係数の計算のやり直しをさせることをおすすめします。距離補正は、GPSの電波の受信状態の良好な道路を約10km走行してください。
●補正できないときは、販売店で点検を受けてください。

クイックリファレンス

1
ナビ設定

2
ナビ補正

3
距離補正

クイックリファレンス

1
<自動補正するとき>
自動補正

手動補正するとき

ワンポイント
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- **初期状態に戻す**にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態に戻ります。

クイックリファレンス

<手動補正するとき>

1 ▶ ・ ◀

2 セット



1 自車位置マーク(▲)の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは▶（進める）、早く進むときは◀（遅らせる）にタッチします。

ワンポイント
- 最も進めると▶、最も遅らせると◀の色が反転し、タッチしても操作できません。

2 **セット**にタッチします。

2. 車速情報の表示

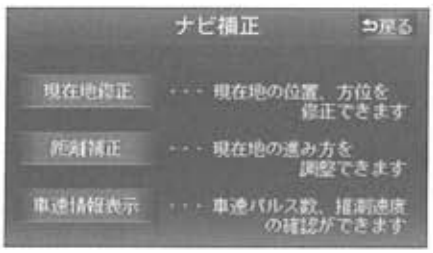
車両の車速パルス数（スピード信号）、推定速度を確認することができます。
ナビゲーションを新規で車両に取り付けたとき、車速信号が正しく入力されているか、確認する場合などに使用します。

車速情報の表示



1 メニュー画面で、**ナビ設定**にタッチします。

2 **ナビ補正**にタッチします。



3 **車速情報表示**にタッチします。



●車速パルス数、推定速度が表示されます。

クイックリファレンス

1 ナビ設定

2 ナビ補正

3 車速情報表示

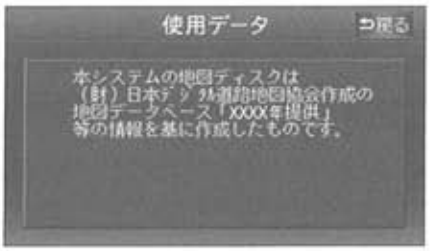
3. 地図DVD-ROMの情報

地図DVD-ROMに収納されているデータベースなどの情報を見ることができます。
下の画面は表示例であり、地図DVD-ROMの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。

クイックリファレンス

1 使用データ

地図DVD-ROMの情報表示



1 メニュー画面で、**使用データ**にタッチします。
●情報が表示されます。

4. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション全般に関係するメッセージ

メッセージ	原　因	処　置
GPSアンテナの接続が異常です。	GPSアンテナが正しく接続されていないため。	GPSアンテナを正しく接続してください。
車速パルスが入力されていません。	車速センサーと正しく接続されていないため。	車速センサーを正しく接続してください。
高速走行では市街図を表示できません。広域な地図に切り替えます。	市街図表示中、車速が約80km/h以上になったため。	車速が約70km/h以下になると市街図を表示します。
自宅が登録されていません。メニューのメモリ地点から登録できます。	自宅が登録されていないときに、**自宅に帰る**にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。 (147ページ参照)
該当する電話番号が検索できません。確認して修正して下さい。	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません。確認して修正して下さい。	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません。確認して修正して下さい。	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
この縮尺では位置が特定できません。詳細な地図に切り替えます。	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800mスケール図以下)で行ってください。

メッセージ	原　因	処　置
付近に案内可能な道路がありません。 移動してから再操作をお願いします。	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります。 目的地の移動をしますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	**はい**にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ**にタッチしてください。
目的地周辺に案内できる道路データがありません。 目的地の移動をお願いします。	ルート探索できないところに目的地・通過目的地を設定しようとしたとき。	目的地・通過目的地を幹線道路付近に変更してください。
周辺に対象となる施設が見つかりません。	施設選択された施設が周辺にないため。	故障ではありません。 データがあれば表示されます。
メモリ地点が登録されていません。 メモリ地点を登録してからお使い下さい。	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。 (148ページ参照)
これ以上登録できません。 消去してからお使い下さい。	メモリ地点を登録した数が100箇所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 (157ページ参照)
これ以上施設を選択できません。	既に表示する施設を5つ選択している場合。	さらに表示するには不要な施設の表示を解除してください。
地図ディスクが入っていません。	地図ディスクが挿入されていないため。	地図ディスクを挿入してください。
データが読めません。 地図ディスクが正しいかご確認ください。	地図ディスク以外を挿入したとき。	挿入されているディスクを取り出し、正しい地図ディスクを挿入し直してください。
データが正しく読めません。 ディスクの傷、汚れをご確認ください。	地図ディスクに傷、汚れなどがあり、正常にデータが読めないとき。	販売店に相談してください。

4. 知っておいていただきたいこと

VICSに関係するメッセージ

メッセージ	原　因	処　置
VICS情報は1／8万より広域の地図には表示されません。	VICS表示中に800mスケールより広域の地図にしたとき。	800mスケール以下の詳細な地図に切り替えてください。(57ページ参照)
受信中です。 しばらくお待ち下さい。	VICSメニューを受信していないとき。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局し直してください。 (172ページ参照)
走行中は自動送りできません。 停車してから自動送りを再開します。	自動送り機能を走行中にしたとき。	停車してからご使用ください。
VICSの文字(図形)情報を受信していません。 VICS選局で周波数をご確認下さい。	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないとき。	選局し直してVICSの情報を受信してください。 (172ページ参照)
ビーコンが接続されていません。	2メディアVICSユニットが接続されていないため。	2メディアVICSユニットを接続してからご使用ください。
VICSの文字（図形）情報が提供されていません。	VICSユニットが接続されていますが、情報が未受信のとき。	故障ではありません。 情報が受信されれば正常に動作します。

通信全般に関係するメッセージ

メッセージ	原　因	処　置
電話機をご確認下さい。	携帯電話の接続がされていないとき。 接続されているが電源が入っていない場合。	お使いの携帯電話は対応機種でしょうか。携帯電話の接続、電源を確認してください。
ダイヤルロックされています。電話機をご確認下さい。	携帯電話がダイヤルロックされている場合。	ダイヤルロックを解除してから再度通信してください。
電話機を使用中です。	携帯電話本体で通話している場合。	通話を終了してから再度通信してください。
通信圏外です。 しばらくしてからご使用下さい。	携帯電話が通信圏外にある場合。	通信圏内でご使用ください。
回線が混雑しています。 しばらく待ってお使い下さい。	センターまたは電話回線が混雑している場合。	時間をおいて，もう一度通信を開始してください。
目的地が設定されていません。 目的地を設定してからご利用下さい。	ナビゲーションでルートが設定されていない場合。	ナビゲーションでルートを設定してからお使いください。

iモードに関係するメッセージ

メッセージ	原　因	処　置
接続されている携帯電話はiナビリンク対応機ではありません。電話機をご確認下さい。	携帯電話がナビゲーションに対応していない。	ナビゲーションに接続可能なiモード携帯電話を接続してください。
	iモード携帯電話の接続が不完全。	iモード携帯電話の電源を入れ直し、コードの接続を確認してください。
空きメモリがないためメール・メッセージを受信できませんでした。メモリを削除してから受信して下さい。	「iモード」でのメールやメッセージの保存合計件数が20件のときに、さらにメールやメッセージを受信しようとしたとき。	消してもよいメールまたはメッセージを消してから、受信をしてください。
空きメモリがないため全てのメール・メッセージを受信できませんでした。メモリを削除してから受信して下さい。		

4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検をお受けください。

ナビゲーション全般に関係すること

症　状	考えられること	処　置
電源が入らない。	ヒューズが切れているか、本体の電源の取り付けがはずれていると思われます。	ヒューズを点検してください。切れている場合はヒューズを交換します。または、電源の取り付けを販売店で確認してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(53 ページ参照)
自車位置マーク△が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(53 ページ参照)
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPSアンテナ上部に物が置いてあるときは、取り除いてください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(124 ページ参照)
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。(50 ページ参照)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
エンジンスイッチをONの位置にした後、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(48ページ参照)

症　状	考えられること	処　置
実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク(▲)が表示されている。(自車位置マーク(▲)がずれている)	GPS衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車位置マーク(▲)がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マーク(▲)がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります)GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の補正を行ってください。(328ページ参照)
リストの中に目的の市区町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください。(44ページ参照)
地図のディスクが取り出せない。	指定外のディスクを挿入したり正しく挿入されなかったと思われます。	イジェクトスイッチを長押し(5秒以上)してください。(24ページ参照)

VICSに関係すること

症　状	考えられること	処　置
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していない。	VICS選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっている。	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定がすべてOFFになっている。	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアをはずれている。	VICSの提供エリアは、同梱の「地図ディスクについて」を参照してください。
	ディスク情報が古い場合。VICS エリアは毎年拡大され、そのデータはディスクに納められ、毎年更新されます。	最新版のディスクをお求めください。
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がありません。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯のとき。	情報を受信次第表示されます。

4. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
VICS 17:09 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。

ハンズフリーに関係すること

症　状	考えられること	処　置
発信や着信ができない。	携帯電話が対応機種でない。	対応機種かどうかご確認ください。
	電波状況が悪い。	圏外と表示されていたり、受信レベルが Y になっていないかご確認ください。
	携帯電話とコネクタの接続が不完全。	コネクタからはずして接続し直してください。
	携帯電話のバッテリーが切れている。	本機には充電機能がありませんので、専用の充電器で充電してください。
	携帯電話の表示がおかしい。	コネクタからはずして電話の電源を入れ直すと直ることがあります。
	ダイヤルロックされている。	携帯電話の本体でダイヤルロックを解除してください。

ヘルプネットに関係すること

症　状	考えられること	処　置
HELPNET の色が反転している。	会員登録時の手動保守点検が、行われていない可能性があります。	お買い上げの販売店に相談してください。
ヘルプネットオペレーションセンターに接続できない。	「ダイヤルロック」されていませんか？	電話機側の操作で「ダイヤルロック」を解除してください。
	電波状態が悪くありませんか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話サービスエリア外ではありませんか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話回線が混雑していませんか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。

4. 知っておいていただきたいこと

音声操作に関すること

音声認識機能に関する制限事項

(1) 音声認識には、雑音や周囲の話し声が大きいとうまく認識できない場合があります。
・窓を開けた状態
・エアコンのファンの音が大きいとき
・路面が悪く、走行雑音が大きいとき
・同乗者の話し声があるとき

(2) 画面を切り替える音声認識コマンドは、音声認識中に画面が遷移すると、コマンドの実行ができない場合があります。

(3) 長く押して機能するスイッチは、音声認識コマンドにて動作させることができません。
(例：**案内開始**に長くタッチして、デモンストレーション走行する場合など)

(4) 施設ランドマーク表示で音声認識できる施設名は地図ディスクに依存します。地図ディスクを更新すると内容が変更されることがあります。また、音声認識できるコマンドも地図ディスクに依存します。
スイッチの表示名称と音声認識コマンドが異なる場合があります。

(5) 走行・表示・案内などの状況で音声認識時間が長くなることがあります。

(6) 音声認識動作中は、案内音声の発声やオーディオの音声も中断されます。

(7) バッテリー脱着時やディスクの交換を行った場合は、エンジンスイッチをACCにしても約30秒音声認識動作ができません。この間に音声認識スイッチを押すと「地図ディスクを確認しています」とトークバックします。

(8) 画面状態によっては音声認識機能が使えないことがあります。この間に音声認識スイッチを押すと「この画面では操作できません」もしくは「認識できませんでした」とトークバックするか、他のコマンドに誤認識します。

(9) メモリ地点の「読み」に入力した言葉が、住所・施設・コマンドなど他の音声認識コマンドと重複した場合、メモリ地点以外のコマンドが優先されます。

(10) 音声認識コマンドによっては、実行できる画面が特定されているコマンドがあります。

(11) 音声認識中のマークが表示されている間に次のコマンドを話すと、その前に話したコマンドが無効になります。

こんなトークバックのとき

メッセージ	原　因	処　置
認識できませんでした。	認識されるコマンド（言葉）ではありません。	認識されるコマンド（言葉）をお話しください。
この画面では、操作できません。	この表示画面では、発声したコマンドは動作できません。	他の画面でお試しください。
2画面表示にして、お使いください。	2画面表示時の右画面に対してのコマンドです。	2画面表示にして、お使いください。
3D表示では、地図向きの変更はできません。	3D表示は、ヘッディングアップのみ表示可能です。	2D表示にして、お使いください。
目的地が、設定されていません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	ルートを設定して、お使いください。
案内ルートからはずれているため、目的地までの情報が計算できません。	案内ルートからはずれているため、情報が計算できません。	案内ルートに乗ってから、お使いください。
ルート案内中でないため、発声できません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	目的地を設定して、お使いください。
ルート案内中でないため、表示できません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	目的地を設定して、お使いください。
これ以上、広域にできません。	表示地図の縮尺が最大で操作ができません。	他の縮尺でお使いください。
これ以上、詳細にできません。	表示地図の縮尺が最小で操作ができません。	他の縮尺でお使いください。
ここでは市街図は収録されていません。	表示中の地図には市街図がありません。	市街図のある地域に移動してから、操作してください。

4. 知っておいていただきたいこと

ヘルプネットの表示灯について

ヘルプネットではシステムの動作状態を画面の赤と緑の表示灯で次のようにお知らせします。

〈画面表示例〉



表示灯 緑（左）	表示灯 赤（右）	表示する場合	処理方法
○ 点灯	○ 消灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア内）	緊急通報および電話がご利用になれます。
○ 消灯	○ 点灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		機器に異常がある場合（携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内で、いつまでもこの表示が続く場合は機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店に相談してください。
☼ 点滅	○ 消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了すると、表示が変化しますのでそのままお待ちください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了すると表示が変化しますので、そのままお待ちください。
○ 消灯	☼ 点滅	緊急通報に失敗したとき	約6秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		何回も連続して自動保守点検に失敗したとき	手動保守点検をしてください。（313ページ参照）それでも表示が続く場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。（313ページ参照）
		機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らない場合は、機器に異常があることが考えられます。直ちにお買い上げの販売店に相談してください。

表示灯		表示する場合	処理方法
緑（左）	赤（右）		
○ 点灯	○ 点灯	エンジン始動時の保守点検中のとき	保守点検（約5秒間）が終了すると、表示が変化しますので、そのままお待ちください。
		機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らない場合は、機器に異常があることが考えられます。直ちにお買い上げの販売店に相談してください。
○ 消灯	○ 消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	ヘルプネットサービスに契約してください。
		ナビゲーション本体が動作していないとき	エンジンスイッチをACCまたはONにしてもこの状態が続く場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

ワンポイント

● 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された車載機を使用する場合は、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

4. 知っておいていただきたいこと

ヘルプネットサービス会員規約

このヘルプネットサービス会員規約（以下、「本規約」といいます）は、株式会社日本緊急通報サービス（以下、「当社」といいます）が提供するヘルプネットサービス（以下、「本サービス」といいます）の利用について定めます。

第1章　総　則

第1条　本規約の適用

本規約は、当社と本サービスの会員（以下、「会員」といいます）との間の、本サービスの利用にかかわる一切の関係に適用されます。

第2条　本規約の変更

当社は、会員の了承を得ることなく本規約を変更することがあり、会員はこれを承諾します。

2．当社は、変更後の内容を当社が定める方法により会員に通知します。

第3条　用語の定義

本規約においては、次の各号に定める用語は、それぞれ当該各号に定める意味で使用します。

①登録車載機：本規約に基づいて当社に登録されている、本サービスの利用を可能とする車載機器

②登録車両：登録車載機を搭載し、かつ本規約に基づいて当社に登録されている車両

③通信機：本サービスの利用において、登録車載機に内蔵または接続して利用される、携帯電話機などの通信機器

④利用電話サービス：通信機において、契約・利用されている携帯電話等の電話サービス

⑤通報：緊急事態発生時に登録車載機から発せられる、車両位置等のデータおよび音声を含む通信

⑥サービス開始操作：本サービスの利用を可能な状態とするため、会員が登録車載機において行う所定の操作

⑦サービス終了操作：本サービスの利用を不能な状態とするため、会員が登録車載機において行う所定の操作

⑧センターシステム：当社が設置する、本サービスを提供するためのシステム全般

⑨関係機関：警察および消防等

⑩緊急事態：以下の場合を指します。

（1）交通事故、急病その他の事由により登録車両の乗員等を医療機関その他の場所へ緊急に搬送する必要が発生した場合

（2）登録車両の乗員等の生命・身体が重大な危険に晒されるような切迫した事態が発生した場合

（3）交通事故等による物の損壊があった場合、または火災が発生した場合

⑪自動発信：エアバッグの展開等と連動して、通報が登録車載機から自動的になされる発信

⑫手動発信：ボタンの押下等の手動の操作により、通報が登録車載機からなされる発信
⑬会員情報：名称・氏名、住所、支払方法、登録車載機に関する情報、および登録車両に関する情報等

第２章　会員契約

第４条　入会申込

本サービスの利用を希望する者は、当社が定める手続きに従い、本規約を承諾のうえ、当社へ入会を申し込むものとします。

２．申込者は、前項に定める入会申込に際し、会員情報を当社に届け出るものとします。

第５条　申込の承諾

当社は、前条の申込を受け取った場合、これを承諾します。ただし、以下に該当する場合には承諾を行わないことができるものとします。

①申込者本人の意思により申し込まれたことが確認できない場合
②法令に違反する等、不正な手続きによって申し込まれた場合
③申込書に必要事項が記入されていない場合、またはその内容が正確でない場合
④申込者が、過去において本サービスの提供を受けるのにふさわしくない行為を行ったことがある場合
⑤申込者が未成年の個人で、申込に当たり保護者の同意を得ていない場合
⑥申込について、当社が本サービスを正常に提供できないおそれがあると判断した場合
⑦会費等の支払を現に怠り、または怠るおそれがある場合
⑧その他、当社が不適当と判断した場合

第６条　会員契約の成立

会員契約は、第４条の申込に対して当社が承諾したときに成立し、第１２条または第１３条の規定に基づき会員契約が終了しない限り、継続するものとします。

第７条　契約の単位

当社は、一の契約単位ごとに、会員１名、車載機１台、車両１台を登録します。

２．当社は、一の契約単位ごとに一の契約番号を付与し、当社が定める方法によりこれを会員に通知します。

第８条　契約番号の管理責任

会員は、自己の契約番号の管理、使用について責任を持ち、自己の契約番号の使用に関して当社に損害・損失等を与えることのないものとします。

第９条　会費等の支払い

会員は、別表に定める会費等を当社が定める期日までに支払うこととします。

２．当社は、会員が会費等について支払期日を経過してもなお当社に対して支払わない場合、支払期日の翌日から支払日の前日までの日数について年14.5%の割合で計算して得た額を延滞利息として会員に請求することができるものとします。

4. 知っておいていただきたいこと

3．会員は、第１２条または第１３条の規定に基づく会員契約の終了に際し、以下に定める事項を承諾します。
①既に支払われた会費等について、当社がこれを返還しないこと。
②会員に未払いの会費等がある場合は、その支払義務を免れるものではないこと。

第１０条　権利義務の譲渡禁止
会員は、当社が予め承諾した場合を除き、会員契約に基づく権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡し、承継させ、または担保に供することはできないものとします。

第１１条　会員情報の変更の届出
会員は、会員情報の内容に変更が生じた場合は、当社が定める手続きに従い、速やかに変更の届出を行うものとします。

第１２条　退会
会員は、退会を希望する場合、当社が定める手続きに従い、退会希望日の１ヶ月前までに当社へ退会の申出をするものとします。
2．当社は、会員からの申出がなされた退会希望日を退会日として承諾します。ただし、退会希望日が当社の営業日でないときは、その翌営業日をもって退会日とします。
3．当社は、退会日をもって、会員に対する一切のサービス提供義務を免れるものとします。
4．会員は、退会日以降、登録車載機において速やかにサービス終了操作を行うこととします。
5．会員は、前項のサービス終了操作を怠ったことにより発生した損害・損失等について、当社が一切の責任を負わないことを承諾します。

第１３条　会員契約の解除
当社は、会員が以下の項目に該当する場合には、事前に何ら通知または催告することなく、会員契約を解除することができるものとします。また、この場合、当社が会員契約を解除したことを当社が定める方法により通知します。
①本規約に違反した場合
②入会申込時等に虚偽の事項を申告したことが判明した場合
③虚報等、本サービスの利用に関して不適切な行為があると当社が判断した場合
④本サービスの利用に関して不適切な車載機または通信機等を使用する等、本サービスに重大な悪影響を及ぼすような行為があると当社が判断した場合
⑤会費等について、その支払期日を経過してもなお支払われない場合、またはそのおそれがある場合
⑥会員契約成立後、第１６条に規定するサービス開始操作を１年間のうちに完了しなかった場合
⑦会員契約成立後、第5条に規定する項目に該当することが判明した場合
⑧その他、当社が不適当と判断した場合
2．当社は、前項により会員契約を解除した日をもって、会員に対する一切のサービス提供義務を免れるものとします。

3．会員は、当社が会員契約を解除した後、登録車載機において速やかにサービス終了操作を行うこととします。
4．会員は、前項のサービス終了操作を怠ったことにより発生した損害・損失等について、当社が一切の責任を負わないことを承諾します。

第３章　本サービス

第１４条　本サービスの提供

当社は、会員に対し、本規約に基づいて本サービスを提供します。

第１５条　本サービスの内容

本サービスは、緊急事態発生時の登録車載機からの通報を、当社が会員の要請に基づき関係機関に接続するものです。
2．前項の規定にかかわらず、通報において、エアバッグの展開等や音声その他による情報等から緊急事態が発生していることが判断される場合、当社は、会員の要請によらず関係機関に通報を接続する場合があります。
3．会員は、本サービスについて、登録車載機からの通報が関係機関に接続されるまでに一定の時間を要するものであることを承諾します。
4．会員は、本サービスによる関係機関への通報の接続およびそれに基づく関係機関による救急救助等の措置が、関係機関において優先的に取り扱われるものでないことを承諾します。
5．会員は、本サービスの利用において当社に交通事故・火災等の緊急事態発生の事実を伝えることが、道路交通法及び消防法等の関連適用法規により義務づけられている措置・通報の代替行為とならず、法的義務が免除されるものではないことを承諾します。
6．会員は、本サービスの利用によって関係機関に通報がなされた後、当該関係機関から当社へ再接続の要請等ある場合、会員へ通話を接続する場合があることを承諾します。
7．会員は、自らの責任において本サービスを利用し、関係機関への通報およびその内容に関して当社または関係機関その他に損害・損失等を与えることのないものとします。

第１６条　本サービスの利用開始

会員は、会員契約成立後、速やかに登録車載機においてサービス開始操作を行い、本サービスの利用が可能な状態になったことを確認することとします。
2．会員は、前項の確認が完了するまでは本サービスの利用ができないことを承諾します。

第１７条　本サービスの利用可能期間

本サービスの利用可能期間は、前条によりサービス利用が可能になった時点から、第１２条または第１３条の規定に基づき会員契約が終了となるまでとします。

第１８条　本サービス利用上の制限

会員は、本サービスの利用が緊急事態発生時に限られることを承諾します。

4. 知っておいていただきたいこと

第１９条　本サービスの提供エリア
本サービスの提供エリアは、利用電話サービスおよび全地球測位システム（GPS）が利用可能な日本国内のエリアとします。

第２０条　本サービスの対応言語
当社は、本サービスの提供にあたり、日本語のみで対応します。

第２１条　本サービスの提供の中断または休止
当社は、以下の場合には、会員に事前に通知することなく、一時的に本サービスの提供を中断または休止することがあります。

①センターシステムの保守を定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
②センターシステムが火災、停電、損壊、故障等により、正常に作動しなくなった場合
③地震、噴火、洪水、津波等の天災により、本サービスの提供が出来なくなった場合
④戦争、動乱、暴動、争乱、労働争議等により、本サービスの提供が出来なくなった場合
⑤その他、運用上または技術上の理由等により、本サービスの提供の一時的な中断または休止が必要であると当社が判断した場合

第４章　機器等

第２２条　登録車載機
会員は、本サービスを利用するために、自己の責任において登録車載機を設置するものとします。
２．会員は、登録車載機が正常に作動し、本サービスの利用が可能である状態を保持するものとします。
３．当社は、登録車載機について発生した障害およびトラブルに関し、一切の責任を負わないものとします。

第２３条　通信機
会員は、本サービスを利用するために、自己の責任において登録車載機に適合する通信機を設置するものとします。
２．会員は、利用電話サービスを含め、通信機が正常に作動し、本サービスの利用が可能である状態を保持するものとします。
３．会員は、本サービスならびにサービス開始操作、サービス終了操作、および次条に規定する登録車載機等の診断に関係し発生する通信費用を負担するものとします。
４．当社は、通信機および利用電話サービスについて発生した障害およびトラブルに関し、一切の責任を負わないものとします。

第２４条　登録車載機等の診断
会員は、登録車載機から定期的かつ自動的に登録車載機等の診断のための通信がなされることを承諾します。
２．当社は、登録車載機から随時に発信される登録車載機等の診断のための通信を受付けます。

第５章　損害賠償

第２５条　免責

会員は、以下の場合等には、本サービスの全部または一部を利用できず、それにより会員または第三者が被った損害・損失等に対して、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾します。

①交通事故等による強い衝撃や振動、または異常な高温や低温、高湿度等に起因して、登録車両（車両積載のバッテリーを含みます。）、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等（アンテナ、エアバッグ、エアバッグセンサー、ハンドセット、ハンズフリーユニット、その他これらに準する機器を含みます。）に損傷、または故障、配線等の切断、もしくは電源の遮断等が発生し、正常に作動しなかった場合

②登録車両が、第１９条に規定する本サービス提供エリアの外（屋内、地下駐車場、ビルの陰、トンネル、山間部等、電波が伝わりにくいところを含みます。）にある場合

③利用電話サービスにおいて通話が著しく輻輳する等、本サービス利用に関する正常な通信が出来ない場合

④関係機関または当社への通報が一時に集中した場合

⑤第２７条に規定する情報の全部または一部を当社が取得できなかった場合、または取得した情報の内容に誤りもしくは誤差が含まれる場合

⑥道路や建物などの地理的な条件や、関係機関の所轄に関する情報が新設、変更または廃止され、その情報を当社が認知していない場合

⑦登録車両の自走によらない移動の直後（フェリーからの降船直後等）、長期間車両を使用していなかった直後等、登録車載機に搭載されている全地球測位システム（GPS）等を利用して得られた位置情報に誤りまたは誤差がある場合

⑧第２１条の規定に基づき本サービスの提供が中断または休止している場合

２．会員は、以下の場合等には、本サービスの全部または一部が利用できず、それにより会員または第三者が被った損害・損失等に対して、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾するとともに、会員が自己の責任においてその原因となる事象を解決することとします。

①会費等について、当社の定める支払期日を経過してもなおその支払いがない場合

②会員情報の内容に誤りのある場合、または会員情報の変更の届出を怠っている場合

③会員契約が有効でない場合、または、第１７条に規定する本サービスの利用可能期間内にない場合

④登録車両、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等が正しく設置もしくは接続されていない場合、または故障、損壊、不具合等があり正常に作動しない場合、またはこれらの組み合わせにおいて不適合である場合、または本サービスの利用に障害となるような機能設定をしている場合

⑤登録車載機や通信機またはその他周辺機器の取扱説明書等に記載されている

4. 知っておいていただきたいこと

事項を遵守しなかった場合
⑥登録車両搭載のバッテリーの電圧低下や、登録車載機または通信機の電池切れ等、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等に電力が正常に供給されていない場合
⑦登録車載機や通信機またはその他周辺機器等の電源が入っていない場合
⑧ドライブモード、ダイヤルロック、発信禁止、留守番電話等、本サービスの利用に障害となるような、利用電話サービスにおけるネットワークサービスの利用や通信機の機能設定をしている場合
⑨利用電話サービスにおいて、その料金の滞納等によりその利用が停止または解除されている場合
⑩利用電話サービスにおいて、その通信方式等の変更または終了により、登録車載機、通信機、またはその他周辺機器等が利用できなくなった場合

第２６条　損害賠償

会員は、本サービスの内容またはその利用により会員または第三者が被った損害・損失等に対し、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾します。

2．本サービスに関して会員が第三者に対して損害・損失等を与えた場合は、会員は、自己の責任と費用をもって解決するものとし、当社に損害・損失等を与えないものとします、なお、会員の行為により当社に損害・損失等が生じた場合には、当社は会員にその賠償を請求することができるものとします。

第６章　その他

第２７条　個人情報等に関する取扱い

会員は、当社が本サービスの提供に際し、会員情報、および通報により当社が取得したデータや音声による情報のうち、以下の情報を関係機関へ伝達することに同意します。また、会員はこれに協力することとします。

①緊急事態に関する情報：緊急事態の内容等
②会員の属性に関する情報：会員の氏名・名称、住所、電話番号等
③車両情報：通報発信時の位置、走行履歴、車両番号、年式、型式、車種名、車体色等
④発信種類：自動発信、手動発信の別
⑤その他：通報発信時刻、通信機に付与された電話番号等

2．当社は、前項で規定する情報を含め、会員からの通報に関して取得したデータや音声等について記録、録音等を行うことがあります。

3．当社は、前二項で規定する情報等を、本サービスの提供を遂行する目的以外に利用しないものとします。

第２８条　専属的合意管轄裁判所
当社と会員の間で訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

（付則）本規約は、平成12年9月1日から実施されます。

別表：会費等（別途消費税相当額を申し受けます）
入会金　6000円
年会費　4000円

MEMO

SECTION 10 ご参考に

この章では、精度と誤差や用語について説明します。

1.精度と誤差について ……356
測位精度について ……356
GPS衛星の電波の性質と受信状態について ……356
現在地表示の誤差 ……357
タイヤによる誤差 ……357
マップマッチングによる自車位置検出の補正 ……357
現在地表示の精度について ……358
道路、地名データについて ……359
ルート案内について ……360
2.用語説明 ……362
データ通信全般 ……364
iモード関連 ……364
インターネット関連 ……365
3.目的別索引 ……366
地図に関して ……366
地図の表示について ……366
地図の呼び出しについて ……368
目的地案内に関して ……368
目的地案内を開始する前に ……368
目的地案内を開始する前に、または目的地案内中に ……369
目的地案内中に ……369
VICS ……370
VICSについて ……370
情報 ……371
情報について ……371
オプション機能 ……372
オプション機能について ……372
その他 ……373
便利な機能 ……373
わからなくてお困りのとき ……373
4.索引 ……374

1. 精度と誤差について

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

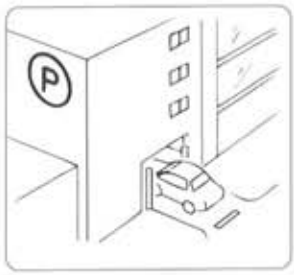
※GPS衛星からの電波は直進性が強いため、次のような場所では受信できないことがあります。
（地図画面にGPSマークが表示されていないときはGPS電波がうまく受信されてないときです）



① トンネルの中



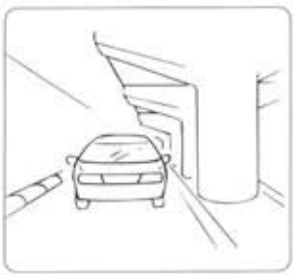
② ビルの谷間



③ 建物の中



④ 街路樹の並木道、山間部の林の道



⑤ 高速道路等立体道路の下の道路



⑥ 崖下の道、洞門

●GPSアンテナの上または周囲が障害物（積載物を含む）に覆われた場合、GPS電波を受信できなくなることがあります。
●GPS衛星は米国国防総省により管理されており、測位精度を故意に落とすことがあります。このような場合には、自車マークがずれることがあります。

注意

以下の理由により、取付説明書に定められた位置に取り付けてください。
・他の電装品から生じるノイズにより、受信低下の可能性があります。
・エアバッグの作動を妨げる可能性があります。
・フロントピラー、ルーフパネルにより車両側方、後方の衛星からの受信が低下する可能性があります。

現在地表示の誤差

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよびジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

（実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。）

タイヤによる誤差

本機では自車の移動した距離を車速センサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。(距離補正係数の設定を変えて調整できます)

マップマッチングによる自車位置検出の補正

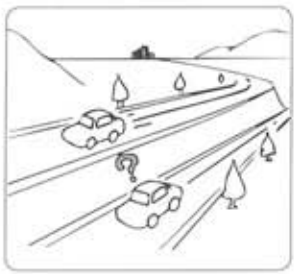
マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。
本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。
しかし、現在地の誤差はどうしても避けられないため、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。



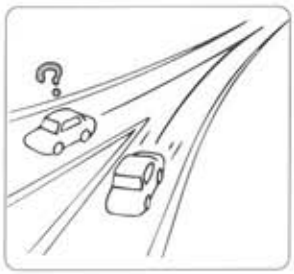
1. 精度と誤差について

現在地表示の精度について

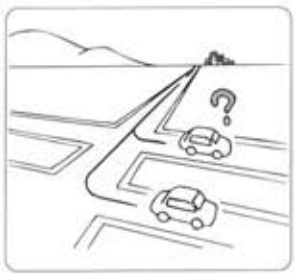
※以下のような走行状態や、GPS衛星の状態により現在地表示がずれる場合があります。また地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、現在地表示がずれることがありますが、そのまましばらく走行すると補正機能で自動的に正しく表示します。しばらくしても戻らない場合は現在地の修正や自動補正をしてください。



①並走している道路に自車マークが表示されることがあります。



②角度の小さなY字路を走行しているとき、他方の道路に自車マークが表示されることがあります。



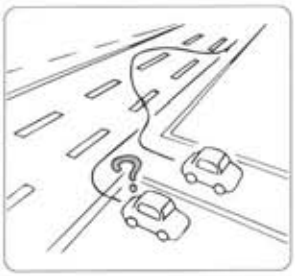
③右左折の場合、手前の道路または、先の道路に自車マークが表示されることがあります。



④急勾配の道路を走行した場合、自車マークがずれて表示されることがあります。



⑤同一方向のカーブが連続する道路を走行した場合、自車マークがずれて表示されることがあります。



⑥車線変更等蛇行運転をした場合、自車位置がずれることがあります。



⑦駐車場などのターンテーブルでACC OFFの状態で旋回すると自車マークの向きがずれることがあります。
駐車場から出た後もずれることがあります。



⑧雪道、山道等の走行、タイヤチェーン、スペアタイヤ等で走行した場合、自車マークの位置がずれることがあります。
※このような走行をした後に、「距離の補正」（330ページ）と同じ操作をしてください。



⑨フェリー等、自車走行以外で移動した場合はGPSによる測位ができるまで移動前の場所に自車マークが表示されます。



⑩タイヤ交換した場合、自車マークがずれることがあります。
※タイヤ交換した場合、「距離の補正」（330ページ）を参照してください。

道路、地名データについて

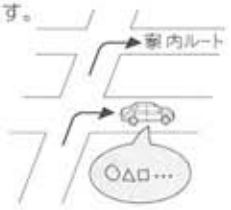
道路や地名は、地図ディスク作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

1. 精度と誤差について

ルート案内について

次の条件のような場合は故障ではありません。

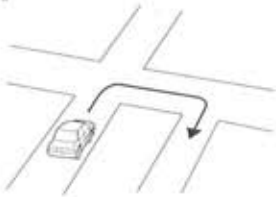
①案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤って出る場合があります。



②再探索時に、ルートが大回りになる場合があります。



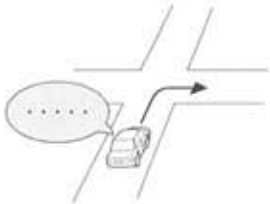
③Uターンするルートを案内する場合があります。



④直線道路走行中に、直進の音声案内が出る場合があります。



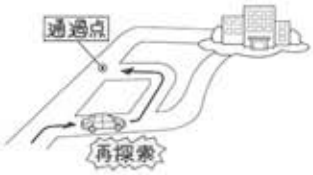
⑤交差点で曲がるのに音声案内の出ない場合があります。



⑥再探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



⑦通過点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過点へ戻るルートが出る場合があります。



⑧方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



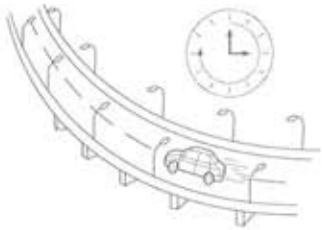
⑨ルートが探索されない場合があります。



⑩目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。



⑪高速走行時の再探索時間が長い場合があります。



⑫再探索しても、ルートがかわらない場合があります。



⑬実際には通行できない道を案内（進入禁止を案内する）する場合があります。

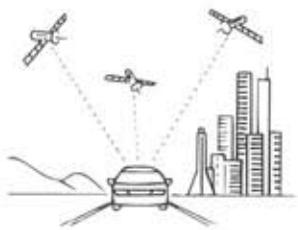


⑭案内経路上を逆走しても案内は行いません。
⑮フェリーが近い場合でも、使用しない場合があります。
⑯ルート探索終了後に案内交差点が近い場合、案内できない場合があります。
⑰有料道路優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
（「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般の道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです）

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回するGPS衛星から地上に放射される電波を受信して位置を検出するシステムです。3つ以上の衛星の電波を受信して三角測量の原理を利用し、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができます。
この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。

自立航法

車速センサーとジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。
トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

広域地図、詳細地図

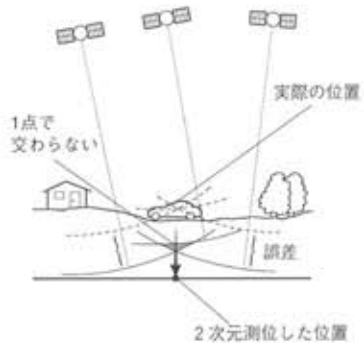
広域地図とは縮尺の大きな地図で、詳細地図とは縮尺の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000、1／2500です。

測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では3個以上のGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。（メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」マークは表示しません）

2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出するセンサーです。
本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

2. 用語説明

データ通信全般

回線交換
データ通信において、通信中はずっと回線を確保したまま通信を行う方式。まず通信に先立って通信回線を確保し、通信が終了した時点で回線を解放する。通信するデータがない場合でも回線を占有するので、回線の利用効率は悪い。

パケット交換
データ通信において、データをある大きさのパケット（ひとかたまりのデータ）に区切り、パケットごとに宛先アドレスやデータ属性、エラーチェックコードなどを付けて、通信媒体上へ送出する方式。実際にデータを送受信しているとき以外は回線を占有しないので、チャンネルを多重化して回線の使用効率の改善を図ることができる。

パケット通信
データ通信において、通信パケットを転送の単位とする蓄積交換方式の1つ。コンピュータネットワークのために開発されたもので、多数の端末、または多数の利用者が送出するパケットを1つの通信回線上で多重化して伝送することができ、通信回線を効率的に利用できるのが特徴。また、交換機でデータの変換が行なえるため、通信速度や通信制御手段の異なる端末間でも通信することができる。

iモード関連

iモードセンター
情報サービス提供者と携帯電話とを中継している。また、携帯電話のユーザが携帯電話の電源を切っていたりiモードサービスエリアの圏外にいたりして、メッセージやメールを届けられなかったときにはそれらを保管する。

iモードメール
「iモード」携帯電話でのメール。
iモード同士だけではなく、インターネットメールアドレスを持っている人とならば誰とでも電子メールが送受信できる。
iモードセンターでのiモードメールの保存件数は最大20件、保存期間は30日間。（720時間）

サイト
「iモード」で提供されている公認コンテンツ番組のこと。

メッセージ
サイトによって提供される情報のこと。
サイトとの契約が必要なメッセージリクエスト（メッセージR）とサイトとの契約が不要なメッセージフリー（メッセージF）がある。
iモードセンターでのメッセージの保存件数には制限があり、保存期間は3日間。（72時間）

インターネット関連

DNSサーバ
インターネットに接続されているコンピュータは、実際にはIPアドレスという数値で識別される。
（例：204.123.34.56）
DNS（Domain Name System）とは、IPアドレスとドメイン名を対応させるシステムで、その管理を行うサーバをDNSサーバという。

POP3サーバ
POP（Post Office Protocol）は、自分宛の電子メールを自分のコンピュータに取り込むための通信規約。
POPサーバとは、この規約に基づいて電子メールを取り込ませるコンピュータのこと。

SMTPサーバ
SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）はインターネットで電子メールを転送するための標準通信規約。
SMTPサーバとは、この規約に基づいて電子メールを送受信するコンピュータのこと。

URL（Uniform Resource Locator）
インターネット上のページリリースの場所を示す文字列。

WWW（World Wide Web）
インターネットのサービスのひとつ。
インターネット上に公開されている様々なデータを利用して、情報を文字、画像などで得ることができる。

画像ファイルの形式
コンピュータで使用される画像ファイルの保存形式は主に以下の3種類がある。インターネットで使用されるのは、主にGIFとJPEGである。
・GIF　ファイルサイズが小さく表示がJPEGより比較的速い。
・JPEG　カラー静止画像、写真データの保存に適した形式。
・BMP　Windowsの標準画像ファイル形式。

電子メール（Electric Mail）
コンピューターネットを介してやりとりされる文書のこと。
Eメールやe-mailと略される場合もある。

ドメインネーム（Domain Name）
インターネットに接続されているコンピュータを識別するための名前。
ドメイン名ともいう。

ブックマーク（Bookmark）
ホームページのURLを登録、削除、呼び出す機能。

プロバイダ（Provider）
インターネットの接続業者のこと。
個人や一般企業がインターネットに接続するには、プロバイダを利用する。電話回線での接続、専用線での接続、ホームページ開設などのサービスを提供している。

ホームページ（Homepage）
WWWサーバにあるデータ情報の総称。またはデータ情報の最初のページのこと。

3. 目的別索引

地図に関して

地図の表示について

●地図画面の見方を知りたい	
「ナビゲーション画面の見方」	34ページ

●地図記号について知りたい	
「凡例」	最終ページ

●現在地が知りたい	
「現在地の表示」	53ページ

●現在地付近の地図を見たい	
●現在地付近の地図を見たい	
「地図の移動（ワンタッチスクロール）」	54ページ
●移動方面の地名が知りたい	
「スクロール方面名称の表示を設定する」	55ページ

●地図に表示されているタッチスイッチを消去したい	
「タッチスイッチの表示」	56ページ

●地図の大きさ（縮尺）をかえたい	
●200km スケール~50m スケールの間で切り替えたい	
「地図縮尺の切り替え」	57ページ
●25m スケール（市街図表示）に切り替えたい	
「市街図の表示」	58ページ

● 地図の表示方法をかえたい	
●地図の向いている向きをかえたい	
「地図向きの切り替え」	60ページ
●車の進行方向の地図を広げたい	
「フロントワイド表示の切り替え」	61ページ
●画面を2分割して表示させたい	
「2画面表示の切り替え」	62ページ
●ハイウェイモードを表示させたい	
「ハイウェイモード画面」	64ページ
●地図を立体的に表示させたい	
「3D表示の設定」	66ページ

● 地図にさまざまな情報を表示させたい	
●立体的な施設マークを表示させたい	
「立体ランドマークの表示」	75ページ
●施設（コンビニ・ガソリンスタンドなど）を表示させたい	
「施設の表示」	77ページ
●目的地に到着する時間を表示させたい	
「到着予想時刻の表示」	129ページ
●観光地の位置を表示させたい	
「観光地名称の表示設定」	71ページ
●交差点・インターチェンジなどを吹き出しで表示させたい	
「ポップアップ表示の設定」	72ページ

● 地図の画質をかえたい	
●明るさやコントラストをかえたい	
「画面の調整」	47ページ
●地図の色をかえたい	
「地図の表示色の切り替え」	49ページ

3. 目的別索引

地図の呼び出しについて

● 地図を呼び出したい	
「地図の呼び出し方法」	81ページ
●施設の名称または住所の一部を入力して呼び出したい	
「50音で地図を呼び出す」	83ページ
●施設を検索して呼び出したい	
「施設で地図を呼び出す」	87ページ
●電話番号を入力して呼び出したい	
「電話番号で地図を呼び出す」	89ページ
●住所を検索して呼び出したい	
「住所で地図を呼び出す」	92ページ
●郵便番号を入力して呼び出したい	
「郵便番号で地図を呼び出す」	93ページ
●登録した地点から呼び出したい	
「メモリ地点で地図を呼び出す」	93ページ
●以前の目的地から呼び出したい	
「目的地履歴で地図を呼び出す」	94ページ
●マップコードを入力して呼び出したい	
「マップコードで地図を呼び出す」	94ページ

目的地案内に関して

目的地案内を開始する前に

● 目的地を決めたい	
「目的地の設定」	104ページ

● 案内を開始させたい	
「案内の開始」	124ページ

● 案内をする前にデモを見たい	
「デモンストレーション（デモ）」	124ページ

● 表示されているルート以外のルートを知りたい	
「5ルート同時表示」	110ページ

目的地案内を開始する前に、または目的地案内中に

● 目的地までのルート（案内道路）を知りたい	
「ルート情報（案内道路情報）の表示」	109ページ

● 目的地に到着する時間を知りたい	
「到着予想時刻の表示」	129ページ

● 目的地を追加させたい	
「目的地の追加」	112ページ

● 通るインターチェンジ（IC）を決めたい	
「出入口インターチェンジ（IC）の指定」	117ページ

● 通る道路を決めたい	
「通過道路の指定」	119ページ

● 表示されているルートをかえたい	
「探索条件の変更」	114ページ

目的地案内中に

● 音声案内の音量をかえたい	
「音声の設定」	50ページ

● 案内をやめたい	
•目的地を消去せずに案内を一時的に中止したい	
「案内の中止・再開」	124ページ
•目的地を消去して案内を中止したい	
「目的地の消去」	116ページ

3. 目的別索引

● 全ルート図を表示させたい	
「全ルート図の再表示」	137ページ

● 表示されているルートをかえたい、または表示されているルートからはずれてしまった	
「ルートの再探索」	142ページ

VICS

VICSについて

● VICS放送を受信したい	
「VICS提供放送局の選択」	172ページ

● VICS情報を地図に表示させたい	
「VICS情報の表示」	175ページ

● VICS文字情報を表示させたい	
「VICS文字情報の表示」	178ページ

● VICS図形情報を表示させたい	
「VICS図形情報の表示」	179ページ

● VICS記号について知りたい	
「VICS記号」	183ページ

情報

情報について

● FM多重放送を表示させたい	
「FM多重放送」	193ページ

● 車両のメンテナンス時期を記憶させたい	
「メンテナンス機能」	197ページ

● 施設の情報（住所・料金など）が知りたい	
「レジャーインフォメーション（レジャー i ）の検索」	205ページ
「情報付施設の検索」	212ページ

● 施設の電話番号が知りたい	
「電話帳機能」	204ページ

● カレンダーにメモを記憶させたい	
「カレンダー機能」	206ページ

3. 目的別索引

オプション機能

オプション機能について

●iモードを表示させたい	
「iモードの操作」	266ページ

●インターネットを表示させたい	
「インターネットの操作」	250ページ

●ハンズフリーで電話を操作したい（ハンズフリー）	
「ハンズフリー機能の操作」	289ページ

●緊急時の通報をしたい（ヘルプネット）	
「ヘルプネットの操作」	300ページ

●ETCの表示・操作をしたい	
「ETCシステムの操作」	321ページ

●車両の駐車の補助をしたい	
「バックモニターの操作」	325ページ

その他

便利な機能

● 操作の手引きとなる説明音声が聞きたい	
「操作説明音声の設定」	51ページ

● 地図に目印をつけたい	
•自宅の目印をつけたい	
「自宅の登録」	147ページ
•覚えておきたい場所の目印をつけたい	
「メモリ地点の登録」	148ページ
「特別メモリ地点の登録」	158ページ

わからなくてお困りのとき

● リスト画面の動かし方がわからない	
「リスト画面の切り替え方」	44ページ

● タッチスイッチの機能が知りたい	
「ヒント機能」	46ページ
● 操作手順が知りたい	
「デモ機能」	192ページ

● 画面のメッセージがわからない	
「こんなメッセージが表示されたときは」	334ページ

● 故障かどうかわからない	
「故障とお考えになる前に」	338ページ

● GPSマークが表示されていない	
「GPSについて」	36ページ

4. 索引

五十音順

ア

インターチェンジ（IC）の指定 ・117
インターネット ・・・・・・・・250
迂回メモリ地点の登録 ・・・・・160
音声案内 ・・・・・・・・・・・134
音声操作システム ・・・・・・・218
音量を調節する ・・・・・・・・・50
オンルートスクロール ・・・・・138

カ

画面の調整 ・・・・・・・・・・・47
カレンダー機能 ・・・・・・・・206
季節規制区間の表示 ・・・・・・108
距離の補正 ・・・・・・・・・・330
県境お知らせ ・・・・・・・・・・76
現在地の表示 ・・・・・・・・・・53
交差点案内 ・・・・・・・・・・125
高速分岐案内 ・・・・・・・・・132

サ

作動条件 ・・・・・・・・・・・・19
残距離表示の切り替え ・・・・・137
シーズンレジャーランドマークの表示・74
市街図の表示 ・・・・・・・・・・58
自車位置マーク ・・・・・・・・・34
施設の表示 ・・・・・・・・・・・77
自宅の登録 ・・・・・・・・・・147
自動再探索 ・・・・・・・・・・143
車両情報を設定 ・・・・・・・・131
スイッチ表示について ・・・・・・20
スケール表示 ・・・・・・・・・・35
精度と誤差について ・・・・・・356
接続先の設定 ・・・・・・・・・260
全ルート図表示 ・・・・・・・・106
操作説明音声の設定 ・・・・・・・51

タ

タッチスイッチ ・・・・・・・・・21
地図縮尺の切り替え ・・・・・・・57
地図DVD-ROMの情報表示 ・・・333
地図の呼び出し方法 ・・・・・・・81
地点の登録 ・・・・・・・・・・146
通過道路の指定 ・・・・・・・・119
デモンストレーション（デモ）・・124
電話機の接続 ・・・・・・・・・246
電話帳機能 ・・・・・・・・・・204
到着予想時刻の表示 ・・・・・・129
道路形状警告 ・・・・・・・・・128
特別メモリ地点の登録 ・・・・・158
都市高速マップ ・・・・・・・・133

ナ

ナビゲーション画面の見方 ・・・・34
ノースアップ表示 ・・・・・・・・60

ハ

ハートフル音声の設定 ・・・・・・52
ハイウェイモード画面 ・・・・・・64
バックモニターの操作 ・・・・・325
ハンズフリー ・・・・・・・・・289
販売店の設定 ・・・・・・・・・202
ビジュアルシティマップの表示 ・・73
昼画表示 ・・・・・・・・・・・・47
ピンポイントで検索 ・・・・・・・95
フェリー航路 ・・・・・・・・・128
フロントワイド表示 ・・・・・・・61
平均車速を設定 ・・・・・・・・130
ヘディングアップ表示 ・・・・・・60
ヘルプネット ・・・・・・・・・300
方位マーク ・・・・・・・・・・・34

マ

マップコード ・・・・・・・・・・・94
マップマッチング ・・・・・・・・357
メニュー画面 ・・・・・・・・・・・42
メモリ地点の登録 ・・・・・・・・148
メモリ地点の名称入力 ・・・・・・154
メンテナンス機能 ・・・・・・・・197
目的地案内の
開始・中止・再開 ・・・・124
目的地の設定 ・・・・・・・・・・104
目的地履歴の消去 ・・・・・・・・163

ヤ

夜画表示 ・・・・・・・・・・・・・47

ラ

リアル市街図を表示 ・・・・・・・・67
立体ランドマークの表示 ・・・・・・75
料金案内 ・・・・・・・・・・・・130
ルート情報（案内道路情報）・・・109
ルート探索 ・・・・・・・・・・・106
ルートの再探索 ・・・・・・・・・142
レーン（車線）リスト図表示 ・・127
レジャー *i* の検索 ・・・・・・・・205

ワ

ワンタッチスクロール ・・・・・・・54

アルファベット/数字

E

ETCシステム ・・・・・・・・・・321

F

FM多重放送・・・・・・・・・・・193

G

GPS・・・・・・・・・・・・・・・36

I

iモード・・・・・・・・・・・・・266

V

VICS・・・・・・・・・・・・・・166

数字

2画面表示 ・・・・・・・・・・・・62
3D表示 ・・・・・・・・・・・・・66
5ルート同時表示 ・・・・・・・・110

MEMO

Audio&Television

オーディオ・テレビの操作

ラジオ、MD、CD、TVなどの操作方法

MEMO

目次

オーディオ・テレビの操作

SECTION 1 はじめに 381
この章では、ぜひ守っていただきたいことについて説明しています。

SECTION 2 基本操作 389
この章では、基本的な操作について説明しています。

SECTION 3 オーディオの使い方 406
この章では、ラジオ、CD、CDチェンジャー、MD、MDチェンジャー、MP3などの使い方について説明しています。

SECTION 4 テレビ・ビデオ（DVDプレーヤー）の使い方 430
この章では、テレビ・ビデオ（DVDプレーヤー）の使い方について説明しています。

SECTION 5 音声操作 457
この章では、音声操作について説明しています。

SECTION 6 ご参考に 463
この章では、知っておいていただきたいことについて説明しています。

MEMO

SECTION 1 はじめに

この章では、ぜひ守っていただきたいことについて説明しています。

1.ご使用になる前に ……382
CD・DVDについて ……383
MDについて ……385
テレビについて ……386
本機のお手入れについて ……386
アンテナのお手入れについて ……387

1. ご使用になる前に

注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



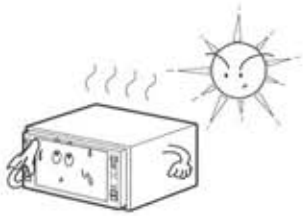
交通事故の原因となります。

走行中の運転者はテレビの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



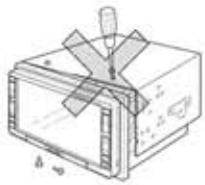
故障の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変な匂いがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



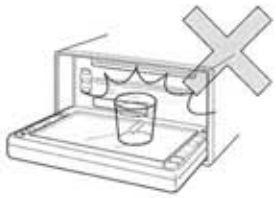
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



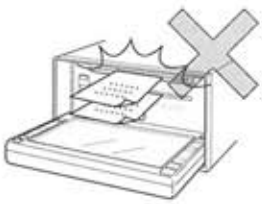
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店に相談してください。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。



故障の原因となります。

CDまたはDVD差し込み口にはCDおよびDVD以外のものを絶対に入れないでください。



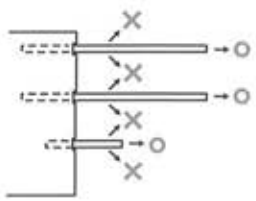
故障の原因となります。

MD差し込み口にはMD以外のものを絶対に入れないでください。



故障の原因となります。

本機からCD、DVDまたはMDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。
また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。



CDまたはDVDに傷が付き、音とびをするおそれがあります。

モニター収納時、指などを差し込まないよう注意してください。



けがをしたり、故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

CD・DVDについて

ワンポイント

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生じることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してから使用してください。

●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

●音楽用CD、映像用DVD以外は使用しないでください。使用できる音楽用CD、映像用DVDは右のマークのついたCD・DVDです。



●CD-R/RWは、ディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化などにより再生できない場合があります。

●コピーコントロールCDは再生できない場合があります。

●ファイナライズ処理されていないCD-R/RWは再生できません。



CD・DVDの取り扱いについて

●CD・DVDは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。CD・DVDがそり、使用できなくなるおそれがあります。



●記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



●ひびが入ったCD・DVDやそりが大きいCD・DVDは、使用しないでください。故障の原因となります。



●記録面に触れないように持ってください。
（虹色に光っている面）CD・DVDが汚れ、音とびをすることがあります。

●汚れたCD・DVDを使用するとCD・DVDに傷が付き、音とびをするおそれがあります。CD・DVDが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナでCD・DVDの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

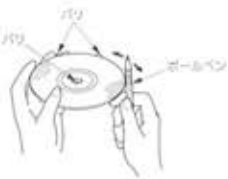


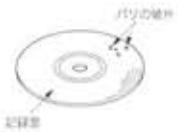
1. ご使用になる前に

ワンポイント

新しいCD・DVDについて

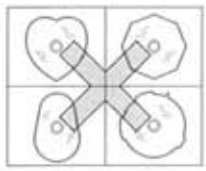
●新しいCD・DVDをご使用になると、CD・DVDのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”が付いているときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。“バリ”が付いているCD・DVDを使用すると、“バリ”の破片がCD・DVDの信号面に付着し、音とびをする場合があります。





レンタルCD・DVDについて

●CD・DVDにセロハンテープやレンタルCD・DVDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCD・DVDプレーヤーにかけると、CD・DVDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



特殊形状CD・DVDについて

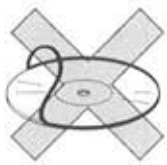
●ハート型や八角形など特殊形状のCD・DVDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

●市販のレンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。



CD・DVDアクセサリーについて

●音質向上やCD・DVD保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。CD・DVDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



●音質向上や防振効果を高めるCD・DVDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。

MD について

ワンポイント

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生じることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくのあいだ、換気または除湿してからご使用ください。

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

MDの取り扱いについて

●いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



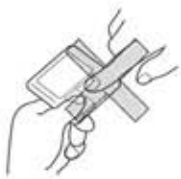
●ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



●直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MDがそり、使用できなくなります。



●シャッターを手で開けたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



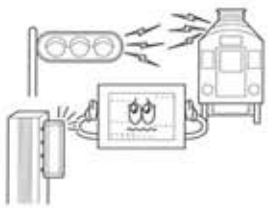
1. ご使用になる前に

テレビについて

ワンポイント

●液晶テレビは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
●太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。
●バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶はすべて消去されます。
●車載テレビの受信は受信場所によって、電波の強さが変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- トンネル内に入ると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、テレビ・ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





本機のお手入れについて

ワンポイント

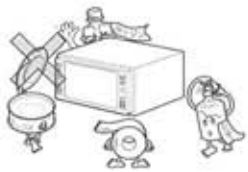
●汚れを落とすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水で薄めた台所用洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。



液晶パネルは傷が付きやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

●ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

ワンポイント

- TVアンテナはカーテレビシステム専用です。（カーラジオには接続できません）
- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽く拭いてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナを傷めますので使用しないでください。
- フィルムTVアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。また、お車のガラスにミラータイプなどのフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

MEMO

SECTION 2 基本操作

この章では、基本的な操作について説明しています。

1.電源の入れ方、モードの切り替え方 ……390
電源の入れ方 ……390
モードの切り替え方 ……390
操作画面の表示 ……390
2.各モードの操作画面 ……391
3.主音量の調整 ……393
4.音質の調整 ……394
DSP（音場）の設定……395
DSP（音場）モードの設定 ……395
DSP（音場）の調整、記憶 ……395
DSP（音場）レベルのリセット ……395
EQ（イコライザ）の調整 ……396
音質の設定 ……396
EQカーブのマニュアル設定 ……396
EQカーブのリセット ……397
POS（ポジションセレクタ）の設定……397
ポジションの設定 ……397
音量バランスの調整 ……398
5.オーディオ画面の画質調整 ……399
画質調整画面を表示するには ……399
ライト点灯時に昼画表示にするには ……400
画面を消すときは ……400
コントラスト（鮮明度）／明るさ調整 ……400
コントラスト ……400
明るさ ……400
背景画を切り替えるには ……401
6.テレビ・VTRの画質調整 ……402
画質調整画面を表示するには ……402
ライト点灯時に昼画表示にするには ……403
画面を消すときは ……403
画質調整 ……403
色合い ……403
色の濃さ ……403
コントラスト ……403
明るさ ……403
画面モード切り替え ……404
標準画モード ……404
ワイド1画モード ……404
ワイド2画モード ……404
ワイド3画モード ……404

1. 電源の入れ方、モードの切り替え方

エンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できます。

●本機はリモコン対応になっています。別売の10キーリモコンを販売店でお買い求めください。操作方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
なお、以下の機能についてはリモコンで操作できません。
・モニターの開閉／調整
・CD／MD／DVDの収納と取り出し
・サウンドの調整／画質の調整画面の呼び出し（それぞれの調整操作は、ポインタで操作できます）



電源の入れ方

1 PWR を押すか SOURCE を押し、各オーディオモードのタッチスイッチをタッチすると電源がONになります。

●電源を切るときは PWR を押します。

クイックリファレンス

<電源の入れ方>

1

PWR
・
SOURCE



モードの切り替え方

1 SOURCE を押します。

2 各オーディオモードのタッチスイッチにタッチします。

●タッチしたモードに切り替わります。

●SOURCE を押す前にナビゲーションの画面を表示していた場合は、選んだモードがオンスクリーン表示されます。

クイックリファレンス

<モードの切り替え方>

1

SOURCE

2

選択



●オンスクリーン表示

操作画面の表示



1 希望するモードに切り替えます。「モードの切り替え方」（上記）を参照してください。

2 CONT を押します。

●操作画面が表示されます。

クイックリファレンス

<操作画面の表示>

1

希望するモードを表示

2

CONT

2. 各モードの操作画面

各モードの操作画面では、モードの情報やタッチスイッチなどが次のように表示されます。

AM



FM



CD



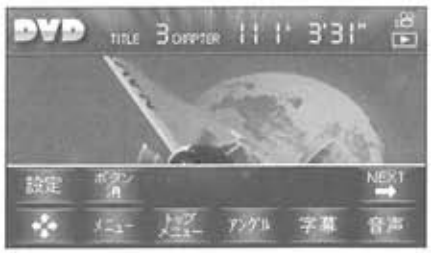
MD



MP3



DVD



TV



VTR（オプション）



テレビ、ビデオ（VTR）またはDVDの操作画面で約6秒以上操作をしなかったときは、操作画面の表示が解除されます。

2. 各モードの操作画面

CDC1 CDC2 （オプション）



MDC （オプション）



3. 主音量の調整

クイックリファレンス

1

＋
・
－



1 VOLスイッチで調整します。
＋を押すと、音量が大きくなり、
－を押すと、音量が小さくなります。

●1回押すと1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が変わり続けます。

ワンポイント
- ●安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- ●音量がMAX（MIN）になると、それ以上のUP（DOWN）はできません。

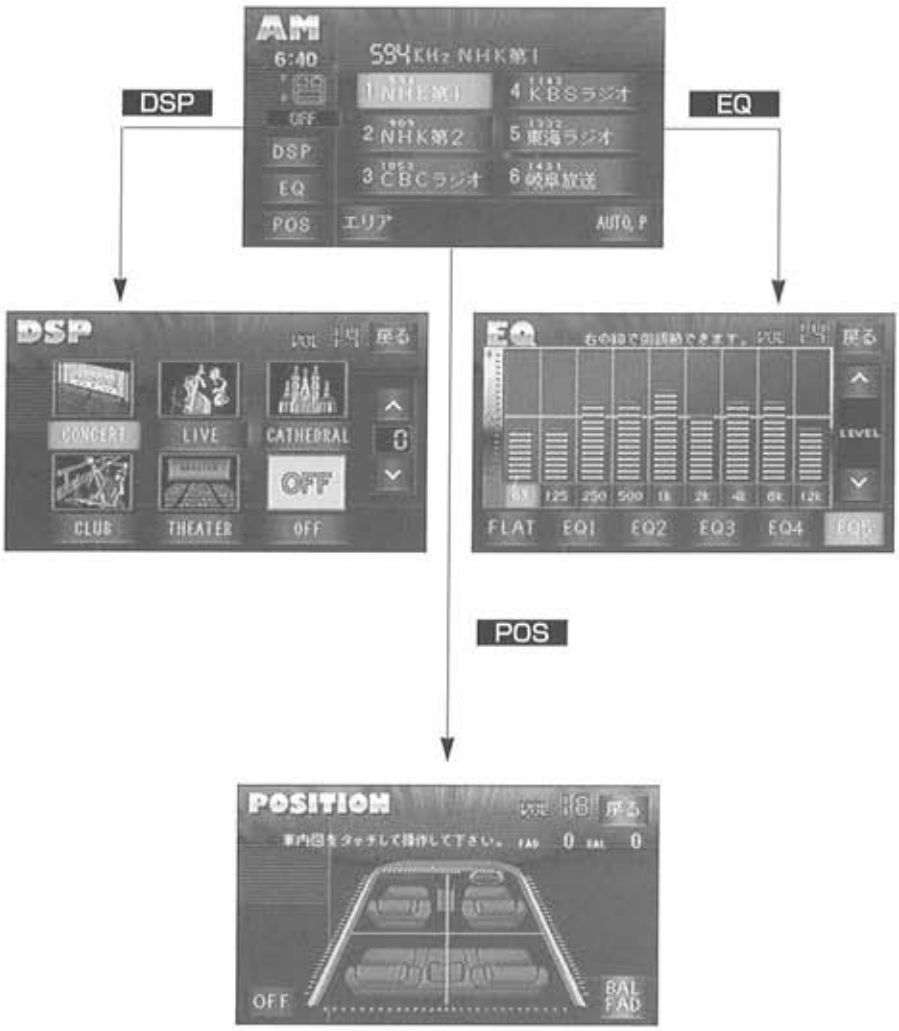
4. 音質の調整

音質の調整は、各モードの操作画面を表示させているときに、DSP、EQ、POSのいずれかにタッチするとそれぞれの調整ができます。各モードから調整を行っても共通で記憶されています。

クイックリファレンス

1

選択



TVモードやDVDモードのときは、操作モードから **設定** にタッチすると音質調整のタッチスイッチが表示されます。

クイックリファレンス

<DSP(音場)の設定>

■DSP(音場)モードの設定

1

選択



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサート会場
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
CLUB	ディスコ、クラブ
THEATER	シアター
OFF	DSP OFF

DSP（音場）の設定

■DSP（音場）モードの設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現できます。

1 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

●設定完了後は**戻る**にタッチしてください。設定された音場モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

クイックリファレンス

■DSP(音場)の調整、記憶

1

∧

・

∨



■DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）とは別にお好みのレベルでDSP（音場）を調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで画面右の**∧**、**∨**にタッチします。

●調整レベルは＋側、－側各5段階です。

ワンポイント

●DVD映画などの音響効果を高めるため、**THEATER**のみ初期設定を「+5」にしています。

●DSP（音場）レベルを調整中に、選択されている音場モードとは別の音場モードを設定した場合は調整レベルは記憶されません。

2

選択

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

クイックリファレンス

■DSP(音場)レベルのリセット

1

OFF

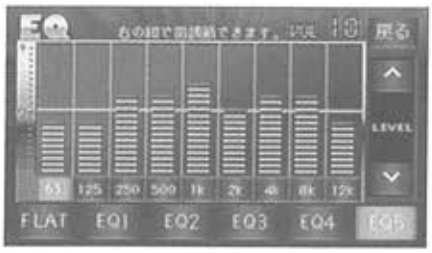
■DSP（音場）レベルのリセット

現在、記憶されているDSP（音場）レベルを初期値に戻すことができます。

1 **OFF**を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●音場レベルが初期値にリセットされます。

4. 音質の調整



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS
EQ2	ROCK
EQ3	JAZZ
EQ4	CLASSIC
EQ5	VOCAL

EQ（イコライザ）の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによってお好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

■音質の設定

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後は 戻る にタッチしてください。設定された音質モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

クイックリファレンス

<EQ(イコライザ)の調整>

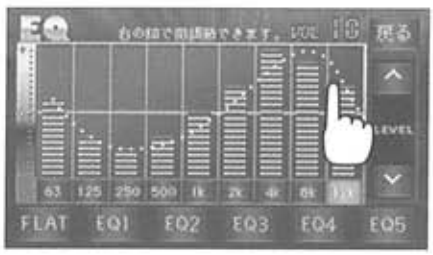
■音質の設定

1

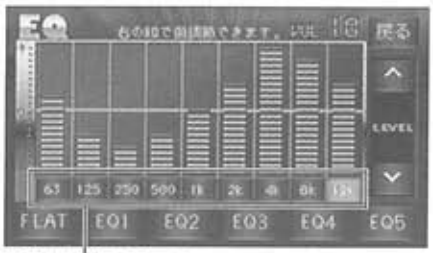
選択

■EQカーブのマニュアル設定

あらかじめ設定されているイコライザカーブとは別にお好みの音質にイコライザカーブを設定することができます。



1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



周波数選択スイッチ

2 微調整するときは、調整したい周波数選択スイッチにタッチします。

3 画面右の ∧、∨ にタッチして微調整します。

4 記憶したいタッチスイッチ（EQ1 ～ EQ5）を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

●設定終了後は 戻る にタッチしてください。設定された音質モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

クイックリファレンス

■EQカーブのマニュアル設定

1

イコライザカーブ

2

選択

3

∧
・
∨

4

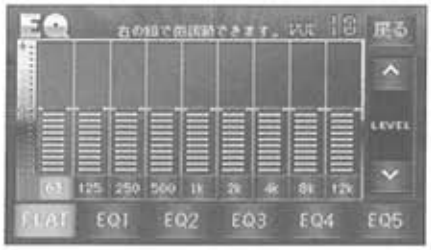
選択

クイックリファレンス

■EQカーブのリセット

1

FLAT



■EQカーブのリセット

現在、記憶されているイコライザカーブやあらかじめ設定されているイコライザカーブを初期値に戻すことができます。

1 FLATを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●イコライザカーブが初期値にリセットされます。



POS（ポジションセレクタ）の設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。

切り替えたポジション（位置）に対して前後左右の音量バランスを調整することができます。

クイックリファレンス

<POS(ポジションセレクタ)の設定>

■ポジションの設定

1

選択

表　示	ポジション（位置）
	運転席
	助手席
	前席
	後席
	全席

■ポジションの設定

1 POS設定画面に表示された座席の絵をタッチするとポジションが切り替わります。

●設定されたポジションは橙色に表示が替わります。再度タッチすると設定は解除されます。表のような5つのポジションに設定できます。

●OFFにタッチするとすべての設定は解除されます。

●設定完了後は戻るにタッチしてください。設定されたポジションは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

ワンポイント

●全席を設定するときは前席からタッチしてください。

●本機は右ハンドル車を基本としています。

4. 音質の調整



■音量バランスの調整

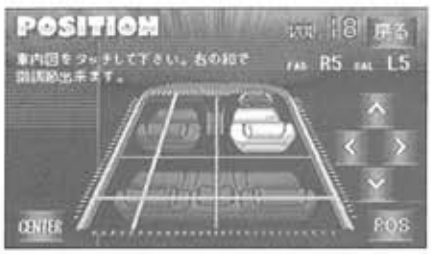
設定したポジション別に前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 POS設定画面で **BAL・FAD** にタッチして音量バランス調整画面を表示します。



2 お好みのバランスポイントをタッチします。

- ●微調整するときは ∧、∨、<、> にタッチしてください。
- ●**CENTER** にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。
- ●調整完了後は **戻る** にタッチしてください。
  設定された音量バランスは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。
  再度ポジション設定を行いたいときは、**POS** にタッチして切り替えてください。



- ●調整、記憶した音量バランスはポジション別に独立して記憶されています。ポジションごとに記憶された音量バランス調整画面を呼び出すと、ポジションごとの音量バランスが表示されます。

ワンポイント

- ●微調整時に ∧、∨、<、または > をタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合はロックするので、再度 ∧、∨、<、または > をタッチしてください。

クイックリファレンス

■音量バランスの調整

1 BAL・FAD

2 車内図

5. オーディオ画面の画質調整

オーディオ操作画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。
画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。
（初期状態）
●ライト消灯時･･･<昼画表示>
●ライト点灯時･･･<夜画表示>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>

クイックリファレンス

<画質調整画面を表示するには>

1 DISP

2 調整完了



画質調整画面を表示するには

1 各モードの操作画面で、**DISP** を押すと、画質調整画面になります。

2 調整が終了したら、**調整完了** にタッチします。また約20秒以上操作をしなかったときは、画質調整画面にする前に表示させていた画面に戻ります。

5. オーディオ画面の画像調整



ライト点灯時に昼画表示にするには

1 ライト点灯時、**昼画面**にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●昼画表示のときは、**昼画面**が選択色になります。

画面を消すときは

1 **画面消**にタッチします。

●再度、画面を表示させるには**CONT**または**SOURCE**を押します。

ワンポイント
NAVIを押すと現在地画面を表示することができます。

コントラスト（鮮明度）／明るさ調整

■コントラスト

1 強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

ワンポイント
昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

クイックリファレンス

<ライト点灯時に昼画表示にするには>

1

昼画面

クイックリファレンス

<画面を消すときは>

1

画面消

クイックリファレンス

<コントラスト(鮮明度)／明るさ調整>

■コントラスト

1

強
・
弱

■明るさ

1

明
・
暗

クイックリファレンス

<背景画を切り替えるには>

1 INFO

2 画面設定

3 【壁紙】
1・2・3

4 設定完了



背景画を切り替えるには

画面の背景色やスイッチ色を3タイプから選ぶことができます。

1 INFOを押します。

2 インフォメーション（情報）画面で画面設定にタッチします。



●1にタッチしたとき（青色）

3 壁紙の1、2または3にタッチします。

●選択した設定のスイッチが選択色になります。

4 設定完了にタッチします。



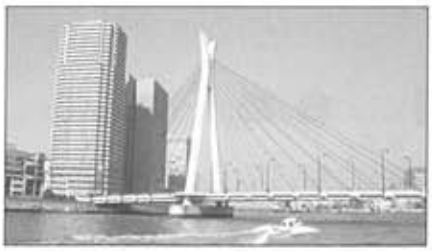
●2にタッチしたとき（灰色）



●3にタッチしたとき（赤色）

6. テレビ・VTRの画質調整

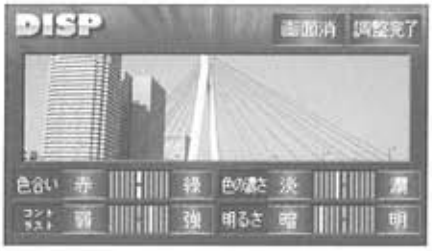
テレビ・ビデオ（オプション）・DVD画面のコントラストや明るさ、色などをお好みに合わせて調整することができます。
画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。
（初期状態）
●ライト消灯時･･･<昼画表示>
●ライト点灯時･･･<夜画表示>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>



画質調整画面を表示するには

1 テレビ・ビデオ・DVD画面で、**DISP**を押すと、画質調整画面になります。

2 調整が終了したら、**調整完了**にタッチします。また約20秒以上操作をしなかったときは、画質調整画面にする前に表示させていた画面に戻ります。

クイックリファレンス

<画質調整画面を表示するには>

1 **DISP**

2 **調整完了**

クイックリファレンス

<ライト点灯時に昼画表示にするには>

1 昼画面

クイックリファレンス

<画面を消すときは>

1 画面消

クイックリファレンス

<画質調整>

■色合い

1 緑・赤

■色の濃さ

1 濃・淡

■コントラスト

1 強・弱

■明るさ

1 明・暗



ライト点灯時に昼画表示にするには

1 ライト点灯時、昼画面にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●昼画表示のときは、昼画面が選択色になります。

画面を消すときは

1 画面消にタッチします。

●再度、画面を表示させるにはCONTまたはSOURCEを押します。

ワンポイント

NAVIを押すと現在地画面を表示することができます。

画質調整

■色合い

1 緑色を強くするときは緑、赤色を強くするときは赤にタッチします。

■色の濃さ

1 濃くするときは濃、淡くするときは淡にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは強、弱くするときは弱にタッチします。

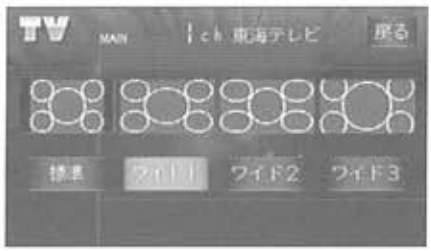
■明るさ

1 明るくするときは明、暗くするときは暗にタッチします。

ワンポイント

昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

6. テレビ・VTRの画質調整



画面モード切り替え

1 テレビ設定画面、ビデオ操作画面またはDVD設定画面で**ワイドモード**にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**または**ワイド3**にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等（画面の中心を除く）に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

クイックリファレンス

<画面モード切り替え>

1

ワイドモード

2

選択

MEMO

SECTION 3 オーディオの使い方

この章では、ラジオ、CD、CDチェンジャー、MD、MDチェンジャー、MP3などの使い方について説明しています。

1.ラジオの使い方 ……408
ラジオの聞き方 ……408
聞きたい放送局を選局する ……408
通常選局 ……408
自動選局 ……408
プリセットスイッチ選局 ……408
放送局を記憶させる ……409
マニュアル（手動）での記憶 ……409
AUTO.P（自動）での記憶 ……409
AUTO.Pで記憶させた放送局の変更 ……409
エリアスイッチについて ……410
局名スイッチについて ……410
交通情報を受信する ……411
ラジオを止める ……411
2.CDプレーヤーの使い方 ……412
CDの聞き方 ……412
聞きたい曲を選曲する ……412
早送り・早戻しする ……413
聞きたい曲を探す ……413
同じ曲を繰り返して聞く ……413
曲の順番をランダムに聞く ……413
CDを止める ……413
3.CDチェンジャーの使い方 ……414
CDの聞き方 ……414
聞きたい曲を選曲する ……414
早送り・早戻しする ……414
聞きたいCDを選ぶ ……414
チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す ……415
聞きたい曲を探す ……415
聞きたいCDを探す ……415
聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く ……415
いま聞いている曲を繰り返し再生する ……415
いま聞いているCDを繰り返し再生する ……415
曲の順番をランダムに聞く ……415
いま聞いているCDの中からランダムに聞く ……415
チェンジャー内の全CDの中からランダムに聞く ……415
CDを止める ……415
4.MDプレーヤーの使い方 ……416
MDの聞き方 ……416
聞きたい曲を選曲する ……416
早送り・早戻しする ……417
聞きたい曲を探す ……417
グループを探す ……417
同じ曲を繰り返して聞く ……418
曲の順番をランダムに聞く ……418
MDを止める ……418

5.MDチェンジャーの使い方 ……419
MDの聞き方 ……419
聞きたい曲を選曲する ……419
早送り・早戻しする ……419
聞きたいMDを選ぶ ……419
チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す ……420
聞きたい曲を探す ……420
聞きたいMDを探す ……420
聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く ……420
いま聞いている曲を繰り返し再生する ……420
いま聞いているMDを繰り返し再生する ……420
曲の順番をランダムに聞く ……420
いま聞いているMDの中からランダムに聞く ……420
チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く ……420
MDのタイトルや曲名などを表示する ……421
MDを止める ……421
6.MP3について ……422
再生可能なMP3ファイルの規格について ……422
ID3タグ ……422
使用できるメディア ……422
使用できるディスクのフォーマット ……423
ファイル名 ……424
マルチセッション ……424
MP3の再生 ……424
MP3の演奏時間表示 ……424
MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番 ……424
MP3ファイルの再生順番 ……425
7.MP3ファイルの作り方・楽しみ方 ……426
インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合 ……426
音楽CDからMP3ファイルに変換する場合 ……426
CD-R/RWに書き込む場合 ……426
CD-R/RWを再生する場合 ……426
8.MP3プレーヤーの使い方 ……427
MP3の聞き方 ……427
聞きたい曲を選曲する ……427
早送り・早戻しする ……428
聞きたい曲を探す ……428
同じ曲を繰り返して聞く ……428
曲の順番をランダムに聞く ……428
1つ上のフォルダへ移動する ……428
現在演奏中のフォルダを表示する ……428
MP3のタイトルや曲名などを表示する ……429
MP3を止める ……429

1. ラジオの使い方



ラジオの聞き方

1 SOURCE を押します。

2 AMは AM に、FMは FM にタッチします。

聞きたい放送局を選局する

■通常選局

1 ∧ または ∨ を押します。

●押すごとに1ステップずつUP/DOWNします。
（1ステップはAM9KHz、FM0.1MHzです）
∧（上側）：周波数UP（高く）、∨（下側）：周波数DOWN（低く）

■自動選局

1 ∧ または ∨ を“ピッ”と音がするまで押します。

●現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、再度押すと解除します。

ワンポイント
受信電波の弱い地域では、自動選局することができないことがあります。

■プリセットスイッチ選局

1 記憶されている放送局のプリセットスイッチをタッチして選局できます。

クイックリファレンス

<ラジオの聞き方>

1
SOURCE

2
AM
・
FM

クイックリファレンス

<聞きたい放送局を選局する>

■ 通常選局

1
∧
・
∨

■ 自動選局

1
∧
・
∨

■ プリセットスイッチ選局

1

選択

放送局を記憶させる

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

■マニュアル（手動）での記憶

クイックリファレンス

<放送局を記憶させる>

■ マニュアル(手動)での記憶

1

∧ ・ ∨

2

選択

[　　]

"AUTO.P"または"AREA.P"が画面表示されていないことを確認します。

●表示されているときは AUTO.P または エリア にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 通常選局または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに"ピーッ"と音がするまでタッチします。

●放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

■AUTO.P（自動）での記憶

■ AUOT.P(自動)での記憶

1

AUTO.P

1 AUTO.P に"ピーッ"と音がするまでタッチします。

●AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。"ピーッ"と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、AUTO.P にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たに放送局が記憶されます。

■AUTO.Pで記憶させた放送局の変更

■ AUTO.Pで記憶させた放送局の変更

1

∧ ・ ∨

2

選択

[　　]

1 通常選局または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに"ピーッ"と音がするまでタッチします。

ワンポイント

●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
●同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
●AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
●受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
●受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

1. ラジオの使い方

●AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。
ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます)
AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。



1 **エリア** にタッチします。
- "AREA.P" の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- 再度 **エリア** にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス
<エリアスイッチについて>
1
エリア

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数で複数の放送局が存在する場合に、放送局の名称を切り替えて表示することができます。



1 **局名** にタッチします。
- 放送局名の表示が切り替わります。

クイックリファレンス
<局名スイッチについて>
1
局名

ワンポイント
放送局が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

クイックリファレンス

<交通情報を受信する>

1 ((•)))

■ 周波数を記憶させる

1 AM

2 選択 ■

3 ((•)))

クイックリファレンス

<ラジオを止める>

1 PWR

交通情報を受信する



1 ((•)))を押します。

●あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。

ワンポイント
- ●交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- ●交通情報局の受信周波数は変更できません。

■周波数を記憶させる

1 AMにタッチします。

2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 ((•)))を“ピッ”と音がするまで押します。

ワンポイント
- ●バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

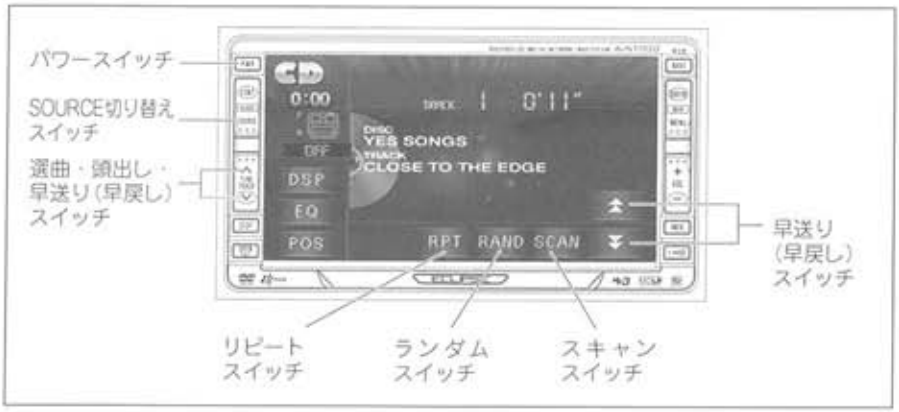
ラジオを止める



1 PWRを押します。

●再度 PWR を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が再受信されます。また、交通情報を聞いていたときは、その前に選択していたモードになります。

2. CDプレーヤーの使い方



ワンポイント
- CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示(CD-TEXT表示)することができます。
  また、表示文字数はアルファベット・記号の半角文字では最大32文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大16文字まで表示できます。
  CD-TEXT表示は収録タイトル文字数の多いディスクではタイトル文字数が変わります。

CDの聞き方

CD差し込み口にCDを差し込むと、自動的に再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 CD にタッチします。
- 再生を始めます。

クイックリファレンス
<CDの聞き方>
1 SOURCE
2 CD

聞きたい曲を選曲する

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ∧ または ∨ を押します。

- ∧ (上側) : 次曲を選ぶとき、∨ (下側) : 前曲を選ぶとき
  聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは ∧ を押し、前にあるときは ∨ を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。

クイックリファレンス
<聞きたい曲を選曲する>
1 ∧ ∨

クイックリファレンス

<早送り・早戻しする>

1



早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 △、▽を押し続ける方法、または⏫、⏬にタッチし続ける方法があります。

●△⏫（上側）：曲を進めるとき、▽⏬（下側）：曲を戻すとき

早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

クイックリファレンス

<聞きたい曲を探す>

1

SCAN

聞きたい曲を探す

1 SCANにタッチします。

●全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、再度SCANにタッチするとその曲の再生を続けます。

クイックリファレンス

<同じ曲を繰り返して聞く>

1

RPT

同じ曲を繰り返して聞く

1 RPTにタッチします。

●RPTにタッチすると、解除するまで繰り返します。再度RPTにタッチすると解除されます。

クイックリファレンス

<曲の順番をランダムに聞く>

1

RAND

曲の順番をランダムに聞く

1 RANDにタッチします。

●RANDにタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度RANDにタッチすると解除されます。

ワンポイント

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので，同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

クイックリファレンス

<CDを止める>

1

PWR

CDを止める

1 PWRを押します。

●再度PWRを押すと再生が再開されます。

3. CDチェンジャーの使い方



別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。

CDの聞き方

1 CDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 CDチェンジャーを1台接続している場合は CDC1 を、CDチェンジャーを2台を接続している場合は CDC1 または CDC2 にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選曲する

「CDプレーヤーの使い方」（412ページ）を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」（412ページ）を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

1 聞きたいCDのDISC切り替えスイッチをタッチします。

●選択されたCDの番号が選択色になります。

ワンポイント
●DISC切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したDISC番号のみ選択することができます。

クイックリファレンス

<CDの聞き方>

1

SOURCE

2

選択

クイックリファレンス

<聞きたい曲を選曲する>

1

クイックリファレンス

<早送り・早戻しする>

1

クイックリファレンス

<聞きたいCDを選ぶ>

1

選択

クイックリファレンス

<チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す>

■ 聞きたい曲を探す

1 SCAN

■ 聞きたいCDを探す

1 DISC SCAN

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

■聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」（412ページ）を参照してください。

■聞きたいCDを探す

1 DISC SCAN にタッチします。

●CDチェンジャー内全CDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。希望するCDになったら、再度 DISC SCAN にタッチするとそのまま再生を続けます。

クイックリファレンス

<聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く>

■ いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 RPT

■ いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 DISC RPT

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

■いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」（412ページ）を参照してください。

■いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 DISC RPT にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 DISC RPT にタッチすると解除されます。

クイックリファレンス

<曲の順番をランダムに聞く>

■ いま聞いているCDの中からランダムに聞く

1 RAND

■ チェンジャー内の全CDの中からランダムに聞く

1 DISC RAND

曲の順番をランダムに聞く

■いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」（412ページ）を参照してください。

■チェンジャー内の全CDの中からランダムに聞く

1 DISC RAND にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 DISC RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

クイックリファレンス

<CDを止める>

1 PWR

CDを止める

1 PWR を押します。

●再度 PWR を押すと再生が再開されます。

4. MDプレーヤーの使い方



ワンポイント

- MDにタイトルや曲名などが記録されているとき表示することができます。
  また、表示文字数はアルファベット・カタカナ・記号の半角文字では最大28文字、漢字・ひらがなの全角文字では最大14文字まで表示します。
- MDLP方式で記録されたMDは録音の状態によって、"LP4（4倍モード）"、"LP2（2倍モード）"を表示します。
  また、グループを設定している場合はグループ切り替えスイッチ（▲・▼）を表示します。

MDの聞き方

MD差し込み口にMDを差し込むと自動的に再生を始めます。

1 MDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 MD にタッチします。
●再生を始めます。

クイックリファレンス

<MDの聞き方>

1 SOURCE

2 MD

聞きたい曲を選曲する

聞きたい曲の頭出しができます。

1 パネルスイッチの ∧ または ∨ を押します。

●∧（上側）：次曲を選ぶとき、∨（下側）：前曲を選ぶとき
聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは ∧ を押し、前にあるときは ∨ を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。

クイックリファレンス

<聞きたい曲を選曲する>

1 ∧ ・ ∨

クイックリファレンス

<早送り・早戻しする>

1



早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 パネルスイッチの∧、∨を押し続ける方法、または⏫、⏬にタッチし続ける方法があります。

●∧（上側）：曲を進めるとき、∨（下側）：曲を戻すとき

⏫ ⏬

早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

クイックリファレンス

<聞きたい曲を探す>

1

SCAN

聞きたい曲を探す

1 SCANにタッチします。

●全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、再度SCANにタッチするとその曲で再生を続けます。

クイックリファレンス

<グループを探す>

1 【GROUP】



グループを探す

グループ編集されているMDの場合、グループを切り替えて曲を探すことができます。

1 グループ切り替えスイッチの∧または∨にタッチします。

●∧（上側）：次のグループを選ぶとき

∨（下側）：前のグループを選ぶとき

探したい曲がいま聞いている曲のグループより後ろにあるときは∧をタッチし、前にあるときは∨をタッチします。

また、表示部にいま選ばれているグループが表示されます。

4. MDプレーヤーの使い方

同じ曲を繰り返して聞く

1 RPT にタッチします。
●RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。再度 RPT をタッチすると解除されます。

クイックリファレンス
<同じ曲を繰り返して聞く>
1
RPT

曲の順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。
●RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント
●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

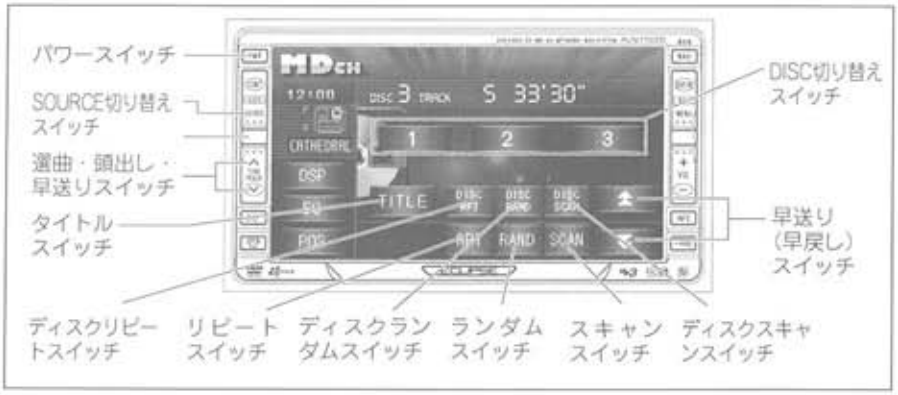
クイックリファレンス
<曲の順番をランダムに聞く>
1
RAND

MDを止める

1 PWR を押します。
●再度 PWR を押すと再生が再開されます。

クイックリファレンス
<MDを止める>
1
PWR

5. MDチェンジャーの使い方



別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。

ワンポイント
- MDにタイトルや曲名などが記録されているとき表示することができます。また、表示文字数はアルファベット・カタカナ・記号の半角文字では最大32文字、漢字・ひらがなの全角文字では最大16文字まで表示します。

MDの聞き方

クイックリファレンス
<MDの聞き方>

1 SOURCE

2 MDC

1 MDが差し込まれているときにSOURCEを押します。

2 MDCにタッチします。
●再生を始めます。

聞きたい曲を選曲する

クイックリファレンス
<聞きたい曲を選曲する>

1 ∧ ・ ∨

「MDプレーヤーの使い方」（416ページ）を参照してください。

早送り・早戻しする

クイックリファレンス
<早送り・早戻しする>

1 ∧ ⏫ ・ ∨ ⏬

「MDプレーヤーの使い方」（416ページ）を参照してください。

聞きたいMDを選ぶ

クイックリファレンス
<聞きたいMDを選ぶ>

1 選択

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 聞きたいMDのDISC切り替えスイッチをタッチします。
●選択されたMDの番号が選択色になります。

ワンポイント
- DISC切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したDISC番号のみ選択することができます。

5. MDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

■聞きたい曲を探す

「MDプレーヤーの使い方」（416ページ）を参照してください。

■聞きたいMDを探す

1 DISC SCAN にタッチします。

●MDチェンジャー内全MDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。希望するMDになったら、再度 DISC SCAN にタッチするとそのまま再生を続けます。

クイックリファレンス

<チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す>

■ 聞きたい曲を探す

1

SCAN

■ 聞きたいMDを探す

1

DISC SCAN

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

■いま聞いている曲を繰り返し再生する

「MDプレーヤーの使い方」（416ページ）を参照してください。

■いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 DISC RPT にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 DISC RPT にタッチすると解除されます。

クイックリファレンス

<聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く>

■ いま聞いている曲を繰り返し再生する

1

RPT

■ いま聞いているMDを繰り返し再生する

1

DISC RPT

曲の順番をランダムに聞く

■いま聞いているMDの中からランダムに聞く

「MDプレーヤーの使い方」（416ページ）を参照してください。

■チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く

1 DISC RAND にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 DISC RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

クイックリファレンス

<曲の順番をランダムに聞く>

■ いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1

RAND

■ チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く

1

DISC RAND

クイックリファレンス

<MDのタイトルや曲名などを表示する>

1

TITLE

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 TITLEにタッチします。

●タイトルや曲名などの表示中は、TITLEがTITLE OFFに切り替わり、TITLE OFFにタッチするとDISC切り替えスイッチに表示が切り替わります。

クイックリファレンス

<MDを止める>

1

PWR

MDを止める

1 PWRを押します。

●再度PWRを押すと再生が再開されます。

6. MP3について

本機で使用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

再生可能なMP3ファイルの規格は次の通りです。

・対応規格　　：MPEG1 Audio レイヤⅢ
・対応サンプリング周波数：32, 44.1, 48(KHz)
・対応ビットレート　：32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 128(kbps)
※VBRに対応しています。
※フリーフォーマットには対応していません。MPEG1、2でビットレートが異なります。
・対応チャンネルモード　：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

注意

MP3のビットレートは128kbps以下で使用してください。128kbps以上のビットレートを使用するとMP3再生時に音とびをする場合があります。

ID3タグ

本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。
日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けします。

使用できるメディア

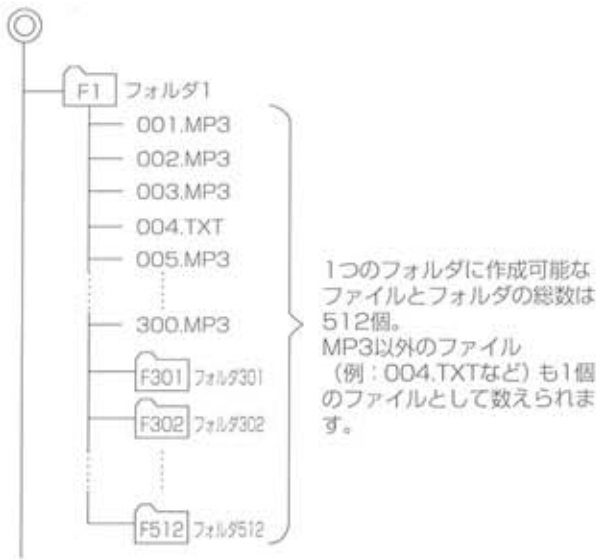
MP3の再生に使用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R/RWです。
なお、CD-R/RWは通常の音楽CDに使用されているCD-ROMに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R/RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷を付けた場合、再生できない場合や音とびする場合があります。
一部のCD-R/RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
なお、CD-R/RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマット

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。
日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合は文字化けをすることがあります。
また、特に下記制限に注意を払っていただく必要があります。
上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次の通りです。
・最大ディレクトリ階層　：8階層
・最大フォルダ名/ファイル名文字数　：半角31文字(区切り文字"."+拡張子3文字を含む)
・フォルダ名/ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_(アンダースコア)日本語(シフトJIS)
・1つのフォルダ内に書込み可能なファイルとフォルダの総数：512個(*1)

<MP3対応CDの構造例>



(*1)：MP3以外のファイル(拡張子"MP3"以外のファイル)も1個のファイルとして数えます。
・一枚のディスクに書込み可能なフォルダの総数：1023個

6. MP3について

ファイル名

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子"MP3"(*2) が付いたものだけです。
MP3ファイルには、"MP3"の拡張子を付けて保存してください。

(*2) ：拡張子名"MP"は半角英大文字にしてください。

注意

MP3以外のファイルに、"MP3"の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、"MP3"の拡張子を付けないでください。

マルチセッション

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-R/RWの再生が可能です。ただし、"Track at once"で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナル処理をしてください。

MP3の再生

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク挿入から約10秒以内にチェックが終わりますと最初のMP3ファイルを再生します。約10秒以内にチェックが終わらなかった場合は、いままで聞いていた音楽やTVなどを引き続き再生しますが、MP3にタッチすることによりMP3ファイルを再生させることができます。
なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
また、マルチセッションディスクはCDの管理情報取得に時間がかかりますのでシングルセッションで書き込むことをおすすめします。

MP3を再生すると、ナビゲーションの動作が遅くなることがありますが、異常ではありません。

MP3の演奏時間表示

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
※VBRのFAST UP／DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

MP3ファイルの再生順番

MP3ファイルを再生する順番は次の通りです。

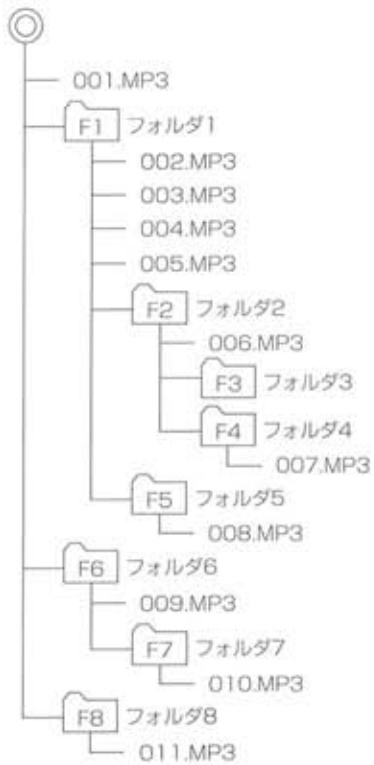
●通常の再生時
ディスク内に書き込まれているMP3ファイルを再生します(*3)。
(例)「001.MP3」→「002.MP3」→「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→…→「011.MP3」→「001.MP3」→…

● 「02.MP3」を再生中に SCAN にタッチしたとき
「02.MP3」のある階層のMP3ファイルのSCAN再生を開始します(*4)。
(例)「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→SCAN停止→通常の再生に戻り「002.MP3」を再生

● 「02.MP3」を再生中に RAND にタッチしたとき
「02.MP3」のある階層のMP3ファイルのRAND再生を開始します。
(例)「004.MP3」→「002.MP3」→「005.MP3」→「003.MP3」→「002.MP3」→…

●MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初に「01.MP3」のMP3ファイルを再生します。

<MP3対応CDの構造例>



(*3):同一階層に複数のMP3ファイルやフォルダが存在する場合、数字, アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に選び再生します。
(*4):同一階層に複数のMP3ファイルが存在する場合、数字, アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に選び再生します。

7. MP3ファイルの作り方・楽しみ方

インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には、有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、さまざまなMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。ISDN回線ならば、1曲約15分から25分ぐらいでダウンロードできます。（ただし、回線接続状況によります）

音楽CDからMP3ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3エンコーダ（変換）ソフトを用意します。（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3エンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録/データ容量650MB）が65MBのデータ量（約10分の1）になります。

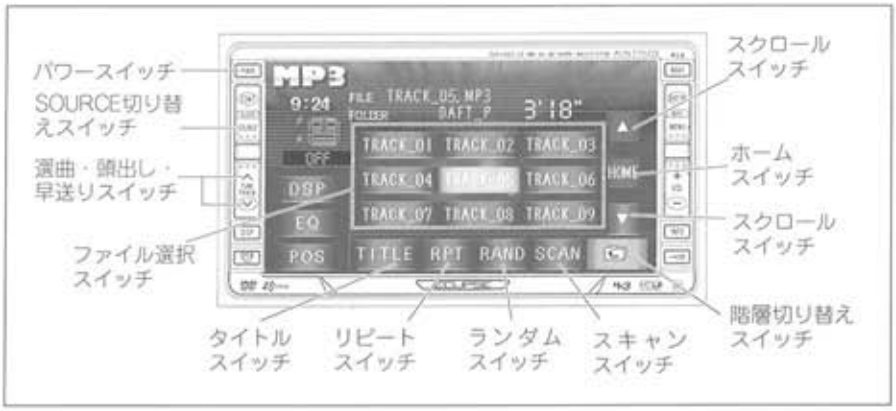
CD-R/RWに書き込む場合

MP3ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、CD-R/RWに書き込みます。このとき、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。
ディスクフォーマットはCD-ROM（mode1）を選択してください。CD-ROM×A（mode2）で書き込まれたディスクは再生できません。

CD-R/RWを再生する場合

MP3ファイルが記録されたCD-R/RWを挿入します。自動的に音楽CDかMP3ファイルのCD-R/RWかを認識して再生します。また、CD-R/RWに記録した音楽CDも再生できます。
ただし、ディスクの種類によって、再生できない場合もあります。

8. MP3プレーヤーの使い方



ワンポイント CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示（CD-TEXT表示）することができます。
また、表示文字数はアルファベット・記号の半角文字では最大32文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大16文字まで表示できます。

- MP3を再生すると、ナビゲーションの動作が遅くなることがありますが、異常ではありません。
- MP3を聞いているときはVICS情報を受信することができません。

MP3の聞き方

クイックリファレンス
<MP3の聞き方>

1 SOURCE

2 MP3

CD差し込み口にMP3のCDを差し込むと自動的に再生を始めます。

1 MP3のCDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 MP3 にタッチします。
- 再生を始めます。

聞きたい曲を選曲する

クイックリファレンス
<聞きたい曲を選曲する>

1 ▲ ・ ▼

1 聞きたい曲のファイル選択スイッチにタッチします。

- タッチした曲が演奏されます。
- 1画面におさまりきらない曲名は▲または▼にタッチすると表示することができます。

8. MP3プレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 パネルスイッチの∧、∨を押し続けます。

●∧（上側）：曲を進めるとき、∨（下側）：曲を戻すとき
早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

クイックリファレンス

<早送り・早戻しする>

1

∧
・
∨

聞きたい曲を探す

1 SCANにタッチします。

●全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、再度SCANにタッチするとその曲の再生を続けます。

クイックリファレンス

<聞きたい曲を探す>

1

SCAN

同じ曲を繰り返して聞く

1 RPTにタッチします。

●RPTにタッチすると、解除するまで繰り返します。再度RPTをタッチすると解除されます。

クイックリファレンス

<同じ曲を繰り返して聞く>

1

RPT

曲の順番をランダムに聞く

1 RANDにタッチします。

●RANDにタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度RANDにタッチすると解除されます。

ワンポイント

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が何度も再生されることがあります。

クイックリファレンス

<曲の順番をランダムに聞く>

1

RAND

1つ上のフォルダへ移動する

いま聞いている曲が記録されているフォルダの1つ上のフォルダを表示します。

1 にタッチします。

●一番上の階層を表示すると、階層切替スイッチは反転します。

クイックリファレンス

<1つ上のフォルダへ移動する>

1

現在演奏中のフォルダを表示する

1 HOMEにタッチします。

クイックリファレンス

<現在演奏中のフォルダを表示する>

1

HOME

クイックリファレンス

<MP3のタイトルや曲名などを表示する>

1 TITLE

MP3のタイトルや曲名などを表示する

1 TITLE にタッチします。
●タイトルや曲名などの表示中は TITLE が TITLE OFF に切り替わります。

クイックリファレンス

<MP3を止める>

1 PWR

MP3を止める

1 PWR を押します。
●再度 PWR を押すと再生が再開されます。

SECTION 4 テレビ・ビデオ（DVDプレーヤー）の使い方

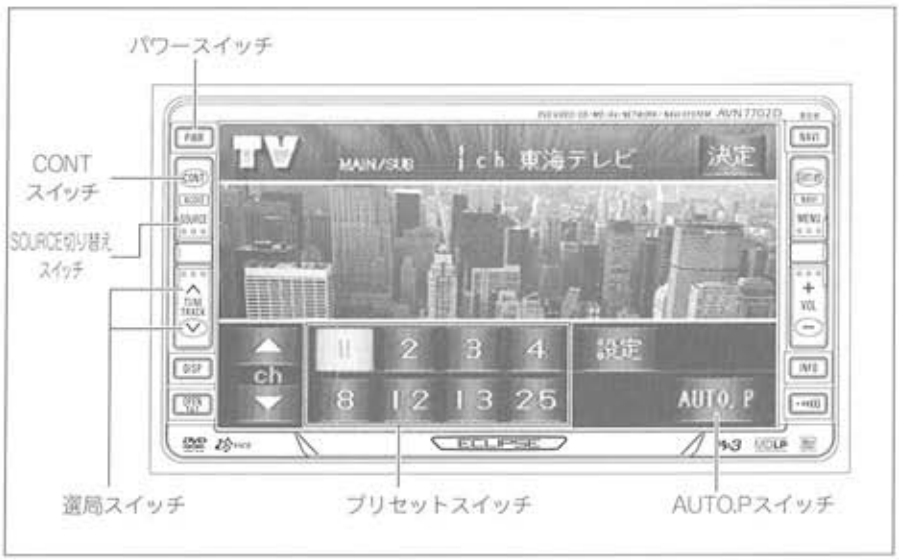
この章では、テレビ・ビデオ（DVDプレーヤー）の使い方について説明しています。

1.テレビの使い方 ……432
テレビを見る ……432
見たいチャンネルを選局する ……433
通常選局 ……433
自動選局 ……433
プリセットスイッチ選局 ……433
チャンネルを記憶させる ……434
マニュアル（手動）での記憶 ……434
AUTO.P（自動）での記憶 ……434
AUTO.Pで記憶させたチャンネルの変更 ……434
テレビ設定画面の切り替え ……435
エリアスイッチについて ……436
局名スイッチについて ……436
音声多重放送を切り替える ……437
画面モード切り替え／音質の調整 ……437
画面モード（ワイドモード）を設定する ……437
音質（DSP、EQ、POS）を調整する ……437
テレビモードを終わる ……437
2.ビデオデッキのモニターとしての使い方 ……438
ビデオを見る ……438
ビデオモードを終わる ……438
3.DVDビデオの使い方 ……439
DVDビデオの特長 ……439
ディスクの構成について ……439
マルチ音声機能について ……439
マルチアングル機能について ……440
サブタイトル（字幕）機能について ……440
ディスクについて ……441
再生ディスクについて ……441
DVDに表示されているマークの意味について ……441
DVDプレーヤーの設定について ……442
音声言語を設定する ……443
字幕言語を設定する ……443
メニュー言語を設定する ……444
マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する ……444
視聴制限を設定する ……445
映像出力の切り替え ……446
基本的なDVDプレーヤーの使い方 ……447
再生したい映像を選ぶ ……447
早送り・早戻しする ……448
パネルスイッチから早送り・早戻しする ……448
タッチスイッチから早送り・早戻しする ……448
映像を一時止める ……449
映像を止める ……449

DVDを止める ……449
見たい映像を探す ……450
チャプターから探す ……450
タイトルから探す ……451
メニュー番号から探す ……451
タッチスイッチの表示を切り替える ……452
タッチスイッチを消す ……452
タッチスイッチの表示場所を変更する ……452
画面表示・音声を切り換える ……453
アングルの切り換え ……453
字幕言語の切り換え ……454
字幕の非表示 ……454
音声言語の切り換え ……454
言語コード一覧 ……455

1. テレビの使い方

エンジンスイッチがON またはACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみテレビをご覧になることができます。（走行中にテレビモードを選択した場合、音声のみになります）



ワンポイント　テレビ操作画面で、約6秒以上操作しなかったときは、操作画面の表示が解除されます。CONT を押す、または画面にタッチすると再度、テレビ操作画面を表示します。

テレビを見る

1 SOURCE を押します。

2 TV にタッチします。

●テレビ画面になります。

●CONT を押す、または画面にタッチすると、テレビ操作画面になります。

クイックリファレンス

<テレビを見る>

1 SOURCE

2 TV

クイックリファレンス

<見たいチャンネルを選局する>

■ 通常選局

1



■ 自動選局

1



■ プリセットスイッチ選局

1

選択



2

決定

見たいチャンネルを選局する

■通常選局

1 ∧、∨を押す、または、▼、▲にタッチします。

●押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

∧ ▲（上側）：チャンネルUP（大きくなる）

∨ ▼（下側）：チャンネルDOWN（小さくなる）

■自動選局

1 ∧、∨を"ピッ"と音がするまで押す、または▼、▲を"ピッ"と音がするまでタッチします。

●現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときは再度押すと解除されます。

ワンポイント
●受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

■プリセットスイッチ選局

1 記憶されているプリセットスイッチをタッチします。

●チャンネルの記憶方法は次ページ**「チャンネルを記憶させる」**を参照してください。

2 見たいチャンネルを選局した後、**決定**をタッチします。

●テレビ画面に切り替わります。再度、選局したいときは**CONT**を押す、または画面にタッチします。

1. テレビの使い方

チャンネルを記憶させる

チャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

■マニュアル（手動）での記憶

"AUTO.P" または "AREA.P " が画面表示されていないことを確認します。
●表示されているときはAUTO.Pまたはエリアにタッチすると、AUTO.PまたはAREA.P からマニュアルに切り替わります。

1 通常の選局または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを "ピーッ" と音がするまでタッチします。
●チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

■AUTO.P（自動）での記憶

1 AUTO.Pを "ピーッ" と音がするまでタッチします。
●AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。"ピーッ" と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、AUTO.Pにタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たにチャンネルが記憶されます。

■AUTO.Pで記憶させたチャンネルの変更

1 通常の選局または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを "ピーッ" と音がするまでタッチします。

ワンポイント
- ●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- ●同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- ●AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- ●受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- ●受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

クイックリファレンス

<チャンネルを記憶させる>

■ マニュアル(手動)での記憶

1

2

選択

■ AUTO.P(自動)での記憶

1

AUTO.P

■ AUTO.Pで記憶させたチャンネルの変更

1

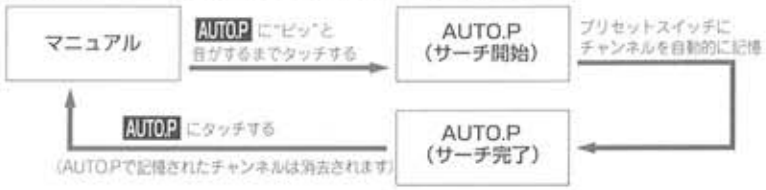
2

選択

●AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます）
AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



テレビ設定画面の切り替え

テレビモードでは、テレビ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。
●エリアプリセット
●音声多重放送の切り替え
●画面モード（ワイドモード）の切り替え
●DSP、EQ、POSなどの音質調整
●マニュアルでのチャンネルの記憶

クイックリファレンス

<テレビ設定画面の切り替え>

1 設定



1 **設定**にタッチします。



●TV設定画面が表示されます。
●エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などを行うことができます。
●**戻る**にタッチするとテレビ操作画面に戻ります。

1. テレビの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。



1 **エリア**にタッチします。

- “AREA.P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- 再度**エリア**にタッチすると、元の画面に戻ります。

クイックリファレンス

<エリアスイッチについて>

1 **エリア**

局名スイッチについて

テレビを受信したとき、同じチャンネルで複数の放送局が存在する場合に、放送局の名称を切り替えて表示することができます。



1 **局名**にタッチします。

- 放送局名の表示が切り替わります。

クイックリファレンス

<局名スイッチについて>

1 **局名**

ワンポイント

- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

音声多重放送を切り替える

クイックリファレンス
<音声多重放送を切り替える>
1
主 / 副

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。



1 **主/副** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主・副音声 MAIN・SUB

ワンポイント
●2ヶ国語放送を受信したときは、**二**が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

画面モード切り替え／音質の調整

クイックリファレンス
<画面モード切替え／音質の調整>

■画面モード（ワイドモード）を設定する

「画面モード切り替え」（404ページ）を参照してください。

■音質（DSP、EQ、POS）を調整する

「音質の調整」（394ページ）を参照してください。

■画面モード(ワイドモード)を設定する
1
ワイドモード
2
選択

■音質(DSP、EQ、POS)を調整する
1
選択

テレビモードを終わる

クイックリファレンス
<テレビモードを終わる>
1
PWR

1 **PWR** を押します。
●再度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）の音声のみが再受信されます。

2. ビデオデッキのモニターとしての使い方

オプションのVTRコードを取り付けることでビデオ機器を接続して、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にビデオモードを選択した場合、音声のみになります）



ワンポイント　ビデオ操作画面で、約6秒以上操作しなかったときは、操作画面の表示が解除されます。CONTを押す、または画面にタッチすると再度、ビデオ操作画面を表示します。

ビデオを見る

1 SOURCEを押します。

2 VTRにタッチします。
●ビデオ画面になります。
●CONTを押す、または画面にタッチすると、ビデオ操作画面になります。

クイックリファレンス
<ビデオを見る>
1 SOURCE
2 VTR

ビデオモードを終わる

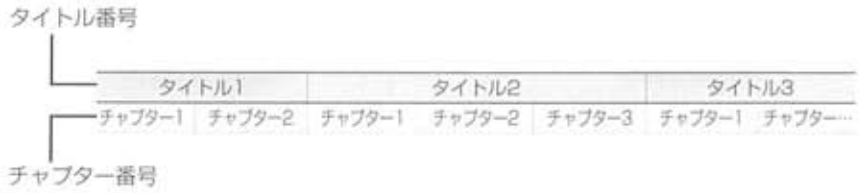
1 PWRを押します。
●再度PWRを押すと電源を切る前の映像が再生されます。

クイックリファレンス
<ビデオモードを終わる>
1 PWR

DVDビデオの特長

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りにわけられています。
大きく分けた区切りをタイトルといい、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。
また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



マルチ音声機能について

TVの副音声のように映像の音声を切り替えて再生することができます。
※ディスクによって収録されている音声が異なります。



一機の飛行機が...

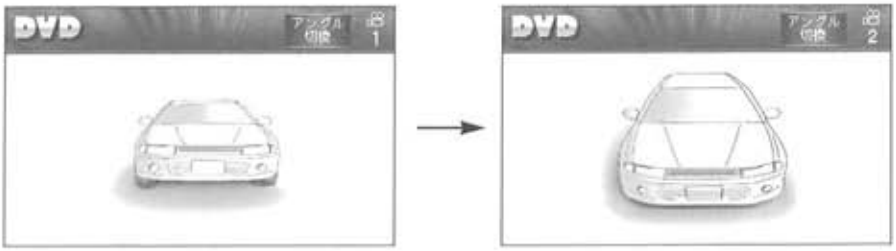


An airplane is...

3. DVDビデオの使い方

マルチアングル機能について

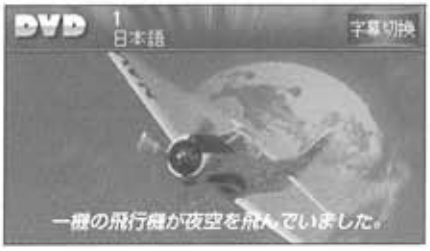
映像を野球中継のTVのカメラ切り替えのように複数のアングルに切り替えて表示させることができます。
※ディスクによっては複数のアングルが収録されていない場合もあります。



映像のアングルが切り替わります。

サブタイトル（字幕）機能について

映像の上にサブタイトル（字幕）を重ねて表示させることができます。
※ディスクによって収録されているサブタイトル（字幕）が異なります。



ディスクについて

再生ディスクについて

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスクは再生できません。

■再生可能なDVDの地域番号（リージョンコード）について

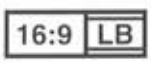
DVDには  のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表しています。この表示に「2」が含まれていない、または  の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは「このディスクは再生できません」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVD再生時の操作上のご注意

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDに表示されているマークの意味について

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音楽のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（テレビ画面の横と縦の比率）を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

3. DVDビデオの使い方

DVDプレーヤーの設定について

DVDプレーヤーモードでは初期設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- ●音声言語の設定
- ●字幕言語の設定
- ●メニュー言語の設定
- ●マルチアングルマーク（アングル選択マーク）表示の切り替え
- ●視聴制限の設定
- ●映像出力の切り替え



1 **設定**にタッチします。



2 **初期設定**にタッチします。



●初期設定画面が表示されます。

ワンポイント

● 初期設定画面で設定を変更した後、**決定**にタッチせずに画面が切り替わるスイッチ（**CONT**、**SOURCE**）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度、再生する場合は▶にタッチします。（449ページ参照）

クイックリファレンス

1 設定

2 初期設定

クイックリファレンス

<音声言語を設定する>

1 音声

2 選択

3 【言語コード入力】 その他

4 決定

音声言語を設定する



1 初期設定画面で**音声**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

●**その他**にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **その他**にタッチしたときは、言語コードを入力します。

●言語コードについては455ページを参照してください。

4 **決定**にタッチします。

ワンポイント
●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

クイックリファレンス

<字幕言語を設定する>

1 字幕

2 選択

3 【言語コード入力】 その他

4 決定

字幕言語を設定する



1 初期設定画面で**字幕**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

●**その他**にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **その他**にタッチしたときは、言語コードを入力します。

●言語コードについては455ページを参照してください。

4 **決定**にタッチします。

ワンポイント
●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

3. DVDビデオの使い方

メニュー言語を設定する



1 初期設定画面で**ソフトメニュー**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

●**その他**にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



3 **その他**にタッチしたときは、言語コードを入力します。

●言語コードについては455ページを参照してください。

4 **決定**にタッチします。

ワンポイント 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する



1 初期設定画面で**マルチアングルマーク**をタッチするごとに、「表示」と「非表示」が切り替わります。

ワンポイント ●マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

クイックリファレンス

<メニュー言語を設定する>

1 **ソフトメニュー**

2 選択

3 【言語コード入力】 **その他**

4 **決定**

クイックリファレンス

<マルチアングルマークの表示を設定する>

1 **マルチアングルマーク**

視聴制限を設定する

成人向けDVDソフトをお子さまなどに見られないよう制限することができます。

ワンポイント
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。

クイックリファレンス

<視聴制限を設定する>

1 視聴制限

2 数字

3 決定

4 選択

5 決定



1 初期設定画面で**視聴制限**にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。
- 間違えたときは**クリア**にタッチすると、番号がすべて消去されます。

3 入力が終了したら**決定**にタッチします。

ワンポイント
- 暗証番号が入力されていない場合、右側に表示される暗証番号は「－－－－」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないよう注意してください。



4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。

5 **決定**にタッチします。

ワンポイント
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
  - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）
  - レベル2～7 ……子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）
  - レベル8 ……すべてのDVDソフトを再生します。

3. DVDビデオの使い方

映像出力の切り替え

画面サイズ内の映像の比率を切り替えることができます。



1 初期設定画面で**映像出力切替**にタッチします。タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。

16：9 → 4：3 レターボックス → 4：3 パンスキャン

「16：9」
横4：縦3の割合の画面サイズ（普通のテレビ画面サイズ）で表示します。（ワイドテレビでは両端が黒く表示されます）

「4：3〔レターボックス〕」
ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4：縦3のテレビではレターボックスサイズで表示します。

「4：3〔パンスキャン〕」
ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4：縦3のテレビでは左右をカットした横4：縦3のサイズで表示します。

2 **決定**にタッチします。

クイックリファレンス

＜映像出力の切り替え＞

1
映像出力切替

2
決定

基本的なDVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがＯＮまたはACCでさらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDビデオをご覧になることができます。（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります）



ワンポイント
●DVD操作画面で約6秒以上操作しなかったときは、操作画面の表示が解除されます。CONTを押す、または画面にタッチすると再度、DVD操作画面を表示します。

クイックリファレンス

DVD差し込み口にDVDを差し込むと自動的に再生を始めます。

1 SOURCE

2 DVD

1 DVDが差し込まれているときにSOURCEを押します。

2 DVDにタッチします。
●DVD画面になります。
●CONTを押す、または画面にタッチすると、DVD操作画面になります。

再生したい映像を選ぶ

クイックリファレンス

<再生したい映像を選ぶ>

1 画面

2 ✣



1 画面にタッチします。

2 ✣にタッチします。

次ページに続く

3. DVDビデオの使い方



3 ↓ ↑ ← → にタッチし、再生したい映像を選びます。

4 決定にタッチします。

3
↓ ・ ↑ ・ ← ・ →

4
決定

早送り・早戻しする

クイックリファレンス
<早送り・早戻しする>

いま見ている映像を早送り・早戻しすることができます。

■パネルスイッチから早送り・早戻しする

■パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ∧または∨を押し続けます。
- ∧（上側）：映像を進めるとき
  ∨（下側）：映像を戻すとき
- 早送り（早戻し）はスイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1
∧ ・ ∨

■タッチスイッチから早送り・早戻しする

■タッチスイッチから早送り・早戻しする



1 NEXT にタッチします。

1
NEXT



2 ◀◀ または ▶▶ にタッチします。
- "ピッ" と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

2
◀◀ ・ ▶▶

クイックリファレンス

<映像を一時止める>

1 NEXT

2 ⏸

映像を一時止める



1 NEXT にタッチします。



2 ⏸ にタッチします。
- ▶ にタッチすると再生が再開されます。
- 一時停止中（⏸）に ▶▶ を短くタッチするとスロー再生します。

クイックリファレンス

<映像を止める>

1 NEXT

2 ■

映像を止める



1 NEXT にタッチします。



2 ■ にタッチします。
- ▶ にタッチすると再生が再開されます。

クイックリファレンス

<DVDを止める>

1 PWR

DVDを止める

1 PWRを押します。
- もう一度押すと再生が再開されます。

3. DVDビデオの使い方

見たい映像を探す

DVDは内容ごとに区切りがあり、大きな区切り「タイトル」と小さな区切り「チャプター」があります。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号が割り当てられ、内容を検索する際に利用できます。（下記参考例）

タイトル1		タイトル2			タイトル3	
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1	チャプター…

一例として、ここの映像を選ぶ場合
タイトル「2」、チャプター「3」を選びます。

チャプターから探す

1 ∧、∨を押します。

●∧（上側）：次のチャプターを選ぶとき
∨（下側）：前のチャプターを選ぶとき
見たい映像がいま見ているチャプターより後ろにあるときは∧を押し、前にあるときは∨を押します。また、表示部にいま選ばれているチャプター番号が表示されます。

（例）「チャプター2」の最初から再生する場合、 ∨（戻し方向）を短く2回押します。



クイックリファレンス

<チャプターから探す>

1

∧
・
∨

クイックリファレンス

<タイトルから探す>

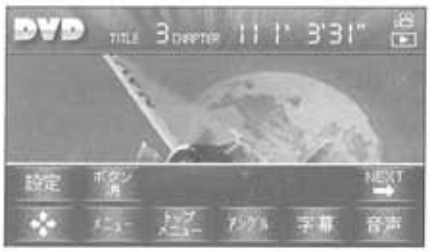
1 NEXT

2 サーチ

3 − −10 + +10

4 決定

タイトルから探す



1 NEXT にタッチします。



2 サーチ にタッチします。



3 − + −10 +10 にタッチして、探したいタイトル番号を入力します。

- − または + にタッチするごとにタイトル番号が1ずつ減少または増加します。
- −10 または +10 にタッチするごとにタイトル番号が10ずつ減少または増加します。

4 決定 にタッチします。

クイックリファレンス

<メニュー番号から探す>

1

次ページに続く

メニュー番号から探す



1 にタッチします。

3. DVDビデオの使い方





2 **数字**にタッチします。

3 **－** **＋** **－10** **＋10**にタッチして、探したいメニュー番号を入力します。

- **－** または **＋** にタッチするごとにメニュー番号が1ずつ減少または増加します。
- **－10**または**＋10**にタッチするごとにメニュー番号が10ずつ減少または増加します。

4 **決定**にタッチします。

2
数字

3
－ －10
＋ ＋10

4
決定

タッチスイッチの表示を切り替える

タッチスイッチを消す



1 **ボタン消**にタッチします。

クイックリファレンス
<タッチスイッチを消す>

1
ボタン消

タッチスイッチの表示場所を変更する



1 ✣にタッチします。

2 **パネル**をタッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。

クイックリファレンス
<タッチスイッチの表示場所を変更する>

1
✣

2
パネル

画面表示・音声を切り換える

アングルの切り換え

ディスクに複数のアングルが記録されている場合、アングルを切り換えて表示することができます。

クイックリファレンス

<アングルの切り換え>

1 アングル

2 アングル切換

マルチアングルマーク



1 マルチアングルマークが表示されたときに**アングル**をタッチします。

●アングル番号が表示されます。

ワンポイント

●ディスク内に複数のアングルが記録されている場合、マルチアングルマークが表示され、マルチアングルの切り換えができます。

アングル番号



2 **アングル切換**をタッチするごとに、下図の順にアングルが切り換わります。

アングル1 → アングル2 → アングル…

●いま表示しているアングルの番号はアングル番号で表示されます。

3. DVDビデオの使い方

字幕言語の切り換え

ディスクに複数の言語の字幕が記録されている場合、字幕を切り換えることができます。



1 **字幕**にタッチします。
●字幕番号および言語が表示されます。

2 **字幕切換**をタッチするごとに、下図の順に字幕が切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕…

クイックリファレンス
<字幕言語の切り換え>
1 字幕
2 字幕切換

字幕の非表示



1 初期設定画面で**字幕**にタッチします。

2 **字幕非表示**にタッチします。
●サブタイトル（字幕）の表示が消去されます。

クイックリファレンス
<字幕の非表示>
1 字幕
2 字幕非表示

音声言語の切り換え

ディスクに複数の言語の音声が記録されている場合、音声を切り換えることができます。



1 **音声**にタッチします。
●音声番号および言語が表示されます。

2 **音声切換**をタッチするごとに、下図の順に字幕が切り換わります。

音声1 → 音声2 → 音声…

クイックリファレンス
<音声言語の切り換え>
1 音声
2 音声切換

ワンポイント
●dts音声フォーマットには対応しておりませんので、dts音声の収録されたディスクでは、「dts音声」を選択した場合、音声が出ません。この場合は、DVDビデオに必ず収録されている「Dolby Digital音声」を選択してください。
●dtsは米国Digital Theater System,Inc.の登録商標です。

言語コード一覧

「音声」「字幕」「ソフトメニュー」の言語をコードの入力で指定します。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハジャ語
0106	アフラカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディ語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベク語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

MEMO

SECTION 5 音声操作

この章では、音声操作について説明しています。

1.音声操作システムについて ……458
音声認識コマンド一覧 ……458
オーディオモードを切り替えるコマンド……458
ラジオ・テレビで使用できるコマンド……459
CD・MDプレーヤーで使用できるコマンド……459
CD・MDチェンジャーで使用できるコマンド……459
MP3で使用できるコマンド……460
画面表示に関するコマンド……460
認識できる放送局……460
AM放送局一覧表……461
FM放送局一覧表……461
TV放送局一覧表……462

1. 音声操作システムについて

音声操作は音声認識マイク&スイッチを使い、音声でオーディオの操作を行うことができる機能です。操作方法は218ページを参照してください。

音声認識コマンド一覧

音声操作するときの音声認識コマンド一覧を紹介します。

オーディオモードを切り替えるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
TV	てれび	TVモードにする
ビデオ	びでお	ビデオモードにする
ラジオ	らじお｜れでぃお	ラジオモードにする
AM	えーえむ（らじお｜れでぃお）	AMモードにする
FM	えふえむ（らじお｜れでぃお）	FMモードにする
交通情報	こーつーじょーほー	交通情報モードにする
交通情報オフ	こーつーじょーほー （かいじょ｜しょーきょ）	交通情報モードを解除する
CD	しー（でー｜でぃー）	CDモードにする
MD	えむ（でー｜でぃー）	MDモードにする
CDチェンジャー	しー（でー｜でぃー）ちぇんじゃー	CDチェンジャーモードにする
CDチェンジャー （1・2）	し（でー｜でぃー）ちぇんじゃー いち・に	CDチェンジャー （1・2）モードにする
MDチェンジャー	えむ（でー｜でぃー） ちぇんじゃー	MDチェンジャー モードにする
MP3	えむぴー（すりー｜さん）	MP3モードにする
DVD	（でー｜でぃー）ぶい（でー｜でぃー）	DVDモードにする
オーディオオン	ばわー｜おーでぃお	オーディオオン
オーディオオフ	ばわーおふ｜おーでぃお[お] ふ	オーディオオフ

ラジオ・テレビで使用できるコマンド

音声モードがラジオ、テレビのとき有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
シークアップ	しーくあっぷ	周波数の高い方向へ選局する
シークダウン	しーく（だうん｜だう｜だん）	周波数の低い方向へ選局する
放送局名※1	○○○（放送局名）※1	放送局を切り替える
オートプリセット	おーとぷりせっと	自動選局を開始する
オートプリセットオフ	おーとぷりせっとおふ	自動選局を中止する

※1：各放送局名については、「認識できる放送局」（次ページ）を参照してください。

CD・MDプレーヤーで使用できるコマンド

音声モードがCD、MDのとき有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
次の曲	とらっくあっぷ｜つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん｜あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）
前の曲	[ひとつ] まえのきょく｜いっきょくまえ	前の曲を選曲する
トラック○○○（番号）	とらっく○○○（番号）※2	トラック番号の曲を選曲する

※2：トラック番号は1～20まで有効です。

CD・MDチェンジャーで使用できるコマンド

音声モードがCD、MDチェンジャーのとき有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
次の曲	とらっくあっぷ｜つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん｜あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）
前の曲	[ひとつ] まえのきょく｜いっきょくまえ	前の曲を選曲する
次のディスク	でぃすくあっぷ｜つぎのでぃすく	次のCD・MDに切り替える
前のディスク	でぃすくだうん｜まえのでぃすく	前のCD・MDに切り替える
トラック○○○（番号）	とらっく○○○（番号）※3	トラック番号の曲を選曲する
ディスク○○○（番号）	でぃすく○○○（番号）※4	ディスク番号の曲を選曲する

※3：トラック番号およびディスク番号は1～20まで有効です。
※4：ディスク番号は1～12まで有効です。

1. 音声操作システムについて

MP3で使用できるコマンド

音声モードがMP3のとき有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
次の曲	とらっくあっぷ｜つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん｜あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）

画面表示に関するコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読　み	機　能
画面消し	がめん（しょーきょ｜けし）	画面を消す

認識できる放送局

音声認識コマンドによって表示できる放送局名を紹介します。

ワンポイント

- ●電波が届かない地域での選局はできません。
- ●放送局名は、正式名称と通称のどちらを発声しても認識されます。
  例）：FM 北海道（AIR-G'）の場合、「FM（エフエム）北海道」・「AIR-G'（エアージー）」ともに認識されます。
  北海道テレビ（HTB）の場合、「ホッカイドウテレビ」・「エイチティービーテレビ」ともに認識されます。
- ●同じ名称でラジオとテレビがある放送局（東京放送など）を選択するときは、確実に認識させるため、名称の異なるコマンドを発声してください。
  例）：東京放送（TBS）の場合、ラジオ･･･「TBSラジオ」・テレビ･･･「TBSテレビ」と発声してください。

AM放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
HBCラジオ	文化放送	KBSラジオ	KBCラジオ
STVラジオ	ニッポン放送	AM神戸	NBCラジオ
RABラジオ	ラジオ日本	和歌山放送	OBSラジオ
IBCラジオ	SBSラジオ	RCCラジオ	RKKラジオ
ABSラジオ	北日本放送	RSKラジオ	MRTラジオ
TBCラジオ	MROラジオ	BSSラジオ	MBCラジオ
ラジオ福島	FBCラジオ	KRYラジオ	RBCラジオ
YBCラジオ	CBCラジオ	RNCラジオ	ラジオ沖縄
BSNラジオ	東海ラジオ	南海ラジオ	CRT栃木
SBCラジオ	岐阜放送	RKCラジオ	NHK第1
山梨放送	ABCラジオ	四国放送	NHK第2
IBS茨城	MBSラジオ	RKBラジオ	AFN
TBSラジオ	ラジオ大阪		

FM放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
AIR-G'	K-MIX	FM中九州	FM京都
FM-N.W	FMとやま	ジョイFM	北日本放送
エフエム青森	FM福井	FM沖縄	ZIP-FM
エフエム岩手	FMA	NACK5	クロスFM
エフエム秋田	FM三重	FM802	ミューFM
DateFM	FM大阪	FM山形	ラジオベリー
FM新潟	広島FM	bay-fm	ふくしまFM
FM長野	FM山陰	K805FM	COCOLO
FM富士	エフエム山口	FM大分	インターFM
FM群馬	FM香川	KissFM	ERadio
放送大学	FM愛媛	FM佐賀	LoveFM
東京FM	FM福岡	FM徳島	FM岡山
J-WAVE	スマイルFM	FM高知	NHK-FM
FMヨコハマ			

1. 音声操作システムについて

TV放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
HBCテレビ	群馬テレビ	第一テレビ	高知放送
STVテレビ	放送大学	テレビ愛知	テレビ高知
HTBテレビ	とちぎテレビ	三重テレビ	さんさんTV
UHBテレビ	テレビ埼玉	毎日テレビ	RKB毎日
TVHテレビ	千葉テレビ	ABCテレビ	九州朝日放送
青森放送	TVKテレビ	関西テレビ	テレビ西日本
青森テレビ	BSN	読売テレビ	福岡放送
青森朝日放送	NST	びわ湖テレビ	NBCテレビ
岩手朝日TV	TeNY	KBS京都	テレビ長崎
IBCテレビ	NT21	テレビ大阪	長崎文化放送
テレビ岩手	山梨放送	サンテレビ	テレQ
めんこいTV	テレビ山梨	奈良テレビ	長崎国際TV
TBCテレビ	信越放送	テレビ和歌山	サガテレビ
仙台放送	長野放送	日本海テレビ	熊本放送
ミヤギテレビ	テレビ信州	BSSテレビ	テレビ熊本
東日本放送	長野朝日放送	山陰中央TV	くまもと県民
秋田放送	北日本テレビ	山陽テレビ	熊本朝日放送
秋田テレビ	富山テレビ	OHKテレビ	大分放送
秋田朝日放送	チューリップ	TVせとうち	テレビ大分
YBCテレビ	MROテレビ	西日本テレビ	大分朝日放送
YTSテレビ	石川テレビ	瀬戸内海TV	宮崎放送
TUYテレビ	テレビ金沢	RCCテレビ	テレビ宮崎
SAYテレビ	北陸朝日放送	広島テレビ	南日本放送
福島テレビ	FBCテレビ	ホームテレビ	鹿児島テレビ
福島中央TV	福井テレビ	テレビ新広島	鹿児島放送
福島放送	CBCテレビ	山口放送	鹿児島読売
TV福島	東海テレビ	テレビ山口	琉球放送
日本テレビ	名古屋テレビ	山口朝日放送	沖縄テレビ
TBSテレビ	中京テレビ	四国テレビ	琉球朝日放送
フジテレビ	岐阜放送	南海テレビ	NHK総合
テレビ朝日	SBSテレビ	テレビ愛媛	NHK教育
テレビ東京	テレビ静岡	あいテレビ	
MXテレビ	静岡朝日TV	愛媛朝日TV	

SECTION 6 ご参考に

この章では、知っておいていただきたいことについて説明しています。

1.故障とお考えになる前に ……464
2.こんなメッセージが表示されたら ……466
3.その他 ……468
技術基準適合認定について ……468
ドルビーデジタルのみを搭載する製品 ……468
マクロビジョンを搭載する製品 ……468
4.用語説明 ……469
オーディオ全般 ……469
テレビ関連 ……469
MP3プレーヤー関連 ……469
DVDプレーヤー関連 ……470
5.目的別索引 ……471
音量・演奏方法について ……471
演奏する曲について ……471
放送局について ……471
ビデオ・DVDビデオについて ……472
画面について ……472
わからなくてお困りのとき ……472
6.仕様 ……473
7.索引 ……475

1. 故障とお考えになる前に

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前に、次の項目を参考にチェックしてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店に相談してください。

次の表にしたがって調べていただき、直らないときには必ず電源を切ってから、後の処置を行ってください。

症 状	原 因	処 置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
	dts音声を選択している。	Dolby Digital音声を選択してください。
片側のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・MD・DVDが入らない。	電源が入っていない。	エンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・MD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・MD・DVDを入れてください。
CDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。(383 ページ参照)
	CDに大きなキズやソリがある。	他のCDを入れてください。
	CDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。(383 ページ参照)

症 状	原 因	処 置
MDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。(385 ページ参照)
	CD・MDのディスクにキズや汚れがある。 MDにソリがある。	他のMDを入れてください。
CDC1 CDC2 をタッチしても、CDチェンジャーにならない。	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
MDC をタッチしても、MDチェンジャーにならない。	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	CONT、SOURCE、MENU、NAVI、INFO を押してください。
音声は出るが、テレビ・ビデオ・DVD映像が出ない。(停車中)	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	エンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
テレビの映像または音が出ない。	VTR入力になっている。	SOURCE を押した後、TV をタッチして放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、安心して使用してください。

以上の処置を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

2. こんなメッセージが表示されたら

ご使用中に、下記のようなメッセージが表示された場合、内容を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	内 容
CD・MD検索中です。	CD・MDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CD・MDチェンジャーがディスクの有無を検索しています。検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CD・MDのふたが開いています。	CD・MDチェンジャーの扉が開いています。 CD・MDチェンジャーの扉を閉めてください。
CD・MD・DVDをお確かめください。	CD、MDまたはDVDが汚れている、または裏返しになっているとき表示されます。ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
音楽CDが入っていません。	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入ってないとき、または裏返しになっているときに表示されます。 音楽ディスクを入れてください。または、裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でCD・MD・DVD停止中です。※1	なんらかの原因でCD・MD・DVDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーが動かないとき表示されます。各ディスクのイジェクトスイッチを押してディスクを取り出してください。
高温検知でCD・MD・DVD停止中です。※2	CD・MD・DVDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーの温度が高くなり、動かないとき表示されます。温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
CD・MDマガジンが入っていません。	CD・MDチェンジャーにマガジンが入っていないとき表示されます。マガジンを入れてください。
走行中は音声をお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとしたときに表示されます。車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
FM多重放送を受信できませんでした。	一般文字情報を受信していないとき表示されます。選局し直してください。

メッセージ	内 容
現在ご利用になれません。	メニューなどで操作できないものを選んだ場合などに表示されます。 画面の表示にしたがって操作してください。
走行中は操作できません。 停止して操作してください。	走行中に操作できないものを選んだ場合に表示されます。 車両を停止してください。
受け付けないコードです。	言語コードの選択で対象外のものを入力した場合に表示されます。 正しい言語コードを設定してください。
コード番号が正しくありません。	暗証番号の入力が正しくない場合に表示されます。 正しい暗証番号を入力してください。
このDVDは演奏できません。	ディスクのリージョンコード(再生できる地域制限)が違うため、再生できない場合に表示されます。 本機で使用できるDVDをご確認ください。(383ページ参照)
視聴制限がかかっており 再生できません。	視聴制限がかかっています。 視聴制限の設定を変更して操作してください。 (445ページ参照)

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店に相談してください。
※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えてCD(MD)の再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店に相談してください。

3. その他

技術基準適合認定について

本機は、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を行っています。そのため「自動再発信を行う場合にあたっては、その回数は2回以内であること。ただし、最初の発信から3分を超えた場合にあっては、別の発信とみなす。」という規定にしたがい3分以内には2回を超える自動再発信は、行いません。

認証マーク　： 

認証登録申請者：富士通テン株式会社
機器名　　：データ伝送アダプタ内蔵　車載情報端末
認証番号　　：A01-0298JP

ドルビーデジタルのみを搭載する製品

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
"Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

Confidential Unpublished Works. ©1992-1997 Dolby Laboratories.Inc.All rights reserved.

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物.　著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ.　不許複製



マクロビジョンを搭載する製品

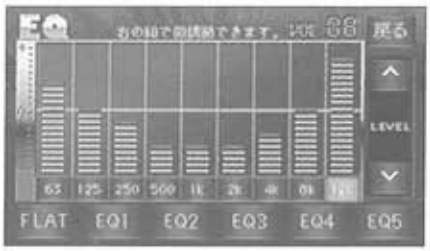
本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外には使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

4. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明を一読してください。

オーディオ全般

EQイコライザ



音楽の高音から低音まで、どの音を強調して鳴らすかを設定することができます。好みに応じてレベルを変化させ、音楽を楽しむことができます。

トラック

音楽CDまたはMDでは曲の1区切りをトラックといいます。

テレビ関連

音声多重

テレビの音声はもともとモノラル（単一）でしたが、周波数の隙間を利用することで音声を多重化し、別の音声を送れるようになりました。
音声多重としてはステレオ音声が一般的に利用されていますが、日本語・英語などの2音声で利用されることもあります。

MP3プレーヤー関連

MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)

音楽などの音声データを圧縮するときの技術（デジタル圧縮技術）の1つです。
データの圧縮率が高いため、一般的にはインターネット上の音楽配信サイトなどから入手することができます。

4. 用語説明

DVDプレーヤー関連

DVDビデオ

動画の記憶されているDVDディスク。DVDビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記憶しています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記憶でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
また、マルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみ方ができます。

視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせて、視聴制限に対応したディスクの再生を制限する」というDVDビデオの機能のひとつです。制限はDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

タイトル

DVDビデオに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター

DVDビデオに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。

マルチアングル

DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記憶されているため、アングルを自分で自由に選択することができます。

マルチランゲージ

DVDビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記憶されているため、言語を自分で自由に選択することができます。

地域番号（リージョンコード）

DVDプレーヤーとDVDディスクは販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。地域番号についての詳細は441ページを参照してください。

音量・演奏方法について

●スイッチを押したときの効果音のON／OFFを切り替えたい
「画面動作・効果音を設定する」 189ページ

●音量を調整したい
「主音量の調整」 393ページ

●小音量時の音にメリハリをつけたい（LOUD）
「小音量時の低・高音調整」 190ページ

●演奏する音をかえたい
●演奏している環境の雰囲気をかえたい
「DSP（音場）の設定」 395ページ
●高音と低音を調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」 396ページ
●スピーカーの音量バランスをかえたい
「音量バランスの調整」 398ページ

●ウーファー接続時の音の出力レベルを調整したい
「ノンフェーダ出力の設定をする」 191ページ

演奏する曲について

●演奏する曲を探したい
●CDプレーヤーの演奏する曲を探したい
「聞きたい曲を選曲する」 412ページ
●MDプレーヤーの演奏する曲を探したい
「聞きたい曲を選曲する」 416ページ
●CDチェンジャーの演奏する曲を探したい
「聞きたい曲を選曲する」 414ページ
●MDチェンジャーの演奏する曲を探したい
「聞きたい曲を選曲する」 419ページ
●MP3プレーヤーの演奏する曲を探したい
「聞きたい曲を選曲する」 427ページ

放送局について

●ラジオの放送局を探したい
「聞きたい放送局を選局する」 408ページ
●テレビの放送局を探したい
「見たいチャンネルを選局する」 433ページ

5. 目的別索引

ビデオ・DVDビデオについて

●ビデオを見たい	
「ビデオデッキのモニターとしての使い方」	438ページ
●DVDビデオを見たい	
「DVDビデオの使い方」	439ページ

画面について

●使用するオーディオの画面に切り替えたい	
「モードの切り替え方」	390ページ
●明るさやコントラストを替えたい	
「オーディオ画面の画質調整」	399ページ
●背景画を替えたい	
「背景画を切り替えるには」	401ページ
●テレビ・ビデオの映像の大きさを替えたい	
「画面モード切り替え」	404ページ

わからなくてお困りのとき

●画面のメッセージがわからない	
「こんなメッセージが表示されたら」	466ページ
●故障かどうかわからない	
「故障とお考えになる前に」	464ページ

6. 仕様

〈テレビ・ディスプレイ〉

受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
液晶パネル	6.5型ワイド（16：9）低反射パネル
画面寸法	幅143.4mm・高さ79.3mm・対角165.0mm
ドット数	28万800ドット（縦234×横1200）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	−20℃～+65℃
保存温度範囲	−40℃～+85℃

〈ラジオ・チューナー部〉

受信周波数	●AM522～1,629kHz ●FM76～90MHz
実用感度	●AM22μV（S／N20dB） ●FM12dBf（IHF）
周波数特性	30～15,000Hz（FM）
ステレオセパレーション	35dB（1kHz）

〈CD部〉

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.3%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	90dB以上（1kHz）

〈MD部〉

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.3%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	85dB（1kHz）

〈共通部〉

定格出力	15W×4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	50W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（11～16V） アース専用
消費電流	●1W×4出力時約3A ●最大約14A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量（重量）	約3.7kg

6. 仕様

〈バックモニター（オプション）〉

撮像素子	1/4インチ カラーCCD
CCD画素数	約27万画素
水平解像度	330TV（中心）以上
カメラ焦点距離	f=1.9mm
F値	1：28
画角（水平・垂直）	112°，82°
TV方式	NTSC
標準映像出力レベル	1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度	31×（25IRE）
ホワイトバランス方式	自動
自動感度調整範囲	1：1600以上
電源電圧	DC6V ± 0.3V
消費電流	235mA（最大）
ケーブル長	11.5m
使用温度範囲	−20℃～+60℃
保存温度範囲	−30℃～+80℃
外形寸法カメラユニット（W×H×D）	78mm × 41.5mm × 47mm
質量（重量）	290g（コードを含む）

（注）部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

7. 索引

五十音順

ア

アングルマーク ……444
ウーファー ……471
音質の調整 ……394
音声操作 ……458

カ

画質調整 ……399,402
効果音 ……189
交通情報 ……411

サ

字幕言語の切り換え ……454
主音量の調整 ……393
仕様 ……473

タ

テレビ ……432
電源の入れ方 ……390

ハ

背景画の切り替え ……401
昼画表示 ……399,402
ビデオ ……438

ヤ

夜画表示 ……399,402

ラ

ラジオ ……408

ワ

ワイド画面モード切り替え ……404

アルファベット/数字

C

CDチェンジャー ……414
CDプレーヤー ……412
CONT ……432

D

DSP（音場） ……395
DVDビデオ ……439

E

EQ（イコライザ） ……396

L

LOUD ……190

M

MDチェンジャー ……419
MDプレーヤー ……416
MP3プレーヤー ……427

P

POS（ポジションセレクタ） ……397
PWR ……390

S

SOURCE ……390

V

VOL ……393

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

凡例

表示①…ビジュアルシティマップ画面
表示②…通常の地図画面

表示①	表示②	名　称
		高速道・都市高・有料道
		開通予定道路
		国道
		主要地方道
		都道府県道
		幹線・道路
		細街路
		鉄道（JR）
		鉄道（JR以外）
		都道府県界・市区町村界
		川・湖・海
		緑地
		駅舎・敷地
		国の機関（官公庁）
		都道府県の機関
		市役所・東京23区役所
		町村役場・東京以外区役所
		道の駅
		駅（地上）
		駅（地下）
IC	IC	インターチェンジ
SA	SA	サービスエリア
PA	PA	パーキングエリア
P	P	駐車場
		空港・飛行場
		フェリーターミナル
		公園・緑地
		競技場
		スキー場
		ゴルフ場

表示①	表示②	名　称
		警察署
		消防署
		郵便局
		交差点
		学校
		各種学校
		幼稚園
		病院
		電力施設
		電話局
		銀行・金融機関
		デパート
		ホテル・宿泊施設
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城跡
		史跡
		海水浴場・湖水浴場
		アイススケート場
		ヨットハーバー
		キャンプ場
		温泉
		山
		港湾
		その他

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることがあります。

富士通テン株式会社
〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸(078)671-5081

090002-25040700
0209K (N)